緑の募金
事業報告集

平成26年度

公益社団法人　国土緑化推進機構

緑の募金
事 業 報 告 集

平成 26 年度

公益社団法人　国土緑化推進機構

はじめに

緑の募金事業は、国内はもとより地球規模で「国民参加の森林づくり」を進めることを目的として、平成８年以降「緑の募金法」に基づき森林の整備、緑化の推進、国際協力の３つの分野で緑のボランティア活動等に対する支援を実施しています。

公益社団法人国土緑化推進機構は、緑の募金事業のうち全国的又は国際的な見地から先駆的、モデル的効果を期待できる事業を実施しており、平成25年事業においては、引き続き

①　国民参加による間伐及び間伐材等の利用促進事業

②　新たな価値の創造や新たな主体の参加が促進される創造的なモデル事業

③　国民参加による災害に強い森林づくり事業

④　身近な里山の手入れなど

安全・安心な生活環境の保全に資するための国内又は海外で行う森林整備及び緑化推進の事業まで多様な森林づくり活動を中心に支援しました。

緑の募金の社会的意義を考えれば、これらの緑の募金事業の実施結果を、緑の募金協力者はもとより一般市民の皆様に公表することが重要であることから、今般、平成25年の緑の募金事業の成果を報告集としてとりまとめ出版することとしました。

本報告集が緑のボランティア団体の今後の活動の参考になるとともに、皆様の緑の募金運動への理解の一助となれば幸いです。

公益社団法人国土緑化推進機構

目　次

(注) 1．本報告集に掲載した事業は、①平成 25 年 1 月から 6 月に事業決定した直接事業、②平成 25 年 7 月から平成 26 年 6 月までに事業決定・承認した直接事業及び公募事業のうち、事業実施団体から原稿の提出があったものである。

2．最左欄は交付決定番号、(　) 書き地名は事業実施都道府県等である。

森林の整備

24SC-17　アドプト　フォレスト　仏並エネオスの森づくり活動（大阪）……12
24SC-18　小石原川水源の森づくり事業（2）（福岡）……12
24SC-19　細田いのちをつなぐ森づくり植樹祭（兵庫）……13
24SC-20　津野っ子の丘事業（福岡）……13
24SC-21　海の森　植樹プロジェクト（東京）……14
24SC-22　緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」（大阪）……14
24SC-24　玖珠町ふれあいの森づくり事業（大分）……15
24SC-25　屋久島 鎮守の森植樹祭（鹿児島）……15
24SC-26　「宮城県」GREEN HEART PROJECT（宮城）……16
24SC-27　企業等の埼玉の森林づくり支援事業（埼玉）……16
24SC-28　地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業（北海道）……17
24SC-29　富士山麓水源の森整備事業（静岡）……17
24SC-30　岡山県日本のリスの森整備事業（岡山）……18
24SC-31　「あいち」GREEN HEART PROJECT（愛知）……18
24SC-32　市民がつくる森植樹会（キリンビールの森）（北海道）……19
24SC-33　グリーンハートプロジェクト福岡（福岡）……19
24SC-34　岡山水源の森整備事業（岡山）……20
24SC-35　和木町協働の森づくり事業（山口）……20
24SC-36　水源の森造成事業（茨城）……21
24SC-37　原村あゆみの森整備事業（長野）……21
24SC-39　豊島区グリーンハートプロジェクト（東京）……22
24SC-40　多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト（東京）……22
24震災SC-13　海岸マツの子育て事業（宮城）……23
24特S-22　多くの人が集う未来に残る里山を！（京都）……23
25SC-01　原村あゆみの森整備事業　（平成25年前期）（長野）……24
25SC-02　湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業（神奈川）……24
25SC-03　「キリン千歳水源の森」整備の森づくり（北海道）……25
25SC-04　アドプト　フォレスト　仏並エネオスの森づくり活動（大阪）……25
25SC-05　宮城県栗原地区崩壊跡地の植生復元事業（宮城）……26
25SC-06　「Present Tree in 宮古」森林再生事業（岩手）……26
25SC-07　緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」（大阪）……27
25SC-08　積水化学・水源の森づくり事業（北海道）……27
25SC-09　寒霞渓いのちの森づくり植樹祭（香川）……28
25SC-10　緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21 さがみの森」（神奈川）……28
25SC-11　「積水化学の森・うきは」生物多様性の森づくり（福岡）……29
25SC-13　「未来へつなぐ共学の森」事業（宮城）……29
25SC-14　GREEN HEART PROJECT 「第12回ひろしま『山の日』県民の集い」関連事業（広島）……30
25SC-15　北蔵王水源の森造成事業（宮城）……30
25SC-16　「積水の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり（京都）……31
25SC-17　「赤西渓谷・水源の森」保全事業（兵庫）……31

25SC-18 企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業（岡山） …… 32
25SC-19 水源地保全活動（茨城） …… 32
25SC-21 静波海岸防災林植樹祭「いのちの森づくり」in牧之原（静岡）…… 33
25SC-22 「みたけ木曽川水源の森づくり」活動（岐阜）…… 33
25SC-23 海の森　植樹プロジェクト（東京） …… 34
25SC-24 国産木質バイオマス資源活用事業（埼玉外） …… 34
25SC-25 自伐型林業実施者・実施地域支援のための全国組織創設事業
～地域林業再生と農山漁村再生のため、自伐型林業推進組織の創設～（東京外） …… 35
25SC-30 玖珠町ふれあいの森づくり事業（大分） …… 35
25SC-31 多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト（東京） …… 36
25SC-32 木曽川・やおつ水源の森づくり活動（岐阜） …… 36
25SC-33 原村あゆみの森整備事業　（平成26年前期）（長野）…… 37
25震災SC-01 十日町市民協働の森づくり（新潟） …… 37
25震災SC-02 平成25年度東日本大震災津波被災の海岸防災林復旧事業（茨城）…… 38
25震災SC-03 三陸復興国立公園階上岳記念植樹祭（青森） …… 38
25震災SC-04 土佐の森方式（自伐林業方式）と木質バイオマスを活用した、津波被災地再生事業（岩手外）… 39
25震災SC-05 川内村いのちの森づくり植樹祭（福島） …… 39
25震災SC-06 平成25年度　長野県北部地震復興祈念植樹（長野）…… 40
25震災SC-07 3.11復活の森づくり　～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業（千葉）…… 40
25震災SC-08 さんむ植樹祭（千葉） …… 41
25震災SC-09 浦安絆の森（緑の防潮堤）整備事業（千葉） …… 41
25震災SC-10 白子町海岸保安林整備事業（千葉） …… 42
25震災SC-11 旭復興植樹事業（千葉） …… 42
25震災SC-13 海岸マツの子育て事業（宮城） …… 43
25震災SC-14 名取潮除須賀松「宮城林研の森」植樹事業（宮城） …… 43
25震災SC-15 「土木地質の森」植樹式（宮城）…… 44
25S-02 「森林セラピー・森林体験の森」づくり（第3期）（北海道）…… 44
25S-03 ＮＰＯの連携による間伐推進と　間伐材活用のモデル構築事業（北海道） …… 45
25S-04 プロ野球の森整備事業（福島） …… 45
25S-05 森林整備で発生する間除伐材を利用した木工体験による森林整備の重要性をＰＲする（茨城）… 46
25S-06 森に還ろうプロジェクト（茨城） …… 46
25S-07 青少年・都市住民が参加した里山・竹林の整備事業（茨城） …… 47
25S-08 次代を担う子供たちによる身近な里山での自然環境体験学習会と里山の整備活動（茨城） …… 47
25S-09 八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業（茨城） …… 48
25S-11 小根山森林公園森林整備等ボランティア活動（群馬） …… 48
25S-12 森林づくり教育支援事業（埼玉） …… 49
25S-13 子ども（園児、小・中学校）と森づくり体験事業（埼玉） …… 49
25S-14 都市住民が参加する里山整備と間伐材の有効活用（千葉） …… 50
25S-15 地域と共に、里山保全（千葉） …… 50
25S-16 荒廃の森林の保全・再生：森林・林業の復権（神奈川） …… 51
25S-17 青少年環境保全体験活動プログラム（長野外） …… 51
25S-18 間伐材利活用プロジェクトによる川場・世田谷上下流連携の持続可能な森づくり（群馬） …… 52
25S-20 森を育てる間伐体験と間伐材を活かす木づかいのためのストック事業（東京） …… 52
25S-21 木育体験イベント「つむ木」で遊ぼう！を出展（東京） …… 53
25S-22 群馬県草津町やすらぎの森　森林整備事業（群馬） …… 53
25S-23 青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及事業（東京） …… 54
25S-24 野鳥の誘林づくり事業（東京） …… 54
25S-25 薪まきネット「薪バンク」プロジェクト（埼玉） …… 55
25S-26 森づくり体験プログラム「森林の楽校（もりのがっこう）」2013・2014（全国） …… 55

25S-27 創る･育てる「みんなの森林セラピーランド」活動基盤の整備とネットワークづくり（埼玉）… 56
25S-28 私達の水源間伐整備事業（山梨） …… 56
25S-29 水源林の整備と癒しのフィールドづくり（神奈川） …… 57
25S-30 山の間伐材を利用したマチの公園整備（栃木外） …… 57
25S-31 2013企業人学びの森整備事業（石川）…… 58
25S-32 都市部在住の若年層の森づくりへの参加拡大事業（長野） …… 58
25S-33 下街道さんさくウォーク事業（岐阜） …… 59
25S-34 山主さんの持ち山活用塾（岐阜） …… 59
25S-35 東濃の緑を守るボランティア活動事業（岐阜） …… 60
25S-36 沼津市　愛鷹運動公園内森林整備事業（静岡） …… 60
25S-37 「森づくり自然学校・御殿場」の開催（静岡）…… 61
25S-38 森の健康診断＆簡易搬出全国出前事業（全国） …… 61
25S-39 猿投の森づくりの継続実施と国際森林デー活動（愛知） …… 62
25S-40 里山再生と新しい竹文化の創造（三重） …… 62
25S-41 荒廃竹林整備促進事業（三重） …… 63
25S-42 みんなの宝、森林を整備し、森林に親しみ、森林に学ぼう（三重） …… 63
25S-43 比良山麓の里山保全事業2013（滋賀）…… 64
25S-44 上下流連携による森づくりおよび小規模自伐林業による森林整備推進事業（滋賀） …… 64
25S-45 上流･下流の連携による、琵琶湖の水源、清流「安曇川」の源流を守る森づくり活動（滋賀）… 65
25S-46 森林施業・林業生産等の体験と森林整備（京都） …… 65
25S-47 東日本災害の復興に向けた協働植樹と森の教室・育苗活動の推進（宮城外） …… 66
25S-48 広がる森林ボランティアの輪（兵庫） …… 66
25S-50 森林の整備と連携して行う普及啓発活動（奈良） …… 67
25S-51 武住谷の人工林を甦らせよう！
～森林整備ボランティア養成と地域材活用プロジェクト～（和歌山） …… 67
25S-52 高梁川源流域での環境保全型森林ボランティア活動による地域林業の振興（岡山） …… 68
25S-53 「大志を抱く森づくりプロジェクト」事業（徳島）…… 68
25S-55 「アジロ自然の森」整備及び子育て支援事業（高知）…… 69
25S-56 森・人・海　お守りプロジェクト（大分） …… 69
25S-57 「緑の体験塾」アドバンス（佐賀）…… 70
25S-58 緑川流域の豊かな緑と水と未来を守る放置竹林整備活動（熊本） …… 70
25S-59 間伐材利活用の森と人を結ぶ「あったか防災薪」事業（熊本） …… 71
25S-60 地球温暖化防止に資する水源林整備活動及び体験林業（熊本） …… 71
25S-62 平成25年度　第11回「森林ボランティアの日」活動 in『中パの森』（鹿児島）…… 72
25S-64 児童の自然観察と森づくり（３年目）（鹿児島）…… 72
25S-65 荒廃竹林（森林）の整備（鹿児島） …… 73
25災S-01 蛤浜 間伐体験と森づくり啓発事業（宮城）…… 73
25災S-02 高尾山周辺森林の台風被害跡地調査および風倒かかり木処理技術研修（東京） …… 74
25災S-03 防災林を奥利根地域で育てるボランティア活動事業（群馬） …… 74
25災S-04 広島県竹原市における市民・企業・行政一体となった被災森林回復植林活動（広島） …… 75
25災S-05 いのちを守る海岸防災林づくり復興応援（福島、宮城） …… 75
25災S-06 ナラ類等の広葉樹を守り育てる森林ボランティア活動事業（山形、群馬） …… 76
25災S-07 国民参加による災害に強い森づくり事業（新潟） …… 76
25災S-10 立科・君津・奥多摩における急峻な人工林の災害防止を兼ねた森林整備（長野、千葉、東京） 77
25災S-11 災害に強い森づくりを推進し、安全・安心の里山を（愛知） …… 77
25災S-12 「木の駅プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業（島根）…… 78
25災S-13 土砂災害を防ぐ森づくり活動～高丸山千年の森（徳島） …… 78
25災S-14 災害に強い森づくりと収入になる森林経営を両立させる自伐林業方式の確立と、
その自伐林業家（誰でも参入容易な）の育成及び普及事業（高知） …… 79
25災S-15 「道も治すぞ！」水俣・水源の森づくり（熊本）…… 79

緑化の推進

24RC-09　学校林で「げんきの森林づくりと森遊び」（北海道）…… 82
24震災RC-03　おいらせ町海岸防災林震災復興植樹祭（青森）…… 82
24震災RC-04　八戸市東日本大震災復興植樹（青森）…… 83
24震災RC-05　東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！どんぐりプロジェクト（岩手、宮城、福島外）…… 83
24震災RC-06　気仙地区植樹祭 ～東日本大震災津波からの復興を目指して～（岩手）…… 84
24震災RC-07　甦れ！新浜公園事業（福島）…… 84
24震災RC-08　放射性物質汚染対策による林業振興事業（宮城）…… 85
24震災RC-09　東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ａ工区－（宮城）…… 85
24震災RC-10　東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ｂ工区－（宮城）…… 86
24震災RC-11　東日本大震災復興事業「みどりのきずな」－Ｃ工区－（宮城）…… 86
24震災RC-12　東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ｄ工区－（宮城）…… 87
24震災RC-13　東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ｅ工区－（宮城）…… 87
24震災RC-14　震災仮設住宅に緑いっぱい推進事業（岩手）…… 88
24震災RC-15　「森は海の恋人」植樹祭 ～東日本大震災津波からの復興を目指して～（岩手）…… 88
24震災RC-16　大森山（里山）再生事業（福島）…… 89
25RC-01　エコキャンプ２０１３（香川）…… 89
25RC-02　親と子協働の森づくりと自然体験活動（北海道）…… 90
25RC-03　日豪観光交流年事業 日豪環境ボランティアプログラム「新南三陸時間～海を育む森」（宮城）…… 90
25RC-04　「つたえよう　美しき森」（石川）…… 91
25RC-05　青少年による竹林ルネッサンス事業　～21世紀のかぐや姫事業～（富山）…… 91
25RC-06　地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」（新潟外）…… 92
25RC-07　フォークロアーの森づくり　関東地区（千葉）…… 92
25RC-08　活樹祭　～こども間伐体験～（岩手）…… 93
25RC-09　「全国の道の駅」と連携した緑の募金活動推進事業（6）（全国）…… 93
25RC-10　安全な間伐推進モデル事業（広島、群馬、東京）…… 94
25震災RC-01　「復活の森」再生キャラバン（岩手）…… 94
25震災RC-02　「みやぎバットの森林＆とうほくとっとり・森林の里親プロジェクト」植樹事業（宮城）…… 95
25震災RC-03　地域産間伐認証材を活用した津波避難歩道設置事業（岩手）…… 95
25震災RC-04　東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D（全国）…… 96
25震災RC-05　震災地域における学校環境教育向上のための緑化事業（福島）…… 96
25震災RC-06　震災地域における吉浜小学校教育環境向上のための緑化事業（岩手）…… 97
25震災RC-08　馬籠小学校における記念植樹及び桜古木の剪定事業（宮城）…… 97
25震災RC-09　森林環境学習フィールド整備事業（福島）…… 98
25震災RC-10　震災地域における小屋瀬小学校教育環境向上のための緑化事業（岩手）…… 98
25震災RC-11　石巻市金華山復興支援植樹事業（宮城）…… 99
25震災RC-12　第二次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業（青森）…… 99
25震災RC-13　平成26年度　長野県北部地震復興記念植樹事業（長野）…… 100
25震災RC-14　登米市立米川小学校における記念植樹事業（宮城）…… 100
25震災RC-15　塩竈市立第一小学校における記念植樹事業（宮城）…… 101
25R-01　「水源の森」等林業体験啓発事業（北海道）…… 101
25R-02　おたる船上山　鎮守の森再生プロジェクト（北海道）…… 102
25R-03　小鳥のさえずりが聞こえる河畔づくり植樹（北海道）…… 102
25R-04　モク（木）モク（煙）サイクルプロジェクト（青森）…… 103
25R-05　北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動（岩手）…… 103
25R-06　泉ケ岳芳の平森林再生整備計画事業（宮城）…… 104
25R-07　森林の整備（緑の回復事業）（宮城）…… 104
25R-08　花いっぱいの森コミニュティプロジェクト（山形）…… 105
25R-09　「みんなの里山」活性の為の再生整備事業（福島）…… 105

25R-10　茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動（茨城）…… 106
25R-11　筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり（茨城）…… 106
25R-12　どんぐりの木植樹会（茨城）…… 107
25R-13　東日本大震災復興支援緑化木苗育苗（千葉）…… 107
25R-14　「Present Tree from 熱海」里山再生から始まる人と森のコミュニケーション（静岡）…… 108
25R-15　白神山地いのちの森づくり植樹祭（青森）…… 108
25R-16　僕たち、私たちの森づくり（東京）…… 109
25R-18　気仙沼大島植生回復プロジェクト（宮城）…… 109
25R-19　群馬県奥利根国有林「ふれあいの森」整備（群馬）…… 110
25R-20　首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業（埼玉外）…… 110
25R-21　自然林と共生の森づくり（岡山）…… 111
25R-22　地域毎（県西3ケ市）の里山の整備と維持保全活動（神奈川）…… 111
25R-23　歴史の里山に森づくり（新潟）…… 112
25R-24　森と共生する近未来へ（山梨）…… 112
25R-25　第12回森林整備ボランティア「森づくり2013」（長野）…… 113
25R-26　竹一株植えつけ運動（福岡外）…… 113
25R-27　フォレスター松寿の森づくり（兵庫）…… 114
25R-28　「生駒市民のシンボル生駒山」山麓整備緑化再生事業（奈良）…… 114
25R-29　海南市北野上地区薪炭林活性化事業（和歌山）…… 115
25R-30　蒜山ブナ林整備事業（岡山）…… 115
25R-31　「水源の森」づくり芦田川源流植林・下刈と出前講座「緑の教室」事業（広島）…… 116
25R-32　尾の瀬山・オイスカ憩いの森（香川）…… 116
25R-33　今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備事業（愛媛）…… 117
25R-34　森づくりボランティア「森で遊ぼう」（大分）…… 117
25R-35　私たちの水源の森づくり（大分）…… 118
25災R-01　三宅島復興支援緑化再生プロジェクト（東京）…… 118
25災R-03　第3回小田原荻窪森林再生プロジェクト（神奈川）…… 119
25災R-04　中越震災みどりの復興メモリアル拠点整備事業（新潟）…… 119
25災R-05　五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業（新潟）…… 120
25災R-07　石川の海岸林・砂防林を育てるボランテイア活動事業（石川）…… 120
25災R-08　グリーンベイＯＳＡＫＡ森を育てる活動（津波の緩衝帯としての防災林づくり）（大阪）…… 121
25災R-09　揖保川源流の１３号地植樹（兵庫）…… 121
25災R-11　徳島県那賀町木沢　森林整備事業（徳島）…… 122
25災R-12　「地球に緑を　桜島に緑を」どんぐり照葉樹の森づくり（桜島どんぐりころころ植樹祭）（鹿児島）…… 122
25災R-13　「くにの松原」保全・再生事業（鹿児島）…… 123
25ふR-01　真狩ふるさとのもり再生事業（北海道）…… 123
25ふR-02　「札幌ふるさと樹木園」づくり（北海道）…… 124
25ふR-03　「館の森」再生事業（宮城）…… 124
25ふR-04　いこいの森林再生事業（秋田）…… 125
25ふR-05　安久津八幡山の保全整備事業（山形）…… 125
25ふR-06　花咲か体験（福島）…… 126
25ふR-07　行政とのパートナーシップで管理運営する自然公園（茨城）…… 126
25ふR-08　寺子のエドヒガン樹勢回復事業（栃木）…… 127
25ふR-09　ふるさとの巨木救助活動（群馬）…… 127
25ふR-10　西川地域「ふるさとの森」を守る獣害対策事業（埼玉）…… 128
25ふR-11　東金市山王台公園サクラの森林再生（千葉）…… 128
25ふR-12　優れた景観を持つ太東埼の森を将来に引き継ぐ事業（千葉）…… 129
25ふR-13　日野市制50周年　日野の森再生事業（東京）…… 129
25ふR-14　丹沢ニノ塔森林再生事業（神奈川）…… 130

25ふR-15　混交林化でふるさとの森づくり（神奈川）…… 130
25ふR-16　汐見台市民協働の森づくり事業（新潟市中央区）（新潟）…… 131
25ふR-17　ササユリの咲く森再生プロジェクト（富山）…… 131
25ふR-18　「ふるさとの絆の森」再生事業（石川）…… 132
25ふR-19　観光伊豆の玄関口「亀石峠」にサクラ並木よみがえり（静岡）…… 132
25ふR-20　雲出川・「石橋のエノキ」の保護治療事業（三重）…… 133
25ふR-21　小面積皆伐による里山再生モデル事業（三重）…… 133
25ふR-22　島本町における「ふれあいの森」再生事業（大阪）…… 134
25ふR-23　鉢伏高原ブナ再生事業（兵庫）…… 134
25ふR-24　荒廃したふるさとの森林を地域の森林ボランテイア団体と連携して再生する（奈良）…… 135
25ふR-25　虫いっぱいの里山づくり（奈良）…… 135
25ふR-26　「懐かしい故郷の里山を守り育てる」（「ふるさと演習林」拡張・整備事業）（和歌山）…… 136
25ふR-27　「郷土の森」の再生・整備事業（和歌山）…… 136
25ふR-28　荒廃する果樹園跡地（廃園となった梨園）の里山再生事業（鳥取）…… 137
25ふR-29　斐伊川水源交流の森づくり事業（島根）…… 137
25ふR-30　長船刀剣の森づくり（岡山）…… 138
25ふR-31　妙見山共生の森づくり事業（山口）…… 138
25ふR-32　ひなの里森林再生事業（徳島）…… 139
25ふR-33　里山ふれあいプロジェクト（香川）…… 139
25ふR-34　山と里の豊かな森林再生事業（高知）…… 140
25ふR-35　高千穂町オルレの森整備事業（宮崎）…… 140
25ふR-36　宮川小学校記念樹（サクラ）及び校庭衰退木樹勢回復事業（鹿児島）…… 141

国際協力

24KC-06　ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業（ロシア）…… 144
24KC-07　東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業（ブラジル）…… 144
24KC-09　日本ーラオス友好の森展示林造成事業（ラオス）…… 145
24K-26　カンボジアにおける「本物の森づくり」第３期（カンボジア）…… 145
25KC-01　平成25年度緑の国際ボランティア研修（カンボジア国）（カンボジア）…… 146
25KC-02　ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動（パキスタン）…… 146
25KC-03　タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動（タイ）…… 147
25KC-04　カンボジア国タケオ州における植林による緑化推進（フェーズ２）（カンボジア）…… 147
25KC-05　地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）…… 148
25KC-06　長江上流域植林協力事業（中国）…… 148
25KC-07　ケニアにおける生活向上のための植林事業（ケニア）…… 149
25KC-08　太行山・郷土の森造成事業（中国）…… 149
25KC-09　チャウカン・コミュニティ造成事業（ミャンマー）…… 150
25KC-10　ラオス育成天然林の造成及び改良手法開発に関する調査事業（ラオス）…… 150
25KC-11　東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業（ブラジル）…… 151
25KC-12　ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業（ロシア）…… 151
25KC-13　モンゴル森林火災被災地再生事業（モンゴル）…… 152
25KC-14　アフリカ荒廃地の樹林再生と小規模植林による里山づくり（マリ共和国ー継続）（マリ）…… 152
25K-01　植林地保護を目的とした、代替燃料供給のための薪炭林造成事業（エチオピア）…… 153
25K-02　中国・内モンゴル、飛沙・沙漠化防止緑化活動（中国）…… 153
25K-03　フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄池に対するマングローブ植林（フィリピン）…… 154
25K-04　防風・防潮林及び薪炭材造成のためのマングローブ植林事業ーインドネシア共和国東ジャワ州ムンガレー（インドネシア）…… 154
25K-05　乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップの活用による森林整備（インドネシア）…… 155

25K-06 カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺特別区における
森林教育と植林活動（第３年目）（カンボジア） …… 155
25K-07 モデル里山づくりinパプアニューギニア 2013（パプア・ニューギニア） …… 156
25K-08 フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した植林活動の推進
（フェーズ２）（フィリピン） …… 156
25K-09 ラオス国ホアパン県におけるラオスヒノキの環境植林プロジェクト事業
（３年計画）（ラオス） …… 157
25K-10 カンボジア国「みんなで中学校をつくろう」プロジェクト（中学校緑化支援）（カンボジア） … 157
25K-11 霊武市日中友好防風固砂モデル林（中国） …… 158
25K-12 グヌングデ・パングランゴ国立公園保全を推進する再植林事業と
清潔な水の供給（インドネシア） …… 158
25K-13 沙漠での緑化作業を通じた国際交流増進事業（継続事業）（中国） …… 159
25K-14 モンゴル国中央県植林事業（モンゴル） …… 159
25K-15 インド・環境保全のための植林推進事業（インド） …… 160
25K-16 中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」（中国） …… 160
25K-18 徳勝城地区における沙丘からの流沙防止のための保護植林２（中国） …… 161
25K-19 インドネシア森林地域住民による森と水の保全活動（インドネシア） …… 161
25K-21 ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖岸保全および
生活改善のための植林事業（ブルキナファソ） …… 162
25K-22 インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生に向けた住民参加型植林と
持続可能な開発のための環境教育の推進（インド） …… 162
25K-23 モンゴルゴビ植生樹林再生·砂漠緑化実験プロジェクト（モンゴル） …… 163
25K-25 フィリピン　ベンゲット州トゥバにおける森林再生と
持続可能な森林保全文化の形成（フィリピン） …… 163
25K-26 西ネグロス州中部における水源涵養林と魚つき林整備（フィリピン） …… 164
25K-27 中国・内モンゴル沙漠化防止・循環型経済林造成（中国） …… 164
25K-28 アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動（カザフスタン） …… 165
25K-29 N.GKS第18次隊（第2回亀岡ボルネオ植林隊）ボルネオ島植林（マレーシア） …… 165
25K-30 マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための
植樹による整備事業（マダガスカル） …… 166
25K-31 黄土高原における森林再生のための苗圃建設と運営（中国山西省大同市）（中国） …… 166
25K-32 ネパール　ノールパラシィ郡の小農村におけるアグロフォレストの拡大及び
土砂流出防止のための植林と植林教育（ネパール） …… 167
25K-33 バギオシティーの住民と共に造る
『アシン村の平和の森プロジェクト』の２年目（フィリピン） …… 167
25K-34 東部アマゾンに於けるアグロフォレストリー推進事業支援のための
小農家コミュニティー苗畑整備事業（ブラジル） …… 168
25K-35 モンゴルにおける植林、植林技術者養成及び地域住民の森林保護意識の醸成事業（モンゴル） 168
25K-36 「学校の森」造成植林による緑化推進教育事業（ケニア） …… 169
25K-37 北京北部地域水源地植林事業（中国） …… 169
25K-38 中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業（中国） …… 170
25K-39 徳島烏雲の森　植林事業（中国） …… 170
25K-40 韓国釜山植林（韓国） …… 171
25K-42 ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）インレー湖地域における
土砂流出を防止する持続可能な緑化システム構築事業（ミャンマー） …… 171
25K-43 ツルセワナ（木陰づくり）事業（スリランカ） …… 172

緑の募金事業報告集索引（事業実施団体別） …… 173

森林の整備

アドプト　フォレスト
仏並エネオスの森づくり活動

いずみの森の会
大阪府堺市南区庭代台

●事業概要

今年度の活動実施日は３日間で、そのうち１日はいずみの森の会メンバーによる準備活動、あとの２日はエネオス社員約70人との共同作業である。最初の共同作業日にはアドプトフォレスト活動の調印式のほか、エネオスの森の開所式、記念植樹などを実施したため、実際の作業は間伐の意義と方法説明ならびに間伐のデモンストレーションを主体とした活動であった。本来の活動目的である間伐作業は二回目から本格的に活動を始めた。まず、道づくりと、それに用いる部材の切り出し（間伐材の利用）を実施した。

●事業成果等

今年度は初回のため、イベントなどに時間をとられ、また、幼児も参加したため、安全面から主に頂上部の比較的傾斜の緩い所から間伐を始めるとともに、斜面下部に向かって道づくりを実施した。

●自己評価等

本年度は年度途中から活動を実施したため、活動回数は３回にとどまった。ただ、現場の下見・資材の購入・関係者との打合せ等、活動準備は入念に行えたと評価している。そのため、初回は参加者80数人にもかかわらず、順調に進行できたと考えている。

２回目は幼児を含めた活動となり、すべての人員を山に上げることの是非を今後考えたい。

●参加者の声

２回目は晴天でまさに五月晴れ、午前中だけで全員たっぷりと汗をかき、大いに満足されたようである。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	下刈面積	間伐面積	府内	府外	計
3本	0.03ha	0.15ha	174人	4人	178人
樹種：アオダモ					
実施場所：大阪府和泉市仏並町					

間伐体験

小石原川水源の森づくり事業（2）

あまぎ緑の応援団委員会
福岡県朝倉市菩提寺

●事業概要

福岡県の水源地である江川ダム上流の森林を企業ボランティア及び地元ボランティアの参加により、平成18年・19年・20年で植樹した樹木が、シカの食害でなくなったため、ヤマモミジを植樹しシカ被害防除ネットを設置した。

●事業成果等

多くのボランティアが参加して植樹・シカ被害防除ネットの設置をしたことにより、シカの食害で何もなくなった森林がきれいに整備され、豊かな生態系と美しい景観を有する森林になった。また、植樹を体験することによって森を長期にわたり維持整備することの重要性が理解できた。

●自己評価等

計画通り0.69ha・800本の植栽及びシカ被害防除ネットの設置ができたが、３月中に植栽する計画が、都合がつかず４月の実施になった。また、植栽の時期及び植え方が悪く枯れる苗木があった。今後は、植栽時期を３月までに計画し、植え方については、事前に十分説明をして、指導者と連携しながら作業を進めていく。

●参加者の声

・植樹場所は急斜面であったが、思ったより簡単で上手にでき、楽しかった。
・普段知らない森の様子を知ることができたし、水にとって森が重要なことがわかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.69ha	800本	128人	128人
樹種：ヤマモミジ			
実施場所：福岡県朝倉郡東峰村			

植樹後にシカ防除ネットを設置

細田いのちをつなぐ森づくり植樹祭

つながる森づくり実行委員会

東京都千代田区一ツ橋

●事業概要

目的は、阪神大震災で最も深刻な被害があった神戸市長田区の中心部のうち、未整備の空き地が点在し、緑地が皆無の細田地区において、周辺住民と入所予定園児の父母らが常緑広葉樹（防火木）を植えることで、災害に強い避難場所の形成や、防災や緑化の重要性を広めるものである。

内容は、細田地区の「ほそだ保育園」の敷地周囲に、シイ、タブ、カシ類など常緑広葉樹を帯状に植樹した。

●事業成果等

事前作業に周辺住民延べ約50人、植樹祭当日も、予想を上回る250人が参加した。また、植樹後の管理は、保育園の父母、職員、地域住民などの植樹祭参加者が中心となって行うこととしている。なお、マルチングのワラを敷き込んだため、周囲の自動車道路の埃の侵入がかなり抑えられた。

●参加者の声

・子どもを取り巻く環境づくりに子どもとともに貢献できた。（父母）
・子どもの声が抑えられ、静かになる。（地域住民）
・グランド（広場）の埃の飛散が防止できる。（地域住民）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
80㎡	240本	230人	20人	250人
樹種：シイ、タブ、カシ類				
実施場所：神戸市長田区				

シイ、タブ、カシ類を植樹

津野っ子の丘事業

（公財）福岡県水源の森基金

福岡市中央区天神

●事業概要

豊かな自然に恵まれた環境の下、健全な心と体を育み、少人数のよさや地域の伝統的な行事を生かした特色ある教育活動を行っている津野の子ども達は、情緒豊かに成長している。

津野小学校の校庭には、約100本のイチョウなど多種多様な樹木があるが、子ども達の現状は、周囲に恵まれているはずの山での遊びの経験が少なく、テレビゲームなど町部と変わらない遊びをしている子どもが多くいる。また、車での送迎で登下校をしているので足腰が弱く、体力テストの結果では、県の平均に達していない状況でる。

そこで、学校に丘を作り、体力づくりのために丘の上り下りをさせたり、ソリ遊びなどの経験をさせるために津野っ子の丘を造成した。

●事業成果等

みるみるうちに形をなしてゆく津野っ子の丘に対する子ども達の好奇心は旺盛で、まだ未完成の丘でソリ遊びに興じ、毎日転げまわって過ごしていた。

●自己評価等

完成を待ちかねた子どもたちが、生き生きと遊んでいる様子を見てうれしく思った。

地域外の子どもたちにも開放されているので、多くの利用が見込まれる。

●参加者の声

・子ども達が、仲良く遊んでいる姿を見るとうれしい。
・植栽した樹木が大きく育つのが楽しみだ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.05ha	7本	50人	50人
実施場所：福岡県添田町津野小学校内			

「津野っ子の丘」で元気に遊ぶ

海の森　植樹プロジェクト

(特) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

東京都が進める「海の森づくり」では、毎年春と秋に企業や都民を対象とした苗木の植樹活動を実施し、市民参加による森づくりを行っている。

植樹した樹種には、都が指定する湾岸部の強い潮風による劣悪な環境にも強い樹種の植樹を行った。今回の植樹では、計13種、1060本の植樹を実施し、また、これまで植樹を行い苗木が成長しているエリアの見学を行った。計画では、環境プログラムを行う予定だったが、植樹終了後の大雨により見学に留めた。

●事業成果等

「植樹活動」及び「体験型環境プログラム（見学会）」では、136人の企業の社員および家族の方に参加いただいた。「植樹活動」では、海の森公園（仮）における、「風の森」の一部の植樹を行い、1060本、13樹種の苗木を植えることができた。

海の森では、2013年より海の森倶楽部を発足、多くの企業・団体により今後運営されていく。今後の継続参加の大切さを伝えることができた。

●自己評価等

植樹の活動は順調に行うことができた。植樹後の観察会になると大雨となってしまい、詳しい観察を行うことができなかったことが残念である。雨天時の対策として、バス内でのレクチャーなど考えておきたい。

●参加者の声

・以前に植えた場所の木が育っている様子に感動した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	都内	計
1.2ha	1060本	136人	136人
樹種：スダジイ、タブノキ、エノキほか			
実施場所：東京都（海の森公園予定地）			

「海の森」での植樹

緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」

いずみの森連絡協議会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

西日本における森林ボランティアの活動拠点として事業を開始し、定例の保全活動（毎月第４土曜日）は、公益団体、土地所有者、行政などで構成される「いずみの森連絡協議会」の下で企画・運営されるプログラムを実施してきたが、このほかに、ボランティアらで構成された「いずみの森ボランティアの会」が第２、第３木曜日も自主的に保全活動を行っている。

●事業成果等

例年数百人規模のイベントである「いずみの森自然体験企画」が定着し、企業のＣＳＲ活動も積極的に受け入れている。また地域の団体との協働も進み、森林活動をより活発に行える体制となってきた。

●自己評価等

今後は、従来のみどりの保全活動に加え、企業や地元など様々な視点・ニーズに合わせた取り組むとともに、次世代を担う子どもたちに対して、森林体験などを通じて自然に対する関心を高めていく取り組みも行っていく。また、持続可能な森づくりとして、行政や地元の方々と協力しながら、薪づくり等木の利用を進めていくこととしている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	歩道整備	府内
1.3ha	1.6ha	1500m	997人
樹種：			
実施場所：大阪府泉佐野市日根野			

森林整備

玖珠町ふれあいの森づくり事業

玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要

多くの町民並びに企業ボランティア参加を募り、大分県玖珠地域の里山に生物多様性に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する森林整備を実施した。

●事業成果等

年3回の作業に延べ450人以上の参加があり、下刈り、除伐、枝打などの整備を行った。 参加者は、人とのふれあいを持ち自然の優しさ、厳しさを感じながら山での作業に良い汗をかき生き生きとした表情だった。

●自己評価等

ほぼ計画どおりに実施できた。反省点は作業内容に応じて時間配分を考えたい。 今後の取り組みとして、植栽などの今までに実施してない山林作業を実施したい、また、子供達にも枝、葉っぱ等を使っての工作づくりをさせたい。

●参加者の声

・お父さんと森林保護活動に参加しました。私たちは花だんの手入れをしたあと七夕の短冊作りをしました。 願い事をたくさん書けて、楽しかったです。大人の人たちは、汗びっしょりで草刈りをしていたので、たいへんだなぁと思いました。またお父さんといっしょに参加できたらいいなと思います。(小学生　女子)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	枝打面積	県内	計
1.30ha	0.30ha	0.50ha	455人	455人
実施場所：大分県玖珠町				

枝打ち

屋久島 鎮守の森植樹祭

屋久島鎮守の森を作る会

静岡県熱海市泉

●事業概要

目的は、島内における里山が荒廃し、木々の倒壊、赤土の流出、スギ林の荒廃等が発生していることから、木の大事さ、森から受ける恵みの大切さを地域住民と共有し、島本来の森林を再生することである。植樹に当たっては、島内自生のシイ・カシ・タブなどを母樹として栽培した苗を使用し、土地のあるべき生物多様性に配慮している。

●事業成果等

①約３千本の植樹とともに、母樹からの果実採取や育苗の様子を写真展示して、参加者に森づくりへの理解を深めてもらい、家庭での育苗作業を実践するきっかけを提供できた。

②島外からの60人の参加者は、里山の荒廃を見て、島本来の森林の再生の難しさや植樹の必要性を再認識した。

③植樹祭のグループリーダーや積極的なボランティアの参加により、植樹に対する理解や環境意識の高さを示し、島民へ植樹祭の意義を考えさせる成果があった。

●自己評価等

準備作業（土留めや地盤整備）を念入りに行い、土壌改良のためのチップの攪拌や植樹地の開墾を丁寧に行った結果、植樹しやすくなった。

なお、スタッフ間の連絡を密にし、参加者にスムースに植樹してもらえるよう準備する必要性を感じた。

●参加者の声

・子どもと植樹に参加することを通じ、広葉樹の再生に興味を持つようになった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
730㎡	3056本	340人	60人	400人
樹種：スダジイ、タブノキ、ウラジロガシなどの広葉樹				
実施場所：鹿児島県屋久島町				

シイ、カシ、タブなどを植樹

「宮城県」GREEN HEART PROJECT

（公社）宮城県緑化推進委員会
仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

宮城県民の憩いの場所である県民の森の中にある「四季の森」において、県、キリンビール株式会社、森林ボランティア団体、一般参加者などがNPOと協働してエドヒガン・コブシなど11種の植樹と、参加者に自然環境保全の大切さを啓発するための自然観察会を行った。

●事業成果等

四季を通じて表情を変え、散策者に人気のある森「四季の森」に新たに広葉樹を植栽したことで、樹木の生長を観察しながら憩いと潤いを感じる場となることが期待される。

●自己評価等

様々な催しや作業をしたことから、家族連れでの参加者には満足のいく活動となった。このように森の中でのイベントには、それなりの経験とメニューを有する団体との連携が欠かせないと感じた。

●参加者の声

・楽しかった、機会あればまた参加したい。（参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.05ha	99本	0.10ha	105人	1人	106人
樹種：エドヒガン、コブシなど11種					
実施場所：宮城県利府町					

エドヒガン、コブシなど11種を植樹

企業等の埼玉の森林づくり支援事業

（特）埼玉森林サポータークラブ
さいたま市浦和区高砂

●事業概要

都市企業等が行う森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り等）を支援･指導することによって、温暖化防止のための森林整備が進み、国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。主な活動内容は、①三芳町上富地区の茶葉栽培者との平地林整備のための落葉掃き作業の支援、②都内に事業を有する企業の社員等が実施する間伐作業の支援、及び森林について学ぶレクチャートレッキング「森林づくりの必要性口座」の支援、③都内に本部のある団体有志の下草刈り作業の支援を実施する。

●事業成果等

県内で企業等の職員やその家族等が参加して行う森林ボランティア体験事業（間伐、下刈り、落葉掃き等）を支援することによって、多様な人々が森林に親しみ、森林の持つ力（国土の保全・水源かん養等）について体感し学ぶことができた。

●自己評価等

今年度は、天候不順で計画が中止・延期になることも多く、このため当初の参加予定人数の減はあったものの、予定事業は全て修了することができた。今後、冬季の事業計画については予備日の回数等に考慮し、支援する団体とより密に打ち合わせ実施する。

●参加者の声（参加者の感想等）

・今回の活動で自然環境や植物に触れ、森の整備活動や保全について学ぶことができ有意義だった。特に「ここの森は手入れを行っていたため雪害も少なかった」と聞き、活動の大切さを実感できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.6ha	0.3ha	86人	59人	145人
実施場所：埼玉県三芳町ほか				

間伐作業

地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業

北海道林業技士会

札幌市中央区北４条西

●事業概要

平成25年７月６日㈯、石狩森林管理署管内千歳蘭越国有林にある法人の森（エネオス）をフィールドに、協力企業のボランティアの参加により、風倒木孔状地が点在する広葉樹二次林における天然林除伐、トトマツ植林地の下刈り及び平成17年広葉樹植栽地の補植（トドマツ）作業を行い、合わせて森林観察を実施した。

●事業成果等

作業については予定通り実行した。

●自己評価等

最初の自然観察でエネオスの森の沿革や森のすばらしさ知り、その後、下刈りや、トドマツによる補植、天然林除伐等の森づくりに汗を流し、一同、大いに満足した様子だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

天然林除伐	下刈面積	北海道内			
30本	0.21ha	（エネオス）大人 70人	（エネオス）小学生等 13人	道林業技士会等 11人	計 94人
実施場所：北海道千歳市蘭越国有林					

下刈り

富士山麓水源の森整備事業

東京地方林退会沼津支部

静岡県沼津市千本

●事業概要

キリンビール株式会社の社員と一般市民のボランティアの協力を得て、静岡県小山町の国有林における水源の森づくり活動を平成18年度から実施している。

富士登山の玄関口でもある須走登山口ふじあざみラインに面した箇所で、カラマツ・ウラジロモミの間伐・除伐・つる切などの体験作業を実施した。

●事業成果等

作業前に指導者から各班毎に間伐、除伐、つる切の内容、作業間隔、ノコギリの使い方、作業の合図などを周知し、安全作業を徹底して作業を進めたことから、８年間無災害で終了することができた。

●自己評価等

今年で８回目となるがこれまで実施してきた林道沿いの約15haの実行跡地を見て作業の成果がよくわかるほどきれいになった。

●参加者の声

・除伐とつる切を行った林内はこれから太陽が差し込んで成長が楽しみだ。自然観察歩道延長約1200mを散策して自然を満喫した。（参加した家族）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	除伐面積	つる切り	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	1.0ha	149人	30人	179人
実施場所：静岡県小山町					

自然観察歩道を散策

岡山県日本のリスの森整備事業

グリーンＯＢ会

岡山県津山市小田中　岡山森林管理署内

●事業概要

目的は、市民参加の森林づくりによって、岡山県の森を保全し、人と森とが共生する文化の創造に資するものであり、里山を豊かな生態系と美しい景観を有する森林に誘導するための地存、根付、下刈り、つる切り、間伐、遊歩道作設などを行った。

●事業成果等

参加者は、下刈り、遊歩道修理等を自ら進んで行い、自分で植えた木の成長を慈しみながら、心地よい汗を流した。

●参加者の声

それぞれが自分でできる作業をやりとげた満足感に溢れ、「里山の自然の中で気持ちよい時間を過ごした」と、笑顔で帰途についた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	枯れマツ片付	歩道修理	県内	計
0.5ha	0.2ha	200m	13人	13人
実施場所：岡山県美咲町中山国有林				

下刈り作業

「あいち」GREEN HEART PROJECT

（公社）愛知県緑化推進委員会

名古屋市東区白壁

●事業概要

目的は、キリンビール㈱が、植樹活動を通じて、国民に「憩いの場」を提供するものである。

主な活動は次のとおりである。

①式典の実施。事業の内容等を説明し、緑の募金及び緑化の推進の必要性について普及啓発した。

②ユーカリ苗の植栽。一般参加者103人（親子など20組）による植樹会開催し、施設の環境整備を図った。

③施設の環境整備。「オーストラリア庭園」を中心にユーカリ、アカシア類、ジャガランダを植栽した。

●事業成果等

地域住民も参加して植樹作業等を実施したことにより、緑の募金及び緑化の推進の普及啓発に資することができた。

●自己評価等

計画どおり、植栽などが実施できた。

植栽作業中の反省点として、道具の準備から植栽、水やり、後片付けの流れの中で、水場の確保や、道具の数など、全員が一斉に行動すると不足するものがあった。

ケガなどもなく、楽しく終了することができた。

●参加者の声

・家族で苗木を植え、緑への関心、緑の大切さについて、より身近に感じることができた。

・施設の環境が整備され、緑を楽しむ「憩いの場」となった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.25ha	60本	170人	170人
樹種：ユーカリ、アカシア類、ジャガランダ			
実施場所：愛知県豊田市（愛知県緑化センター）			

103人が参加した植樹会

市民がつくる森植樹会（キリンビールの森）

（公社）北海道森と緑の会

札幌市中央区北４条

●事業概要

札幌市北区の茨戸川緑地において、市民ボランティアが協働して植樹を行い、環境保全に貢献するとともに、植樹及び苗づくり体験、森の役割実験を行い、参加者に森づくりの大切さと森への親しみを深めてもらった。

●事業成果等

・札幌市内の都心に近く、市民の憩いの場所となっているところに、市民参加で森林造成ができた。

・参加した小学校の先生が、森林の役割実験に感動し、翌年度（H26）、総合学習の時間を使って、当会が森の役割実験を行うとともに、子ども達が環境と森林の役割を自主的に考える授業を行うことに繋がった。

●自己評価等

計画どおりに事業を行うことができ、特に心配された市民の参加者も目標とした人数が集まり、市民参加で植樹をするという当初の目的は達成できた。これを契機に、今後も植樹活動に参加したいという方、また、小学校の授業に森を考える取り組みを入れたいという方もあらわれ、評価できる結果になった。

●参加者の声

・今後も植樹活動に参加したい

・森の役割実験を子ども達にもぜひ見せたい

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	道内	計
0.1ha	48本	60人	60人
実施場所：札幌市北区　茨戸川緑地			

植樹会

グリーンハートプロジェクト福岡

（公財）福岡県水源の森基金

福岡市中央区天神

●事業概要

子どもたちをはじめ、多くの人々が植樹活動や森とのふれあいを通じて緑の大切さを実感することを目的に福岡県立四王寺県民の森において、森の野外音楽堂に花木を植栽するとともに参加したファミリーで記念植樹を行った。植樹の後、間伐材を使ってクラフトを楽しんだ。記念植樹では、小学生を中心とした子どもたちのファミリーが中心で、初めての体験に一生懸命植栽をする姿が目立った。

●事業成果等

植栽した木の木製のプレートに思い思い文字やイラストを記入した。今後の生長を見つめるために、県民の森へのリピーターになってくれることが期待される。

●自己評価等

多くの人が緑にふれることができ良かった。

植樹の場所の適地が少ないことを痛感した。

緑にふれる機会が少ない人が多いことも分かった。

●参加者の声

・植えた木に花が咲くのが楽しみ。来年は家族で来たい。

・植栽した樹木が大きく育つのが楽しみだ。

・雨が降ったので、木が喜んでいる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.20ha	56本	98人	98人
実施場所：福岡県宇美町　四王寺県民の森			

植樹は、家族での参加者が多かった

岡山水源の森整備事業

グリーンＯＢ会
岡山県津山市福田

●事業概要
豊かな生態系と美しい景観を有する森林に誘導し、保水機能の高い森林を作るため、下刈、作業道整備などを行った。
●事業成果等
参加者は、下刈り作業を自ら進んで行い、自分で植えた木の成長を慈しみながら絡んだ蔓を除き、心地よい汗を流した。また、木の実クラフトの参加者は、それぞれ独創的な創作品を仕上げた。
●参加者の声
それぞれが作業をやり遂げた満足感に溢れ、「里山の自然の中で気持ちよい汗を流した」、「木の実クラフトでは楽しい時間を過ごした」と、笑顔で帰途についた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	作業道刈払	県内	計
0.47ha	1.2㎞	46人	46人
実施場所：岡山県美咲町大戸山国有林			

下刈り作業

和木町協働の森づくり事業

和木町林業研究会
山口県玖珂郡和木町

●事業概要
この活動は、町民と企業、行政が協働し、森林整備や環境保全を行うため実施しているもので、主な活動は次のとおりである。
①和木町蜂ヶ峯総合公園内のヤマモモ園及びクリ園の下刈り、枝の剪定など
②ヤマモモ園及びくり園周辺の整備
③子どもを対象とした森林学習会
●事業成果等
多数の町民や企業の社員の参加が得られたため、作業内容により６班編成で作業を実施し、園内がきれいに整地された。
また、小中学生を対象とした森林学習会では、普段森林に触れることの少ない子どもたちが自然や森林の重要性を学習することができた。
●自己評価等
予定どおり下刈りなどが実施でき、環境の整備ができた。
作業には、刈払機・チェーンソーといった作業用機械を使用するため、事前に取扱い方法についての説明を行って作業にあたった。
●参加者の声
・「地域ボランティアからの指導により樹木の整備が理解できた」との感想があった。
また、参加した子どもたちからは、
・「木の名前や森をきれいにすることの大切さが分った」などの反響があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	県内	県外	計
4.0ha	135人	17人	152人
実施場所：山口県和木町			

下刈作業

水源の森造成事業

美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷲子

●事業概要

茨城県桜川市真壁町の国有林0.80haにおいて、茨城県の霞ケ浦の水源を守るため、企業ボランティア150名で、下刈り、遊歩道修繕等森林整備作業を実施した。

●事業成果等

下刈り、階段設置、遊歩道整備などで汗を流し、森林整備の大切さを学ぶことができた。参加者の半数以上が経験者で、事故なく能率的な作業ができた。

●自己評価等

計画通りの成果を上げることができた。

●参加者の声

・本活動を通して、自然に触れることによって自然の大切さを学ぶことができた。

・普段使うことのない大鎌やカケヤなどを使い、自然の中で作業する気持ちのよさを体験できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈り、階段設置、遊歩道づくりなど	県内	計
	150人	150人
実施場所：茨城県真壁町		

遊歩道づくり

原村あゆみの森整備事業

原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

原村の村有林及び学校林を、エネオス社員などの方々のボランティアにより、下刈り、枝打ち除伐などの森林整備活動を行う事業である。主な活動は、次のとおりである。

①作業機械に触れ、森林整備の意義を確認する。

②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施する。

③長野県林業女性グループと交流を図り森林環境教育を実施する。

●事業成果等

村有林の森林整備を実施することにより、景観的にも心理的にも満足できる達成感を得られた。

林内整備体験をすることで、自然環境の保全、自然を大切にする心を育てていくことや、整備された森林の美しさの景観保護をしていくこともできた。

また、長野県林業女性グループと交流することができた。また参加者の子どもを中心に野鳥教室を開催し、森林学習を行うことができた。

●自己評価等

計画より0.1ha増の0.4haを除伐できた。また、作業中の反省点としては、除伐などをチェンソー・手鋸で実施したが、初心者や子ども連れのグループには難しい作業となった。

学校林ではハチが出現し、駆除する危ない場面も見られた。今後は、伐採技術を有するボランティア団体との連携による安全確保対策を実施し、十分な経過観察と保育のための体制整備を進める必要がある。

●参加者の声

貴重な森林がきれいになり、達成感があり気持ちがよい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.4ha	0.2ha	29人	74人	103人
実施場所：長野県原村				

下刈り、除伐などを行った

豊島区グリーンハートプロジェクト

東京緑化推進委員会

東京都立川市富士見町

●事業概要

池袋西口公園及びその近辺が、より緑に親しみ、くつろげる環境になるよう、区民参加によりプランター苗木を植栽し、緑の募金である旨のプレートを設置した。

●事業成果等

地元住民のほか、遠方からも緑化に関心がある人々が集まり、楽しく汗を流しながら苗木を植えたことから、池袋西口地域の緑が増え、緑に親しみ、くつろげる環境づくりが大きく前進した。

地元ＮＰＯ団体と豊島区は管理協定を締結し、定期的な活動のなかで樹木の維持管理を行っている。

●参加者の声

・小さい子から大人まで大勢が関わって力を合わせ、池袋西口地域に緑を増やすことができた。これから、四季の変化とともに緑の移り変わりを見るのが楽しみだ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	計
81.5㎡	321本	138人
樹種：ドウダンツツジ、ムラサキシキブほか		
実施場所：東京都豊島区		

池袋駅西口での植樹

多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト

(特) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

多摩動物公園内の雑木林は、開園以来50年放置され陽が当らず、生物多様性の低下が懸念されている。また、一般的な伐採管理では萌芽更新が期待できないことが予想されることから、新たな管理の手法の確立が必要である。この森で、企業社員や家族の参加によって明るい雑木林を好み多様な生物が暮らす環境に整備することを目的とした活動を行った。また、雑木林の管理と生き物について知る活動も同時に行った。

●事業成果等

今回、４つの班に分けて作業を分担し、交代しながら活動した。

作業は、アズマネザサを除伐し、林床に日光が当たる環境をつくったり、子どもたちは落ち葉かきとともに、カブトムシの生育する腐葉土場づくりを行った。また、親しみやすい環境にするため、間伐材で作成した樹名板・エリア名版、ライオンの森のシンボルとなる看板を作成した。

●自己評価等

体験によって、整備の大切さと多様性保全について体感できたのではないかと考えている。普段でも活動に参加できるので、今後、ボランティアの参加につながるようにしていきたい。

●参加者の声

・ササ刈りは環境のために良いことを実感できました。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	倒木処理	杭づくり	都内	計
1ha	5本	30本	62	62
樹種：アズマネザサ				
実施場所：東京都日野市（多摩動物公園）				

明るくなった雑木林

海岸マツの子育て事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災によって被災した海岸林の林床から採取されたクロマツ実生苗木を、来たるべき海岸防災林造成工事に提供するまで苗畑にて養苗するものである。これらクロマツ実生苗は、先人たちが育んだ海岸クロマツ林の後継樹であり、海岸の生育環境にも順応している貴重な遺伝子資源の保存にもなるものである。

●事業成果等

被災した海岸林の林床から採取されたクロマツ実生苗木10万本は、生長が不揃いで弱々しかったが、適正な管理の下で健全性が高まった。このことが26年2月の全国的な大雪(苗畑で1.5m程)による雪折れ等の被害から全滅を免れた。

●自己評価等

平成25年度の育苗開始時の苗木本数は10万本であったが、25年の夏場の暑さや26年2月の大雪などで予想外の被害があり、25年度末には概ね6万本に減少したものの、26年度春に、約4万本を海岸防災林造成工事に出荷できた。

なお、現在(26年4月)約2万2千本の苗木が育成されているが、引き続き、床替えや病虫害防除などの適正な育苗管理が必要な状況にある。

●参加者の声

苗畑管理に関わった生産者は、「特に2月の降雪は、記録上でも経験のない時期の大雪であり対処のしようがなかったのは残念に思うが、適正な管理が欠損本数の圧縮に効果があったものと思う」と感想を述べた。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

養苗面積	養苗本数	県内	県外	計
0.3ha	約2万2500本	3人	11人	14人
樹種:クロマツ				
実施場所:宮城県蔵王町遠刈田温泉				

苗畑管理者から説明を受ける「日本の森を守る地方銀行有志の会」メンバー

多くの人が集う未来に残る里山を!

(特) 日本農林再生保全センター

京都府木津川市木津川台

●事業概要

目的は、社会問題化している放置竹林の整備と子どもから大人までが長期間にわたって係ることができる里山づくりである。主な活動内容は次のとおりである。

・放置竹林の竹の間伐と古竹の処理
・荒廃林の整備と伐採木の搬出作業
・伐採後の竹材をチップに加工し、農業用資材として活用
・伐採後の竹材から竹炭を製造し、農業資材として活用

●事業成果等

多くの参加者に恵まれ、放置竹林や荒廃林の再生から維持管理に至るまで様々な活動を行うことができた。

また、女性や幅広い年齢層の方々が参加したことから、今後の活動につながると考えている。

●自己評価等

今後の課題や取り組みについては、参加者からの意見やアンケートを精査してさらに多くの人を巻き込んでいける仕組みづくりを検討していきたい。

●参加者の声(参加者の感想等)

・竹炭の焼き方が勉強できてよかった。(20代男性)
・地域の方とも交流ができ、楽しかった。(10代女性)

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

間伐面積	計
6.5ha	144人
実施場所:京都府井手町、京田辺市、木津川市、大阪府茨木市	

竹林整備

原村あゆみの森整備事業（平成25年前期）

原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

原村の村有林及び学校林において、ＥＮＥＯＳ社員などのボランティアにより、下刈り、枝打ち除伐などの森林整備活動を行うものである。主な活動は、次のとおりである。

①刈払い機やチェーンソーなどの作業機械に触れ、森林整備の意義を確認。

②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施。

③県林業女性グループと連携し、森林環境教育を実施。

●事業成果等

①藪や潅木で覆われていた山林が綺麗に開け、散策等に活用できるようになった。

②林内整備体験により、自然環境の保全、自然を大切にする心を育てていくことができた。

③林道の清掃活動、森林体験を行い、森林を身近に感じることができた。

④子ども達には、木工教室で自然と触れ合う事により、関心・興味を持たせることができた。

●自己評価等

森林は整備したが、薮の中でのチェーンソー、手鋸による除伐は初心者や子ども連れには難しかった。

今後は、伐採技術を有するボランティア団体との連携による安全確保対策を講じて進める必要がある。

●参加者の声

・貴重な森林がきれいになり、達成感があり気持ちがよい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	31人	75人	106人
実施場所：長野県原村				

下刈り

湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

（公財）かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな森林づくりを目指すとともに、森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、植栽、下刈、自然観察会である。

●事業成果等

企業からの多くの参加者による間伐作業の結果、ヒノキの人工林内が明るくなり下層植生の生育環境が改善され、また、植栽作業により、長期的な森林づくりの基盤を作ることができ活動フィールドへの愛着、関心の高まりが期待できる。また、作業や自然観察会により森林づくりの大変さや大切さ、森林の重要性や働きについて体験・学ぶことができた。

●自己評価等

間伐作業は、まだ必要なところがあるので当面継続して実施する。植栽作業は、子どもも参加できる森林づくり作業であることから小面積でも計画的に行う。樹名板の設置、自然観察会などは親子で参加できる活動として作業活動と併せて実施する。今後は、実施回数を増やすなど活動を充実するとともに、体験活動や四季折々植物の様子などを情報発信し、参加者を増やしたい。

●参加者の声

・普段体験することができない植樹や自然観察を子どもと行えて有意義だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	樹名板設置	自然観察会	経路補修	林間広場整備	計
0.04ha	110本	0.04ha	0.5ha	2回	1回	100m	1回	126人
樹種：スギ、ヤマザクラ								
実施場所：神奈川県湯河原町								

スギの植樹

「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

北海道林業技士会

札幌市中央区北４条

●事業概要

石狩森林管理署管内の千歳市藤の沢国有林内にある法人の森をフィールドに、キリンビール千歳工場及び関連企業の社員ボランティア（家族含む）、ボーイスカウト、ガールスカウト190人と当会スタッフ26人の合計216人が参加し、アカエゾマツの枝打ち、除伐などの森林整備活動を行った。

●事業成果等

森林整備活動は予定通り実施したが、午後の葉っぱのシールづくり、森林観察は降雨のため中止となった。

●自己評価等

事業計画の作成に当たっては事前調整を行い、立案し、実行に当たっても事前に適宜、打合わせを行った。実行日については、キリンビール側と天気予報を綿密に検討したうえで設定すべきだったと考えている。

●参加者の声

雨の中、参加者は雨合羽を着ながら枝打ち、除伐などを行ったが、自分たちの森林（キリン千歳水源の森）の整備ということで真剣に取り組んでいた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	枝打面積	道内	計
0.03ha	0.03ha	216人	216人
実施場所：北海道千歳市藤の沢国有林			

アカエゾマツ造林地での枝打

アドプト　フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動

いずみの森の会

大阪府堺市南区庭代台

●事業概要

仏並地区の森林において、エネオス社員・家族と森林ボランティアが協力して、人工林の間伐や道普請を行った。

●事業成果等

降雨による入山取りやめなどはあったが、間伐、自然観察、クラフト作りなど多様な活動を行ったことにより、参加者は森林づくりの大切さや森林の働きを学ぶことができた。

●自己評価等

参加者が予想をオーバーしたため、安全性に細心の注意を払ったが、活動中に若干のヒヤリハットに該当する出来事が生じた。これは林内の見通しの悪さも原因に考えられるので、今後、注意が必要である。

●参加者の声

・できれば虫とりの機会もほしい。

・移動時の対応が、各班ごと、バラバラと感じた。（男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	道普請	階段工	府内	計
0.20ha	90m	30m	224人	224人
実施場所：大阪府和泉市仏並町				

間伐

宮城県栗原地区崩壊跡地の植生復元事業

(特)森林との共生を考える会

仙台市太白区青山

●事業概要

栗原市耕英地区において、地震による大規模な山腹崩壊の災害復旧工事を行った地域に、災害前の森林になるように誘導する植樹活動を行うため、栗駒周辺から掘採りした広葉樹を苗畑に仮植し、植樹するまで育てている。

また、栗駒周辺から採取したミズナラの種等を仙台市内で育て、再び栗駒の苗畑に仮植して、植樹に備えている。

25年度では春と秋の２回植樹活動を行った。

●事業成果等

これまでに植樹した苗は場所にもよるが、20%程度枯れている。東日本大震災津波で失われた海岸林再生に一般市民の関心が移って、栗原の災害が風化しつつある中で、大規模崩落の災害を忘れないためにも、当会の災害復興跡地の植樹活動は意義のあるものになっている。

●自己評価等

今回の植樹作業地での大きな喜びは、一昨年のブナの種の大豊作によるものか、植樹会場の周辺の平場にたくさんのブナの稚樹が育っていたことである。森の復元を足下から体感したような気がしたが、専門家からはその稚樹はほとんど育たないと言われ、森林再現の難しさを再確認している。これからも地域の人々とともに植樹活動を継続していきたい。

●参加者の声

・毎回参加しているが、今年は２回植樹作業ができた。
・暑い季節の草取り作業は面積が広く大変だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	苗畑整備	苗掘り取り	植樹準備作業	県内	計
1.0ha	400本	0.5ha	1.0ha	550本	0.5ha	174人	174人
樹種：ミズナラ、カエデ、ブナ、イヌシデ、モミジ							
実施場所：宮城県栗原市							

カエデやブナなどを植樹

「Present Tree in 宮古」森林再生事業

(認特)環境リレーションズ研究所

東京都千代田区神田錦町

●事業概要

宮古地区閉伊川沿いの牧場跡地において、落葉広葉樹の森を造成し、水源かん養林、魚つき林の機能を回復させ、森林再生と漁業振興に資するものである。

内容は、植樹作業のほか、森に関するワークショップ体験など、宮古市に愛着をもってもらうものとした。

●事業成果等

廃業後20数年を経た牧場跡地に広葉樹の森を育てることは、豊かな漁場を守ることにつながる。実際に森に育つまでには数十年を要するが、30数haある対象地を毎年数haずつ森に戻していくことは、生態的にも大きな意味がある。

参加者は、植樹体験を通じて「森と海のつながり」を理解し、森づくりの重要性を再認識した。

●自己評価等

「Present Tree」は、そもそも環境活動に興味はあってもアクションを起こせない人々に対する「エコアクションの入口」を提供するプロジェクトである。

ここから発展して被災地支援という社会貢献活動に繋がっていくことはとても重要である。

●参加者の声（参加者の感想等）

・ 被災地に協力する機会になってうれしい。
・ 森と海の生態系のつながりがよく理解できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
1ha	2500本	77人	106人	183人
樹種：ヤマモミジ、ミズナラ、ナナカマドほか				
実施場所：岩手県宮古市　宮古市有林				

ヤマモミジ、ミズナラなどの植樹

緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」

いずみの森連絡協議会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

「稲倉池」を囲む約30haの里山林を本来の里山の姿に戻すとともに、森林ボランティア活動教育など人材育成を目的とする活動を開始した。また、活動地内のアカマツ枯死木が利用者の安全上無視できなくなったことから、夏季は下草刈りや灌木の整理伐、冬季はコナラ大径木とアカマツ枯死木の伐倒が主な活動となっている。

●事業成果等

活動地は低標高だが、急傾斜地であり、これまでパッチ状にコナラ大径木やアカマツ枯死木の伐倒、シダ植物の刈払い等を十数年繰り返してきたことから、活動地の約80%に手が加わり、見違えるほど林内が明るく、シダ類も元気な緑色を呈するなど健全化している。

●自己評価等

会員が積極的に参加・活動し、初期の手鋸、手鎌などの手作業から、樹木の成長に応じたチェンソーや刈払機の作業によって計画内容はほぼ達成している。

しかし、内容が、初期のネイチャークラフトや自然観察会など親睦を兼ねたものから、近年は里山保全に偏る傾向があり、活動歴の長短による経験や知識の差が広がり、会員全体が満足できる催しが難しくなっている。

また、会員の高齢化、活動地周辺の住民の参加、現地を熟知した世話役等による安全確保等が課題となっている。

●参加者の声

ゆったり過ごしたり、大径木を伐倒することによって開放感や爽快感を得られるとの声が多く出ている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	計
2.84ha	0.85ha	217人
実施場所：大阪府泉佐野市		

下刈り作業

積水化学・水源の森づくり事業

（公社）北海道森と緑の会

札幌市中央区北四条

●事業概要

当別町道民の森において、積水化学グループの社員・家族がボランティアで植樹などの森林整備を行い、環境保全に貢献するとともに、緑化意識の高揚を図るものである。

参加者81人で200本を植栽し、同時に、森林の模型を使った森の役割実験を行った。

●事業成果等

参加者の多くが、植樹が初めてであり、木を植樹することの大変さを体験するとともに、森の役割実験により、森林の役割、大切さを参加者が認識した。

●自己評価等

多くの参加者に、今回の植樹会に参加できたことを喜んでもらえた。来年も参加したいという声が多く、良い取り組みであったと感じている。今後も、同じように取り組みを続けたい。

●参加者の声

これからも参加したい。模型を使った森の役割実験で、森林の果たしている役割がよくわかった。いろんな人に見せたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	道内	道外	計
0.1ha	200本	79人	2人	81人
樹種：ミズナラ、イタヤカエデほか				
実施場所：北海道当別町				

ミズナラ、イタヤカエデなどの植樹

寒霞渓いのちの森づくり植樹祭

寒霞渓いのちの森づくり実行委員会

香川県小豆郡小豆島町

●事業概要

災害に強く動植物の生態系を守る防災環境保全林づくりのため、地元の方々が中心となって植樹することで、防災と環境保全に対する心を育てるとともに、景観づくりや郷土愛づくりの大切さを再認識してもらうものである。

●事業成果等

寒霞渓いのちの森づくり植樹祭を開催したことで、地元の方々が小豆島の自然の豊かさ・大切さを再認識する良い機会になった。特に、小学生は自らが育てた苗木を植樹することで森づくりの大切さを最初から学ぶことができた。

●自己評価等

反省点としては、参加人数の少なさがあげられる。町広報誌や新聞等で周知はしたが、県外・島外参加者は20人程度であったので、県外・島外への周知方法を改善したい。

●参加者の声

・楽しかった。どんどん大きくなってほしい。（小学生）

・小豆島の素晴らしい自然のように、この場所も豊かになってほしい。（県外参加者）

・地元にいると、自然が豊かなのが当たり前でなかなか気付けないが、この植樹祭を通じて森づくりの難しさや大切さを学んだ。（県内参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1000㎡	4600本	1000㎡	330人	20人	350人
実施場所：香川県小豆島町					

350人が参加して植樹

緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21 さがみの森」

フォレスト21 さがみの森連絡協議会

東京都文京区本郷

●事業概要

神奈川県相模原市にある国有林内19haをフィールドに、①環境や資源の持続性に配慮した森林造成活動②地域・企業・学校等と連携し、自然とのふれあいを通して学ぶ森林環境教育③森づくりの知識・技術のスキルアップ④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動を行っている。

●事業成果等

・リコーリース、オムロンとの協働イベントを企画・実施した。鳥の呼び笛、バームクーヘンづくりなど作業以外の森林に関わりのある活動を組み込んだことで好評を得、来年度以降も実施継続となった。

・月2回行われる定例活動では、技術向上を目指す参加者や若年層の参加者が若干名増えた。

・植栽・補植した木々も順調に育っている。

●自己評価等

・造成林の育成・管理については計画通りに実施したが、施業エリアは傾斜の厳しいスギやヒノキエリアが中心であったため、登山者や散策をする人が頻繁に通る仙洞寺山へ向かう尾根沿いのフィールドは手つかずの状態となっている。平成26年度はこのエリア中心に管理していく予定である。

・相模原市民への活動認知は低く、市内からの参加者もごくわずかである。相模原市への働きかけと協力を求める動きを展開する必要がある。

●参加者の声

・なかなか機械や工具を使えないが、ここでは実際の山で使って覚えることができるので楽しい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	下刈面積	除伐面積	都内	都外	計
20本	0.5ha	2.2ha	147人	98人	245人
樹種：コナラ、カエデ					
実施場所：神奈川県相模原市					

作業路脇の樹木などを整理

「積水化学の森・うきは」生物多様性の森づくり

うきは市森林セラピー実行委員会

福岡県うきは市吉井町

●事業概要

企業のＣＳＲ活動のフィールドとして活用し、企業との連携による森づくりを進めることを目的としている。

具体的な事業は、「積水化学の森」づくりとして、
①植林活動　②育林活動　下刈作業
を積水化学工業グループ及びうきは市民が協働で実施した。

●事業成果等

マスコミに多数取り上げられたこともあり、植林した場所への愛着が増え、地元ボランティアグループによる活動（草刈）などに繋がっている。

当該地は九州北部豪雨災害地であり、植林活動による復興、被災した集落の活力を取り戻す取り組みに繋がった。

●自己評価等

広葉樹の植林によって、生物多様性保全の森づくりの第一歩として踏み出すことができた。一方で初めての取り組みであったため、「安全確保」への留意について振り返りを行うようにした。

●参加者の声

・家族で植えました。大きく育ってほしい。（30代男性）
・成長を楽しみに毎年育ち具合を見に来る。（10代女性）
・緑の募金活動に関する理解が深まった。（50代男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.38ha	1125本	0.38ha	40人	185人	225人
樹種：ツバキ、サクラ、ケヤキほか					
実施場所：福岡県うきは市浮羽町					

ツバキやサクラなどの植樹

「未来へつなぐ共学の森」事業

（特）宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

宮城県と協定を結んだ県有林5.7haのうち、特に整備の必要なフィールドを利用して多様な主体の協働による森づくり活動を行った。活動の柱は11月９日に119人が参加して開催した「みんなのもり」植樹活動で、未立木地の整備・地拵え作業や、スギ林や雑木林の整備活動などを計17回実施した。また、地域ボランティアによる活動２回、協力企業との協働によるボランティア活動３回、地域や福島県から参加した中学生による森づくり活動や森の清掃活動なども実施した。

●事業成果等

これまでササと枯損木でひどい状態だった約0.4haが、見通しと風通しの良い植林地や雑木林に変わり、周回遊歩道も完成した。また、スギとヒノキの間伐材の有効活用を図るため、さまざまな活用法を考えたが、子ども達の環境教育やネイチャークラフト活動に特に活路を見出し、その後の環境教育活動に大きく貢献した。

●自己評価等

この整備活動を無駄にしないよう、しっかりとした維持管理活動を続けてるとともに、環境教育や自然体験フィールドとして活用したい。

●参加者の声

・森の中で活動するのはもっと辛いと思っていたが、楽しくて気持ちよかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	歩道整備
0.22ha	210本	1200本	2.8ha	2.2ha	0.2ha	440m

地拵整備	森林教室	間伐材利用	県内	県外	計
0.22ha	9回	85本	1086人	81人	1167人
樹種：コブシ、カスミザクラ、マユミほか					
実施場所：宮城県利府町					

コブシほかを植樹

GREEN HEART PROJECT 「第12回ひろしま『山の日』県民の集い」関連事業

(公社)広島県みどり推進機構

広島市中区基町

●事業概要

「山に親しむ・山を楽しむ・山に学ぶ」をキーワードに、広く一般県民から森林ボランティアを募集して、親しみやすい、多様な機能を持つ森づくりを実施した。

また、森林ボランティアの育成のために、安全な道具の使用方法・植樹方法を作業しながら学ぶ講座を開くとともに、山にふれあい・山を楽しむため各種の行事を実施した。

●事業成果等

企業のＣＳＲ活動の推進に協力するとともに、もみのき森林公園の荒廃地へ植樹活動を行うことによって、親しみやすい多様な機能を持つ森づくりに貢献できた。

また、今回は広島修道大学の教授及び学生の参加があり、今後、森づくりの教育関係者への広がりが期待される。

●自己評価等

植樹作業等については、計画どおり達成でき、当該事業と同時に各種イベントを開催し好評であったが、雨天により一般参加60人と予定より少なかった。

ＳＮＳ、ホームページ、ＦＭ放送により、参加者を募集したが、今後は、周辺市町の広報による募集も検討する。

なお、雨天に備えて、長靴などの準備も検討する必要がある。

●参加者の声

・来年レンゲツツジの花が咲くのが楽しみだ。
・初めてクワやスコップを持って作業したが、下準備がされており作業がスムーズにできた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	県内	計
0.09ha	160本	0.24ha	1回	66人	66人
実施場所：広島県廿日市市「県立もみのき森林公園」					

イロハモミジやレンゲツツジなどを植樹

北蔵王水源の森造成事業

宮城森の会

仙台市青葉区東照宮

●事業概要

目的は、宮城県仙台市の水源地域である名取川の上流部、北蔵王山麓の水源林を育成・保全して飲料水、生活用水などの水質・水量の安定確保に資すると共に、人と森林とが共生する森林づくりを行い文化の創造に資するものである。

●事業成果等

仙台市などの地域住民が参加して、重要な水源地域（主要な河川の上流域）の森林を保護育成し環境を保全することの大切さを学んだ。

また、森林と触れ合う機会が少ない市民が、直接、森林の保育作業等を実施することにより、自然環境の重要性や森林の役割について、理解を深めることができた。

●自己評価等

計画どおり、約0.5haの複層林の下木のつる切・除伐作業及び林内歩道の整備等を事故なく完了した。地域の水源地帯にある森林を育成する作業の体験を通じて、自然環境を保全し水源を守ることの重要性について改めて認識してもらった。

なお、10数年来継続して水源林の整備活動を実施しているところであり、今後も実施する予定である。

● 参加者の声

・森林の保育作業を通じて、森林と水、森林と自然環境との関わりと、これを守ることの大切さがよく分かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

つる切り	除伐面積	歩道整備	県内	計
0.5ha	0.5ha	1.0km	70人	70人
実施場所：宮城県川崎町　国有林				

水源林の整備

「積水の森・木津川」生物多様性保全の森づくり

木津川市地域連携保全活動応援団

京都府木津川市木津南垣外

●事業概要

本活動地は、都市再生機構によるニュータウン事業が中止となった地区であり、オオタカやカスミサンショウウオなどの希少な生物が多く存在し、これらの保護と豊かな自然を守るため、里山の維持・再生活動を進めていくことを目的に活動を行う。

また、本事業は、「木津川市地域連携保全活動応援団」が主体となって運営し、継続的な里山の維持・再生活動とあわせて、年２回程度を目安に積水化学グループの社員がイベント形式で活動を行っている。

事業地は、森林・竹林地帯であるが、近年、放置竹林や耕作放棄地が目立つようになったため、タケの除間伐作業、下刈り作業、また、事業地内の通路整備として、簡易な維持整備（刈払い、植栽など）作業などを行った。

●事業成果等

本事業は、平成25年度からの事業であり、初年度については、主に苗木の植樹や竹林整備の作業を２回実施した。

活動者である積水化学グループの社員においては、里山保全活動を通じて、森林に触れることで、自然に対する意識が向上したようである。

●自己評価等

ここ数年実施できていない希少種などの環境調査を今後、定期的に行っていきたい。

●参加者の声

・自然を体感しながら、活動ができた。一人ひとりの活動は小さいが、その積み重ねがこの地区の里山再生に繋がればと考える。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	府外	計
0.02ha	50本	38本	0.11ha	0.02ha	0.15ha	2人	38人	40人
樹種：カシ								
実施場所：京都府木津川市鹿背山								

竹林整備

「赤西渓谷・水源の森」保全事業

(特) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

●事業概要

目的は、企業及び森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行い、環境林、水源かん養林の保全活動を行うことであり、主な活動は以下のとおりである。

1．植樹、下刈り、間伐（NPOの指導による企業社員の森林整備作業）
2．森林環境教育(兵庫県林業センター研究員及び森林インストラクターによる指導)
3．木工クラフト（管理署職員による指導）
4．地域交流（地元のまつり参加）
5．源流区域調査（母樹林、源流トレイル）

●事業成果等

この保全活動も７年目に入り、企業、NPO、管理署による保全活動の基盤が確立されたほか、学生の研究フィールドとしても活用されるなど、参加者の広がりが見られた。

また、新入社員研修の場所として、利用されることにより、企業の環境貢献イメージの向上に寄与している。

●自己評価等

現在の活動エリアが、国定公園、保安林であり、森林整備活動に一定の制限があることから、今後、活動を行う場合は、管理署と調整の上、エリア外の森林も検討する必要がある。

回を重ねるごとに、子ども、女性の参加者が増加している。

●参加者の声

・夏の活動は宿題の素材提供として役立っている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	50本	0.1ha	0.2ha	158人	131人	289人
樹種：トチ、ヤマザクラ						
実施場所：兵庫県宍粟市原（赤西国有林）						

トチやヤマザクラなどを植樹

企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業

(特) フォレストフォーピープル岡山

岡山県高梁市浜町

●事業概要

高梁美しい森（市有林）内に（企業の森）として、約７haの活動対象森林が設定されたことから、10年計画で森林保全活動を実施することにしている。当団体では、JX日鉱日石エネルギー社の社員とその家族及び地域住民との協働作業とし、下刈り、間伐、マツ林整備等を行っている。また、環境保全活動だけではなく、間伐材等利用した炭焼きやキノコ栽培、自然観然会などもあわせて実施している。

●事業成果等

遊歩道の整備や、ふれあい空間へのウッドチップよる防草処理などやアオダモ、岡山栗の植樹を行った。

森を楽しむことをテーマに、将来設置予定のテーブル・ベンチセットなどを参加者自身で制作し、また、林内散策では、キノコ狩り・勉強会等を実施することにより、より一層森林への関心が高まった。

●自己評価等

森林の大切さだけではなく、今後、どういった形でこの森と関わっていくのかを多くの方々が意識し始めたと感じている。次年度以降、イベント当日だけではなく、定期的な作業を計画していきたい。

また、約５年後を目処に、整備箇所は、広く一般の方々にも散策していただけるよう、ネームプレートの設置などを行い、地域との交流を図ることを計画している。

●参加者の声

「薄暗い空間が、明るくなった」「シイタケの植菌や、キノコ林の整備の効果が出るのが楽しみ」など。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	遊歩道新設	木工教室	自然観察	県内	計
0.15ha	15本	1.5ha	50m	3回	1回	425人	425人
樹種：アオダモ、岡山栗							
実施場所：岡山県高梁市松山（高梁美しい森）							

ウッドチップによる防草処理

水源地保全活動

美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷲子

●事業概要

茨城県笠間市平町の北山国有林で、水を貯える森林を保全するため、企業ボランティア110人で間伐、遊歩道整備、森林教室などを実施した。

●事業成果等

木の伐採、階段づくりなどの作業によって、森林整備の楽しさを体験することができた。

●自己評価等

計画通りの成果を上げることができた。

●参加者の声

・作業内容は思ったよりもハードだったが、成果が目に見えて良かった。
・普段使うことのない大鎌やカケヤなどを使い、自然の中で作業する気持ちのよさを体験できた。
・今後も参加したい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

森林整備	森林教室	県内	計
2.65ha		110人	110人
実施場所：茨城県笠間市　北山国有林			

森林整備

静波海岸防災林植樹祭「いのちの森づくり」in 牧之原

(特) 時ノ寿の森クラブ

静岡県掛川市中宿

●事業概要

一昨年の東日本大震災及び毎年各地で発生する大水害を教訓として、掛川市で始まった「いのちを守る森づくり」について、大地震が予想される沿岸自治体に広げるための植栽を牧之原市で開催し、周辺市町にアピールした。内容は、牧之原市静波海岸にタブノキ・エノキ・クロマツなど14種類苗木3000本を植樹した。

●事業成果等

①東海・東南海地震で甚大な津波被害が危惧されている。牧之原市において、行政と市民が協働し、400人の参加者により3000本の植樹、防災林造成を行った。

②この植樹により、「生命の尊さ」「森の大切さ」を啓発できたため、牧之原市や周辺自治体において、森づくりによる安全・安心な都市づくりの機運が高まると期待される。

●自己評価等

クラブにとって、地元自治体外における初の植樹事業であり、植樹計画から当日植樹指導まですべてを独自で担当した。今後、掛川で始めた市民協働の植樹事業を静岡県内に広めていきたいと考えている。

●参加者の声

・親子で津波を防ぐ防災林の植樹ができ良かった。植えた苗木の成長が頼りである。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	3000本	390人	10人	400人
樹種：タブノキ、エノキ、クロマツほか				
実施場所：静岡県牧之原市				

タブノキやエノキなどを植樹

「みたけ木曽川水源の森づくり」活動

みたけ木曽川水源の森づくり実行委員会

岐阜県可児郡御嵩町

●事業概要

本事業は、年２回ボランティア活動の参加者に向けて自然環境に対する意識向上を図ること及び森林環境教育プログラムにより水源かん養地における水源林の整備を目的として活動を実施している。

平成26年５月10日、10月18日の活動内容は以下のとおり。

①作業道補修整備作業60ｍ

②植樹木育林作業0.1ha

③森林学習会（森林インストラクターによる指導）

④その他残材処理としてウッドチッパー機を活用し、チップ化した残材を作業道へ使用。

●事業成果等

作業道の補修により林内の移動が容易となった。また支障木の伐採により森林内に光が差し込み、林内の奥まで整備が完了したため。散策範囲が広がった。

地元の森林ボランティアとの協働作業により地域交流ができた。森林学習会により作業内容を深く理解できた。

●自己評価等

森林インストラクターを中心として直接作業を指導するスタッフ及び森林ボランティアと連携して参加者に対する十分な活動支援ができた。

森林学習について端的かつ興味を持たせるように進めることが反省点としてあげられた。

作業場所付近までは車両乗り入れが困難な場所であるため、作業時間の確保が課題であった。

●参加者の声

・作業に先立ち開催された森林学習会により作業の目的が理解できた。。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	作業道整備	県内	県外	計
0.10ha	60m	72人	54人	126人
実施場所：岐阜県御嵩町				

除伐

海の森　植樹プロジェクト

(特) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

東京都が進める「海の森づくり」では、毎年春と秋に企業や都民を対象とした苗木の植樹活動を実施し、市民参加による森づくりを行っている。

本事業では、その活動の一つである春の植樹祭において、東京都が2014年春植樹として提示する約２haのうち一部において、強い潮風など劣悪な環境にも強い樹種計13種、1060本の植樹を行い、また、これまで植樹を行ったエリアの見学を行った。

●事業成果等

「植樹活動」及び「体験型環境プログラム（見学会）」では、136人の企業の社員・家族が参加し、苗木を植えることができたが、「体験型環境プログラム」は、残念ながら大雨のため、見学のみにとどめた。

海の森では、2013年より海の森倶楽部が発足し、多くの企業・団体により運営されていくことから、今後の継続参加の大切さを伝えることができた。

●自己評価等

観察会が大雨となって詳しい観察ができなかったので、雨天時の対策として、バス内でのレクチャーなど考えておきたい。

●参加者の声

・雨で残念だったが、植樹することができて良かった。

・以前に植えた場所の木が育っている様子に感動した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	都内	計
1.2ha	1060本	136人	136人
実施場所：東京都（海の森公園予定地）			

「海の森」で植樹

国産木質バイオマス資源活用事業

(特) 蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク

東京都目黒区大岡山

●事業概要

本事業では当NPOで考案した安価な機材を簡便に設置するだけで使える安全で生産性の高い間伐材の集材方式（Kシステム）の普及を図るため、下記の活動を行った。

1．複数現場で本システム使用への問題点などの調査。

2．上げ・下げなど種々の作業を行って、作業性・安全性の改善策を案出する検討会を３回実施。

3．１及び２の調査･検討の結果を踏まえて、本システムの改善案と今後の展開計画を作成。

●事業成果等

1．３回の検討会で上り勾配、下り勾配、チェーンを90度方向転換させた集材作業を行い、31本の集材ができた。

2．下り勾配でのキャップ外れ防止装置（改良品２案）とチェーンと伐採木を連結するカラビナの改良品の「クラブフック」のトライを行った。

●自己評価等

1．検討会の集材は特に大きなトラブルはなく、計画通りの作業ができ、実用化の目途が立った。

2．ボランティアによる作業のためには安全を含めた簡便な取扱説明書が必要であり、機械装置には誤操作防止のための表示が必要である。

3．チェーン駆動装置及び発電機は移動と設置が簡単ではなく、コンパクトで軽量な機動性に富んだ装置に改良する必要がある。

●参加者の声

・従来搬出不可能であった重い木が搬出でき、Ｋシステムの有用性が確認できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

集材本数	集材量	県内	県外	計
31本	5.9㎥	33人	25人	58人
実施場所：埼玉県秩父市				

安全で生産性の高い集材方式の普及をめざして

自伐型林業実施者・実施地域支援のための全国組織創設事業～地域林業再生と農山漁村再生のため、自伐型林業推進組織の創設～

(特) 土佐の森・救援隊
高知県吾川郡いの町

●事業概要
だれでも参入できるしくみと支援体制をつくり、林業人口の増加を目指すための自伐型林業者をサポートする組織を確立することが重要であることから、全国で立ち上がり始めた個人や団体をサポートして、日本に自伐型林業を定着させせることができる支援組織の設立を目的とする。

●事業成果等
この組織の立上げに際して、設立記念シンポジウムを開催したところ、多くの林業関係者や国、地方行政の方々に集まり、ネットワークを築くことができた。

●自己評価等
新組織は、国の政策・地方行政における林業振興策へのアプローチを実践し、ネットワークを構築していくことを一つの目的としている。その設立シンポジウムに、総務大臣、農水委員長、林野庁長官などの来場があったことは、大きな励みであり、今後の新組織運営での自信につながった。
ただ、新組織の管理体制や運営の礎は盤石ではなく、まだまだ助成金に頼らざるを得ない状況であり、早急な自立した組織運営が求められている。

●参加者の声
シンポジウムには、全国の実践者をはじめ国や行政、企業・団体等の関係者が集まり、「持続的な森林経営・環境保全型林業」を期待する声を多く聞くことができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

千葉県船橋市にて自伐型林業地域展開	自伐型林業設立記念シンポジウム開催	船橋市	全国より	計
		20人	230人	250人
実施場所：東京都、千葉県船橋市など				

設立記念シンポジウム

玖珠町ふれあいの森づくり事業

玖珠郡森林組合
大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要
目的は、多くの町民並びに企業ボランティアの参加を募り、大分県玖珠地域の里山に生物多様性に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資するものである。

●事業成果等
年３回の作業に（大人400人、子ども50人）延べ450人以上の参加があり、下刈り、枝打ち、花壇整備、ネイチャーゲーム、木工工作、シイタケ駒打ち等を行った。参加者は、人とのふれあいを持ち、自然の優しさ、厳しさを感じながら良い汗をかき、生き生きとした表情だった。

●自己評価等
ほぼ計画どおりに実施できたが、反省点は作業内容に応じて時間配分が必要なことである。今後の取り組みとして、植栽等の今までに実施してない植林等の作業を長期計画で実施したり、子ども達に枝、葉っぱなどを使った工作づくりをさせたい。

●参加者の声
「枝打ち体験でたくさんのことを学びました。枝打ちをすることで、日当たりが良くなり、虫や動物たちも良い環境で暮らすことができます。作業は、できるまで大変でした。のこぎりが重くて力がいったけどできた時は、とてもうれしく、楽しく自然と触れ合いました。自然の中で、たくさん学び楽しみとても良い思い出ができました。自然・環境の事をこれからも理解し、より良い暮らしをしていきたいと思います」小学生女子（感想文より）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	枝打面積	地拵面積	駒打ち	県内	計
1.30ha	0.80ha	0.40ha	300本	456人	456人
実施場所：大分県玖珠町					

シイタケの駒うち

多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト

(特) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

多摩動物公園内の雑木林は、開園以来放置され、生物多様性の低下が懸念されており、また、一般的な伐採管理では萌芽更新が期待できないことから、新たな管理の手法の確立が必要である。

この森で、企業社員やその家族の参加によって多様な生物が暮らす環境に整備することを目的とした活動を行った。また、雑木林での自然観察会も行った。

●事業成果等

落葉樹中心の里山環境へ近づけるため、アズマネザサと常緑樹の除伐を実施した。

また、大きな木々で覆われた森ではドングリの実生が育ちにくいため、除伐木による杭を使って苗畑作りを実施し、今後の森林の循環を促すための活動とした。なお、苗畑づくりでは、草刈り・開墾・石などの除去を行い、林内よりコナラの実生を移植した。

●自己評価等

間伐だけではなく、軽作業を多くしたことで、参加者は満足感を得ることができ、観察会を兼ねた実生探しでは、ドングリから芽が出ている様子に驚きと発見をしている子どももいた。また、森づくりの一歩目を体験したことで、環境保全・森林保護についての理解を深められた。

今後は、畑で苗木を育て、その苗木を見られるように維持管理していきたい。

●参加者の声

・雑木林の生きものがとても豊かだと実感できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	苗畑づくり	都内	計
0.5ha	0.5ha	4.5㎡	53人	53人
実施場所：東京都日野市（多摩動物公園内）				

親子で雑木林に親しむ

木曽川･やおつ水源の森づくり活動

やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

●事業概要

目的は、木曽川流域住民に潤いと安らぎを与える水源の森を整備し、森林生態系や生物多様性について学ぶことであり、サクラの植樹、植樹木の保育、間伐、整枝、剪定を行った。

キリンビール社員が地域ボランティアと一緒に、既植樹地のうち、活着の悪く育たなかった場所にサクラを補植した。

ニホンジカの皮剥被害から樹木を守るため、植樹木の周辺の下刈りを年間５回行った。

成長の良い区域では間伐等を行い、間伐木はチップや燻製づくりの材料、有機肥料等として活用した。

●事業成果等

①関係者が一緒に環境整備活動や環境学習を行ったことにより一体感が一層強くなり、地域交流ができた。

②サクラや針葉樹の間伐、枝落とし作業を行ったことにより、森林内に光が入り景観整備ができた。

③サクラのチップづくり、クラフトづくりによって森の資源を再発見することができた。

●自己評価等

採草場であった地が森に生まれ変わり、大勢の人が楽しめるようになった。引き続き、森林内を充実させ、里山歩きができるよう遊歩道整備も進める必要がある。

●参加者の声

・自分で作った木の箸を使った今夜のご飯が楽しみ。（８才男児）

・カンナクズをお風呂に入れ、香りを楽しみたい。（30代女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	人工林枝落	県内	県外	計
1ha	35本	14ha	2.65ha	1.1ha	265人	211人	476人
実施場所：岐阜県八百津町							

混みあっていたサクラを間伐

原村あゆみの森整備事業（平成26年前期）

原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

原村の村有林及び学校林において、ＥＮＥＯＳ社員などのボランティアにより、下刈り、枝打ち除伐などの森林整備活動を行うものである。主な活動は、次のとおりである。

①刈払い機やチェーンソーなどの作業機械に触れ、森林整備の意義を確認。

②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施。

③県林業女性グループと連携し、森林環境教育を実施。

●事業成果等

①林内整備体験をすることで、自然環境の保全、自然を大切にする心を育てていくことができた。

②長野県林業女性グループと連携し、森林内の散策、林道の清掃活動を行いながら、森林を身近に感じることができた。

③子どもを中心に野鳥教室を開催し、森林分野に関心・興味を持たせることができた。

●自己評価等

今回は効率的に作業をできたが、初心者や子ども連れの除伐作業は一連の指導をしても難しいものとなった。

今後も、伐採技術を有するボランティア団体との連携を密にし、安全対策を講じて進める必要がある。

●参加者の声

・林内整備や林道清掃をしたら、充実感がある。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	100本	1.1ha	0.6ha	0.03ha	96人	138人	234人
実施場所：長野県原村							

自然と触れあう子どもたちも

十日町市民協働の森づくり

十日町市民協働の森づくり実行委員会

新潟県十日町市本町

●事業概要

目的は、平成23年3月12日に発生した長野県北部地震の被災地の山林崩壊防止と、里山機能の回復を図るための森林の造成である。主な活動は次のとおりである。

①安全な植樹作業と苗木の活着を高めるための地拵え（1.14ha）

②第2回植樹祭（平成25年10月26日：市民他145人の参加で0.54ha、1380本の植樹）

③第3回植樹祭（平成26年6月1日：市民他531人の参加で0.6ha、1600本の植樹）

④「緑の募金」と植樹祭のＰＲ活動（産業フェスタ、2000人）

●事業成果等

①第2回植樹祭は雨の中、市内の子ども、高齢者などが参加し20年、30年先の里山回復の第一歩を踏み出した。

②第3回植樹祭は、実行委員会の活動エリアの一部が全国植樹祭のサブ会場となったので応援イベントとして開催し、大勢の人が森林の意義を再認識した。

③産業フェスタ会場では、「緑の募金」箱を設置し森林の啓発活動を行った。

●自己評価等

計画通り2回の植樹祭を開催し、孫を連れた高齢者や小学生を含めた大勢の参加者が、「参加して良かった」、「気持ちが良かった」、「準備してくれた皆さん、ありがとう」と声をかけてくれた。また、植栽地がスキー場跡地で斜面が急で地震で緩んでいたりするので、安全確保のため、確実な地拵えが必要である。

●参加者の声

・これほどの人が集まって驚いた。来年は全国植樹祭もあるので頑張ってください。（60代男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.14ha	2980本	0.25ha	676人	676人
実施場所：新潟県十日町市				

第２回植樹祭には145人が参加

平成25年度東日本大震災津波被災の海岸防災林復旧事業

（公社）茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

鹿島灘海岸約60㎞にある海岸防災林の松林が松くい虫被害に加えて大震災による津波潮害により荒廃したため、荒廃地保護、白砂青松の景観保持のため、抵抗性マツや広葉樹による植樹祭を開催した。なお、海岸保護、復旧のシンボル拠点づくりを行い、広く県民に発信するため地元小中学生による海岸林業体験を兼ねて実施した。

また、前浜（前線）植栽のため、静砂垣を設置して砂を止め、マツを主林木にして下木にトベラ、アキグミを植えて、施肥や敷藁を行った。

●事業成果等

砂地造林により景観復旧の効果もあった。

また、児童生徒のボランティア活動に触発されて企業の海岸復旧ボランティア活動団体が結成される効果もあった。

●自己評価等

小面積の復旧だが、地元児童生徒の参加により、次代に繋げ、また、シンボル拠点としての新聞報道等により広く県民に発信できた。一方、移動などの関係で参加者を限定せざるを得なかったことなどが反省点である。

今後の課題は一過性の植樹祭でなく、息の長い保育などにも子どもたちを参加させることである。

●参加者の声

・マツ林が大震災の津波被害を軽減してくれたので今後とも植えたマツを大切にしたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	1516本	298人	2人	300人
樹種：抵抗性クロマツ、トベラ、アキグミ				
実施場所：茨城県神栖市矢田部				

小中学生が参加して海岸植樹祭

三陸復興国立公園階上岳記念植樹祭

（公社）青森県緑化推進委員会

青森市松原

●事業概要

青森県南部太平洋側のシンボル的な階上岳（臥牛山）が、三陸復興国立公園に指定されたことから、三陸復興祈念と国立公園階上岳指定を祝い、「階上岳」周辺で、町民参加型の植樹祭を開催した。

●事業成果等

地元町民並びに次世代の小学校生が植樹祭に参加し、復興への励みとなり、また、地元有力紙に記事が掲載されたことにより、広く県民に被災地域での緑の募金活用をＰＲすることができた。

●自己評価等

国立公園内での植樹祭であったが、環境省への事業申請・許可もスムーズに進めることができた。

反省点として、秋植えよりも春植えの方が植物も環境に慣れ元気に育つ傾向があるので、地域の自然や気候に合った植樹イベントを計画する必要がある。

●参加者の声

・紅葉がもっときれいな階上岳になってほしい。

・みんなで木を植えると楽しい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県　内	計
0.2ha	84本	0.3ha	130人	130人
樹種：ヤマモミジ（オオモミジ）				
実施場所：青森県階上町				

ヤマモミジの植樹

土佐の森方式（自伐林業方式）と木質バイオマスを活用した、津波被災地再生事業

(特) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

●事業概要

目的は、被災地域において、低投資・低コスト型林業である自伐型林業が、優れた手法であることを証明しつつ、取り組み初期段階の具体的手法を開発するとともに、木質バイオマスと組み合わせた自立するエネルギー地域循環型に寄りそう林業による新しい就労のかたちを展開することを目的としている。気仙沼市や石巻市等にて実践し、被災地における仕事づくりの手法として確立させ、被災地発の全国展開モデルを構築することを目指している。

●事業成果等

だれもができる林業であることを理解してもらうことで、副業型はもちろん、専業型へのステップアップが容易であることが理解され、林業を絡めた新規就労への道が開き始めた。

●自己評価等

気仙沼市、石巻市等の各地域で自伐型林業を志すチームが生まれ今後の飛躍が見え始めている。しかし、実践段階になったとき、山林の施業計画や地域チームのステップアップへの支援体制に後押しが求められることから、自治体との協働によるバックアップ体制が必要であることがわかった。

●参加者の声

・現在は副業型だが、専業型にステップアップしたとき、他の就業に負けない収入を得ることが計算できる。
・震災で離れていった若者たちの新しい就労として、今後期待できそうだ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

作業道研修	チェーンソー研修	森林経営研修	県内	計
			約70人	約70人
実施場所：宮城県気仙沼市、石巻市他				

チェーンソー研修

川内村いのちの森づくり植樹祭

(特) 川内村ＮＰＯ協働センター

福島県双葉郡川内村

●事業概要

東日本大震災により村内全域の放射能汚染による除染作業が行われた川内村において、都市と山村の交流や村内の子どもの参加による植樹祭を通して、森づくりの意義や重要性を再認識するものであり、主な活動は次の通りである。

①シラカシなど31種類・1500本の植樹
②植樹地の育樹作業

●事業成果等

土砂崩れしたのり面に植樹することによって、森の再現及び防災保全林として役割を果たすことができる。

帰村を果たした村での取り組みの一つとしてマスコミに取材を受け、ＰＲができた。

●自己評価等

①土砂崩れを起こした旧小学校のり面に植樹を行い、防災環境保全の整備が実施された。
②石の除去作業が困難で時間と人手を費やされた。
③植樹地の水抜き対策等が必要となったので、表面からだけではなく、必要に応じて掘り起して確認すべきだった。
④植樹ボランティアの育成が急務である。

●参加者の声

・丁寧な説明があり、植樹の不安はなかったのですが思う通りには植えられかった（女性）
・土いじりは畑仕事でしているが、木を植えるのはまた違った面白さがあった（主婦）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.05ha	1500本	0.05ha	90人	70人	160人
樹種：タブノキ、シラカシ、スダジイ					
実施場所：福島県川内村					

タブ、シラカシなどを各班ごとに植樹

平成25年度
長野県北部地震復興祈念植樹

(公財) 長野県緑の基金
長野市大字南長野字幅下

●事業概要

県内有数の豪雪地帯である栄村でも特に大きな被害を受けた小滝地区などで、地元住民に希望を抱いてもらうとともに、震災復興を祈念して、オオヤマザクラの大苗木を植栽した。

●事業成果等

①幼児からお年寄りまで地区住民総出での植樹作業となり、被災した方々への励ましと、明るい話題づくりとなった。
②サクラの開花は、地元の復興のシンボルとなる。

●参加者の声

・家屋や耕地が被災した中で、春にきれいなサクラが咲くのが楽しみだ。
・大切なサクラをみんなで永く育てていきたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	県内	計
16本	38人	38人
樹種：オオヤマザクラ		
実施場所：長野県栄村		

オオヤマザクラの植樹

3.11復活の森づくり
～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

(特) 森のライフスタイル研究所
長野県伊那市荒井

●事業概要

目的は、津波に飲み込まれ枯れてしまった海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すことである。主な活動は、次のとおりである。

①津波の浸水により塩害を受けて枯れてしまった木々の撤去とチップ化処理と敷き詰め及び転圧。
②海岸林に適した樹種の植林。
③植える位置をマーキングするための目印棒の設置。
④苗木の生長を風や潮で阻害させないための竹柵の設置。

●事業成果等

多くの市民ボランティアが参加して作業したことにより、次世代を引き継ぐ海岸防災林として生まれ変わった。

また、フィールドでの実体験や移動バスの車内での森林環境教育の実施によって、日常、森林と触れ合う機会が少なかった参加者も森づくりへの理解を深め、森林の重要性や海岸防災林の働きについて学ぶことができた。

なお、これらの活動をきっかけに、他の森林ボランティア活動に参加していくという波及効果が見られる。

●自己評価等

計画通りの植林で、苗木の活着状況もよく、安心をしている。反省点は、植林時の苗木周りの踏み固めの徹底を周知できていなかった点である。

今後、５年程度の保育活動（下刈り）となるが、暑さ、ハチやヘビなどに注意を払って活動を進める必要がある。

●参加者の声

・活動を続けていくことで3.11を風化させないようにして、コミュニティを拡げられたら良いと考えている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.304ｈ	3400本	77人	163人	240人
樹種：クロマツ、マサキ				
実施場所：千葉県山武市　蓮沼殿下海岸防災林				

クロマツ、マサキの植樹

さんむ植樹祭

（公社）千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

平成26年3月9日、千葉県山武市蓮沼海岸の東日本大震災津波被災地において、被害からの再生の一歩として、市民・小中学生約900人が参加して、さんむ植樹祭を実施した。併催行事としてジョギングイベントを実施したこともあり、これまでになく多数の参加者だった。

面積6000㎡において、クロマツ7000本の植栽を行い、ノウサギ被害を防ぐため周囲に防止ネットを設置した。今後は山武市青少年育成市民会議が管理にあたり、白砂青松の復活を見守ることとしている。

●事業成果等

植樹とあわせて周辺部でも植栽が始まっており、徐々に海岸林の再生・復興が進んでいる。

また、参加者にとっては、あらためて津波の驚異と海岸林の防災機能の重要性を認識する機会となった。

●自己評価等

再生を図るべき海岸林面積は広いが、着実に様々な形態で植栽が進み始めている。今後も復興事業を継続することにより、災害に備える意識が風化しないようすることが重要であると考える。

また、マツなどの植栽木の保育管理を適切に実施することにより、できるだけ早く防災効果の高い海岸林にすることが喫緊の課題である。

●参加者の声

・自分で植えたクロマツが大きくなるのが楽しみ。

・失われて初めて海岸防災林の価値がわかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.60ha	7000本	0.60ha	900人	900人
樹種：クロマツ				
実施場所：千葉県山武市蓮沼南海岸保安林				

クロマツの植樹

浦安絆の森（緑の防潮堤）整備事業

（公社）千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

平成25年11月16日、千葉県浦安市高洲海浜公園において、市民約500人が参加し、浦安絆の森（緑の防潮堤）整備事業の植樹祭を実施した。

東日本大震災の液状化被害で発生した堆積土や瓦礫などを利用してマウンドを造成し、この地域の潜在自然植生であるタブ、スダジイ、アラカシなどの高木、ヤブツバキ、カクレミノなどの中木、トベラ、マサキなどの低木合わせて20種類、約3400本の植栽を行った。

●事業成果等

浦安市、イオン環境財団、国土緑化推進機構（千葉県緑化推進委員会）、地元商店街など多数の関係者が連携し、資金、資材（苗木など）、労力、ノウハウを持ち寄り事業の円滑な実施を図ることができ、参加者はみどりの防潮堤の整備をとおして、緑化の大切さや災害に対する心備えなど、あらためて確認する場となった。

●自己評価等

海側に防風柵を設置し、津波や高潮から地域を守る減災機能の高い森林（緑の防潮堤）を短期間に形成して快適な都市環境を維持することを目指している。実施することにより、できるだけ早く防災効果の高い海岸林にすることが喫緊の課題である。

●参加者の声

・親子で一緒に植栽する貴重な体験をした。

・豪雨や高潮被害が頻発しているので、こういった施設整備は心強い。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	基盤整備	県内	計
0.15ha	3387本	0.15ha	500人	500人
樹種：タブノキ、スダジイ、アラカシほか				
実施場所：千葉県浦安市高洲海浜公園				

タブノキ、スダジイなどを植樹

白子町海岸保安林整備事業

（公社）千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

平成26年３月３日、長生郡白子町の津波被災地において、海岸保安林の再生を目的に地元白子中学校（白子町みどりの少年団）生徒全員と一般市民を加えた総勢310人で白子町海岸保安林復興植樹祭を実施した。

面積8000㎡に対して、クロマツ3500本、２種類の広葉樹1500本の約5000本を植栽した。

●事業成果等

白子中学校の生徒、教職員、関係者が一体となり、１本１本丁寧に植樹をする中で、植えることの大切さ、保安林の役割、重要性、緑の大切さを参加者が実感するとともに、植栽により海岸林再生へ向けスタートを切ることができた。

●自己評価等

次代を担う地元の中学生を対象とする植樹祭は非常に有意義と考えられるので、引き続き実施していきたい。

また、植栽した苗木の保育管理を適切に実施して、早く保安林の機能が発揮される海岸林を作ることが重要と考えている。

●参加者の声

・自分たちが植樹した50年後が楽しみだ。

・海岸保安林の重要性を知ることができた。

・生徒全員で植樹できたので思い出になった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.80ha	5000本	310人	310人
樹種：クロマツ、マサキ、トベラ			
実施場所：千葉県白子町			

クロマツ、マサキなどを植樹

旭復興植樹事業

（公社）千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

旭市中谷里地区の海岸林において、地元小学生及び市民約100人が参加し、復興のシンボルとして旭復興植樹祭を計画していいたが、当日の降雪、低温により中止となり、後日一般市民による植樹を行い、防災機能の強化と海岸近くの住民の生活環境の保全形成を図ることができた。

●事業成果等

厳しい気象条件により変更実施となったが、改めて海岸林の防災機能や生活環境に対する重要性が認識された。

●自己評価等

従来から次代を担う小学生による海岸林植栽が行われており、今回の震災被害と復興事業を契機にこれまで以上に海岸防災林の重要性の理解を深める活動に力を注ぐこととしており、住民にも意識が根付いてきている。

地域住民や子どもたちの参加による植樹や、津波・防災効果などの意識啓発は重要であることから、引き続き実施していく必要があると考えている。

●参加者の声

・当日は中止で残念だったが、地域を守る防災林を自分たちの手で復活させたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	基盤整備	県内
0.08ha	796本	0.08ha	30人
樹種：クロマツ、トベラ、マサキ			
実施場所：千葉県旭市			

クロマツ、トベラなどを植樹

海岸マツの子育て事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通

●事業概要

目的は、東日本大震災によって被災した海岸林の林床から採取されたクロマツ実生苗木を、来たるべき海岸防災林造成工事に提供するまで苗畑にて養苗するものである。

●事業成果等

平成25年度の育苗開始時の苗木本数は約10万本であったが、夏場の暑さや、大雪などで予想外の被害があり、25年度末には概ね６万2000本に減少したが、26年度春に約４万本を海岸防災林造成工事に出荷できた。また、26年度当初は、約２万2000本の苗木が育成され、病虫害防除などを適正に行ったことで、若干の枯損もあっても約２万本が出荷できる状況にある。

被災した海岸林の林床から採取されたクロマツ実生苗木は、生長が不揃いで弱々しかったが、適正な管理の下で健全性が高まって、植栽できる苗木になった。

●自己評価等

現地採取実生苗は、移植時の規格及び健全性や、その後の生長量もまちまちで、苗畑管理者を大いに悩ませた。予想外の気象害や病虫害もあったものの、当初移植した10万本の約60%を出荷又は出荷できる状況に整えたことは、大きな成果であり、関係者の技術力とそれを後押しした海岸林再生への強い思いを感じた。

●参加者の声

「特に平成26年２月の降雪は、経験のない時期の大雪であり、相当の被害（欠損）が心配されたが、日頃の適正な管理が欠損本数の圧縮に効果があったものと思う」と感想を述べていた。（苗畑管理者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.6ha	約4万2500本	3人	11人	14人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県蔵王町				

苗畑

名取潮除須賀松「宮城林研の森」植樹事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により失われた海岸防災林の防風等機能を回復するためのマツ林造成である。

主な活動は、次のとおりである。

①マツクイムシ抵抗性クロマツの植栽（林業後継者やその家族など61人の参加で0.17ha、850本の植樹）

②作業管理に必要なのり面昇降用はしごの新設（４基）

●事業成果等

多くの林業後継者とその家族が参加して植樹などの作業を行ったことにより、次代に引き継ぐ海岸防災林として生まれ変わった。

これら作業の実施によって、普段、海岸林を考える機会が少なかった参加者もその重要性や働きについて学ぶことができた。

なお、これらの活動は、マスコミなどを通じてＰＲされたことから、今回参加できなかった林研の仲間などへの波及効果が期待できる。

●自己評価等

４月は、各地域の林業研究会が、様々な復興事業へのボランティア参加と重なり、予定人数に達しなかった。より早く本活動のPRを行うべきだったと思うが、コンテナ苗を用いたことから、作業の効率も良く、計画通り0.17ha・850本を植栽できた。

●参加者の声

・おじいちゃん達、おじさん達と一緒に木を植えながら、色々な話が聞けて良かった（小学生男子）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.17ha	850本	61人	61人
樹種：マツクイムシ抵抗性クロマツ（コンテナ苗）			
実施場所：宮城県県名取市　台林国有林内			

クロマツを植樹

「土木地質の森」植樹式

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東北森林管理局仙台森林管理署との「社会貢献の森」協定に基づき、仙台湾沿岸地区海岸防災林（名取市台林国有林）の再生に向けた植樹活動を行った。

●事業成果等

参加者の大勢が初めてだったが、各人の役割分担並びに事前の準備作業を入念に行い、無事完了した。

今後、地域住民や子ども達に課外授業などを通して、海岸防災林機能・環境再生と保全の学び場としながら自然環境の大切さを伝えるように活用したい。

●自己評価等

計画のとおり実施できたが、防風垣の設置関係で、国有林との調整に時間がかかったので検討が必要だ。

また、道路と植栽地に高低差があり、参加者の出入りの安全対策に苦慮したり、資材運搬に時間と労力を要した。

●参加者の声

・植樹という初めての作業だったが、各人の真摯な姿勢に圧倒されて力が入った。きれいに整列した植栽木に感動した。（40代男性）

・短時間ですむなんて思っても見なかった。苗齢２年と聞いたが無事根付いてくれれば。（30代女性）

・後日、生長した海岸林を子や孫に一緒に見せたい。時折、立ち寄って生育状況を確認したい。（60代男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.11ha	550本	49人	49人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：宮城県名取市　国有林「社会貢献の森」地内			

抵抗性クロマツを植樹

「森林セラピー・森林体験の森」づくり（第３期）

北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

目的は次のとおりである。

1.澄川環境林において学童・一般市民が「森林セラピー、森林学習」が行われる様に整備する。

2.第２期に続き広葉樹の二次林の間伐と遊歩道整備を継続する。

3.苗畑整備、間伐材の利用、小屋作り、無立木地帯への植栽整備する。

●事業成果等

1.間伐、かかり木の処理は極相林を残しシラカバを中心に冬季間伐を行った。

2.間伐材は炭焼き材、キノコのホダ木として利用するほか、避難小屋を作った。

3.無立木地地には374本の広葉樹を植栽した。

●自己評価等

1.助成を頂き３年となりましたが、林内は間伐・遊歩道整備と進み過密競争の広葉樹二次林から巨木の森への移行の手助けとなっていると自負している。

2.反省点としては森全体の施業がバランスよく進まなかったので、澄川基本計画を策定した。

3.今後の課題として３年間でやって来た森のセラピーを更に推進できる様に活動していく。

●参加者の声

・近くの西岡公園のボランティアの皆さんから整備された明るい森と褒められた。

・この３年間で荒れ果てた広葉樹の二次林から巨木の森へ移行できると確信した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	歩道新設	間伐木利用	森林教室	道内	道外	計
0.5ha	3000本	500m	20本	1回	230人	70人	300人
樹種：クロマツ							
実施場所：札幌市南区							

クロマツの植樹

ＮＰＯの連携による間伐推進と間伐材活用のモデル構築事業

(特) ウヨロ環境トラスト

北海道白老郡白老町

●事業概要

放置人工林の間伐推進のため、複数のＮＰＯが連携して間伐と間伐材活用を図る取組みを行った。主な活動は、次のとおりである。

①ワークショップによる間伐作業

森林ボランティア及び一般市民64人による間伐３回、0.3ha

②間伐材を活用したログハウス製作研修会

森林ボランティア及び一般市民延べ10回、208人

③ワークショップによる刈払い作業

森林ボランティア及び一般市民８人

●事業成果等

間伐とその間伐材を活用したログハウス製作研修会を開催する中で、他のＮＰＯのメンバーも参加して、森づくり団体のネットワーク化が図られ、新たな団体も設立されるなど森づくり活動の裾野が広がった。

●自己評価等

ログハウス製作研修会を自然歩道フットパス沿いで実施したことにより、間伐材を活用した建物の製作について広くＰＲすることができた。以前の研修会で完成した小規模なログハウスなどと合わせ、間伐材を活用した建物の普及を図る拠点とすることができた。

複数の団体で共同で行った間伐事業の取組みは、大学の研究者からは「小さなＮＰＯにも森林整備において活躍の場がある」との評価をいただいた。

●参加者の声

・間伐作業に参加したボランティアからは、「実際に間伐作業を体験して、その作業の大変さが分かったが、成果を実感でき、やりがいを感じた」との感想が寄せられた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	道内	計
0.3ha	280人	280人
実施場所：北海道喜茂別町及び白老町		

間伐作業（ワークショップ）

プロ野球の森整備事業

(特) いわきの森に親しむ会

福島県いわき市泉玉露

●事業概要

公園の利用基準が林内の放射線量が時間当り0.23マイクロシーベルト未満でないと活動公募できないことから昨年に引続き林内の放射線量低減を図る作業を中心に行った。

①モウソウ竹の除去作業、②林内のスギ、ヒノキの除伐作業、③アオキを中心とした常緑樹等の抜き切り、④林内アカマツ（枯木）雑木（枯損木）の除伐作業、⑤大径木のコナラ等の抜き切り、⑥除伐した竹や枯葉等のチッパー処理作業、⑦除伐した木材の運搬等を行った。

この結果、プロ野球の森ゾーンについては放射線量が基準以下にすることができたが、急傾斜地である上、大径木が多かったことから想定以上の作業量となってしまった。

●事業成果等

モウソウ竹の除去以外については、予定どおり除去作業ができたので当初計画より１年遅れとなったが、10月以降一般市民参加による森づくりのための基盤整備を終えた。

●自己評価等

・林内の放射線量の除去作業が予想以上に大変で１年間位で可能と思っていたのが２年となってしまった。

・反面、プロ野球の森整備構想について検討する時間がとれたことになり、多くの意見を聞くことができた。

●参加者の声

「竹のチッパー処理の音を軽減できないか」との声があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

作業内容	モウソウ竹の除伐	約700本
	コナラ等大径木の抜き切り、及び枯損木の除去	約250本
	アオキ等常緑低木の抜き切り	約1500本
	竹・枝葉のチッパー処理	約700本
	除伐木材の搬出５日除伐木材の搬出量（チップ・薪材用）	20㎥
参加者数		174人
実施場所：福島県いわき市21世紀の森公園		

コナラなどの抜き伐り

森林整備で発生する間除伐材を利用した木工体験による森林整備の重要性をＰＲする

森林ボランティア「常陸の森」クラブ
茨城県日立市川尻町

●事業概要

目的は、「森林を綺麗に！」を合言葉に、森林整備・荒廃した里山公園づくり等を行ってきた経験を生かし、木工体験会の開催や森林整備の重要性の啓発などを行うもので、主な活動は、次のとおりである。

①間伐材から、有用材を皮剥ぎ、板材加工などを行い、用材を確保した。
②ヒノキ用材でベンチ作りの体験会を実施した。
③ヒノキ間伐材を用いた景観改善・歩道柵補修及び丸木椅子作成体験会を実施した。
④表札作り体験会を実施した。

●事業成果等

フィールドで発生した用材は、大口径丸太による椅子、ベンチ作り、鉛筆立て、ヒノキ枕に活用できた。

自然と戯れる場所があることをＰＲするとともに、参加者と一体となる手法を経験した。今後に反映させたい。

●参加者の声

・のこぎりを使ったので疲れたが、また体験したい。（男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐本数	間伐木利用	法面土留	牧柵整備	県内	計
115本	31本	３スパン、7.2m ３段	25m	89人	89人
実施場所：茨城県常陸太田市、日立市奥日立きららの里、たかはら自然塾					

間伐材の皮剥き

森に還ろうプロジェクト

ＮＰＯ環～WA
茨城県東茨城郡茨城町小幡

●事業概要

目的は、森林保全活動、農業支援活動、再生可能エネルギー研修を通して、持続可能な社会づくりに向けて自ら行動をおこせる人材の育成を行うとともに、森、食、エネルギーの視点から、人と自然の共生考え、里山にある知恵と技術を学ぶ体験型プログラムを実施し、人が里山に、動植物が森に還るきっかけを創出することである。

●事業成果等

①植樹したままの里山が20年放置され、密生しツタやフジヅルなどで覆われていたが、駆除作業、間伐で光が戻った。立ち枯れ、倒木が多く、生き残った樹木は痩せたのもが多いが、光が入り風が抜けるようになり、下草が生えるようになった。②フィールドでの保全活動ばかりでなく、県内外のイベントへも参加し、里山と人とのつながりを広く伝えた。③茨城県中部は、森林保全活動団体が少ないこともあり、我々の取り組みがメディアなどで取り上げられ、自治体や教育機関との連携が始まるなど、地域での里山保全活動を活性化させた。④東日本大震災被災地、気仙沼大島での森のイベントを実施、森と触れ合う機会が少なかった被災者へ森に入るきっかけをつくった。

●自己評価等

整備に注力する活動と体験型の普及啓発イベントを交えながら、地域住民ばかりでなく、都市部住民の参加を呼びかけ、多くの方々に里山整備の必要性や森と暮らしのつながりを体験的に知っていただくことができた。積極的にイベントに出展、緑の募金による取り組みを伝えた。

放置林の整備は想定以上に大変で、年度内に整備を進めることが難しいと判断、地域のドングリからの育苗をはじめ、整備作業と並行して植樹に備えている。

●参加者の声

「森林整備の技術と安全について学ぶことができた」「里山課題と可能性を知った」「森林保全と自分のくらしがつながった」など、好評だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.3ha	1.5ha	0.8ha	416人	48人	464人
育苗：クヌギ、コナラ、カシ、シイ					
実施場所：茨城県茨城町					

青少年・都市住民が参加した里山・竹林の整備事業

(特) 古瀬の自然と文化を守る会

茨城県つくばみらい市寺畑

●事業概要

1）農村景観の保全・再生

東京都葛飾区「郷土と天文の博物館」と提携し、都市住民の参加を募集して、管理放棄された里山、竹林、屋敷林の間伐・整備活動を行った。

2）間伐材の利用

間伐したスギ、ヒノキ等は遊歩道の杭や土留め材に使用し、コナラ、クヌギ等はキノコ栽培の原木や薪に使用した。

3）都市・農村交流

農村の地域資源として、里山や河川を活用したエコツーリズムについて市から管理委託されており、「都市・農村交流施設　古民家　松本邸」を使用した活動を行った。

4）青少年野外体験活動の支援

都市の青少年・学童を対象に、稲づくり、野菜作り、里山や水路等を活用した自然観察会を開催し、生物多様性の維持・保存に農村環境が果たしている役割を教えた。

●事業評価等

里山や竹林の周辺に住まわれている住民から、見通しが良くなり、安心感ができてきたとの評価があった。

●自己評価等

住宅地が里山・竹林の周辺に造成されて混住化が進み、その結果、間伐材の処理を行う重機などの騒音が問題になってきた。里山で自然観察会などを行うために間伐材を現地放棄できないため、現在は運び出して処理をしている。

●参加者の声

・東京からの行程で利根川を渡ると、全く自然の風景が変わるので癒される。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1ha	0.5ha	0.5ha	19人	22人	41人
実施場所：茨城県つくばみらい市					

タケのチップ化処理作業

次代を担う子供たちによる身近な里山での自然環境体験学習会と里山の整備活動

(特) こが里山を守る会

茨城県古河市恩名

●事業概要

フィールドである稲宮の森を子どもたちの自然環境体験学習の場として活用すべく、地元の小中学校生徒の参加を得て、観察会、除間伐、ヤマザクラ・ツツジの植樹、ドングリの蒔き付け・施肥・除草、生物調査（スズメバチの捕獲器設置）などの体験活動を実施した。

●事業成果等

子どもたち参加の活動が、市民に周知されたことと、古河市の自然環境保全啓発事業（委託事業）として、昨年より市民参加の観察会を開催、今年も５月に第２回の観察会を開催した。

●自己評価等

子どもたち参加の活動は、親及び市民が身近な里山に関心が高まり、自然環境保全の啓発に繋がっている。これらの影響により、フィールドに隣接している森に不法投棄されている産業廃棄物の撤去に地元の市民が署名活動を展開し、請願書を提出するなど、市民の環境保全に対する認識度が強まった。また、地元の小中学校も毎年、学習カリキュラムに組み入れている。課題としては、子どもたちの体験活動は活動時間に制約があるため、活動時間に沿った活動プログラムを企画することが必要である。

●参加者の声

初めて森に入って、こんな自然が豊富な森が身近にあったのかと驚きの声が多く聞かれた。また、不法投棄ゴミと樹木の生育環境に関心が見られた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
3.0ha	200本	2.5ha	1.5ha	1.0ha	1260人	1260人
樹種：ヤマザクラ、ツツジ						
実施場所：茨城県県古河市（通称稲宮の森）						

ヤマザクラの植樹

八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業

(特) やみぞの森
水戸市三の丸

●事業概要

目的は、八溝地域の北西部に位置する常陸大宮市の樹齢約40年のヒノキ・スギ林（約0.5ha）の間伐と間伐材を活用した公共施設の整備である。主な活動は、次のとおりである。

①間伐木の選定、伐採の方法、玉切りなど一連の作業を、木材協同組合から指導を受け実施。
②これら間伐材を活用してベンチを制作するための木工ボランティアを広告して募集。
③ベンチ制作（製材から完成まで）を全９回実施し４基を仕上げた（専門技術者による指導)。
④ベンチは茨城空港に寄贈し、送迎デッキに設置された。

●事業成果等

間伐やベンチ制作の実施によって、日ごろ森林と触れ合う機会が少なかった参加者も森林の保全や木材の活用方法について学ぶことができた。本事業により茨城空港に設置された木製ベンチを通して、茨城県の玄関口が地域材活用を積極的に発信する場のひとつになったことは意義深い。

●自己評価等

山間地において間伐木を伐採した後の集積や搬出は、木材協同組合に協力を求めて実施した。

今後も、林業技術を有する団体との連携、作業の安全確保対策のための体制整備を進めるとともに、活動内容を対外的にアピールするなどさらなる工夫をする必要がある。

●参加者の声

・ベンチ制作ではノミの使い方を棟梁から指導してもらい木工の面白さを実感した。(30代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	その他	県内	計
0.5ha	12回	145人	145人
実施場所：茨城県常陸大宮市、笠間市、小美玉市			

間伐材を利用したベンチ

小根山森林公園森林整備等ボランティア活動

群馬県林業技士会
前橋市岩神町

●事業概要

目的は、小根山森林公園を対象に会員のボランティア活動によって、公園内遊歩道及び森林内の整備を行うとともに、公園の主要箇所に林内の案内板や樹名板などの作成、設置などを行い、公園利用者の方に、森林公園としてより親しまれるような環境整備などに資することである。

●事業成果等

①森林整備に参加することによって会員の相互研鑽に役に立つとともに、マスコミ等の取材によって緑の募金事業や技士会に対する社会的認識が高まった。
②公園内の森林についてわかりやすく解説した説明板や遊歩道散策のための小根山森林公園樹名案内標柱の作成設置及び主要樹種に樹名板を製作、該当樹種への取り付けを実施し、公園利用者に対する森林への理解を深めるとともに、公園利用の便宜の向上を図った。

●自己評価等

公園の森林整備については２回計画したが、９月については案内を出したものの、参加希望が数人と少なく、他の日程とも重なり中止したが、11月は多くの参加者があった。会員の高齢化が進み、会員以外の参加者の増加が課題と思われる。案内板等の設置はこれまで数年にわたり整備してきたのでかなり充実したと考えるが、今後は樹名板の設置を進めていきたい。

●参加者の声

・貴重な森林が手入れによってきれいになるのを実感できて気持ちが良い。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	案内板等設置	県内	計
0.3ha	５基	45人	45人
	案内板２基、道標３基、樹名板		
実施場所：群馬県安中市			

標識の設置

森林づくり教育支援事業

(特) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

目的は、子どもたちが行う植栽・間伐などについて、安全に活動できるような支援活動を計画、実施することであり、あわせて山の作業を通し、森林づくりの必要性や大切さを知らしめることである。

主な活動内容は、①小学生の間伐作業、②小学生の植樹作業、③高校生の下刈り作業、④高校生の植樹作業、⑤高校生の間伐作業である。

●事業成果等

樹木と関連の深い造園学科や建築学科の高校生に、校内では体験できない植樹や間伐、下刈りなどの山の作業を通じ、森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持たせることができた。

また、中山間に暮らす小学生に間伐や卒業記念植樹作業の支援活動を実施することによって、多くの地域・人々に山に親しみを感じ森づくりの大切さを実感させることができた。

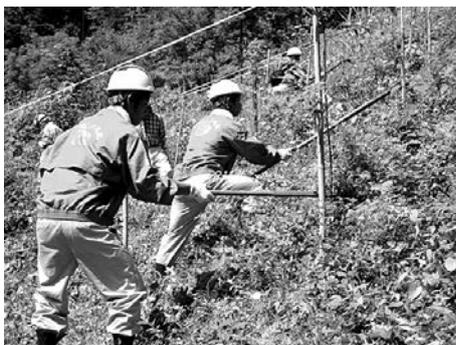
●自己評価等

天候不順等で実施が危ぶまれたこともあったが、計画どおり植樹（2校）、下刈り（2校）、間伐（3校）支援活動ができた。学校行事のため日程変更等が困難な場合も多いため、雨天時や夏の厳しい作業などについては、支援する団体とより密に打合せを行い、安全に行えるようにしたい。

●参加者の声

・はじめて使う大鎌で草を刈った。手順通りやれば倒せた木とは異なり、集中力を要する作業だと感じた。（高校生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	226本	1.4ha	0.8ha	461人	461人
樹種：サクラ、アカマツ、ヤマグリ					
実施場所：埼玉県越生町、小川町、長瀞町					

下刈り作業

子ども（園児、小・中学校）と森づくり体験事業

(特) グリーンフォーレストジャパン

埼玉県川口市元郷

●事業概要

森林学習体験教室を開催し森づくりへの参加拡大を進める活動として、森づくり活動（植栽、下刈、除伐、間伐）、散策道整備、ドングリ教室活動を行った。

①森づくり活動

間伐や下刈り等の森林整備を行い、渡り橋が老朽化のため張り替えを行った。

②全国育樹祭＆イベントに参加・活動報告会の開催

全国育樹祭会場（熊谷ドーム）、NPOまつり（代々木公園）、埼玉県主催のイベントに参加した。

③幼稚園・保育園、中学校への森づくり教室開催

園児にはドングリ教室、中学校生徒（小鹿野中学校）には森林（木工）＆シイタケ栽培教室を開催した。

●事業成果等

子どもたちは、ドングリについて、意外と知らなかったこともあり、関心を示した。

●自己評価等

ドングリ教室事業は、学校や個人でドングリ拾い、ポット等への植え付けをした後、2～3年育ててもらって、提携の森へ植樹するものなのでお互いの信頼関係を築く必要がある。初年度としては順調に進める事ができた。

●参加者の声

ドングリが様々動物にも大きな恩恵を与えていることに好奇心を持ち、一様に喜んでいた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	間伐本数	作業道	イベント	森林教室	県内	県外	計
0.2ha	150本	0.6ha	0.3ha	0.3ha	20本	100m	2回	4回	1060人	2076人	3136人
樹種等：クヌギ、コナラ、サクラ											
実施場所：埼玉県横瀬町、熊谷市、東京都渋谷区											

クヌギ、コナラなどを植樹

都市住民が参加する里山整備と間伐材の有効活用

(特) 竹もりの里

千葉県長生郡長南町

●事業概要

目的は、圏央道の開通により、都市住民と地元住民の交流が求められる中、過疎化と高齢化により、放置された竹による荒廃した里山の再生である。主な活動は、次の通り。

①放置竹林の整備を都市住民と地元住民で定期的に実施
②里山資源の有効活用を考え、実践していく
③竹林整備が継続的な事業として成り立つ仕組みづくり
④都市住民に竹を通した里山活動体験の実施

●事業成果等

多くの都市住民と地元住民が参加して11回の竹林整備デーを開催することができた。参加者は定期的な開催により、自由に参加することができ、共同作業をすることで地元住民との交流も生まれた。初めて目にする荒廃した竹林に驚き、人を寄せ付けない竹林が蘇った姿は参加者に感動を与えた。里山資源の有効活用は他の団体と協働で企業、大学に対し、竹の竹粉化、竹炭化を提案し、取り組みを開始することができた。新聞、雑誌、テレビなどで紹介され、多くの新たな人との繋がりができた。

●自己評価等

計画通り、放置竹林を整備できたが、継続的な維持管理を続けて行くためには間伐材の有効活用を同時に見出さなければならない、安全な作業環境を整えるため、スタッフと地元参加者は労働安全衛生特別教育等を受講し、終了者が12人となり、一般参加者に技術指導を行った。

●参加者の声

・荒廃竹林とは聞いていたが想像以上であり、生活の中で何か利用する手立てはないか考えたい。(主婦)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	竹炭製造	竹粉製造	作業道整備	間伐木薪	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	3.5ha	6㎥	20㎥	80m	8㎥	136人	32人	168人
実施場所：千葉県長南町・長柄町									

竹林整備

地域と共に、里山保全

上総自然学校

千葉県袖ヶ浦市川原井

●事業概要

団体では、田んぼの周りの森林、山の整備を進めており、約10年の活動で周りの住民の方々の中に自分の山の整備を始める人も現れ、連携し活動のフィールドを広げている。

●事業成果等

数十年人間の手が入っていない谷津田を開墾して、ビオトープ作りを始めたところ、横井戸の復活ができそうな状況にあり、山からの水が増えることで、生き物の生活環境は劇的に改善が期待される。上部に作った池にはフクロウの飛来が確認され、その付近でニホンリスも確認されている。

２月に大雪で倒木が多数発生し、この倒木を台風被害に利用したことから、資材費を抑えただけでなく、間伐材の利用の良い見本を作ることができ、そこに遊歩道作りも進めている。すでに切り開いた雑木林の下草刈りを例年のように続けている。子どもが入っても大丈夫な林になっているので、昆虫の観察会を開催して、森の豊かさを体験してもらっている。

●自己評価等

台風被害にあったが､地域の人々の協力で復旧できた。ゴルフ場造成の経験者など、地域にはいろんな技術を持った人が多いので、その特技を里山再生に生かせるよう、コーディネートできるといいと思う。荒れた谷津田を開墾しトンボの専門家の指導でビオトープ作りを始めている。画一でない多様性のフィールドができつつある。

●参加者の声

・台風の被害が大きかったが、少しずつ復旧している。荒れたスギ林の地表が流れてる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0,5	125	3ha	1,3ha	0,2ha	267人	375人	642人
樹種：アンズ、サクラ、クルミほか							
実施場所：千葉県袖ヶ浦市川原井							

アンズ、サクラなどを植樹

荒廃の森林の保全・再生：森林・林業の復権

(特) 緑のダム北相模

東京都世田谷区若林

●事業概要

○目的：①荒廃森林の保全。②森林現場でOJTをすることによって、森林林業発展のための後継者育成に繋ぐ。

○内容：活動15年を迎えた2012年に「これから15年間の目標」を「森林林業の復権」とした。以降、「①GPS, JIS測定、②３次元現象森林資源解析、③間伐材利活用製品開発」など、先端的な事業開発に取り組んでいる。

●事業成果等

当会では、若者（中、高、大学生）森林・林業後継者育成を重点項目としており17年目をむかえるが、10年目頃から卒業学生が林業会社に就職するようになってきた。

●自己評価等

○達成状況：「森林」は奥が深い。満点とはいかないが、十分な成果を上げている。

○反省点：日々、反省が多発するが、単なる反省で終わらずに、次のステップに繋いでいる。

○課題：森林現場の保全・再生に留まらずに「森林・林業の復権」に挑戦する。すでに、「富士源流：相模川流域材サプライチェーン構築」に取りかかっている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積
0.3ha	50本	63本	2.5ha	1.0ha	1.11ha
花木各種	花木各種	カツラ、スギ、ヒノキ	スギ林	スギ林	協力協約
実施場所：神奈川県相模原市緑区					
春環境祭（市役所横駐車場）：当会主催、入場6000人 夏環境祭：相模原市に協賛参加 秋環境祭：神奈川県に協賛参加　ほか					
県内		県外		計	
968人		193人		1261人	

「若者の参加」を重点項目として活動

青少年環境保全体験活動プログラム

(特) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

「青少年環境保全活動プログラム」は、若者と集落をつないで、両者の抱える課題やテーマにチャレンジするきっかけづくりのプログラムである。たった数日間だが、関わった人々や地域が、小さくても確かな手応えを感じられることをねらいとしている。

●事業成果等

1）集落と若者をつなぐ・・・「若い人に来てもらって本当に助かった」と地元の人から喜ばれた。

2）若者ボランティアの活動につなぐ・・・地域の方々の協力をもとに主体的に活動を行うことで、プログラムを遂行する過程を学び、青少年環境保全活動の充実を図った。

3）参加者同士をつなぐ・・・さまざまな理由や目的で参加した若者が、活動を通じ、互いの思いを分かち合うことで、大きな喜びと支えになった。

4）復興支援・・・地元村民の緑の再生をしてほしいという要望に応え、多くの植樹を行い、三宅島復興プログラムを通して、地域貢献活動を行うことでよりよい環境づくりをする一助となった。

●自己評価等

農山村地域と青少年双方の活性化の推進、都市住民が農山村に滞在・体験事業を通した意識の高揚、農山村と都市の交流の場の提供という事業目的に沿って活動を実施することができた。今後も、受入先と連携し、継続的に活動を行っていきたい。

●参加者の声

・短い期間でたくさんのことを学び、感動し、今までにない一生の思い出ができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	計
1.5ha	3000本	2.3ha	177人
樹種：ヒサカキ、ヤブツバキ、タブノキ			
実施場所：東京都三宅村、長野県栄村、麻績村			

植樹の準備

間伐材利活用プロジェクトによる川場・世田谷上下流連携の持続可能な森づくり

やまづくり・くらぶ

東京都世田谷区給田

●事業概要

群馬県川場村と東京都世田谷区の住民が協力して源流部の森を整備し、発生する間伐材の利活用を推進することで持続可能な森づくり活動の確立を図るものである。

具体的には、整備した森から薪材（マツ）を、隣接する森から燃料（スギやヒノキ、ボサ）を調達し、炭にして世田谷区で利用する等の循環を川場村住民と確立する。

●事業成果等

必要な間伐が完了し、地元の炭焼き経験者の指導のもと講習会･作業を行い、地元住民も参加して技術を磨いた。炭の一部は地元に寄付し、世田谷区の鍛冶教室で使われるなど、消費までのサイクルも確立できた。

今回の試みで一定の手ごたえを得たことから、今後は上下流が連携した活動へと広がりを持たせたい。

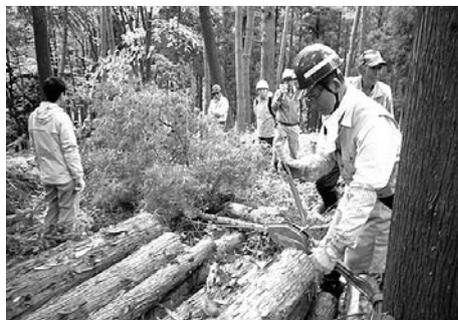
●自己評価等

できあがった炭は、世田谷区での活用や参加者にも提供し、活用を図ってもらえた。しかし、炭焼きに要する時間が長いため、一部の作業（炭出しなど）を地元地権者に依頼せざるを得なかったことなど、課題が残った。

●参加者の声

・また参加したい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.7ha	1ha	18人	132人	150人
実施場所：群馬県川場村				

間伐作業

森を育てる間伐体験と間伐材を活かす木づかいのためのストック事業

(特) フジの森

東京都西多摩郡檜原村

●事業概要

・東京都西多摩郡檜原村南郷地区の教育の森（村有林）で約40年～60年のスギの人工林の間伐を行った。

・講師を招き10月から３月に森づくり講話と間伐体験を行い、また昨年の間伐材を利用した森の大工さん体験プログラムとして、ハンモックデッキ、薪小屋の建設などを４月～６月に行うことができた。

・間伐材の利用促進のために総計７㎥を製材して、天然乾燥小屋にストック（一時保管）して乾燥させ、今後、市民参加で様々な用途に活用する計画である。

●事業成果等

森林整備体験（間伐、搬出）や昨年製材した間伐材を利用し、建築設計士の指導による体験プログラムとして、ハンモックデッキ、薪小屋の建設などを８回行い、53名が参加した。間伐材の利活用の意義を理解し、木を加工して使う面白さと難しさを実感できた。

●自己評価等

反省点としては、子ども連れのファミリーの参加もあったので、簡単な木工作業のプログラムの開発が必要である。今後の課題として、引き続き間伐を続けていくこと、間伐材の利活用を図ることで、さらに多くの参加者を募るために告知に努めることである。

●参加者の声

・実際の間伐作業の必要性、ポイント、苦労などを知ることができた。（男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	間伐体験	間伐整備	大工さん体験	都内	都外	計
0.5ha	5回	6回	8回	104人	14人	118人
スギ　7㎥						
実施場所：東京都檜原村						

森林の説明

木育体験イベント「つむ木」で遊ぼう！を出展

(特) 森林資源活用バンク

東京都小平市花小金井南

●事業概要

戦後植林された森林の多くは間伐が必要なのに、間伐が進まず、放置された状態で荒れたままになっている。地域の資源を活かし、山間地域の経済回復に貢献し、地球環境の保全にも資する間伐材などの推進を図ることが、今求められている。私たちは、林野庁が推進する木づかい運動の一つである「木育」を後押しするため、間伐材を活用した積木「つむ木」を木育の啓発ツールとして普及に努めている。今回「つむ木」でオブジェなどをつくり子ども達と遊んでもらう木育体験イベントを行った。

●事業成果等

今回子ども達の遊び方を見て大人では決して思いつかないだろう新たな「つむ木」の遊び方を発見することができた。

「つむ木」の木育啓発ツールとしての有効性を確認することができた。

●自己評価等

今後さらに木育体験イベントを拡げるため、「つむ木」を木づかい運動の啓発ツールとして使用しているとうきょう森林産業研究会、(特) 循環型社会推進協会など他団体と連携し、エコプロダクツ森からはじまるエコライフ展や日比谷公園ガーデニングショーなどの出展協力をしていく。

●参加者の声

・つむ木は手先を動かすので、健康に良さそう。
・つむ木にふれると心地良かった。
・つむ木は年寄りには、程よい運動になる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

イベント会場出展設営等（第９回NPOまつり2013）	計
	560人
実施場所：東京都渋谷区代々木公園内	

多くの人が「つむ木」で遊んだ

群馬県草津町やすらぎの森　森林整備事業

(特) 森とでんえん倶楽部

東京都新宿区高田馬場

●事業概要

群馬県の白根国有林を分担地として、林野庁吾妻森林管理署の指導で、自然に親しめるよう市民の「やすらぎの里」を作るため、間伐、除伐・枝打ち、倒木の片付けなどを行い整備活動、散策道づくりを進めている。

●事業成果等

25年度は合計４回の整備を指導者も含めて累計118人で行った。森に陽が入る様、間伐・除伐・枝打、倒木の片付けを行った面積は約0.65haになった。まだ、未整備地を多く残している。

●自己評価等

予定したボランティアの確保、予定の面積の整備ができた。11月から４月初めまでは気温や雪の為に作業ができない。このため、５月から10月に作業が集中し、ボランティアの確保が難しい。

●参加者の声（６月20日、21日に参加した学生の手記）

・４人ずつでグループを作り、２つのグループで一緒に行動することになった。グループ毎に指導者が付いた。ヘルメットと鋸をもらい、木の切り方を教わった。最初は細い木を切るのに時間がかかったが、使い方に慣れると少し太い木を切るのもそんなに難しくなかった。切るのが難しい木は皆で力を合わせ、交代しながら切った。僕のチームは初日に５－６本切り倒し、その木は枝を払い、1.5－２mに短く切り、窪地に山積みした。こうすると、腐って自然に戻ると、指導をする方に教えてもらった。木を切り倒すより、細かくする方が大変だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	県内	県外	計
0.65ha	9人	109人	118人
実施場所：群馬県草津町			

枝打ち

青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及事業

高尾グリーン倶楽部

神奈川県茅ヶ崎市浜之郷

●事業概要

八王子市南浅川町梅ノ木平国有林において、①スギ、ヒノキ人工林の間伐、複層林の育成、林床整理、歩道の作設などの森林整備、②作業フィールドや森林研修施設を活用して、子どもたちや都市在住のグループを対象に森林作業体験、木工体験を取り入れた野外体験教育を実施した。

●事業成果等

①林業団体が研修目的で造成した青年の山部分林、及びソリウッド社部分林において0.7haの間伐を実施した。またこれらの周辺の国有林を含めて低潅木やつる類の伐採、林床整理、歩道整備を行ったほか、間伐材利用を推進するためのベース拠点の整備を行った。

②普及啓発活動としては、除間伐、林床整理などの作業体験を通して環境問題や社会貢献の意義を理解していただくことをねらいに、工芸高校の生徒、企業や地域グループの親子などを対象に企画型の体験教育を実施した。子どもから大人まで幅広い層の参加を得て、森林保全の認識を高めることができた。

●自己評価等

①森林整備は、ほぼ計画に沿って進めることができた。今後はチェーンソー作業を促進する必要がある。

②普及啓発は、木材に親しみ、その活用への理解を深めてもらうため、木材の加工利用体制を整備する必要がある。

●参加者の声

・間伐したあと森が明るくなることを実感した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	つる切り 林床整理	複相林 整　備	歩道整備	体験林業	県内	県外	計
0.7ha	1.0ha	0.3ha	0.5㎞	19回	572人	245	817人
実施場所：東京都八王子市南淺川町　梅ノ木平国有林							

森林整備

野鳥の誘林づくり事業

サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

●事業概要

野鳥などに住みよい住環境を提供するために、サンシティの森林エリア2275㎡の林床に日照が確保されるように中高木の枝落とし・下刈り・林床の表土の流出防止の土留めなどで植樹環境の整備を行い、イチイなど７種類の野鳥が好む木、49本・クヌギなど世代交代樹28本の植樹を行った。また、公園エリアの西・北のエリアに簡易水飲み場２ヶ所、林内に巣箱95個を設置し、野鳥の住環境を整備した。

●事業成果等

植樹した樹木77本の内69本は、５月には新芽を付けて林内の緑化の成果がみられた。（しかし、８本の植樹木が植樹時の作業ミスで未活着となった）

簡易飲み場周辺に多くの野鳥の見浴び姿が見らえるようになり、住民から野鳥の鳴き声で癒されれるという声が聞かれるようになった。また、巣箱にはシジュウカラが出入する姿が確認された。

●自己評価等

事業は、予定通り完了すことができ、多くの野鳥の飛来する姿を確認できた。今後の課題は、林内の下刈り・枝落としなど、野鳥の住環境の悪化を招かぬようしていきたい。

●参加者の声

・自然環境を守るためには知識と努力が必要であること身をもって体験した。（専門学校生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

作業内容	計
作業日数	32日
高木枝落し	33本
中木枝落し	34本
土留め	90m
下刈り	4550㎡
植樹	77本（イチイクヌギなど）
巣箱	95個
簡易水のみ場	２ヶ所
ほだ木	200本
総合学習	ヤジロベー

参加者数	計
ＳＧＶ	327人
住民	32人
専門学校	90人
レンジャー	17人
小学生	238人
合計	704人
実施場所：東京都板橋区中台	

注）ＳＧＶ：サンシティグリーンボランティア
レンジャー：自然環境復元協会のレンジャーボランティア

植樹作業（専門学校生）

薪まきネット「薪バンク」プロジェクト

(特) ナチュラルリングトラスト
東京都世田谷区千歳台

●事業概要

目的は、「薪」を通し森林保全を促進するとともに、都市と農山村の交流による地域活性化を図り、都市部に木質バイオマスエネルギー利用拡大を普及啓発するものである。

主な活動内容は以下のとおりである。

①「薪バンク」による薪生産者と薪ユーザーを結ぶ活動
②森林保全活動による都市と農山村の交流活動
③都市部での木質バイオマスエネルギー利用の普及啓発

●事業成果等

薪の販売では、事業協力者の薪をホームページ等で周知行い、事業趣旨に賛同されたユーザーより問合せが15件、販売が3件得られ、今後の繋がりを図ることができた。

森林保全活動では、埼玉県吉見町の管理放置された雑木林にて、定期的に林を再生するササ刈りやコナラの伐採による萌芽更新作業を進めるとともにイベントを1回開催し、森林管理の大切さの理解を得られた。

都市部での木質バイオマスエネルギー利用拡大の普及啓発については、東京農大でシンポジウムを開催し、90人の都市住民からの参加者を得ることができた。

●自己評価等

薪の販売については、様々な機関や事業協力団体などを通じ、周知を図り、森林保全活動では、地域参加者増を図っていく。木質バイオマスの都市部利用拡大については、輸送コストの課題解決に向け、関連団体などとの勉強会を進めていく。

●参加者の声

・都市で薪を使う暮らしが広がれば、山の問題は解決できる気がしてきた。(40代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.2ha	0.3ha	0.5ha	延べ12人	延べ23人	延べ35人
実施場所：埼玉県吉見町					

ササ刈り作業

森づくり体験プログラム「森林の楽校（もりのがっこう）」2013・2014

(認特) JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)
東京都杉並区和田

●事業概要

都市住民が森づくり体験・自然散策を行い、地元の方々との交流を通じて、森林・環境問題・農山村文化について学ぶ企画として、1998年から全国各地で行っている。

2013年7月～2014年6月には、本事業で12ヶ所18回、「森林の楽校」の上級編とも言える「森林ボランティア青年リーダー養成講座」（森林整備活動、安全管理、リーダーとしての心得等を習得）を2ヶ所で行った。

●事業成果等

「森の学校」では、若者を含めたより多くの方々が、森林や農山村の現状について考え、保全活動を行うことができた。また、「森林ボランティア青年リーダー養成講座」の参加者は「森林の楽校」などでリーダーを担うことのできる人材として成長している。

●自己評価等

今年度は、台風や積雪の影響で2回中止となったが、参加者は534人で昨年の512人に比べ増加した。

●参加者の声

・間伐では、木が倒れた時、一気に太陽の光が入ってきて大きな達成感を得ることができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	50本	3.5ha	7ha	8.8ha	169人	337人	534人
樹種：ブナ							
実施場所：秋田、福島、群馬、埼玉 ほか							

森林整備

創る・育てる「みんなの森林セラピーランド」活動基盤の整備とネットワークづくり

(特) MORIMORIネットワーク
東京都千代田区平河町

●事業概要

目的は、森林を整備して森林浴や森林ウォーキングを楽しめるセラピーランドをつくることを目的として、環境に関心のある団体、福祉団体、森林に関心のある個人等の参加によって事業を行った。

セラピーランドとしての森林空間づくりは、森林観察並びに心身ともに癒される空間として、間伐材と竹を使用したツリーハウス（観察小屋）づくりやワークショップを行ったことにより、今後のセラピーランドの活用に向けた基盤整備が整った。また、森林に関心のある方々とのネットワークの拡大もできた。

●事業成果等

ツリーハウス（観察小屋）づくりは、プロセスが面白いので、新しいボランティアが参加してくれ、森林のよさを広げたり、活動も活性化することができた。また、福祉関連の団体が参加してくれたことで、セラピーランドから新しい事業の方向も見えてきた。

●自己評価等

第２期として予定したことはほぼ達成できた。人から人へと活動が伝わり、新しいネットワークも広がり、さまざまな世代、職業、立場を超えた森のつながりが見えて来た。

●参加者の声

間伐した木をその森で使ってツリーハウスなどをつくることの意義が素晴らしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	調査	県内	県外	計
1ha	2ha	25人	43人	68人
実施場所：埼玉県飯能市				

ツリーハウス

私達の水源間伐整備事業

(一社) スマート・ウィメンズ・コミュニティ
横浜市神奈川区星野町

●事業概要

目的は、楽しく安全な森の間伐整備事業を通して、次世代の森の担い手の育成と普及に努め、また川上×川下（都市生活者）の双方向流により持続可能な森林保全を考える場を提供することである。そのため以下のことを実施した。

①山梨県道志村におけるスギ、ヒノキの間伐、植生観察（３回、参加者合計約80人）

②同村における交流会の実施（３回）

③都市部における間伐材を活用したワークショップ（２回、参加者約750人）

■間伐整備事業：主に女性を中心に、これまで間伐作業を行ったことのない初心者も多く参加した。また、間伐作業の後の交流会では、森での新しい楽しみ方を提案し実施した。地元食材を活用しながらの昼食座談会などで、水源の森とのつながりを深めた。

■間伐材活用ワークショップ：間伐材に触れながら子どもたちに里山の楽しさ、森の間伐の意義をわかりやすく伝えた。臨港パークでは開港祭での出店も兼ね、３日間で700人を超す参加者が訪れた。

●自己評価等

３回の間伐事業を実施できた。初心者中心の間伐事業においては安全のため、手鋸で作業を実施し、また交流会のプログラムに工夫をこらし、初心者や女性も参加したくなる内容であった。反省点としては、秋の間伐時にマダニに刺された女性がいたので、間伐時の服装に関して、徹底した注意が必要である。

●参加者の声

・はじめての間伐作業だったが、森を身近に感じられた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	イベント	県内	県外	計
約3.9ha	２回	845人	24人	869人
実施場所：山梨県道志村ほか				

間伐体験

水源林の整備と癒しのフィールドづくり

(特) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市旭町

●事業概要

本事業の目的は、神奈川県足柄上郡松田町寄の「やどりき水源林」で、除間伐や下刈などの林内整備、アニマルヘッジ作り、通路設置、間伐材を利用したベンチや森からの恵みでのクラフト作りを行うとともに、癒し空間を整備することにある。また、森林の多様な利活用と癒し体験プログラムを行ったものである。

●事業成果等

①除間伐、下刈り、アニマルヘッジなどにより林内整備と癒しフィールドができた。

②森林整備や癒し体験など多様な活動を行うことができ、新たな団体や多くの方を森林に呼び込むことができた。

●自己評価等

①年間に500人もの参加を得ることができ、森林整備や癒しのフィールドができた。

②木の伐採、アニマルヘッジ、ベンチ、通路整備には多くの参加者が興味を持った。

③癒し体験は好評で、ハンモック体験は人気が高かった。森林整備と森林癒し体験のコラボレーションが良かった。

④森林での活動により、森林作業の意義や森の恵みを知っていただくことができた。

⑤課題としては、団体や企業と連携し、安全管理やプログラム開発のために情報交換会を開催する必要がある。

●参加者の声

・自分で切った木でベンチができた時は嬉しかった。

・ハンモックと森林浴で気分を良くした。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	経路 アニマルヘッジ	クラフト ベンチ作り	県内	県外	計
0.65ha	3ha	7m 0.5ha	8回 14基	493人	10人	503人
実施場所：神奈川県松田町　やどりぎ水源林						

間伐

山の間伐材を利用したマチの公園整備

森林を楽しむ会

神奈川県川崎市多摩区寺尾台

●事業概要

都市住民によるヒノキ林や雑木林の保全と、間伐材を土留め材や、ベンチ材に使った町の公園整備を行っている。

●事業成果等

2002年より栃木県さくら市に年５回ほどヒノキ林と雑木林の手入れ、除間伐や枝打ち、林内整備に通っている。また、小平市の中央公園の一角の整備を担当しており、以前、矢板市で間伐した材で製作・寄贈した木製ベンチ８脚と木のテーブル２台の補修（さくら市から運んだ材を活用）をしている。

●自己評価等

25年度は、間伐材を土留めの横架材や杭として有効に活用したり、木工品を作製するなど間伐材の有効活用に取り組んでいる。

最近は、子どもたちを山に連れて行き、山の楽しさを感じさせて欲しいと、積極的に声をかけている。今後の課題としては、15年経って、会員の平均年齢も上がり、若い人の加入が急務となっている。

●参加者の声

「山での作業で汗を流す事が嬉しい」、「気持ちよい」、「少しでも社会の役に立てると思うと嬉しい」、「もっと木を使う活動がしたい」など前向きな感想が多い。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	林内整備	公園整備	県内	県外	計
0,9ha	0,6ha	0,1ha	1.0ha	0,1ha	24人	68人	92人
実施場所：栃木県さくら市							

小平市中央公園のベンチ＆テーブルと土留めされた一角

2013企業人学びの森整備事業

(公社) 石川の森づくり推進協会

金沢市古府

●事業概要

森林・林業に対する企業人の基礎知識や実践技術を学ぶための森林フィールドを整備し、各種の研修・学習を行うことで企業が長期間にわたり、継続的な森づくり活動を実施することを目的とする。

①森づくり活動指導員の育成研修（刈払機・チェンソー）

②企業人学びの森づくり整備活動

●事業成果等

森づくり活動指導員を育成するため、刈払機・チェンソーの室内セミナー及び野外での実践訓練を行い、技能取得・知識の向上に努めた。

選木や作業困難な除間伐施業などは専門の作業員に任せ、適正な林内整備に努めた。また、７月、10月には企業人が集い、下刈り・ツル切り、体験学習を取り入れた山野草の植え付けなどを行い、植栽地の育林や里山林の代表的な植物による下層植生の多様化に努めた。なお、除間伐材は体験学習に合わせ、キノコ植菌原木として有効に活用した。

●自己評価等

植栽木のコナラ、クヌギは順調に生育している。しかし、依然としてツル類が多く、より一層きめ細かな除去対策が必要と考えている。徐間伐実施森林では、ササ地下茎の完全除去に３か年程度の刈り払い作業が必要と考えている。

●参加者の声

・間伐の意義や重要性がかなり理解できた。

・原木のキノコ植菌を知り、キノコの発生が楽しみである。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	ササ刈面積	下刈・ツル切	除・間伐	講習会	県内	計
0.01ha	300株	0.31ha	0.68ha	0.88ha	2回	137人	137人
樹種：コナラ、クヌギ							
実施場所：石川県緑化センター地内							

林内整備によって明るくなった

都市部在住の若年層の森づくりへの参加拡大事業

(特) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

この活動は、都市部在住の若年層（特に女性）の森づくりへの参加拡大と定着を図ることを目的として、カッコよい森づくり活動を行いつつ、その活動報告や今後の活動内容を周知させる森林学習会を開催し、新たな森林ボランティアの掘り起こしを行うものである。

●事業成果等

本事の活動を通じて、

①雑山0.6haをヒノキの経済林へと再生させることができた。

②和田峠スキー場跡地２haの再生ができた。

③未利用放牧地１haの復元が進んだ。

④森林学習会を２回開催し、森林への理解が深まった。

⑤本募金活動に採択されたことで、延べ882人の参加者の掘り起こしと定着、などを達成することができた。

●自己評価等

都市在住の若年層の森づくりへの関心を掘り起こしながら、着実に森林の整備に寄与したものと考えている。長野県からは信州協働大賞「優秀賞」をいただいた。

今後の取り組みとして、①活動地に適した保育活動の継続　②森林ボランティアの新規掘り起こしと既存ボランティアの定着　③企業との連携を高め、緑の募金への寄付機運の創造を進めていきたい。

●参加者の声

・森にも興味を持っている。環境問題というレベルで考えたことはないが、これを機会に学んでいきたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
3.6ha	1万5800本	344人	494人	838人
樹種：カラマツ、ブナ				
実施場所：長野県佐久市、木島平村、長和町				

ブナの植樹

下街道さんさくウォーク事業

多治見観光ボランティアガイド
岐阜県多治見市音羽町

●事業概要

下街道のインフラ整備をして歩きやすく楽しい街道にすることとし、主な活動は、次のとおりである。
①下街道のシンボル樹として金木犀の植樹をする。
②下街道を歩きやすくするため、間伐材で道標を設置する。
③下街道に残る名所に間伐材の支柱で案内板を取り付ける。

●事業成果等

下街道は6市を通る街道であるが、名古屋市を除く5市（春日井市・多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市）の主なボランティアグループが連携して活動したことで、下街道の統一標識が実現できた。また、連携したことで地域活性化へつながり始めた。

●自己評価等

達成状況：主な所には、計画どおりに設置ができた。
反 省 点：町興しにつながる商店街の参加が少なかった。
課　　題：下街道のインフラ整備は始まったばかりであり、シンボル樹・金木犀の植樹と名所の案内保存を数年にわたり進める必要がある。

●参加者の声

4月13日：春日井グループが春日井市鳥居松町でマツの記念植樹を行ったところ、地域住民・商店街役員の参加があり、歴史的な背景を感じて喜ばれた。また、皆で維持管理を約束した。

5月19日：多治見市池田町でもキンモクセイの記念植樹を行ったところ、地域住民・関係役員の参加があり、下街道の宿場跡を後世に伝えることができたと喜ばれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	間伐材道標	案内板	県内	県外	計
85a	12本	73本	23枚	115人	5人	120人
樹種：マツ、キンモクセイ						
実施場所：愛知県春日井市、岐阜県多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市						

キンモクセイの植樹

山主さんの持ち山活用塾

(特) 夕立山森林塾
岐阜県恵那市大井町

●事業概要

小規模な森林所有者（山主）が森林を持続することは経営的に難しいが、山主が自ら伐採や搬出を行えば、副業レベルの収入が見込める。そこで伐採・搬出等の技術講習を実施することで技術移転を図り、間接的に林業経営を支援する。

●事業成果等

⑴飛騨川流域の岐阜県加茂郡白川町

同地域での山造り活動グループが実践面で苦慮していたが、技術移転を行うことで活動の幅が広がり、間伐プロジェクトの発足に結びつくと期待される。

⑵庄内川流域　岐阜県恵那市

山岡町では木を活用したイベントで啓発活動や間伐経験者に対する搬出講習を行い、集材、搬出を目指してもらった。三郷町では地元の山造りを行っている会に対して機械を利用した搬出講習を行ったことにより効率的な活動が持続可能となる。

⑶上庄川流域　富山県氷見市

森林資源の活用（薪、炭など）をめざした会に間伐の指導者講習を行った。

●自己評価等

講習という目的は達したが、講習内容を実践するためには、林業機械が必要となる。いま経営的に山林管理が難しい中、小規模山主にそれらの購入を強いるのは難しいことから、林業機械を安価にリースできる仕組みが必要だ。

●参加者の声

・安全をいかに確保するかを学べた。
・搬出がいかに大変か理解できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

イベント	講習会	県内	県外	計
花白ランド祭り	9回（11日）	93(60)人	(10)人	93(70)人
	間伐～搬出講習	(　)はイベント参加者		
実施場所：岐阜県白川町、岐阜県恵那市、富山県氷見市				

重機を使用した搬出の講習

東濃の緑を守るボランティア活動事業

東濃山歩倶楽部

岐阜県中津川市かしも

●事業概要

岐阜県東濃地域の最北端、過疎化や高齢化が進む中津川市加子母地区は、「東濃ヒノキ」の故郷であり、「ヒノキ材」は、中京圏で住宅資材などの分野で多くの人々に親しまれてきた。

本事業は、山歩きや森林作業に意欲を持つ中京圏の都市住民と地域住民とが連携し、平成26年4月26日加子母地区内、小秀山山麓の渓流沿いで、ヒノキ人工林の間伐、雑木除去、伐倒木の枝落し、玉切りなどを行った。その後、「協同組合　東濃ひのきの家」の施設内で、地元産の建築用材の残材などを素材とする「木工・実習活動」を行った。

翌27日には、加子母地区内・付知川上流にあり、伊勢神宮遷宮の際の社殿造営に天然ヒノキ材を供する「神宮備林」に入り、ヒノキが育つ環境・条件、技術・技能面の課題などについて研修を行った。

●事業成果等

参加者は、東濃ヒノキの育つ環境を見て、間伐作業から木工作業まで体験し、木を育て、木を上手に使うことを学び、森づくりの循環に少しでも興味を持つことができた。また、日々の生活において、地球環境を考えるきっかけづくりにもなった。

●参加者の声

・自然の豊かさを実感し、「森づくりの循環・地球環境の改善」に繋がる作業・体験ができた。
・木の香り・ぬくもりに直接触れ、身の回りに木を使ったものを取り入れていきたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	27人	42人	69人
実施場所：岐阜県中津川市				

伐倒木の枝落し体験

沼津市　愛鷹運動公園内森林整備事業

環境整備「森と竹で健康クラブ」

静岡県沼津市東原

●事業概要

沼津市愛鷹運動公園内人工ヒノキ林は樹齢50年以上ながら、手入れがされず、暗い森林公園であった。

H25年度の主な事業内容は①「木の花咲くやゾーン」の下草刈、西洋石楠花の植樹、藤棚作り、JR送電線下に切り捨てられた膨大なヒノキの伐木の片付け ②森林内入り口2箇所に案内板設置 ③30数年前に作られた遊歩道の階段修復 ④ヒノキ劣勢木の間伐 ⑤クヌギ・コナラを植樹した雑木林ゾーンの下刈り等である。

●事業成果等

①森林散策エリア内の遊歩道周辺が明るく、安全になった。②「木の花咲くやゾーン」の整備が進み、サクラ・ヤマボウシ・モミジ・アジサイ・西洋シャクナゲ等の花が楽しめる状況になった。③森林散策エリアの案内版を入り口2箇所に設置した結果、遊歩道を散策する人やトレーニングする人が見た目にも増えた。④植樹した「木の花咲くやゾーン」の下刈りに小さな親切運動と連携した結果、沼津市民に森林散策エリアの認知が広まった。⑤JR送電線下の伐木を整理した結果、広大な広場ができた。

●自己評価等

①森林散策エリアとして沼津市民の利用が進んできた。②「木の花咲くやゾーン」の整備が進み、花が楽しめる状況になった。③遊歩道の整備、案内板の作成、藤棚の作成等ヒノキ間伐材の林内利用は進んだ。

●参加者の声

・サクラやアジサイの咲くころ来て見たい。（女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	歩道新設	間伐木利用	県内
0.1ha	15本	約3.5ha	0.1ha	0.2ha	150段	90本	482人
樹種：サクラ、ヤマボウシほか							
実施場所：静岡県沼津市（愛鷹運動公園内森林散策エリア）							

植樹と周囲の除草

「森づくり自然学校・御殿場」の開催

(特)土に還る木 森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

●事業概要

当事業は“だれでも参加できる安全で楽しい持続的な森づくり”を目的として、

①森をつくること(植栽、植樹、樹種転換など)

②森を守り育てること(間伐、除伐、枝打ち、下刈りなど)

③森を生かすこと(間伐材等の有効活用、森歩き、森林体験、自然観察、環境学習、木工教室生物多様性の調査など)の三つの活動を行った。

●事業成果等

①この1年間に1000人を超える人たちの参加を得て、“だれでも参加できる開かれた森づくり活動”を実践できた。

②参加者が協働して森づくり作業を実施した結果、荒れた森が見違えるように整備が進んできている。

●自己評価等

①荒れた森を整備し、広葉樹への樹種転換をはかり、植栽した樹木の成長を見て、参加者の努力が確実に実りつつあるプロセスを実感できた。

②反省事項は、事業全体の広報活動が不十分であったこと。今後はこの改善に努め、参加者増を実現したい。

●参加者の声

・非日常的な楽しい自然体験ができたことを、喜んでいる人が多かった。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積
0.5ha	335本	0.5ha	0.1ha
樹種:モミジ、ミズナラ、クヌギなど			
イベント			
森づくり	森歩き	森林整備(毎週1回/2~4人)	
約20回	10回/162人	約150人	
県内	県外	計	
705人	386人	1091人	
実施場所:静岡県御殿場市			

高校生の森林学習

森の健康診断&簡易搬出全国出前事業

矢作川水系森林ボランティア協議会

名古屋市中村区那古野

●事業概要

森の健康診断は、森林の現況を多くの市民が手分けして、科学的に調査し、放置人工林の荒廃状況等を明らかにするものである。内容は、①相談・概要説明、②リーダー養成研修講師派遣、③森の健康診断チームリーダー派遣である。

子どもの森の健康診断については、学校授業で①の座学と③の現地授業を行い、木の駅についての研修は、①密度管理による施業計画策定研修、②伐木・造材・安全研修、③搬出研修の3つのメニューで行った。

●事業成果等

2013年度は、出前回数は16回、派遣講師数60人、受講者数480人、出前事業先は9県となった。

近年、木の駅プロジェクト普及との相乗効果で、森のデザイン・密度管理の必要性に目覚めて森の健康診断の需要が大きく高まっており、学校教育でも定着しつつある。

●自己評価等

多様な講師陣の個性と努力で評価も非常に高く、長島小学校では6年連続して学年の授業として取り組み、不二聖心女学院でも3年目で高校の授業として定着しつつある。

しかし、授業は時間的制約があるため、短時間コースのプログラム開発が求められている。

●参加者の声

たくさんの森女たちが集まったイベントは、終始和やかな雰囲気だった。今後も交流を深めていきたい。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

間伐面積	県内	県外	計
毎回0~10本	90人	450人	540人
実施場所:岐阜、愛知、島根他			

森の健康診断

猿投の森づくりの継続実施と国際森林デー活動

(社) 日本山岳会 東海支部　猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

●事業概要

愛知県との第４次協定に基づき、里山の手入れとして、雑木林では観察道周辺の広葉樹林を常緑広葉樹を主体に除伐、人工林では劣勢木を中心に間伐し、林床に光を入れ、針葉樹、広葉樹の混交林に誘導する施業を行った。

また、市民が森に親しむ機会づくりとして「森の音楽祭」、森林自然環境を肌で感じてもらうために、園児と保護者の森林体験会を開催した。

●事業成果等

人工林は、2200㎡で96本の間伐を行ったことから、林床に広葉樹の実生が発生し始めており、観察道沿いは、花木の周辺木の除伐により、花木が生育しやすい環境が作成されつつある。

「森の音楽祭」は、350人の参加者を得、特に観察会参加者からは、整備された森林に関心を寄せられ、園児と保護者の森林体験会では、森林環境の雰囲気に触れ、癒しを感じていた。

●自己評価等

「森の音楽祭」参加者から森づくりの会に加入する者があるなど、徐々に森林環境の価値を感じ取ってもらえている。

園児の森林体験では、「また来年も森へいきたい」と保護者を通じての感想もあり、子ども達にも森林自然を感じてもらえたと思う。

●参加者の声

・子どもたちは見たことのない自然を体感できました。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

広葉樹林整備	遊歩道整備	人工林整備	自然観察調査	林道・作業道整備
9.2ha	3680m	0.22ha	17回	3050m
104人	102人	64人	172人	60人
実施場所：愛知県瀬戸市				

第５回　森の音楽祭

里山再生と新しい竹文化の創造

(特) うにの郷クラブ

三重県多気郡明和町明星

●事業概要

①里山の整備保全活動

荒廃林内の枯朽倒木竹の撤去と焼却処分（約340t）、再生竹林内の修景・散策路整備

②荒廃森林の整備活動

荒廃森林内に作業道（幅員2.2m、延長100m）を敷設したほか、雑木林内の竹伐採140本、不良雑木320本の間伐や、スギ林約0.2haの間伐・除伐をした。

③間伐材の利用資源化活動

竹材約30tのチップ化によって農業資材を生産し、長竹竿800本をカキ養殖筏用材として出荷した。また、間伐スギで薪1200束を、雑木で木炭250tを生産した。

●事業成果等

①里山整備保全活動の継続で、広範な荒廃森林が甦ったことから、地域の人々の関心が高まり、周辺の荒廃森林における所有者の自発的な保全活動が促進した。

②再生森林を巡る歴史古道と、敷設した作業道を「斎王竹の道」と名付け、新名所とすることができた。

●自己評価等

①竹材の複権を目指して約10年間取り組み、その40%、約1.5haの景観と生産竹林の再生ができた。

②スギ・タケの古株の除去と林床の整備に多大の労力と経費がかかることが課題である。

●参加者の声

・タケがいろいろ役に立つことを知って感動した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈り面積	除伐面積	間伐面積	森林内整備	作業道敷設	県内	計
0.1ha	50本	1.2ha	0.8ha	0.5ha	1.5ha	0.2ha (100m)	2880人	2880人
実施場所：三重県明和町								

皮むき間伐

荒廃竹林整備促進事業

竹林整備隊

三重県松阪市駅部田町

●事業概要

　最近は放置され、厄介者となっている荒廃竹林において「美しい里山」の自然環境を再生するため、里山竹林の整備や竹材の利活用を促進するとともに、普及啓発活動などを行った。

具体的な活動として、

①荒廃竹林の整備活動

　月１回を基本として、荒廃竹林の整備を実施。

②イベントなどでの啓発活動など

　一般参加体験イベントの開催や各種イベントに参加し、竹林整備の必要性の啓発や、伐出された竹材を活用して、竹ポックリや手作り竹製品などを作成。

●事業成果等

　荒廃竹林が整備されたほか、イベントにおける普及啓発により、荒廃竹林の現状を多くの人々が理解し、活動参加者も徐々に増加しつつある。

　また、竹材を竹ポックリや竹プランターとして加工する体験イベントは、特に子どもや女性に大変好評であった。

　さらに、竹粉砕機によりタケをチップに加工し地域の畑に肥料やマルチの材料として提供し、地域の人々との連携を深めている。

●参加者の声

・竹林整備の必要性を理解した。

・タケの伐採も簡単ではないことがわかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	竹林間伐	県内	計
0.5ha	7回	176人	176人
実施場所：三重県多気町			

荒廃竹林の整備

みんなの宝、森林を整備し、森林に親しみ、森林に学ぼう

グリーンボランティア「森林づくり三重」

三重県四日市市小牧町

●事業概要

　名張市市営の「東山ふれあいの森」「野鳥公園」等の除伐・枯れ松の伐倒など林内整備を実施した。このフィールドはいつも20人前後の参加があり、また、女性会員の参加も多く昼食時には豚汁やラーメンなどを作って和気あいあいとした活動場所である。森とのふれあい活動では観光地である湯の山温泉の木工体験工房にて遠来のお客様や地元の来場者に対し、地元の間伐材を使った木工体験を楽しんでいただいた。その他には国有林や私有林などの間伐を実施したり、他団体との交流会や安全研修などの活動も実施した。

●事業成果等

　他団体との交流や我々の作業現場を見た市民の方々から、大きくなりすぎたり、道路にはみ出して迷惑となっている木の伐採依頼が最近多くなってきている。団体活動が認知されているが、通常の作業とは異なるので慎重に対応を検討した上で今後も引き受けていきたい。

●自己評価等

　計画に対しほぼ満足できる結果となっている。市民に対しても森林ボランティア活動をアピールできたと考えている。また、将来を担う子どもたちやお母さん方に木工体験などを通じて活動の大切さを訴えることができた。

●参加者の声

　イベントに参加した皆様から、喜びの声や来年もお願いしますといううれしい言葉をいただいている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	間伐面積	イベント回数	森林整備	木工指導	県内	県外	計
17.08ha	7.19ha	22回	106回	53回	1031人	75人	1106人
実施場所：三重県北勢町他							

間伐

比良山麓の里山保全事業2013

（一社）比良里山クラブ

大津市横木

●事業概要

目的は、大津市の里山林において、中学生を対象とした環境学習と里山イベントを実施し、里山の保全（整備、獣害対策）、バイオマスエネルギー利用等について理解させるものである。

内容は、里山での伐倒作業、薪割り、シカよけネットの修繕、エネルギーの変遷や野生動物に係る学習等と、グループによるディスカッションを行った。

●事業成果等

年々教育委員会の評価が高く、実施校が県の環境リーディング校に指定されたことから、益々授業取り組みへの関心や意識が強まっている。また、一緒に活動することによって、同じ思いを持つ仲間の存在を励みとすることができた。

●自己評価等

環境学習で各グループが取り組んだ目的や狙い、工夫ポイントについて発表し合えたことは指導した大人たちの大きな励みとなった。

イベントでは見学と体験を交え、質疑応答の時間をゆったりと持たせるなどの工夫したプログラムを実施できた。

●参加者の声

・山の木を使うと、山が元気になると思った。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2ha	1ha	130人	2人	132人
実施場所：大津市南比良法寺				

伐採の実演

上下流連携による森づくりおよび小規模自伐林業による森林整備推進事業

甲賀愛林クラブ

滋賀県甲賀市甲賀町

●事業概要

目的は、大阪市民及び甲賀市の市民に対する林業・森林体験を通じて、森林環境への理解を深めてもらうとともに、自伐林業による森林整備・木材利用の促進を行うもので、主な活動は以下の通りである。

①皮剥ぎ間伐体験及び里山体験（約150人参加）

②皮剥ぎ間伐後の伐採搬出（地域住民およびクラブ員）

③搬出材の製材研修２回（クラブ員）

④林地残材の搬出

⑤間伐材の搬出（作業道新設約100m　搬出材積約20㎥）

●事業成果等

森林整備の必要性と木材利用推進に対する機運が会員内に高まり、「木の駅プロジェクト」実施を進めることとなった。

●自己評価等

上下流連携による森づくり事業は、これまで10年間実施してきた結果、大阪豊中市民との信頼関係ができている。また、自伐林業の推進により積極的に木の駅プロジェクト立ち上げに結び付け、自伐林業実施者育成に結び付けられたことは大きな成果であった。

●参加者の声

・水源の山が守られて非常に喜んでいる。山の整備は必要。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	林業体験	製材体験	作業道新設	県内	県外	計
0.7ha	1回	2回	100m	100人	50人	150人
実施場所：滋賀県甲賀市						

間伐材の搬出

上流・下流の連携による、琵琶湖の水源、清流「安曇川」の源流を守る森づくり活動

(一社)安曇川流域・森と家づくりの会

大津市本堅田

●事業概要

都市部に対しても森林の大切さを強く発信することで森づくりへの関心・参画を高めるとともに、地域の森林所有者にも刺激となる活動を行っている。

①森林ボランティア活動

琵琶湖淀川水系の一般市民が、琵琶湖源流の森の働きを学び、琵琶湖の水源かん養する森づくり活動(間伐など)を実施した。

②琵琶湖源流の森見学会

一般市民を新緑の森に案内して、森林の素晴らしさ、森づくりの大切さを学んでもらった。

●事業成果等

都市部の若者が興味を抱く内容について、広く発信し、多くの参加者に来てもらい、森林の豊かさや課題、山村の現状を知ってもらった。

●自己評価等

森林見学と林業者や地域住民からの説明による普及啓発が多かったが、今後、実際に作業する活動を増やしたい。

●参加者の声

・身近にすばらしい自然があるのを知ることができた。また訪れたい。(30代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

森の学校へ行こう 森から家へ木の旅1dayバスツアー 琵琶湖水源の森森林見学トレッキング 森林ボランティア活動	県内	県外	計
	61人	59人	120人
実施場所：滋賀県大津市・高島市			

源流の森見学会

森林施業・林業生産等の体験と森林整備

府民の森ひよし森林倶楽部

京都市右京区梅津前田町

●事業概要

一般参加者と共に、「府民の森ひよし」にて、安全講習・技術講習、遊歩道整備及び、森林整備を行っており、

①台風被害による遊歩道、森林整備（会員・一般参加者約100人による整備、下草刈。電気柵の修理、及び新設200m）

②クヌギ、10本植栽（約30人で5a植栽）

③安全講習、技術講習を実施した。

●事業成果等

多くの一般参加者によって、森林整備（台風被害、獣害被害対策を含む。）作業をしたことによって、森林の大切さや重要性を共有・学ぶことができた。

植栽地や遊歩道は風雨による散乱もきれいに整地され、電気柵も元に戻り、獣害を最小限にくい止めた。

●自己評価等

50から100本の予定だったクヌギの植栽は、ドングリから育てたため、台風被害と獣害によって10本になったが、6月現在順調に生育が確認できた。

森林・遊歩道の整備は、月に1度の例会の割には、一般参加者も含めて、大過なく作業ができた。

今後は、会員を増やし、例会回数も増やし、森林整備などを充実させたい。

●参加者の声

・厳しい指導もあったが、楽しく作業できた。(60歳男性)

・来年もカブトムシの幼虫探しをやって下さい。(小学生)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	作業道等整備	間伐	府内	府外	計
0.5ha	10本	0.5ha	0.7ha	4回 1200m	45本	550人	190人	740人
樹種：クヌギ								
イベント：2013年5月3日新緑祭								
実施場所：京都府南丹市日吉町　府民の森ひよし内								

クヌギの植樹

東日本災害の復興に向けた協働植樹と森の教室・育苗活動の推進

(特) ニッポン・アクティブライフ・クラブ
大阪市中央区常盤町

●事業概要

東日本大震災からの復興に向け、緑を育て、自然の再生と人間の連帯を取り戻す活動として、主に次の作業を行った。

①福島市の舘の山、大森公園、南相馬市の夜ノ森公園で除染作業が終了した公園にサクラを植樹。
②南相馬市防風林の津波被災マツの代わりにクロマツの苗を植替え。
③津波被災した仙台市出花公園の低木の植替え。
④宮城県女川町出島の学校跡地にかん木、サクラを植樹。

●事業成果等

①植樹したサクラも育ち、来春から４年ぶり花見ができるようになった。
②サクラを植樹した宮城県女川町出島の学校跡地に隣接した場所に復興住宅が完成し新しい地域づくりが始まった。

●自己評価等

シカ害のおそれから植樹予定地を変更し、重機使用等による負担増が発生したので、今後は計画段階での精査を十分にする必要がある。

また、計画箇所の関係者との連携を強化する。

●参加者の声

・３・11被災地域の見学とあわせて植樹など復興作業に参加できたことは良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	県内	県外	計
375本	70人	310人	380人
樹種：サクラ、マツほか			
実施場所：福島県福島市、南相馬市、宮城県仙台市、女川町 東京都・代々木公園			

女川町出島学校跡地での下刈り

広がる森林ボランティアの輪

(特) 日本森林ボランティア協会
大阪市北区茶屋町

●事業概要

設立から15年になる当協会は、必要な手入れがされていない森林の手入れを行うことを目的としてスタートし、当初は、大阪府内を中心に活動を行ってきたが、昨年あたりから他県からの森林ボランティアによる森林整備活動の依頼が多く来るようになった。

他県での活動は、地元からの参加者もあり、活動の輪を広げる上では非常に喜ばしいが、その都度、必要な資材を事務所のある大阪から運搬しているので、各活動地リーダーにヘルメットやノコギリなど最低限必要な資材を保有してもらい、効率よく活動を行うことが必要である。

●事業成果等

特に協会が定例的に活動を行っている兵庫県篠山市では、会員以外の企業からの継続的な参加者が多い。兵庫県丹波市では地元の学校林の整備を依頼され、その中で地元小学校の児童対象に間伐体験を行った。また、米原市では協会会員の口コミにより、会員外の学生の参加があり、今回の資材が役に立った。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	間伐面積	その他	計
0.05ha	26本	5.80ha	2780本	225人
実施場所：兵庫県県丹波市、篠山市、滋賀県米原市				

丹波市進修小学校での間伐体験

森林の整備と連携して行う普及啓発活動

奈良県森林ボランティア連絡協議会

奈良市高畑町

●事業概要

①人工林（スギ、ヒノキ）0.7ha及び雑木林0.5haの間伐

　作業地が谷川に隣接するため、長さ４ｍの木橋２基を含む作業用道路120ｍを整備した。また、景観維持向上と災害予防の観点から枯損木の除去、谷川の堆積流木の撤去を行った。

②竹林0.2ha除伐

　チェーンソーを活用した放置竹林の伐倒や、景観・災害時避難場所の確保を行った。

③間伐材利用

　間伐材は木製ベンチ５台、シイタケホダ木、木柵補修、炭焼き用材に活用した。

④普及啓発活動

　木工クラフト、木製ベンチ作り等一般参加者に作業体験指導を行った。

●事業成果等

景観の維持向上に特に配慮して次の活動を行った。①風倒木枯損木が掛木状態で多数あったので完全撤去した。②谷川に堆積していた流木を撤去し、遊歩道からの景観を向上させた。③竹林の除伐では隣接する民有竹林からの倒れこみが多く除去した。

●自己評価等

間伐は予想以上の成果があり、竹林除伐は隣接地の竹林も処理したので予定の２倍程実施した。

新規参加者が少ない事がこれからの課題である。

●参加者の声

30年余を経た人工林では、伐倒を体験された方々がその迫力に驚きの声をあげていた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	間伐面積	間伐材利用	作業道建設	県内	県外	計
0.2ha	1.2ha	9.7㎥	120m	348人	34人	382人
実施場所：奈良県奈良市、大和郡山市、県立奈良自然公園内						

タケチッパーで処理

武住谷の人工林を甦らせよう！～森林整備ボランティア養成と地域材活用プロジェクト～

(特)紀州えこなびと

和歌山市善明寺

●事業概要

目的は、植栽後60年間放置されてきた人工林において、一般県民を対象とした間伐体験やチェーンソー講習を行い、森林整備への理解を深めるとともに、将来、地域で森林整備ボランティアに従事する人材を育成することである。

●事業成果等

約１haの人工林の間伐及び間伐材の搬出や講習会を通じて、チェーンソーの持ち方、作業時の姿勢から伐採までの様々なメニューを体験できた。

今後は、本事業で育成した森林整備ボランティアと共に、間伐区域をさらに拡大し、各地の森林整備ボランティアの目標となる森林づくりに取り組むとともに、ボランティアによる人工林整備の事例を地元に広く発信していきたい。

●参加者の声

・もっと経験を積んで自宅の裏山など、自分で手入れをしていきたい。

・放置された人工林を自分の力でどうにかしていきたい。

（間伐体験・チェーンソー講習参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	講習会	県内	計
約１ha	6回	60人	60人
実施場所：和歌山県田辺市本宮町			

チェーンソー作業講習会

高梁川源流域での環境保全型森林ボランティア活動による地域林業の振興

(一社) 水辺のユニオン
岡山県倉敷市本町

●事業概要

間伐などの保育作業を緊急に必要とする人工林が年々増加していることから、岡山県、新見市、新見市森林組合、創山林業㈱の共催により、学生ボランティアなどを募り、「環境保全型森林ボランティア活動」を実施した。

●事業成果等

「山(人工林)の整備で若者が貢献する」との認識が更に深まったほか、参加者と地域住民との交流が、双方の刺激になった。今後、市の林業の振興に本活動が寄与できる可能性を見出した。

●自己評価等

達成状況は、間伐の促進が面積で131%、作業道の開設が100%となった。本活動に協力する大学数を増やし、多くの学生ボランティアが参加できるよう安全対策・指導体制・作業方法などの体制整備を図っていきたい。

●参加者の声

・森林の知識や技術を学びたくて参加した。共同生活できるのも楽しみ。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

間伐面積	作業道	櫓建築	県内	県外	計
15.7ha	701m	1棟	30人	49人	79人
実施場所:岡山県新見市ほか					

間伐

「大志を抱く森づくりプロジェクト」事業

(公社) 徳島森林づくり推進機構
徳島市川内町

●事業概要

企業の社会的責任(CSR)としての環境活動の高まりを追い風に、「とくしま協働の森づくり事業」を推進するため、県内企業を中心に、県内に支店、営業所が所在する県外企業などにも、渉外活動を実施した。また、平成26年4月1日に(公社)徳島県林業公社との合併により、新たに(公社)徳島森林づくり推進機構が発足したことを契機に、林業公社が整備する分収林や、県、市町村の公有林などの森林整備を引き受ける体制が整い、大規模で計画的な団地整備や環境林整備などの新しい形の森林づくりの展開を開始した。

●事業成果等

企業団体に緑化推進への取り組みを高めてもらうことにより、整備箇所を大きなまとまりとし、効率かつ効果的な森林づくりが期待できる。

また、企業が主催する「企業の森づくり」も県内外の企業が一同に会し、森づくり活動を実施することで徳島県の森林環境に理解を頂き、さらなる「緑の募金(使途限定募金)」の展開が可能となる。

●自己評価等

①この事業を通じて、県外からサテライトオフィスなどで本県に事務所を開設した企業や、支店を有する企業などが、地域の児童などと共に「森づくり活動」を実施し、「緑の募金」への寄附が増額している。②しかし、東日本大震災のボランティア活動のように直接的な取り組みが社会貢献活動として行われたことや、原発事故によって全国的に発電の多くが火力に切り替わるなど社会状況が一変し、企業におけるCO_2削減に対する活動意識はトーンダウンしているのが現状である。

●参加者の声

・地域の方と森づくり活動を行う事で、企業の取り組みを理解していただいた。企業の従業員の数と同じ苗木を植える活動を徳島県で実施している。(企業)

・一緒に自然の事について学習できて良かった。また地元の良さもわかった。(緑の少年隊)

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

植付面積	植付本数	間伐面積	その他	県内	県外	計
0.2ha	200本	0.2ha	歩道整備	111人	7人	118人
実施場所:徳島県吉野川市・美波町						

「アジロ自然の森」整備及び子育て支援事業

アジロ山の自然と環境を守る会
高知市朝倉己

●事業概要
目的は、高知市中心部から近く、住民に利用しやすい自然体験型の森林である「アジロ自然の森」を整備し、子どもたちや親子が安心して利用できるよう整備するものであり、主な活動は次のとおりである。
①広葉樹を間伐し、「シイタケ」の原木や広場のイスに活用。
②遊歩道を子ども達と一緒に作設。
③「久保谷山風景林」のアカガシの巨木などの見学。
④「森のようちえん」など。

●事業成果等
間伐して遊歩道を作り、広場を作ったことから、子ども達が森の生き物と触れ合う場所が増えた。
また、「のこぎり体験」や「森のようちえん」の行事は、子どもが伸び伸びと自然を満喫し、学びながら子どもの五感を逞しく変化させることができた。

●自己評価等
森が明るくなり、間伐したコナラも「シイタケ」の原木として有効活用できた。
森の整備ができたことで「アジロ自然の森」の人気も上がり、子育て支援事業の参加申込みが多くなった。
今後は、未整理の森の保育間伐を行いながら、子どもが体験できる森の遊具づくり等を進める。

●参加者の声
・山に来ると１人で遊びを見つける。森の中での「読み聞かせ」はとても子どもを引きつけて良い。駒打ち体験ができて良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

歩道新設	間伐木利用	県内	県外	計
100m	30本・6㎥	303人	0人	303人
実施場所：高知市朝倉己　アジロ自然の森				

子どもたちが森と触れあう機会づくり

森・人・海　お守りプロジェクト

地球お守り隊
福岡市中央区小笹

●事業概要
筑後川流域の一般市民を対象に、森林保全作業・勉強会・ワークショップなどを開催し、今後の活動の指導者を育成するものである。
①チェーンソー作業従事者特別教育講習
②御前岳湧水・シオジの原生林散策（川の学校）
③森林保全作業（枝打ち・除伐・地拵え・実育苗の採取）

●事業成果等
筑後川から恩恵を受ける一般市民が「雨〜森〜川〜里〜街〜海」のつながりについて深く理解することができた。
チェーンソー作業従事者特別教育講習を実施したことにより、森林保全活動に従事する人材及び指導者の育成に繋がったと思われる。

●自己評価等
「森と人と海のつながり」について深く理解することができたので、今後はより多くの都市住民が、日田市津江地区を自分たちの水源地と意識し、森林保全活動に参加するよう活動の幅を広げていきたい。

●参加者の声
・川が生まれるところを見てうれしかった。（小学１年生）
・水源地の山を守ることが自分たちの水を守ることになるとわかった。（30代　保護者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	除伐面積	県内	県外	計
0.3ha	200本	0.6ha	278人	18人	296人
実施場所：大分県日田市中津江村					

森林整備

「緑の体験塾」アドバンス

(特) 森林をつくろう

佐賀県神埼市脊振町

●事業概要

都市部に生活する人たちに森林や林業を身近に感じる機会を作るものであり、日頃体験できない森林内の体験や木材加工に関する作業場の見学と作業体験などに取り組んだ。

具体的には、枝打ち、製材所見学、木工教室、植栽等を３日にわたって行った。

●事業成果等

昨年に続いての参加者が多く、植樹の際は昨年の植栽場所を見て「年々成長を見られるなら来年も参加したい」との話があった。森林について理解をしてもらうためには、長い時間も要するため、小さな活動の積み重ねが、やがて大きな輪になると、改めて感じた。

●自己評価等

計画通りにできない部分があり、反省点や今後の課題も感じたが、参加者が楽しく活動したり、輪の広がりを実感でき達成感があった。

●参加者の声

・伐採の現場を見たのは初めてで迫力があった。

・いろいろなものをつくることができて楽しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	枝打ち	県内	県外	計
0.15ha	400本	0.2ha	60人	80人	140人
樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ					
実施場所：佐賀県唐津市、神埼市					

ヤマザクラ、イロハモミジの植樹

緑川流域の豊かな緑と水と未来を守る放置竹林整備活動

(特) みずのとらベル隊

熊本県上益城郡山都町長崎

●事業概要

継続的な地域緑化、森林保全の活動から、多くの参加者には森林が私たちの暮らしに欠かせない重要な働きをしていることを認識してもらっており、今回は、昨年の植林地と今回の整備後の竹林を合わせて、周遊型の環境学習の場として利用できるようにすることを目的とし、竹林の整備を行った。

●事業成果等

今回は、近隣の高等学校の生徒ボランティア14人、子ども・一般37人、スタッフ20人を合わせ約70人の参加により放置竹林を整備することができた。

放置竹林を整備することにより植林地、自然林、放置竹林、竹林の違いを理解してもらい、それぞれの現状、問題点、改善点と活用法を理解してもらい、今後の継続的な活動への取り組みへと繋ぐことができた。

●自己評価等

昨年度の植林地と合わせて、植林地・自然林・竹林などの違いと現状を見学できるコースを作ることができたが、竹林整備では急斜面での伐採作業や、伐採後の竹を運び出す作業がかなり大変であることがわかった。また、協力していただいた地域の皆さんが新たに団体を立ち上げ、森林保全への活動をはじめられたことは、大きな成果となった。

高校生や大学生、一般の参加者の方々が大きな戦力となるので、活動に協力していただけるような体制づくりをしながら、次代の担い手を育てることが重要な課題である。

●参加者の声

・竹林整備がいつもはできないことなので楽しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	作業道整備	下刈	部分整備	県内	計
0.6ha	1ha	250m	約2か月	5回	80人	80人
実施場所：熊本県甲佐町						

高校生も参加して竹林整備

間伐材利活用の森と人を結ぶ「あったか防災薪」事業

おおづ森の守り人

熊本県菊池郡大津町

●事業概要

多くの町民が「森の守り人」として、森林健全化と森林資源の有効利用のために、様々な立場から協働していけるように活動を行うことを目的としている。

1．間伐を主とした森林整備を定例化し、材をバイオマス用、建築用に搬出することで、資源の有効活用を図った。
2．森の仕事体験会を定期的に実施し、多くの参加者に森林整備の基礎を習得してもらった。
3．町内の避難箇所である小中学校に、間伐材で製作した防災薪を設置し、環境意識の啓発に取り組んだ。
4．林災防のチェーンソー講習会に参加し、会員の技術向上に取り組んだ。

●事業成果等

1．間伐材は、チップ材や薪用又は建築用材としても搬出した。材の搬出もボランティア的な簡易な方法で行い、今後に向けてある程度の目途が立った。
2．昨年より継続している森の仕事体験会は、ＤＶＤ鑑賞を取り入れた座学も行い、内容が固まってきた。
3．県緑推イベントへの参加も積極的に行うことで、他のボランティアグループとの繋がりも深めることができた。

●自己評価等

間伐材を非常用エネルギーとして活用することによって森林と防災への意識を高めるというコンセントが理解され、成功裏に行われた。今後は間伐材搬出とその利用のスキルを上げ、工夫しながら活動を行う予定である。

●参加者の声

・自分の森林を整備するために参考になった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	森しごと体験会	森林整備、薪づくりほか	講習会参加	県内	計
0.1ha	0.4ha	3回	29回	4回	246人	246人
実施場所：熊本県大津町						

防災薪棚の設置

地球温暖化防止に資する水源林整備活動及び体験林業

人吉・球磨自然保護協会

熊本県人吉市大工町

●事業概要

大都市と地元の緑のボランティアや緑の少年団、ローソンオーナーが集合して、森林に関する様々な知識を習得しながら、植林・間伐などの森林整備活動を行い、地球温暖化防止に果たす水源涵養林の必要性を啓発した。

●事業成果等

このような取り組みは、今後多くの市民に森林の必要性を認識させるとともに、緑を主とした国内の温暖化ガスの削減推進に向けて、多大な貢献をするものと確信している。

●自己評価等

地球温暖化防止に関わる水源林の仕組みを知る上で、有意義な事業であった。今後は高齢者や緑の少年団の便宜を図るために、植林地の尾根筋などに歩道を整備したい。

●参加者の声

・木材を使った時計作りや、自然体験で珍しい生物を探したり、知識あふれる活動をしてきた。今回、私たちは、地球温暖化防止広報活動のために心をこめて風船につけるメッセージを書いた。
・今回の活動でしっかりと地球温暖化防止のことを学んだ。また来年も参加する。（中原緑の少年団）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.4ha	6本	6本	0.2ha	0.2ha	0.6h	130人	30人	160人
樹種：ケヤキ、モミジ								
実施場所：熊本県あさぎり町								

植樹や除間伐を行った

平成25年度　第11回「森林ボランティアの日」活動 in『中パの森』

はっぱクラブ

鹿児島県薩摩川内市青山町

●事業概要

第11回鹿児島県森林ボランティアの日活動として、「はっぱクラブ」が中心となって、企業の森『中パの森』において、県内森林ボランティアグループに一般市民も加えて、除伐、間伐、下刈りなどを行い、森林環境への意識啓発を図り、次世代に引き継ぐ森林自然環境の重要性を認識してもらうこととした。

●事業成果等

約5.5haの作業区域の中で、一斉に作業することで劇的な変化を遂げた。事業実施を一般市民へもアピールしたことで、翌年６月１日には薩摩川内市制10周年と川内駅100周年記念事業として開催された『ＪＲウオーク』の中継点として九州各県からの参加者約400人に、一般道から林内遊歩道の散策を体験してもらうことができた。

●自己評価等

ほぼ計画通りに達成できたが、市道から林内作業道に入るには50～60年生のシイ中心の枯れ木枝が常時発生しており、散策に危険が伴うことから、作業道空間を拡大し安全性の向上を図りたい。

●参加者の声

・市内にこんなに整備された森林があるのを初めて知った。
・ユーカリを初めて見たが、電柱みたいで、毎年皮がむける白い木肌にびっくりした。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1 ha	2 ha	2 ha	465人	5人	470人
実施場所：鹿児島県薩摩川内市					

シイ大木の伐倒研修

児童の自然観察と森づくり（3年目）

みどりの二季会

鹿児島市吉野町

●事業概要

轟木の滝の下流400mの左右の河畔林を対象に、みどりの少年団、新聞公募の家族を中心にした間伐・下刈、森の散策、シイタケの種コマ打ち、木の実のクラフト、タケノコ掘り等を行った。

●事業成果等

子どもはもとより母親たちが生き生きと活動した。

●参加者の声

・森林の中の作業や学習はとても楽しい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐・下払・粉砕 自然観察・シイタケ駒打ち	計
	74人
実施場所：鹿児島県霧島市	

シイタケの駒打ち

荒廃竹林（森林）の整備

田舎の環境を守る会

鹿児島県薩摩川内市中村町

●事業概要

長年人々の手が加えられず、荒廃が進む山林・竹林を整備することにより、地球温暖化などの環境破壊を防止するとともに、地域住民及び子どもたちが田舎の自然環境を大切にする心を育てる活動を行った。

なお、中越パルプ川内工場がモウソウチクを原料にした紙の生産を始めているので、山林・竹林の整備活動に伴って出てくる不要なモウソウチクは紙パルプの原料として利用した。

●事業成果等

旧住居跡とその周りの竹林は、手入れもされず、荒廃が進んでいたが、作業をした結果、地域の居住環境が大幅に改善された。

●参加者の声

今回の作業箇所は、市営住宅と地区運動場への道路に隣接しているため、近隣住民より歓迎された。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	チップ用モウソウチクの間伐・玉切り及び雑木・枯枝の除去・焼却作業	県内	計
0.25ha	48回	126人	126人
実施場所：鹿児島県薩摩川内市中村町			

モウソウチク林の整備

蛤浜 間伐体験と森づくり啓発事業

(特) MAKE THE HEAVEN

神戸市北区

●事業概要

石巻市桃浦蛤浜は、震災前19世帯だったが、津波の影響で住居が流され、現在２世帯だけが浜に残り生活をしている。山林は、人手も足りなく放置されているため、間伐や浜の清掃を実施した。

●事業成果等

全国から公募した者と地元の協力者・ボランティア138人の参加があり、

①「被災地の現状とボランティアの役割」、「日本の森の現状と今、自分たちにできること」、「過疎が進む浜の現状」等の問題提起・意見交換を行った。

②地元の高校生を含め、間伐が遅れている森での間伐・皮むきの実習を行った。

③市民とハワイからのボランティアがタケの侵入が進む森でタケの撤去作業、森や浜の清掃を行った。

●自己評価等

日本の森と被災地の現状を体感し、具体的に動くことで被災した浜の復興の一助になれた。

今後の課題として間伐材の活用を進めていきたい。

●参加者の声

・暗い森から、光と緑と命あふれる森へ再生することを身近に考えられるようになった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.65ha	0.5ha	77人	82人	159人
実施場所：宮城県石巻市				

タケの伐採

高尾山周辺森林の台風被害跡地調査および風倒かかり木処理技術研修

五反舎

東京都小金井市梶野町

●事業概要

目的は、台風被害木・傾斜木を安全に伐倒する技術や伐倒木をロープワークで搬出する技術を学ぶための研修である。

内容は、被災地における森林ボランティアを対象とした実地研修であり、準備作業（除伐、作業道整備、被害木調査）のほか、専門家による技術研修（座学・実習）を行った。具体的には、伐倒におけるリスクの確認・共有・軽減、ロープワークでの架線搬出方法等である。

●事業成果等

作業に潜むリスクの洗い出し、全員で共有することの大切さを学んだ。

なお研修後は、学んだ技術・道具を活用し、間伐、伐倒木の集材を行っている。

●自己評価等

参加者が器具の使い方等に習熟していない段階における専門家の指導は有意義であった。今後は確実に技術を習得し、実際の作業に活用していく。

●参加者の声

・ロープや滑車などの道具をうまく使ってシステムをつくるにはかなりの力学的な知識が必要だが、考えるプロセスも醍醐味だと思った。（40代女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	間伐面積	伐倒研修	計
0.5ha	0.15ha	間伐6本	124人
実施場所：東京都八王子市南浅川			

道具の使用方法についての実践研修

防災林を奥利根地域で育てるボランティア活動事業

上州の防災・森づくりの会

東京都世田谷区赤堤

●事業概要

目的は、高畠山南麓の共同利用牧場跡地を、自然災害の抑制・防止及び安全・安心な水源林として再生させることであり、今回の主な活動は次の通りである。

①ナラ苗木100本の植栽。
②手入れされてない広葉樹林の下刈り。
③ナラなどの有益樹を除く雑木の間伐・除伐。
④森林環境教育。

●事業成果等

放置され荒れ果てた牧場跡地の一部ではあるが、植栽によって、森に戻されることを示すことができたが、一旦失われた森を元に戻すことがいかにに大変かを実感できた。

また、周辺の手入れされてない林や、道路法面の下刈り、間伐・除伐などで一帯が見違えるほど明るくなって、森林の保全活動の有益性・重要性を参加者に理解してもらえた。

●自己評価等

小さな活動であるが計画通り実施できたが、若い参加者の増加は得られなかった。山に目を向ける人が一人でも多くなり、森林・山村の状況を都市住民に知らせるためには、都会の若者の力が大切なことから、参加しやすい休日などを選ぶ工夫が必要である。

●参加者の声

・下刈りをすると若木が喜んでいるようでうれしかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積
0.02ha	100本	0.2ha	0.2ha	0.2ha
樹種：ナラ、トチノキ、クヌギ				
実施場所：群馬県みなかみ町				

ナラ、トチノキ、クヌギの植樹

広島県竹原市における市民・企業・行政一体となった被災森林回復植林活動

(特) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

広島県竹原市は、平成６年に発生した大規模な森林火災により約380haの森林が消失した。その後、改植したものの、瀬戸内特有の花崗岩地質土壌で養分が少ないため、20年経過した現在でも山肌が剥き出しの場所が目立っている。

このため、被災森林において市民・企業・行政の参加による植樹活動を行い、森林の再生及び環境保全・防災に対する意識啓発と協働の場づくりを行った。

また、森林組合の協力を得て対象地区の一部に積苗工を行い、活着率の向上を図り着実な森林の再生に繋げた。

●事業成果等

実施を予定していた国有林は、急傾斜であったため、ボランティアの安全性などを考え場所を市有林へ変更し、特に傾斜の急な場所においては、前年同様に積苗工を施工し安全性と活着率の向上を図った。

また、協賛企業の協力を得てポスターでの広報活動を積極的に行った結果、市外からの一般ボランティア参加者を増やすことができた。

●参加者の声

・市内を一望できる見晴の良い場所で気持ち良く作業できて楽しかった。(40代女性・親子)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.4ha	680本	0.69ha	153人	17人	170人
樹種：スーパーマツ、ヤマザクラ、ウバメガシ、モチノキ、モッコクほか					
実施場所：広島県竹原市小梨町（市有林）					

ウバメガシ、モチノキなどを植樹

いのちを守る海岸防災林づくり復興応援

(特) 森びとプロジェクト委員会

東京都北区東田端

●事業概要

目的は、2011年の東日本大震災の被災地での海岸防災林植樹の復興応援である。

①南相馬市鎮魂復興市民植樹祭への参加協力と苗木の提供

②名取市での海岸防災林植樹への参加協力及び苗木の提供

③植樹前の植樹マウントづくり、植樹後の育樹・育苗活動、市民への啓蒙活動・植樹リーダー養成講座開催

④苗木提供協力のため育苗活動

●事業成果等

南相馬市鎮魂復興市民植樹祭の開催(平成25年10月６日)に向けて取り組んで来た苗木づくりは、多くの市民ボランティアが共に担ってくれ、このボランティアの中から、植樹祭当日は「植樹リーダー」として活躍する市民も出てきた。宮城県名取市での海岸防災林植樹は、予定地が粘土質で泥田状態が続いていたので、止むなく植樹が延期となった。

●自己評価等

植樹祭で使用する苗木は、放射能の問題から栃木県足尾町と岩手県八幡平市の苗床で１～２年育て、それを南相馬市の苗床に運搬後、現地状況に慣れさせてから提供してきた。この間、多くのボランティアの存在があってこその活動だった。

●参加者の声

・想像以上の被害を実感したので、木を植えるという自然回帰の取り組みに力を貸したい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植樹リーダー養成講座	南相馬市鎮魂復興市民植樹祭へ苗木提供	県内	県外	計
2回	4000本 樹種：タブノキ、アカガシほか	366人	142人	508人
実施場所：福島県南相馬市鹿島区（植樹）及び原町区（苗床）				

鎮魂復興市民植樹祭

ナラ類等の広葉樹を守り育てる森林ボランティア活動事業

山村の広葉樹を守り育てる会

横浜市金沢区柴町

●事業概要

「カシノナガキクイムシ」による森林被害が全国的に拡大し、奥地水源林地域における森林も大きく損なわれている。このため、カシナガ被害が早くから発生してきた山形県西川町でミズナラ、コナラなどの広葉樹を中心とする林内を対象に、首都圏の都市住民グループと地元住民のボランテイアが連携し、ナラ伐採作業を行った。

また、群馬県川場村の広葉樹林内で、植生の粗放な林地におけるナラ苗木の植栽、林内における下刈りなどを行った。

●事業成果等

ナラ類の若木育成が、これからの「カシナガキクイムシの発生」を抑制する有力な手段であることを実感できた。現場では、「カシナガ被害に強い林分になるための萌芽更新の元となるナラ」（西川町）、「ナラの若木」（川場村）が多く、効果が期待できる。

●自己評価等

地域の個別的対応に加えて、都市住民のエネルギー・労力を山村住民との交流活動の中で体系的に活用していくことが有力な手段・手法であることを認識できた。

●参加者の声

・ボランテイアが参加しやすい条件整備に努め、木炭の新しい活用などを進め、ナラ枯れ被害の発生し難い林相への転換が重要となる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	間伐・下刈面積	県内	県外	合計
0.3ha	100本	3.5ha	40人	52人	92人
樹種：コナラ					
実施場所：山形県西川町、群馬県川場村					

国民参加による災害に強い森づくり事業

(特) 里山クリーン新潟

新潟県阿賀野市村杉

●事業概要

荒廃している森林において、市民ボランティア、企業団体、緑の少年団、ボーイスカウトなどの参加者延べ160人で植樹（コナラ、ブナ、ケヤキ、クヌギなど300本）、下刈り、除伐、間伐材の搬出、木工体験等を行った。

●事業成果等

豪雨や土砂災害に強い森づくりについて参加者と共に勉強して粗朶工法作業を実践することができた。また、子ども達70人が参加した木工体験にでは、ミニベンチを２時間かけ製作し、山の恵みを満喫した。

●参加者の声

・経験したことない体験に感動して大変良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	合計
0.5ha	300本	1.0ha	0.7ha	0.5ha	120人	120人
樹種：ブナ、コナラ、ケヤキほか						
実施場所：新潟県阿賀野市						

ブナやコナラなどを植樹

立科・君津・奥多摩における急峻な人工林の災害防止を兼ねた森林整備

(特) 自然文化国際交流協会

長野県北佐久郡立科町

●事業概要

当団体は長野県立科及び千葉県君津市・東京都奥多摩町などの人工林において、女性や子ども、発達障害の青少年等多様な人々の参加で、除伐、枝打ち、間伐などの人工林の整備を行ってきた。各拠点には急峻な人工林が未整備のまま放置されているので、風害・雪害による倒木防止や土壌流出防止、多様な人々参加の森林整備の推進を目的に、除伐・間伐枝打ちなどを行った。さらに密度管理講習会、安全確保のための作業道整備の方法、崩れない道づくり等の講習会を行った。

●事業成果等

君津市や立科町の人工林において女性や子ども、発達障害の青少年等多様な人々の参加の下除伐や間伐、搬出等の森林細微を行ったことで雪害風害による倒木や土壌流出の危険の高かった人工林の整備が推進された。また、現場の地形を考慮した崩れない道づくりの方法を学ぶことで、森林整備における作業道の重要性や山の地形の見方、崩れない道づくりの方法などを学習した。今後の森林整備に生かすことが期待できる。

●自己評価等

計画目標の80%程度の達成状況だが、今回の事業で関係者のスキルが各方面で向上したので、次年度は効率の良い作業が期待できる。ボランティアスタッフの安全管理と技術向上が今後の課題といえる。

●参加者の声

・地形の特性を読み取り、長い年月がたっても崩れない作業道を作ることがいかに大切か分かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	下刈面積	除伐面積	間伐面積	イベント	作業道整備	間伐僕の利用	県内	県外	計
0.2ha	3ha	6ha	6.5ha	12回	350m	5㎥	60人	230人	290人
実施場所：長野県立科町　千葉県君津市									

災害に強い森づくりを推進し、安全・安心の里山を

(特) 名古屋シティ・フォレスター倶楽部

名古屋市西区幅下

●事業概要

①事業地はスギ・ヒノキ人工林や竹林等からなる里山で放置森林が拡がっている上、砂質地盤のため、自然災害が多発しやすい地域である。このため、人工林の間伐や竹除伐により森林の健全性を向上させ、浸食・崩壊を抑制する土留め工事を行うことにより、災害に強い森づくりを進めた。

②森林作業の安全と技術向上を図るため、研修会を開催。

③森林ボランティアの日イベント「里山学校」では一般参加者を迎え、森林機能である水の循環の解説、タケ間伐体験と併せタケの利活用として箸・お椀を製作した。

④森林整備の相互理解とボランティア活動の円滑な展開を図るため、山主等地元関係者懇談会を開催した。

⑤森林管理局主催「森林ボランティア・ＮＰＯ連携推進会議」参加や、「みどりのフェスティバル14」を支援した。

●事業成果等

①倶楽部員全体の間伐技術の底上げが図れた。

②山がきれいになったことが実感できる環境になった。

③山主等との懇談により、森林整備への関心の高まりと共に、当倶楽部の森林ボランティア活動への信頼が深まった。

●自己評価等

・今後とも地域との連携を深めていきたい。

・一般市民向けには森林ボランティアの日「里山学校」等を通じて継続的な活動を推進していきたい

●参加者の声

・自然とのふれあい体験は貴重である。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

人工林間伐	竹（雑木）除伐	土留め工事	研修	イベント	交流会	計
約1.3ha 約190 本	約0.3 ha	2日	3日	3日	3日	349 人

間伐完了後に土留め工事

「木の駅プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業

奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会

島根県仁多郡奥出雲町

●事業概要

奥出雲町の「木の駅プロジェクト」の推進に当たり、「災害に強い山林を作ろう！」との意識を町内だけでなく斐伊川流域に広く普及啓発するため次のことを実施した。

①松江市・出雲市など斐伊川下流域の住民へも呼びかけて、「森の健康診断」を行い間伐の現状を認識した。

②「木の駅プロジェクト」参加者を対象に、ジットしまねのメンバーによる安全作業技術研修を実施した。

③「災害に強い山づくり」をテーマとした講演会を開催した。

④モデル林の間伐を実施し災害に強い山林とするため、専門家からモデル林の今後の管理へのアドバイスをいただいた。

●事業成果等

①「森の健康診断」には、都市住民を含む40人が参加し、「災害を防ぐためにも間伐の推進が必要」との認識を深めることができた。

②「安全作業技術研修」には、30人が参加し、チェンソーの目立てなど徹底した研修を受け、アンケート調査ではほとんどの参加者が「役に立った」と評価した。

③「講演会」には、25人が参加し、「広葉樹林が良いと思っていたが、健全なスギの人工林が災害に強いとわかり、よかった」などの感想があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	104人	1人	105人
実施場所：島根県奥出雲町			

間伐後の人工林

土砂災害を防ぐ森づくり活動～高丸山千年の森

かみかつ里山倶楽部

徳島県勝浦郡上勝町

●事業概要

広葉樹の森づくりを進めると同時に、ボランティアが地域の林業家や専門家に学びながら、簡易な伝統的森林土木技術を用いた路網・法面の修繕、技術習得、災害に強い森林づくり活動を進めた。

●事業成果等

①土砂災害に強い森づくり活動の実践による広葉樹林の施業を進めることができた。

②公募参加者と伝統的土木技術を持つ技術者とのマッチングを図ったことから、各参加者が習得した技術を活用するため積極的に行動していた。

③広葉樹の森林づくりが土砂災害の予防に意義のあるという認識を持った。

④事業の記録パネルを作成したので、様々な機会に活用したい。

●自己評価等

計画通り実施できたが反省点として、周知やニーズ把握の甘さを感じた。また、参加者にとって、簡易な土木工事でも防災に役立つことは馴染みが薄いので、理解してもらう仕掛づくりが必要である。今後は防災に関する総合的な講座内容の充実を図り、機械類の操作方法などとの連携を図りたい。

●参加者の声

「技術を習得できて良かった」、「より深く学びたい」、「参加できて良かった」等などであった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	森林整備	県内	計
24ha	4回	59人	59人
実施場所：徳島県上勝町			

石垣積み

災害に強い森づくりと収入になる森林経営を両立させる自伐林業方式の確立と、その自伐林業家（誰でも参入容易な）の育成及び普及事業

(特) 土佐の森・救援隊
高知県吾川郡いの町

●事業概要

自伐林家の施業方法を学びつつ、自伐型林業の実践（間伐・搬出、作業道開設、出荷）及び木材買取・販売について実践した。また、自伐型林業普及のための研修会やフォーラムなどを実施した。

●事業成果等

実践活動や産業界との連携も動き出したので、この事例を持続可能な地方創生システムとして全国展開し、林業再生、山村再生ツールとして進化させることができた。これより、自伐型林業が進展すれば必ず林業改革、地方創生ができると確信する。

●自己評価等

間伐材は、Ａ材（原木市場に対応できるもの）が300㎥、Ｃ材（バイオ原料、薪として提供）が500ｔに達した。実践的な林地残材・搬出・運搬システム、森林証券制度（モリ券）の導入による山村地域経済の活性化システムを確立し、産業界との連携をさらにすすめることができた。今後は災害に強い森づくりと収入（所得）になる施業を両立させる「自伐型林業の仕組みづくり」へとステップアップさせることが課題である。

●参加者の声

・山には宝物がいっぱい詰まっている。活動を通じて、山から生命力をもらったようだ。山は不思議だ。（主婦）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	県内	県外	計
5.0ha	235人	860人	1095人
実施場所：高知県いの町、佐川町、日高村他			

軽架線による搬出研修

「道も治すぞ！」水俣・水源の森づくり

水俣市久木野地域振興会
熊本県水俣市久木野

●事業概要

当会では、平成７年４月より「水源の森」づくりを行い、21haの常緑広葉樹林を順調に育成している。また、炭焼きによりCO_2を固定し、温暖化対策を行っている。

本事業では、水源の森の中の作業道を石垣で修復し伝統的土木技術の伝承を図るとともに、防災についての勉強会を開催し、土石流危険渓流が多くある山村での暮らしを考えた。

●事業成果等

働くアウトドア

・「水源の森」でつる切りを行い、森林を育成した。
・約３haのヒノキ人工林で下刈りを行い、成長を助けた。
・竹炭を約120kg焼き、畑にまいて二酸化炭素を固定した。

石垣積み教室

・「水源の森」の作業道の路肩を修復し、石垣を新設した。

水源の森づくり

・愛林館で育成中の「水源の森」にてつる切り作業を行った。

防災講演会

・森林の手入れでは深層崩壊は防げないが、小規模な崩れは防げる。土砂災害には早めの避難が最も有効である。

●自己評価等

・以前から懸案であった作業道の崩れを修復し、車が安心して通れるようになった。
・予定通りにつる切りを行った。水源の森の順調な生育が見られて、大変嬉しい。

●参加者の声

・夏の暑い時期に森に入り、つる切りを行うと、木に光が当たって、木が喜んでいるような気がした。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	つる切り	炭焼き	石垣積み	県内	県外	計
3ha	1ha	5ha	120kg	12㎡	37人	13人	50人
実施場所：熊本県水俣市久木野							

石垣積み

緑 化 の 推 進

学校林で「げんきの森林づくりと森遊び」

(特) 森林遊びサポートセンター

札幌市南区藤野４条

●事業概要
①げんきの森づくり
②森林遊び
③遊歩道内標識設置
④危険木除去
●事業成果等
①げんきの森づくり：５年生による地拵えと２年生23人によるエゾヤマザクラ大苗20本とナナカマド大苗20本の植樹。
②森林遊び：子ども樹木博士15人の認定。
③遊歩道内標識設置：学校林「小鳥の村」遊歩道の分岐点５ヶ所に設置し、安全散策を確保。
④危険木除去：枯損木や風倒木を除去し、入林者の安全確保。
●自己評価等
当初計画通りの実施であり、学校、子どもたちからも好評であった。
●参加者の声
学校側も子どもたち、保護者からも今後も継続するように要請があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	計
0.2ha	40本	191人
実施場所：札幌市南区石山		

風倒木などを処理

おいらせ町海岸防災林震災復興植樹祭

(公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原

●事業概要
植樹祭を通じて、東日本大震災からの復興に向けての発信の場と被害を後世に語り継ぐ事や環境緑化の普及を図る事と目的に、地域住民、林業関係者等の県民参加型で、被災した海岸防災林造成の植樹祭を開催した。
①苗木を風から守る柵の設置
②クロマツの植栽
●事業成果等
県民に、海岸防災林の果たしている機能が忘れられる傾向が強いので、東日本大震災の教訓として、防災林の重要性や機能をマスコミを通じて、普及する事ができた。
●自己評価等
天候に恵まれ、予定どおり無事に植樹祭を終える事ができた。
セレモニー関係で時間がかかり、少し植樹作業の時間が短くなった。
県民に防災林や森林の重要性について、いろんな機会を捉えて啓発する必要がある。
●参加者の声
・付近のマツが枯れて痛々しい。
・元気に大きく育ってほしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.158ha	1580本	0.158ha	360人	360人
樹種：クロマツ				
実施場所：青森県おいらせ町				

クロマツを植樹

八戸市東日本大震災復興植樹

（公社）青森県緑化推進委員会

青森市松原

●事業概要

八戸市民の森不習岳の山開き４月27日にあわせて、一般公募市民60人が参加して植樹活動を実施し、５月２日にも津波に襲われた八戸市多賀小学校の児童・先生123人が参加し、東日本震災復興植樹活動を２回実施した。

①市民が参加して植樹するフィールド0.1ha整備した。

②４月27日の山開きにあわせて、一般市民がサクラ・モミジなど100本を植樹した。

③５月２日被災した小学校123人がサクラ・モミジなど183本を植樹した。

●事業成果等

八戸市民並びに被災地域の直接津波に襲われた八戸市内の小学校児童に東日本大震災復興植樹を通じて震災を忘れないような活動ができた事と、地元紙に記事が掲載され、広く県民に被災地域での緑の募金活用について普及啓発を図る事ができた。

●自己評価等

市民の森の管理事務所に、造園工の技術を持っている方々がいたので、植樹作業がスムーズに行えた。

気温が少し低くかったので、参加者への寒さ対策を考える必要があった。

震災を忘れないような事業を継続的に行う必要がある。

●参加者の声

・植えた木をまた見に来たい。

・木工クラフトが楽しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	285本	1.0ha	183人	183人
樹種：サクラ、モミジ				
実施場所：青森県八戸市				

サクラやモミジを植樹

東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！どんぐりプロジェクト

（公財）日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

●事業概要

全国の子どもたちが中心となって、被災地（岩手・宮城・福島）に植える広葉樹（ドングリ）の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育てる。これを通じ、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献することを目的とする。

●事業成果等

3県において、地元の親子などを対象にしたドングリ拾いイベントを企画・開催し、集まったドングリ約80kg（約２万個）を、全国266団体、約6600人に送付した。

2011年、2012年にドングリを送付した育苗者に対し苗木の生育状況調査を行い、樹種、本数、大きさを把握した。

宮城県名取市、福島県いわき市において、プロジェクトで育てた苗木の植樹を行ったほか、福島県内での植樹イベントに苗木を提供した。

●自己評価等

３年間の採種活動を終了し、今後は育苗参加者をサポートするとともに、植樹及び育林活動に注力していく。

植栽地の決定が進んでいない。最初の年に配布したドングリは十分な大きさに育ってきており、現地関係者への働きかけを強化していきたい。

●参加者の声

・３年前から、夏休みにも水やりをしたり、ワラを敷いたりして、一生懸命世話をしてきました。苗木と別れるのは寂しいけれど、ここで大きく育ってほしいと思います。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	ドングリ拾い	県内	県外	計
160本	クヌギ、コナラ等約80kg	239人	28人	267
コナラ、ウバメガシ				
実施場所：岩手・宮城・福島3県、宮城県名取市、福島県いわき市				

ドングリから育てた苗木を植樹

気仙地区植樹祭 ～東日本大震災津波からの復興を目指して～

（公社）岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

岩手県の気仙地域は、東日本大震災津波により海岸近くの市街地を中心として壊滅的な被害を受けた。

現在、当該地域では、関係機関が連携し、復興・復旧に向けて取り組んでいるところであり、津波で失われた街を力強く立ち直らせ住民が一体となって地域づくりを行う必要があることを鑑み、この恵まれた自然を大切にし次の世代に引き継ぐため、大震災津波からの復旧・復興を祈念する植樹活動を行った。

●事業成果等

植樹活動を通じて、改めて東日本大震災からの復旧・復興と水源かん養機能や地球温暖化防止、豊かな水産資源の生産など多くの役割を持つ森林について、参加者全員が意識を醸成することができた。

●自己評価等

一般の参加者が少なく関係者の参加が多かったものの次代を担う地元小学生の参加を得られたことが次の世代に森林を引き継ことになり、大変良かった。

今後は、参加の周知方法や範囲を拡大して参加者の確保に努めたい。

●参加者の声

・苗木を植えるのは楽しい。みんな大きく育って陸前高田の名所になってほしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.16ha	480本	69人	69人
樹種：スギ			
実施場所：岩手県陸前高田市			

小学生も参加して植樹

甦れ！新浜公園事業

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町

●事業概要

福島市の中央にある「新浜公園」は、多くの市民の憩いの場として親しまれてきた。しかし、東日本大震災で発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質でこの公園は汚染され、市が公園の除染を目的として全ての植栽を除去した結果、緑の潤いが失われてしまった。そこで、この新浜公園を再び緑豊かな市民の憩いの場に戻すため、市内の幼稚園児と市民ボランティアの協力により植栽を実施した。

●事業成果等

いままで何も植栽されていなかった花壇にこひつじ幼稚園、福島文化幼稚園の園児たちと市民ボランティアの協力を得て色とりどりのベゴニアやカンナが植えられ、また、3年ぶりに市民の憩いの場として甦った「新浜公園」に、シンボルとしてシダレザクラを植栽をした。

●自己評価等

一般市民の参加もあり、「花や緑で生活を明るくし、復興の第一歩とする」イベントとして、大きな効果があった。

●参加者の声

植栽を終えた幼稚園児が「元気で育つように植えた」「楽しかった」など今回の作業を喜んでいた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.3ha	2,341本	210人	210人
樹種：カンナ、ベゴニア、ビオラ、ベニシダレザクラ			
実施場所：福島市　新浜公園			

公園のシンボルとしてベニシダレザクラを植えた

放射性物質汚染対策による林業振興事業

（公社）宮城県緑化推進委員会
仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

福島第一原発事故に伴う放射能汚染は、森林・林業にも被害が及んでいる。特に原木露地栽培シイタケは、ほだ木・原木の廃棄処分、生産品の出荷制限指示を受けており、宮城県では、157万本が放射能汚染ほだ木として処分され、21市町でシイタケの出荷制限指示を受けている。

このため、①情報提供を主とした講演会を開催し、生産再開に向け、宮城県で進めている「汚染ほだ木等撤去集積事業」、「原木供給事業」と有機的な連携を図り、②ポスト3.11の新しい地産地消を目指して、県内外の生産者、消費団体などとの意見交換を行った。また、自治体と連携して広葉樹立木の放射能測定を行った。

●事業成果等

生産再開の足掛かりとし、宮城県が進めている事業との連携の必要性が理解された。また、県内外の生産者、消費団体などの意見交換の場となったことで、同じ悩みを持つ仲間意識や生産継続への意欲の奮起に大いに効果があった。

●自己評価等

放射性物質汚染対策は、これまで経験のない課題でもあることから、情報の提供や意見交換を行ったことは有意義だった。今後は、地域の生産者などと行政や試験研究機関が一体となった、より有機的・重層的な連携が期待できる。

●参加者の声

・原木露地栽培は守り育ててきた伝統ある産業であり再開できるようにしてほしい。
・国や県は、出荷制限解除への道筋を示してほしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

講演会	県内	県外	計
2回	147人	15人	162人
実施場所：宮城県大崎市			

講演会、パネルディスカッションを行った

東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－A工区－

（公社）宮城県緑化推進委員会
仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林の復旧・再生を行う「みどりのきずな」再生プロジェクトの一環として、仙台市若林区荒浜地内において、県内外のＮＰＯ、企業など14団体が参加して植樹を行った。

●事業成果等

名取市閖上地区を中心に活動するボランティア団体は、今回の活動により同じ沿岸部の復興を支援するという誇りと意識を醸成するとともに森林ボランティア団体間の交流を深め、高校生グループは社会参加と協働を実践する貴重な経験となった。

●自己評価等

これらの活動により、「絆効果」が得られ、今後の海岸防災林の復旧・維持はもとより、震災からの復興への大きな力となると期待する。

●参加者の声

・名取の海岸にはいつ植えられるのかな、早く見たい。
・無事に根付いて、早く大きくなーれ！（名取市民）
・被災した沿岸部の手伝いができて本当にうれしい。
・今後も力になります。（内陸部のボランティア）
・力仕事はまかせてください。（農業高校生）
・高校生たちは校外での活動で大きく成長する。（担任の先生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.2ha	1000本	100人	100人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：仙台市若林区荒浜地内			

クロマツを植樹

東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ｂ工区－

（公社）宮城県緑化推進委員会
仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林の復旧・再生を行い「みどりのきずな」再生プロジェクトの一環として、仙台市若林区荒浜地内において、県内外のＮＰＯ、企業など14団体が参加して植樹を行った。

●事業成果等

内陸部を中心に活動するボランティア団体、沿岸部の復興にも協力しようと、他の森林ボランティア団体や児童・生徒にも声をかけ、海岸防災林の植樹活動に取り組むなど連携を強めている。

今回の植樹では、抵抗性クロマツ及び抵抗性アカマツ計500本を植栽し、11月まで保育・巡視などの活動を行った。

●参加者の声

・津波の恐ろしさを改めて知った。
・木が成長するまで何年もかかるが、継続して森林の保育活動を行いたい。（参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.11ha	500本	43人	43人
樹種：抵抗性クロマツ、抵抗性アカマツ			
実施場所：仙台市若林区荒浜地内国有林			

クロマツ、アカマツを植樹

東日本大震災復興事業「みどりのきずな」－Ｃ工区－

（公社）宮城県緑化推進委員会
仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林の復旧・再生を行う「みどりのきずな」再生プロジェクトの一環として、仙台市若林区荒浜地区内において、県内外のＮＰＯ、企業など14団体が参加して植樹を行った。

●事業成果等

仙台市を中心に活動するボランティア団体は、七ヶ浜の海岸林再生や、沿岸部の復興へ向けた活動を積極的に行い連携を強めている。

今回の植樹では、抵抗性クロマツ、コナラ、ヤマザクラ計460本を植栽し、その後、10月までに計４回の保育作業を行った。

●自己評価等

活動を通じて、広葉樹はクロマツに比べ枯損などが多い、また、内陸側からの飛砂などへの対応が必要であることなど、海岸林造成は難しい技術であることを改めて感じた。今後とも、長い道のりではあるが地道に頑張っていくことを確認した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.11ha	450本	40人	40人
樹種：抵抗性クロマツ、コナラ、ヤマザクラ			
実施場所：仙台市若林区荒浜地内国有林			

東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－D工区－

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災によって被災した海岸防災林の復旧・再生を行う「みどりのきずな」再生プロジェクトの一環として、東北森林管理局管内の国有林のうち、生育基盤の造成工事が完了した箇所の一部において、ＮＰＯ、企業などの民間団体による協力を得ながら植樹を行った。

●事業成果等

仙台市太白区に事務所をおくボランティア団体は、会員、一般参加者を含めて総勢92人が参加して、植樹を行ったほか、８月と11月に草取りなどの保育作業を行うなど、積極的に復興活動を行っていた。

なお、今回は抵抗性クロマツのほか、公益社団法人ゴルフ緑化促進会から支援のあった千葉県産抵抗性アカマツも周辺木との造林成績比較のため植栽した。（農林水産大臣の承認済）

●参加者の声

・海岸林の重要性がよく理解できた。

・来年もこのような植樹の機会があれば参加したい。（参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.13ha	650本	122人	122人
樹種：抵抗性クロマツ、抵抗性アカマツ			
実施場所：仙台市若林区荒浜地内国有林			

クロマツを植樹

東日本大震災復興事業「みどりのきずな」植樹事業－Ｅ工区－

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

仙台市若林区荒浜において、東日本大震災からの復興のため、「みどりのきずな」再生プロジェクトの一環として、植樹を行った。

●事業成果等

102人が参加し、東日本大震災の犠牲者への黙祷の後、抵抗性クロマツ550本を植樹した。

●自己評価等

参加者は、400年前に植え始められた潮除須賀松林を平成の世に甦らせようと植林を行い、復興への誓いを新たにしていた

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.12ha	550本	102人	102人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：仙台市若林区荒浜地内国有林			

クロマツを植樹

震災仮設住宅に緑いっぱい推進事業

（公社）岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

仮設住宅に暮らす方々に、花と緑を育む機会を創出し、こころの安らぎと潤いのある暮らしを少しでも取り戻していただくことを目的に、間伐材によるプランターケースと花と野菜の栽培セットを希望する方に無料で配布した。

また、配布の際、グリーンアドバイザーによる栽培講習会を実施した。

●事業成果等

宮古市田老地区仮設住宅に暮らす皆さんは、どうしても住宅に籠りがちな生活が続いていた。およそ350世帯に対して緑の栽培セットの配布希望を募ったところ、230世帯からの希望申込みがあるなど大きな反響があった。

栽培セットは、花と野菜を一緒に育てることができることから、栽培を通して、秋までの間、視覚と味覚を楽しむことができ、生活の潤いが期待される。

●自己評価等

どの程度希望者あるか、不安であったが、65％の方から要望があり、また、当日にも希望が殺到するなど、極めてタイムリーな活動であった。

また、間伐材は、地元産であることが認証された材を使い、さらに、加工も地元業者によって行ったことから、地産地消の観点から、地域の森林・林業・林産業の振興にも繋がり、震災復興の一助となったと評価したい。

●参加者の声

・花を見ると気持ちが落ち着く。大事に育てたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

プランターセット配布	県内	計
230セット	90人	90人
実施場所：岩手県宮古市田老　グリーピア三陸仮設住宅団地		

花と緑で仮設住宅の生活に潤いを

「森は海の恋人」植樹祭 ～東日本大震災津波からの復興を目指して～

（公社）岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

東日本大震災津波の発生により宮城県気仙沼の海は、大きな被害を受け早急な復旧が必要とされている。海の復活に欠かせない沢山の養分を含んだ水資源を少しでも多く届けるためには、上流域での植樹活動が欠かせない。

このことから、「海の民」と「山の民」が手を取り合って力を合せ、あの大惨事からの復興を祈念するとともに、森の元気を海に届けるため、植樹祭を開催した。

●事業成果等

全国各地から1400人の参加を得て1500本の広葉樹の植樹を行った。この植樹活動により、海の復活に欠かせない沢山の養分を含んだ水が、被災地である宮城県気仙沼湾にそそぎ、牡蠣などの海の生物が復活し、豊かに育つことが期待される。

●自己評価等

1000人を超える参加者になると、植樹会場も手狭になり、一人1本程度の植樹しかできず参加者が満足しているのか不安な点もある。反面、植樹場所の確保も困難になっており、今後、広葉樹を伐採して広葉樹を植栽しなければならない事態も想定される。

●参加者の声

・海の復興には、沢山の養分を含んだ水を海にそそぐことが必要であり、また、森－川－海と繋がる自然の壮大な生態系保全の取り組みは、地球規模の環境保全の取組みとして高く評価され、この運動を今後も継続して実施していただきたいし、今後も参加したい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	1500本	0.5ha	500人	900人	1400人
樹種：ミズナラ、コナラ、カツラ、ミズキ、トチ、ブナほか					
実施場所：岩手県一関市室根町					

1400人が参加

大森山（里山）再生事業

（特）松川浦ふれあいサポート

福島県相馬市尾浜

●事業概要

目的は、東日本大震災により津波被害を受けた相馬市松川浦環境公園に隣接する大森山（里山）再生事業として、塩害で枯れた木の伐採、間伐、震災ゴミの整理及び搬出などを実施するものであり、主な活動は、次の通りである。

①被害木の伐採、間伐、搬出、利用

②地域住民の憩いの場、子ども達の勉強の場（遊び場）となるよう下刈り、ササタケ切り、やぶの整備、遊歩道整備、防護柵の設置等の環境整備を実施。

③イベント及び環境教育の実施

●事業成果等

多くのボランティア及び地域住民が参加し、枯れ木の伐採、間伐、震災ゴミの撤去、搬出し、震災後荒れた状態であった里山が整備された。

また、作業やイベント開催、環境教育、木工教室開催等により、普段森林と触れ合う機会が少なかった参加者も、森林の大切さや、里山の必要性を学ぶことができた。

●自己評価等

一部未整備の箇所は、海岸付近の崖になっている足場の悪い箇所に立っている枯れ木の伐採がまだ終わっていない。今後の課題としては、下刈りなどは継続実施しなければならない。

●参加者の声

・夏の山体験学校はとても楽しかった（小学生）

・大森山が下刈りされていて、遊歩道もあり、歩いて散策ができ、眺めることができ大変良かった（保護者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	遊歩道整備	防護柵	間伐木利用	体験学校木工教室環境学習	県内	県外	計
0.36ha	0.1ha	0.25ha	210m	50m	40本	3回	415人	42人	457人
実施場所：福島県相馬市　大森山									

林内が整備され、地域の人が訪れるようになった

エコキャンプ２０１３

エコキャンプ２０１３実行委員会

岡山市北区柳町

●事業概要

親子で自然を体験、感動を得るとともに地球環境に対する理解を深めるため植樹会、自然観察会、講演会などを実施するものである。

香川県小豆郡の小豆島オートビレッジＹＯＳＨＩＤＡにおいて、親子124人の参加による「エコキャンプ2013」を開催し、①ハマボウの苗木0.5ha・40本の植樹、②自然観察教室、③オリーブクラフト教室、④エコ体験教室、⑤エコドライブ選手権、⑥キャンプファイヤーなどを実施した。

●事業成果等

植樹会、自然観察会などの野外活動を通じて、森を守り育てていこうという気運が盛り上がった。植樹会では、ハマボウの苗木40本をスコップを使い丁寧に植え付け、将来大きく育つことを願った。また、自然観察会などで、普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者が環境保護への関心を高めた。

●自己評価等

計画通り植栽でき森林の大切さや環境保全の啓発につながった。

●参加者の声

・苗木が花を咲かせる２、３年後に、また小豆島に来たい。（小４女子）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	40本	124人	124人
実施場所：香川県小豆島町			

ハマボウの植樹

親と子協働の森づくりと自然体験活動

（公社）北海道森と緑の会

札幌市中央区北四条

●事業概要

㈱ツルハ ホールディングスがＰ＆Ｇジャパン㈱を通じ、「緑の募金」を活用して行う植樹活動である。

当会と北海道札幌市環境局が覚書きを取り交わし、札幌市清田区有明の札幌市都市環境林にある風倒被害地において、市民ボランティアと子ども達が植樹活動を行い、森林復元するものである。

また、参加する市民や子ども達を対象に付近の森林を活用した自然体験活動や観察会、ワークショップなどを行い、森への親しみを深めてもらうとともに、環境保全と緑化意識の高揚を図っている。

●事業成果等

都市環境林に親子、市民ボランティア、主催スタッフ、総勢125人がバスと自家用車などで集まり、開会式の後、石狩振興局森林室の植樹指導によりアカエゾマツの苗木200本を全員で植樹した。

植樹後、「白旗山トレッキング」を希望する参加者と、親子が一緒に楽しむ「森の探し物ビンゴ（自然観察）」に分かれて自然体験活動を実施した。午後は苗木づくりを行う「森のタネをまこう」と、「森の役割」の実験を全員で観察した。

●自己評価等

参加者は、ほのかに香る森のにおいをかぎながら、汗を流して植樹に取り組んでいた。

スタッフによる植樹方法の説明は分かりやすく、植樹後に行われた各種イベントも好評であった。

●参加者の声

来年の植樹会にも参加したいという市民が多数いた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	道内	道外	計
0.10ha	200本	0.40ha	0.40ha	121人	4人	125人
樹種：アカエゾマツ						
実施場所：札幌市清田区						

125人が参加

日豪観光交流年事業
日豪環境ボランティアプログラム
「新南三陸時間～海を育む森」

（一社）南三陸町観光協会

宮城県本吉郡南三陸町

●事業概要

南三陸町は水源も河口も町内にあり、森と海のつながりや流域の管理モデルが見えやすい場所である。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた南三陸町において、外部からのボランティアと地元の人とが南三陸町の豊かな海とその海を育む森の価値を再認識し、再生に向けた作業を共同ですることは、町の再生にとって重要なことである。主な活動内容は、次のとおりである。

・田東山森林維持管理活動（下刈）
・入谷地区森林維持管理活動（間伐）
・漁業支援活動（漁具サンドバッグ作り）
・交流拠点施設の備品制作（靴箱、ベンチ）
・里地散策及び伝統文化の体験

●事業成果等

単なるボランティア活動にとどまらない交流ができ、参加者同士のネットワークが生まれた。

また、南三陸町の今後を考えるワークショップでは大変貴重な意見やアイディアが共有でき、今後の南三陸町のツーリズム受け入れのひとつの形として継続発展させていける実践事例となった。

●参加者の声

・これからの南三陸を考えていく上でのヒントやアイディアを聞けて良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県内	県外	国外	計
3.5ha	1.0ha	2人	27人	10	39人
実施場所：宮城県南三陸町					

間伐材の運び出し

「つたえよう　美しき森」

「つたえよう　美しき森」推進委員会
金沢市古府２丁目

●事業概要
森を知るには、まず森に行き森に親しむことから始めようと「おーい！森に行こう」をスローガンに、県民参加型の様々な事業展開をしている。森の音楽会は、若い人達に音楽を通して森の大切さを伝えようとの趣旨で、様々なジャンルのグループに出演してもらい、また、ネイチャーガイドによる説明を受けながらのトレッキングや樹木医の指導によるコナラの植樹、木工教室も合わせて実施した。

●事業成果等
金沢市民芸術村ミュージック工房を拠点に活動する中高校生ビックバンド「ジュニアジャズオーケストラ JAZZ-21」などが出演し、秋の気配が濃くなってきた森に軽快な調べが響き渡った。また、トレッキングや植樹では山の役割などの説明を受け、森林保全の大切さに理解を深めた。

●自己評価等
地元密着型の森林での音楽会として一定の認知は得られているが、多くの参加者を呼び込むためには、さらにプラスアルファの要素が必要と考える。森林への誘いという点では紅葉が始まったタイミングでもあるが、気温の低下などもあり、開催日を検討する必要があるとも考える。

●参加者の声
「紅葉が始まった獅子吼高原を楽しめた」「毎年、楽しみにしている。年に１度、この時だけ獅子吼高原に来る」

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	20本	94人	94人
樹種：コナラ			
実施場所：石川県白山市　獅子吼高原			

コナラの植樹

青少年による竹林ルネッサンス事業～21世紀のかぐや姫事業～

(特) 日本青少年音楽芸能協会
東京都新宿区西新宿

●事業概要
青少年と保護者が、竹林の特性及びその有効活用について学習し、実際に竹林の整備やタケの採取、そのタケを素材とした楽器やおもちゃの作製等を行い、竹林整備の必要性と新たな竹の活用について学ぶことを目的とする。主な活動は次の通りである。
①竹林の特性と整備、日常生活と竹との関係及びその有効活用についての学習会
②竹林の手入れとタケの採取
③タケを素材とした楽器づくり・おもちゃづくり
④作製した楽器による音楽専門家たちとの交流演奏
⑤青少年による活動の趣旨を紹介する看板の設置

●事業成果等
荒れていた竹林が整備された。また、タケの特性や生活にどのように使われてきたかを学習したり、楽器やおもちゃをつくり、交流演奏を行うことによって、自然体験と環境保全の大切さの両方を知らせることができた。

●自己評価等
計画通り、竹林の整備、タケの有効利用について学び、地元の住民とも交流ができたことで、今後もこの地域の竹林の手入れやタケの有効利用の継続に繋がるだろう。

●参加者の声
・切り出したタケで、ほら貝やレインスティックを作ってみんなで演奏できて楽しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	間伐竹利用	交流演奏会	県内	県外	計
0.01ha	40本	2回	327人	42人	369人
タケを利用した楽器、おもちゃ作り 作ったタケの楽器で音楽専門家との演奏会					
実施場所：富山市小羽地域および旧小羽小学校					

家族参加で竹林整備

地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」

(認特) 共存の森ネットワーク

東京都世田谷区宮坂

●事業概要

目的は、森林を育て利用した暮らしや、その暮らしを支えてきた「森の名手・名人」たちの知恵や技を学び、活動を実践し、森づくりのネットワークを広げていくことである。新潟県村上市（高根）、愛知県豊田市（足助）、滋賀県大津市（堂町）、奈良県川上村（高原）において、人々を繋ぎ地域づくりの方向性も考えながら、地域内外の住民が協働し、地域の暮らしに根差した、持続的な森づくりの形の仕組みづくりを行った。

●事業成果等

森林整備の担い手の高齢化が進む堂町と高原では、地元の方のニーズを聞きながら、森の整備や活用方法を共に考える地域外の若者を増やしていくことが重要であることがわかった。

●自己評価等

高根でのブナ林の整備は、地域の方の協力の下、ブナの周りの手刈りの場所と、その他の広い面の草刈機での作業とに分かれて効率よく作業することができた。また、足助での竹林整備についても、参加人数に合せて作業内容を分担するなど、各回で工夫をしながら作業を行った。

堂町や高原では聞き取りした内容を次年度の活動に生かして活動できるよう、地元の方との調整を進めていく必要がある。

●参加者の声

・地域の方から農業や林業の話を聞いたり、企業の方を交えて都会や田舎の違いの話などを話すことができ、良い経験となった。（大学１年女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
6ha	4ha	24人	70人	94人
実施場所：新潟県村上市、愛知県豊田市、滋賀県大津市、奈良県川上村				

竹林整備

フォークロアーの森づくり　関東地区

(特) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

目的は、「森の名手・名人」等から里山の恵みを活かす知恵や技を学び、地元の住民とともに、薄れつつある里山と人の暮らしの関係を結び直すための方策を考え、実践していくことである。具体的には、県有林「鶴舞創造の森」と近隣の山小川集落において、「森の名手・名人」の指導を受けながら、地元住民と協働で里山整備活動を実施し、また、周辺地域ごとの魅力を発信するための「宝もの探し」を地域住民とともに実施し、外部に発信するための資料作成のための基礎調べを行った。

●事業成果等

活動フィールドとなっている「鶴舞創造の森」では展望台の整備と散策路の整備を進めることができた。特に、展望台付近は雑木が生い茂り、多方面へ行く散策路をふさいでいたところを整備し、見晴らしを確保した。

また、「宝もの探し」の調査はテーマを変えて4回行うことができた。

●自己評価等

人が集まる里山作りを目指し、活動の前半は「鶴舞創造の森」の散策道や見晴台を整備することが予定通り行えた。また、里山を使った鶴舞・山小川地域の暮らしの魅力を地域外の人に発信するための情報は、聞き取り調査を通して十分に集まり、今後は新たな参加者を巻き込みつつ、それらの情報を効果的に発信する方法を考えていきたい。

●参加者の声

・豊かな自然とそこで暮らす方々の温かさを感じた。鶴舞創造の森では、展望台から見た景色がとても印象的で癒された。（大学２年女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	県外	計
8ha	0.2ha	85人	85人
実施場所：千葉県市原市			

里山整備

活樹祭　～こども間伐体験～

環境ＮＰＯオフィス町内会
東京都港区芝浦

●事業概要
子ども達に林業の大切さを伝えるため、「木を切って使うことは、健康な森づくりに必要なこと」をキーワードにした「活樹祭～こども間伐体験～」を、「キッザニア東京」と協力して実施した。岩手県葛巻町において、２泊３日、参加者34人、運営スタッフ９人の計43人で、葛巻町森林組合の協力のもと以下の活動を行った。
①木材の活用方法を知る…「木質バイオマス施設」「炭焼き施設」を見学し、木材の使い道、木材の大切さに気づく。
②林業の仕事体験…林業体験として「間伐」「玉切り」を体験。
③木材を使う体験…活樹祭を記念した「トーテムポール」を森林組合の専門家と一緒に制作。
④ふりかえり…林業体験をふりかえり、「活樹祭」を広める新聞を作成。自分達でできる活樹方法について考え、活樹宣言。
⑤緑の募金活動…キッザニア施設内に緑の募金箱を常設。

●事業成果等
山での作業は、森林組合の専門家と一緒に５班に分かれて、およそ１haの間伐を行い、間伐材は薪として活用するために玉切りした。

●自己評価等
「活樹祭」の完成度を高めながら実績を重ねることができたので、今後は、「活樹祭」を全国各地に広めていきたい。

●参加者の声（参加者の感想等）
・木によって温水を作って雪を溶かしていると聞き、木はいろいろな使い方があることがよく分かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	県内	県外	計
1 ha	10人	24人	34人
実施場所：岩手県葛巻町			

間伐材を玉切り

「全国の道の駅」と連携した緑の募金活動推進事業（6）

（特）人と道研究会
東京都千代田区三番町

●事業概要
当会発行の「道21世紀新聞」は、全国の「道の駅」1030駅に配布されており、その紙面を活用して「緑の募金」活動をアピールした。また、緑の募金活動の重要性を直接訴えるミニ防災セミナーや写真展を「道の駅」で開催するとともに、「緑の募金箱付きラック」の導入促進を図った。

●事業成果等
①新聞を発行すると、読者から約1000～2000通のハガキが寄せられる。森の大切さの再認識や緑の募金活動への好意的な感想が書かれていて、緑化啓発活動の浸透が把握できた。
②高知県道の駅「やす」、栃木県道の駅「もてぎ」、千葉県道の駅「オライはすぬま」で写真展を実施し、一般の方々が森林の大切さへの関心を高めた。
③ミニ防災セミナーでは、森林の大切さを一般の方々へ直接アピールできるプログラムを用意し、高知県「やす」“高知県の森について”、栃木県「もてぎ」“栃木県の森が地域を救う”、千葉県「オライはすぬま」“海岸林の防災機能”と題した講演を行った。

●参加者の声
・「木を植えてきた日本人」という記事に新潟県で開いた全国植樹祭のことが出ていたので、学校林の世話をしている小学6年生の末娘と一緒に一生懸命読みました。（新潟市　主婦）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

緑の募金の啓発活動	巡回写真展開催	計
ルートプレス紙での広報	高知県道の駅「やす」 栃木県道の駅「もてぎ」 千葉県道の駅「オライはすぬま」	250万9311人
実施場所：新聞広報は全国、その他は高知県、栃木県、千葉県		

山武市長の挨拶

安全な間伐推進モデル事業

森づくり安全技術・技能全国推進協議会

東京都千代田区六番町

●事業概要

ボランティアの活用によって過密人工林の間伐を推進するため、安全に対する意識の定着と作業技術の向上を図り、また、安全な間伐活動のモデルを示し、全国の森林ボランティア団体の間で同様の活動が広がる契機とする。

●事業成果等

高い技術と指導力を持つ講師を招き、安全な作業技術を学ぶ研修会と間伐作業の両方を行ったことから、各フィールドにおいて、間伐による環境改善が実現したほか、参加者の技術・技能及び安全意識が向上した。同様の事業を今後も実施してほしいとの声も聞かれ、安全な作業を学ぶ場のニーズが確かに存在することを知ることができた。

●自己評価等

参加者・講師・所有者・主催者にとって意義のある事業となり、参加者が高い満足度を示したことは主催者として喜びであり、研修会開催のノウハウを蓄積できたことも有益であった。

課題としては、さらに工夫を重ね、より広く本事業の存在を知って頂けるような効果的な広報を行うことである。

●参加者の声

・自分の中で「怖いな」と思っていたことが「楽しいな」に変わった。

・知らなかったこと、初めて使う道具がたくさんあり、良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	県内	県外	計
2.9ha	46人	26人	72人
実施場所：福島県いわき市、広島県廿日市市、東京都千代田区、群馬県赤城山、東京都あきる野市			

安全作業を学ぶ

「復活の森」再生キャラバン

（特）吉里吉里国

岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里

●事業概要

目的は、東日本大震災による津波で、塩害を受けた里山人工林の整備や森林空間の有効活用によって、被災地の自然環境の回復、次世代を担う人材の育成を図るとともに、被災前よりも豊かな海の再生に寄与することである。

●事業成果等

①塩害木の伐採、撤去等の活動は、大槌町条例「海の見える美しい街づくり」に合致する成果を残すとともに、地域の安全確保（２次災害の防止）に貢献した。

②森林教室に参加した子ども達（30人）に自然の美しさ、厳しさ、森林資源の素晴らしさ、大切さを伝えることができた。

これらの取り組みは、地域住民が一体となり森林保全に取り組める仕組みづくりにつながった。

●参加者の声

・今後の仕事に役立つ研修が受けられた。（林業学校参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	皆伐面積	県内	計
1.5ha	1.5ha	53人	53人
実施場所：岩手県大槌町			

里山人工林での除間伐

「みやぎバットの森林＆とうほくとっとり・森林の里親プロジェクト」植樹事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

震災復興の気運を高めるとともに、みどりの文化と野球の文化との末永い発展を願いつつ、地元プロ野球球団とみどりの少年団などがバットの原木となるアオダモなどの広葉樹の植樹を行った。また、鳥取県からの復興支援プロジェクト（ドングリの里親事業）によって生育したコナラを両県みどりの少年団が植樹した。

●事業成果等

バットの森林植樹事業は球団と地域をつなげる行事として定着しており、また、里親プロジェクトは、宮城の子どもたちが拾ったドングリを鳥取県で育て、両県のみどりの少年団が植樹することで、親交を深める良い機会となった。

●自己評価等

バットの森林植樹事業は、2005年から県内各地で実施されているが、再造林地や子どもたちの減少の中で、これからの進め方を再検討することも必要である。また、天候が不安定な中では、臨機応変にスケジュールを変更する必要があるが、関係者の理解と協力が必要である。

●参加者の声

鳥取のみどりの少年団員からは、「津波被害の凄さに驚いた。来年も、木が大きくなってからも宮城に来たい」との感想があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.37ha	350本	100人	13人	113人
樹種：アオダモ，コナラ、ヤマザクラ、ケヤキ				
実施場所：宮城県女川町				

アオダモなどの植樹

地域産間伐認証材を活用した津波避難歩道設置事業

（公社）岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

東日本大震災津波により釜石市鵜住居町根浜地域は全世帯が流失した。以前より津波被害の対策として裏山に避難路があったが、海岸線特有の急峻な地形と避難路の路面が整正されていないことから、幼・高齢者及び車いすの方々の避難が遅れた。このことから、誰でも安全に避難できる避難路の開設が早急に必要とされた。

そこで、地元の安全は、地元で確保しようと、地域住民と釜石地方森林組合が協力し、「絆の森プロジェクト」を立ち上げ、幼・高齢者や体の不自由な方でも車いすで安全に避難できるよう、間伐材を活用した避難歩道を開設した。

●事業成果等

間伐材を活用した避難歩道を開設するという初めての試みで、設計から施工まで釜石地方森林組合が管理した。ボランティアの方々での活動であったため、何度も車いすを試験走行させ、試行錯誤を繰り返しながらの活動であったが、みなさんの尽力により完成できた。

●自己評価等

震災地域の方々への復興への希望を与えるとともに新たな木材の活用方法が証明できた。このことは、震災後の木材の需要拡大の第一歩となり、また、森林の持つ公益的機能（海と山）の重要性を広く周知できたものと考える。

●参加者の声

・当初は避難歩道を開設できるかどうか不安だったが、回を重ねることに形が見えることで自信が持て、自分たちの力が少しでも被災地域に役立ってもらえ良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	避難歩道	県内	県外	計
1.81ha	200本	160m	60人	236人	296人
樹種：ドウダンツツジ、ヤマツツジ					
実施場所：岩手県釜石市					

津波避難歩道

東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D

(公財) 日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

●事業概要

全国の子どもたちが中心となって、被災地（岩手・宮城・福島）に植える広葉樹の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育てることを通じ、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献することを目的とする。

●事業成果等

3県において、地元の親子等を対象にしたドングリ拾いイベントを企画・開催し、集まったドングリ約80kg（約25000個）を、参加申し込みのあった全国266団体に送付した。

2011年、2012年にドングリを送付した育苗者に対し苗木の生育状況調査を行い、樹種、本数、大きさを把握した。

宮城県名取市、福島県いわき市において、プロジェクトで育てた苗木の植樹を行ったほか、福島県内での植樹イベントに苗木を提供した。

●自己評価等

採種活動は、たくさんのドングリを集めることができた。当初の計画通り３年間の採種活動を終了し、今後は育苗参加者をサポートし、植樹及び育林活動に注力していく。

海岸林の再生に向けた動きが大幅に遅れていることもあり、植栽地の決定が進んでいない。現地関係者への働きかけを強化していきたい。

●参加者の声

・３年前から、夏休みにも水やりをしたり、わらを敷いたりして、一生懸命世話をしてきました。苗木と別れるのは寂しいけれど、大きく育ってほしいと思います。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	ドングリ拾い	県内	県外	計
160本	約80kg	239人	28人	267人
樹種：コナラ、ウバメガシ				
実施場所：岩手・宮城・福島3県、宮城県名取市、福島県いわき市				

子どもたちがドングリから育てている

震災地域における学校環境教育向上のための緑化事業

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町

●事業概要

目的は、東日本大震災などの影響により活動が制限されている緑の少年団が、学校の環境緑化を取り組むことで、活動の機会を増やし学校全体の雰囲気を明るくするとともに、学校敷地内などの植樹活動を行うことにより学校教育環境の向上と森林環境教育を推進するものである。

内容は、小学校脇の道路沿いにサクラ苗木、ヤマボウシなどを植栽し、校庭内の花壇に球根を植えた。なお、学校周辺の広範囲の敷地内を整備するため、木製階段の設置やベンチの設置、また緑化木の植栽に支柱設置などを行った。

●事業成果等

植栽作業を緑の少年団である児童が参加者の方と一緒に行うことで、さらに緑化活動を積極的に取り組む意識を高めた。

●参加者の声

植栽を終えた緑の少年団が「緑あふれる学校になるように、全校みんなで頑張ります」と決意を述べた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.02ha	21本	95人	２人	97人
樹種：サクラ、ヤマボウシ、モミジ、ハナモモ				
実施場所：福島県田村市船引町				

サクラ、ヤマボウシなどを植樹

震災地域における吉浜小学校教育環境向上のための緑化事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

校地内北側法面の上部地盤が、東日本大震災によって傾き、雨水などの流入や、法面が浸食される状況であったことから、法面の保護工事を行った上で、新たに緑化木の植栽などを行った。また、施設への倒木被害や病害虫などの恐れのある大木の手入れなどを行うことにより、校内緑化を推進し、学校教育環境の向上と児童の緑化意識の高揚を図ることを目的に実施した。

●事業成果等

雨水等は排水管に誘導し、法面を緑地帯として整備することができた。現在、つるバラ等の樹木は冬越ししている状態であるが、春とともに成長し、やがて赤と白の花を咲かせ、児童や保護者、地域住民の目を楽しませ、情操面への効果も期待される。また、樹木の伐採などにより施設等への被害を心配することなく、教育活動を展開できるようになった。

今後は校庭南側を中心として緑化整備を進めたい。

●自己評価等

今回、緑の募金事業により震災で被害を受けた部分が補修されたが、一部予算の関係で緑化できない部分があった。

●参加者の声

学校ではパンジーやチューリップを植え、季節を楽しんだり勉強に役立てたりしてきた。今年はバラやツツジを植えることができ、とてもうれしい気持ちだ。緑が増えると、心が豊かになってくる。(児童作文より)

実績とりまとめ表 (作業内容・参加者数)

植付面積	植付本数	その他	県内	計
187㎡	13本	4本	34人	34人
樹種：ツルバラ、ハナミズキ、マンサク、ツバキ				
実施場所：岩手県大船渡市三陸町　吉浜小学校内				

法面の緑化

馬籠小学校における記念植樹及び桜古木の剪定事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災地域における学校教育環境の向上を図るため、みどりの少年団育成強化整備事業の一環として、学校敷地の緑化などの環境整備を行うもので、オオヤマザクラ２本をみどりの少年団、教師、育成会の皆様とともに記念植樹した。また、校庭周辺のサクラの古木の剪定を春と秋に行った。

●事業成果等

創立141年の歴史ある馬籠小学校は、スギを校木とし、全日本学校緑化コンクールの学校林の部での特選やこれまで数多くの緑化関係コンクールで輝かしい功績を上げてきた県内屈指の学校環境緑化、環境教育に熱心な学校である。

そのような馬籠小学校も、東日本大震災の津波で浸水した区域に近いこともあり、今回、多くのみどりの少年団員と地域育成会が参加しての植樹や、地震に耐えた桜古木の剪定作業は、歴史ある学校環境としての緑豊かなふるさとの大切さを改めて心にとめる機会となった。また、地域にとっても明るさと活気をもたらしたと思う。

●自己評価等

馬籠小学校は、地域密着の緑化啓発活動などの輝かしい活動実績の歴史があり、今回の校庭周辺での修景についても、緑豊かで元気な地域づくりを意識したものと受け止められる。これからも小学校を核とした緑化活動を期待する。

●参加者の声

子どもたちや地域の育成会などの関係者は、「全国からの温かい支援に感謝する」とともに「大切に育てて、みどりあふれる環境をつくりたい」と思いを新たにしていた。

実績とりまとめ表 (作業内容・参加者数)

植付本数	県内	県外	計
２本	36人	2人	38人
樹種：オオヤマザクラ			
実施場所：宮城県気仙沼市　馬籠小学校			

記念植樹

森林環境学習フィールド整備事業

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町

●事業概要
東日本大震災復興事業として、埼玉県の中学校の協力により被災県の福島県の復興支援のシンボルとして、林業体験フィールドを整備し、地域の小中学生などの森林環境学習のほか、県外に対し福島県の復興支援の発信をすることで、お互いの絆を深めることができた。
●事業成果等
森林に関する理解の深まりとともに共同植栽により被災県と都市の交流を図れたことや震災支援復興応援のシンボルとして長く後世に引き継ぐきっかけづくりとなった。
●参加者の声
苗木が育つ過程が気になるので、また南会津町を訪れたいとの意見も多くあった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.7ha	100本	50人	200人	250人
樹種：ケヤキ、サクラ、アカマツ、ブナ、シラカバ				
実施場所：福島県南会津町				

ケヤキ、サクラなどを植樹

震災地域における小屋瀬小学校教育環境向上のための緑化事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会
盛岡市中央通

●事業概要
将来を担う葛巻地区森林愛護少年団員を励まし、また、今後の少年団活動の活性化と地域の震災からの復興を祈念するため、オオヤマザクラなどの植樹会を開催した。また、サクラの生長や自然観察をする散策路（木材チップ舗装）の整備、ブルーベリーの植栽など、自然と調和した、学校教育環境向上のための緑化推進事業を実施した。
●事業成果等
植栽したサクラは、花の咲く時期が若干異なり、長い期間花を楽しめるようになっている。また、この事業を契機に、隣接する地域にもオオヤマザクラが植栽されることになる等、地域住民の緑化意識も高まった。
また、サクラの管理は、公民館活動と一体となって行われることになっており、サクラが地域のシンボルとなることが期待される。
●自己評価等
学校の環境緑化については、地域の住民の関心も高く、今回のようにこれを契機に地域でも独自にサクラを植栽する機運が高まった。また、この事業をきっかけに緑の少年団活動が活発化し、第23回緑の少年団全国大会への参加につながり、全国の緑の少年団員との交流が深まった。
●参加者の声
・自然を壊さないよう森林を守る活動を続けたい。
・海の恵みを育てるためには、森林がしっかりしていなければならない。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	看板	木柵の設置	県内	県外	計
120本	1基	78.3m	70人	5人	75人
樹種：オオヤマザクラ、ソメイヨシノ、ブルーベリー、イチョウ					
実施場所：岩手県葛巻町立小屋瀬小学校地内					

オオヤマザクラ、イチョウなどを植樹

石巻市金華山復興支援植樹事業

(一社) ブッシュクローバコミュニティ

仙台市青葉区赤坂

●事業概要

宮城県石巻市の太平洋に浮かぶ金華山は、東日本大震災の震源地に最も近く、津波と土砂崩れにより甚大な被害を受けた。特に、樹木が流されたことにより、毎年の大雨で、更に土砂崩れが発生する悪循環となっており、早急な植樹対策が必要だったことから、今回、金華山黄金山神社の敷地公園内に植樹を行い、防シカ柵を修理・設置した。

●事業成果等

ヤマザクラの苗25本を植樹し、一本ごとに、防シカ柵を設置した。防シカ柵は、金華山のこれまでの防シカ柵の成功例を参考に、シカが容易には破壊できないような、丈夫な構造にすることができた。今後、このヤマザクラの成長を定期的に管理するとともに、来年度以降も、継続して植樹活動をしていく計画である。

●自己評価等

計画通り、1 ha25本のサクラを植樹することができた。反省点としては、防シカ柵の修理・設置作業が思ったよりも負荷が高く、計画時間内に収めるのが大変だった。今後の課題として、金華山の植樹必要箇所は、まだ膨大な範囲に及ぶので、今回の結果を踏まえ、作業負荷を適切に見積もり、植樹活動を着実に継続することが重要である。

●参加者の声

金華山は、海や断崖絶壁などの周辺環境がすばらしいことから、なおさら、島内の震災の爪痕が痛々しい。参加者は、緑化の重要性を大変良く認識し、有意義な活動だと話して、来年以降も、定期的に植樹活動に参加し、復興を見守りたいとの声が出されていた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
1ha	25本	13人	10人	23人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：宮城県石巻市金華山				

防シカ柵の修理作業

第二次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業

(公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原

●事業概要

本県太平洋側の東日本大震災被災地域（八戸市、三沢市、おいらせ町、階上町）内の保育園（所）・幼稚園（各市３箇所・各町２箇所計10箇所）を対象に、花や実がなる緑化木の植樹（県産材使用プランターも含む）及び県産材を使用した積木を寄贈した。

●事業成果等

地元のテレビ局・新聞社の取材を受け、県内のテレビニュースで放送され、地元紙にも掲載されたほか、三沢市の広報に掲載された。

●自己評価等

計画していた12月までに、10箇所の保育園・幼稚園に植樹及び積木の寄贈ができたが、積木の製作に時間がかかるので、植樹日に併せて積木の寄贈ができなかった。

保育園・幼稚園が関係する事業は、テレビなどの取材が多いので、緑の募金をもっと啓発できる可能性がある。

●参加者の声

・みんなで植えると楽しい。

・ツツジの花が咲いた時が楽しみ。

・積木でいっぱい遊びたい。

・積木の匂いがやさしくて好き。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
78㎡	172本	208人	208人
樹種：ツツジ、サクラ等			
実施場所：青森県八戸市、三沢市、おいらせ町、階上町			

県産材を使ったプランター

平成26年度　長野県北部地震復興記念植樹事業

栄村震災復興記念植樹実行委員会

長野県下水内郡栄村

●事業概要

長野県北部地震で、甚大な被害を受けた栄村「トマトの国」周辺林地において行われた北信州植樹祭にあわせ、被災した地元住民に元気と希望が抱けるように、復興記念としてオオヤマザクラを植栽した。また、以前に植栽したサクラの一部が枯損したため補植した。

●事業成果等

植栽箇所の「トマトの国」周辺は土石流が過去に直撃したが、周辺の森林によって守られた広場であり、サクラを植樹したことで非常に景観が優れ、復興のシンボル的な場所となった。

また、北信州植樹祭と併せて震災復興記念植樹を開催したことで、多くの地域住民や緑の少年団の子ども達、近隣の市町村の方々が植樹に関わることができ、また、震災から復興へ進む当村の姿を見ていただき、復興活動を広くＰＲできた。

●自己評価等

準備及び当日の植樹作業は天候にも恵まれ、スケジュール通り行われ、無事終了した。

植樹までの事前準備と参加者への植樹指導に関わった栄村森林組合と長野県林業指導員の対応が成功への大きな要因であった。

●参加者の声

・汗をかいて皆でサクラを植えて楽しかった。（小学生）
・自分が植えた木が大きくなるのが楽しみ。（小学生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.6ha	35本	370人	370人
樹種：オオヤマザクラ			
実施場所：長野県栄村			

オオヤマザクラの植樹

登米市立米川小学校における記念植樹事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災地域における学校教育環境の向上を図るため、みどりの少年団育成強化整備事業の一環として、学校敷地の緑化等の環境整備を行うもので、シダレザクラ１本と紅梅１本をみどりの少年団、教師、育成会とともに、記念植樹した。

●事業成果等

校庭の南側では、震災で崩壊した法面工事が進められているが、その法面上部の修景植栽の一部として、今回、多くのみどりの少年団員と地域育成会が参加して植樹などの作業したことにより、新しい校庭として生まれ変わった。また、記念植樹によって、環境教育の一環として緑豊かなふるさとの大切さを改めて心にとめることができた。

なお、今回の植樹は、学校だよりやマスコミを通じてＰＲされたことから、今回参加できなかった児童、住民などへも理解が広がったと期待している。

●自己評価等

米川小学校及び米川小学校みどりの少年団は、昨年度「全国みどりの少年団活動発表会」で優秀賞を受賞するなど、輝かしい活動実績の歴史があり、震災復旧工事の続く中であっても、植栽木をしっかり育成していけるものと考えている。しかし、法面工事の範囲が広いことから、これからも修景植栽が必要である。

●参加者の声

子どもたちや地域の育成会などの関係者は、「全国からの温かい支援に感謝する」とともに「緑の育成と共に未来に向け成長したい」という思いを新たにしていた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	県内	県外	計
2本	50人	5人	55人
樹種：シダレザクラ、ウメ			
実施場所：宮城県登米市東和町（米川小学校内）			

シダレザクラとウメの植樹

塩竈市立第一小学校における記念植樹事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災地域における学校教育環境の向上を図るため、みどりの少年団育成強化整備事業の一環として、学校敷地の緑化などの環境整備を行うもので、ツバキ２本を少年団、教師、育成会とともに記念植樹した。

●事業成果等

創立140年の歴史ある塩竈市立第一小学校は、松島湾を眼下に眺める緑に囲まれた環境にあるが、塩竈市の中心に位置し、東日本大震災の津波で浸水した区域も学区としている。今回、多くのみどりの少年団員と地域育成会が参加して植樹などの作業を行ったことにより、地域との歴史ある繋がり“絆”の大切さや、環境教育の一環として緑豊かなふるさとの大切さを改めて心にとめることができた。

なお、今回の植樹は、マスコミ（地元の新聞・テレビ）を通じてＰＲされたことから、今回参加できなかった児童、住民などへも理解が広まったと期待している。

●自己評価等

塩竈市立第一小学校及び塩竈第一小学校みどりの少年団は、地域密着の緑化啓発活動などの輝かしい活動実績の歴史があり、今回の校庭周辺での修景植栽についても、緑豊かで元気な地域づくりを意識したものである。

●参加者の声

子どもたちや地域の育成会などの関係者は、「全国からの温かい支援に感謝する」とともに「大切に育てて、みどりあふれる環境をつくりたい」と思いを新たにしていた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	県内	県外	計
2本	40人	5人	45人
樹種：ツバキ			
実施場所：宮城県塩竈市（市立第一小学校内）			

ツバキの植樹

「水源の森」等林業体験啓発事業

（一財）北海道森林整備公社

札幌市中央区北４条

●事業概要

目的は、当別ダム上流域の牧場跡地を森林に復元することにより、将来にわたり水資源の安定供給を図るための水源林の造成である。主な活動は、次のとおりである。

①林業体験教室（一般道民を対象に約80人による除伐・枝打ちの作業体験及び適地適木観察・樹木の測定・森林づくりの進め方について解説）

②植樹の集い（一般道民を対象に約45人による植樹体験、及び自然観察会での解説）

●事業成果等

一般道民の参加により森林整備に関する作業体験をしたことにより、当別ダム上流域の森林整備が推進され、将来にわたる水資源の安定供給が期待される。

また、水源地周辺の森林現況の把握や立木の測定などで解説したことにより、これまで森林に触れる機会が少なかった参加者は、林業の採算性・森林の働き・森林整備の必要性などについて再認識し、理解が深まった。

●自己評価等

本事業の林業体験教室及び植樹集いは、概ね計画通り実施できた。反省点として、林業体験教室では制約された時間の中で多彩なメニューの消化のため、駆け足的になった。

今後の課題として、募集方法や行事内容の精査（メニュー数等）を検討する必要がある。

●参加者の声

・樹木にも適地適木のあることを知った。（50歳代男性）

・樹木の測定方法を知ることができて良かった。（主婦）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	除伐等面積	除伐本数	枝打ち本数	道内	計
0.30ha	800本	0.20ha	60本	240本	125人	125人
樹種：ヤチダモ、ダケカンバ、ケヤマハンノキ						
実施場所：北海道当別町						

林業体験教室（枝打ち作業体験）

おたる船上山
鎮守の森再生プロジェクト

"北海道" 千年の森プロジェクト

北海道小樽市稲穂

●事業概要

長い間鎮守の森は、小樽市民の安全と港小樽の航海の安全を守っていたが、これからは地球の命を守る『命の森』として、未来の子どもたちの命を守る森になる。本事業では、荒れている鎮守の森を再生するため、講演会や植樹を行った。

●事業成果等

講習会には120人が集まり、ポット苗の扱い、穴の掘り方、植樹方法等のほか、自然の保全、回復への精力的な取り組みについて学んだ。

船上山の鎮守の森再生プロジェクトで植樹した1220本の苗木は、大きく成長し、社殿を守り、地球の命を守る大木として育っていってくれると期待している。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	道内	道外	計
0.04ha	1220本	0.04ha	0.02ha	0.02ha	160人	60人	220人
樹種：ミズナラ、クリ、サクラなど							
実施場所：北海道小樽市							

ミズナラ、クリなどを植樹

小鳥のさえずりが聞こえる河畔づくり植樹

ながぬま緑の少年団

北海道夕張郡長沼町

●事業概要

目的は、植樹会などの活動を通じて、森とのふれあいや体験学習の機会を作りすそ野を広げていく森林環境教育の促進することであり、活動は長沼町剣淵右岸地区遊水地内（この場所は戦後食糧増産のため、沼を開墾して圃場にした場所）に、遊水地利活用検討委員会が答申した「豊かな自然空間と景観ゾーン」の実現のために向けた河畔林を再生するものである。

植樹は生態学混播混植法で、一昨年より引き続き116サークルの完成を目指して植樹活動をし、植樹会後は、馬追丘陵の森から種取りをして苗を育て今後の植樹に役立てることとした。河畔林の再生は継続的に行うことにより、野鳥や小動物の生息などにより生物多様性の保全、植樹によるCO_2の削減、景観の改善等が図られ、また緑の募金活動や人と森のつながりを考えるもりづくりの集いである。

●事業成果等

本年度は、カエデ、シラカバなど160本の植樹をした。また、緑の羽根募金活動も毎年参加して、町民市民に協力を要請した。

●自己評価等

植樹に参加する子どもたち、大人の人数が、毎年少しずつ減ってきているので、ポスターの掲示・友人知人へのアピール等積極的に活動しなければならない。

●参加者の声

この植樹を通して、長沼町の水害の恐怖から少しでも解放されることを願っている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	道内	計
160本	38人	38人
樹種：カエデ、サクラほか		
実施場所：北海道長沼町		

植樹

モク（木）モク（煙）サイクルプロジェクト

(特) つがる夢庭志仙会

青森県つがる市柏下古川

●事業概要

1，靄山植樹祭及び下刈
2，津軽鉄道毘沙門駅研修会（青森森林ボランティア、地域住民による環境整備、危険木伐採、下刈りなど）
3，環境公共拠点館（青森ヒバのカッチョ（防雪柵）設置等）
4，モク（木）モク（煙）サイクルフォーラム

●事業成果等

靄山植樹祭は、地域の祭りと一体化した活動として、村民に理解された。行政と連携した活動となり、参加者全員に植林の大切さが伝わった。モクモクサイクルフォーラムは、県環境政策課によるエコ活動ゆるキャラが参加し、楽しく学習することができた。

●自己評価等

計画以上の評価だと思う。エコキャラクターは学校の授業の中に取り入れてもらい、今後、続けられることが課題である。

反省点としては、ボランティア活動として、多くの参加者に負担があったと思う。

●参加者の声

・植樹祭には、今後も続けてほしい。その後の管理に、活動として取り組めたら良い。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	計
5ha	150本	2ha	1ha	600人
実施場所：青森県つがる市				

環境について楽しく学んだ

北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

(特) 環境生態工学研究所

仙台市若林区新寺

●事業概要

目的は、水産廃棄物などを活用しながら旧松尾鉱山跡地の強酸性土壌の改善を図りつつ、植樹を実施し、植生及び健全な水循環の回復をめざすことである。また、その実施によって、北上川上下流の岩手県民と宮城県民の交流を図り、環境学習などに資するものである。植樹には、重機によって表土を掘削し、その中に各種資材（カキ殻、海藻残渣、バークたい肥）を混合したものを埋め、土壌改良を施した。

●事業成果等

9月上～中旬の植樹準備において、位置取り（区画整理）の都合で、防風柵を30個所増やしたほか、一昨年に植樹した苗の剪定をアキグミを中心に実施した。また、団体参加の仙台二華高等学校1年生約220人を対象に、9月10日に植樹活動の意義や水と緑の関係について学習会、26日に植樹方法の事前説明会を開いた。なお、植樹活動は9月27日と29日の2日間実施した。

●自己評価等

次年度以降も団体参加の希望が出ており、準備のためのポット苗（アキグミ、500個）づくりを10月19日に実施した。なお、今年度の植樹においても昨年度から育てた苗を用いる予定だったが、仙台の天候が災いして十分育たなかったので、今回は購入分のみの植樹とした。

●参加者の声

・松尾鉱山跡地の植樹は普通の植樹より手間がかかっていることがわかった。
・中和処理施設の見学や、過去に植樹した苗の成長を観察するプログラムもあればよい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.30ha	1080本	0.40ha	186人	269人	455人
樹種：アキグミ、ナナカマド					
実施場所：岩手県八幡平市（旧松尾鉱山）					

アキグミやナナカマドを植樹

泉ケ岳芳の平森林再生整備計画事業

泉ケ岳利活用推進市民会議

仙台市泉区泉中央

●事業概要

泉ケ岳山麓に広がる芳の平は、昭和40年代から50年代にかけて観光りんご園として賑わったが、病気などの影響で廃業し、現在まで荒地の状態となっていた。

泉ケ岳の玄関にあたる芳の平に、多くの市民が訪れ、自然とふれあうことができる“憩いの森”として再生することを目的に、植樹や下刈などの環境整備活動を行った。

●事業成果等

・継続的な下刈りのおかげもあり、3年にわたって植樹してきた苗木にも毎年花が咲き、市民がふれあえる憩いの森づくりが進みつつある。

・活動が周知され、民間企業の支援も増えて団体や世代を越えての交流が行われる植樹会となった。

・今までの経験を活かし、下草に負けない大きさの桜の苗木を植樹することで、今後の整備にかかる負担をできるだけ減らせるように事業内容の改善を行った。

●自己評価等

活動自体が少しずつ周知されてきたが、自然を相手とする事業が主であり、すぐに結果がでるものではないので、今後も継続しての活動が必要であると考える。

また、ただ植えるだけでなく、今後の維持の面も考えた計画性のある植樹をしていく必要がある。

●参加者の声

・普段は花を見るだけの桜の木を一から植樹できたのはとても貴重な経験となった。

・苦労して自分の手で植えた樹木の成長や開花を確認するのが楽しみである。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.02ha	30本	6ha	177人	1人	178人
樹種：エドヒガン、オオヤマザクラ					
実施場所：仙台市泉区福岡					

植樹会

森林の整備（緑の回復事業）

森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

荒廃した島の山林に緑を蘇らせるため平成20年度に植樹した樹木の育樹を平成25年11月と平成26年６月の２回実施した。平成25年11月には、育樹と合わせ枯れた木の補植を行った。

事業は、東日本大震災から立ち上がりつつある島民の気持ちに寄り添い、島民と協力しながら実施した。

●事業成果等

平成20年の最初の植樹以来毎年２回育樹作業をしているので成果は上がりつつある。また、今年度はミズナラ、クヌギ各10本、計20本の補植を行うことができた。育樹の際、乱獲が進み少なくなりつつあったヤマユリの保護対策や手入れを行っており成果がでている。

作業を進めるに当たっては、作業要領につき島民の意向を伺ったり、作業を協力しながら一緒に行っている。そのため、島民との交流が深まって来ている。

●自己評価等

マツ枯れなどで荒廃した山林の回復を目的に始まった事業で、徐々に成果は上がってきている。しかし、一度荒廃した山林を完全に蘇らせるためにはかなりの年月がかかりそうだ。一方、この事業をきっかけに島民との交流が進んでいる。特に東日本大震災以降はその感が強くなってきたように思う。

この事業は、森林の回復と合わせ島民の交流を深めるためこれからも長く続けていく必要がある。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	下刈面積	県内
20本	1.0ha	35人
樹種：ミズナラ、クヌギ		
実施場所：宮城県石巻市網地浜		

下刈り

花いっぱいの森コミュニティプロジェクト

ふるさと山の会

山形県最上郡真室川町

●事業概要

会では、「みんなで花いっぱいの森をつくろう」を合言葉に、花咲く木々、豊かな自然を次の世代に残すべく、刈払い、植樹を行っている。

平成23年より、学識経験者等のアドバイスを受け、季節の花々を楽しめる森を作ろうと活動している。

●事業成果等

会員はじめ地域住民等の協力を得て、刈払い等の準備を行い、第４回「植樹祭」を５月11日㈰に開催し、参加者は昨年を超え84人となった。

10月12日は全国育樹祭が地元、山形県遊学の森（金山町）で開催されるため、県の森林整備課にもPRを兼ね参加していただいた。作業を始める前に、公益の森づくり支援センター職員から作業手順、注意事項を指導していただいた。

参加した方々が楽しそうに笑顔で作業している風景を見て、地域や家族がつながることの大切さを再確認できた。

●自己評価等

植樹祭前に会員及び地元の協力を得て準備に万全を期したので、参加者の方々から満足いただき、植樹後は山の良さを感じ自然に親しむ機会となった。

また、継続的に参加していただき、里山の成長を多くの人に見守っていってもらえることを願っている。

●参加者の声

・企業として参加している。毎年来るのを楽しみにしている。花が咲いた時を楽しみにしている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	100本	1.0ha	117人	1人	118人
樹種：サクラ					
実施場所：山形県真室川町					

サクラ100本を植樹

「みんなの里山」活性の為の再生整備事業

(特) 森林野会

福島県南会津郡南会津町

●事業概要

目的は、森林との関わりや現在の問題などを林業体験や環境教育を通して幅広く伝えるとともに、活動の基盤となる里山を子どもたちだけでなく大人も楽しめるように再生させることである。

●事業成果等

森林整備のほか、歩道作設等を行ったことから、自然に親しめる新たなフィールドとして期待され、関係者は、体験イベントをしたいと意気込んでいる。

●自己評価等

森に親しめるフィールドができたが、植樹会では参加者が思うように集まらなかった。

間伐体験では、参加者がほぼ予定通り集まったが女性の参加者に片寄ったため時間がかかったが、参加者からは感謝のことばがあった。

散策路周辺にヌルデが多いため処理を考えている。

●参加者の声

・サルナシが苗で植えられると思わなかった。(60代女性)
・樹木や機材の手入れ等の話を聞くことができ有意義だった。(60代男性)
・間伐は男の仕事だと思っていたので体験すると聞いて不安だったが、山菜とりの手伝いより楽だった。(40代女性)
・木が倒れてびっくりしたけど気持ちが良かった。(小１男子)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	歩道作設	参加者数
0.26ha	56本	1.14ha	0.32ha	388m	50人
実施場所：福島県南会津町高野					

森林整備体験会

茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動

いばらき森林クラブ
茨城県ひたちなか市高野

●事業概要

目的は、県民の森の中にあるスギ採種の跡地が荒れたまま放置されていたので、そこを整備して県民の森を訪れる市民が安心してくつろぎ、楽しめるきれいなフィールドにすることである。主な活動は、次のとおりである。

①スギ林の下草や篠の刈払い、枝打ち、不良木や枯れ損木の伐採、地拵え等の実施。

②スギの切株を地際で伐採搬出。

③ヤマザクラの植栽。

●事業成果等

１年間を通して８回(会員参加数延べ65名)の整備活動を実施した結果、昼でも暗いジャングルのように荒れていた林が明るくきれいになり、訪れる市民の憩いの場所に変わった。訪れる市民と活動中の会員との対話も多くなり、ボランティア活動に興味を持たれる方たちも増え、市民の環境改善意識の向上にも役立った。

●自己評価等

今年度も天候にも恵まれ、ほぼ計画通りの日程と会員参加数及び森林整備の成果を得ることができたと思う。一つ残念だったことは、これまで植樹で協働作業を続けてきた小学校が廃校になり、この協働作業がなくなってしまったことである。その結果今回は植樹本数が減ってしまったが、今後は植樹本数を増やしていきたい。

●参加者の声

・８年目になり、今では見事な広葉樹の森に変化しており、県民の森の利用者の方々の目を楽しませている。これは、ボランティア活動の熱意の賜といえる。(県民の森管理者)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	切株伐採	樹木剪定	県内	計
0.1ha	20本	1.3ha	17本	10本	67人	67人
樹種：ヤマザクラ						
実施場所：茨城県那珂市「茨城県県民の森」						

茨城県県民の森　整備活動

筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

(特) つくば環境フォーラム
茨城県つくば市要

●事業概要

目的は、水源涵養林の大切さを啓発するとともに、谷津田を含めた環境の生物多様性増大を目指す森林整備と整備で出る材の有効活用による活動の持続である。雑木林の整備では下刈りと森の若返りを図る大・中径木の伐採と材の活用を図る薪づくり体験、竹林整備では間伐を行って、整備で出た材を植樹用の支柱や谷津田の農用に利用した。隣接する篠藪となっている耕作放棄地を整備し、新たな雑木林の創造を目指して、コナラ、クヌギ等の苗木を植樹した。

●事業成果等

雑木林や竹林の整備により、明るく見通しのよい環境となり、イノシシの隠れ場所が減ったことで、谷津田へのイノシシの侵入が低減した。明るい林床では、野草の種類も増え、花を訪れる昆虫類も観察でき、生物多様性が増大していることがうかがえる。専門家に安全な伐倒作業や枝払いについて学んだことで、参加者の森林整備に対する意欲も増してきた。薪ストーブ愛好家の参加も年々増えており、整備で出た材の有効活用が進んでいる。

●自己評価等

良好な里山の再生を目指しており、計画はおおむね達成されている。一般参加者に加え、薪ストーブ愛好家の「薪クラブ」や企業ボランティアの継続参加があり、活動の広がりができている。しかし、整備中の竹林が一部で枯れてきており、今後の整備の仕方が課題である。

●参加者の声

企業ボランティアでは、里山保全に関するレクチャーも熱心に聞き、里山保全への理解が深まったと感想をいただいた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.1ha	150本	1.5ha	0.5ha	135人	8人	143人
樹種：クヌギ、コナラ、ヤマザクラなど						
実施場所：茨城県つくば市						

竹林整備

どんぐりの木植樹会

(特) 森の自然学校助川山保全くらぶ

茨城県日立市西成沢町

●事業概要

目的は平成３年の大規模森林火災の跡地に開設された森林公園において、自然繁茂したヤシャブシ系の広大な単層林の中に、クヌギ・コナラ系の里山林群落を数多く、創成することである。

活動内容としては、15年間に亘り、子どもたちや市民と共に6000本余のクヌギ・コナラの植樹を続けてきた。植樹地の決定・除伐・地拵え・作業道整備を経て春先に植樹会を開催し、夏には最近５年分の植林地の下刈りを実施している。間伐材はシイタケ植菌の原木に利用している。

●事業成果等

2月2日及び3月15日に、予定した場所に、クヌギ150本、コナラ150本の植樹を行った。参加者は90人（市民64人＋くらぶメンバー26人）であった。

15年間・15ヶ所の植林地すべてで、クヌギ・コナラが順調に生育しており、補植用の苗木は、収穫されたドングリから、自家栽培できるようになった。

平成25年度の間伐材からは、８㎥（200本）のシイタケ植菌用の原木を生産し、植菌を行った。

●自己評価等

本年度の事業は、ほぼ計画通りに達成できた。

周辺５小学校へキャンペーンを行った。

●参加者の声

・来年度は、学校行事として、６年生全員を参加させるようにしたい。（地元小学校教員）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	関連作業	作業道	間伐木	県内	計
0.1ha	300本	100本	3.5ha	0.5ha	0.6ha	19回	60m	200本	560人	560人
樹種：クヌギ、コナラ										
実施場所：茨城県日立市西成沢町《助川山市民の森公園》										

クヌギやコナラを植樹

東日本大震災復興支援緑化木苗育苗

(特) とんぼエコオフィス

千葉県船橋市本町

●事業概要

目的は、東日本大震災被災地の緑化復旧を図るために、植樹用の苗木を育成するもので、主な活動は次のとおり。

①被災地域での樹木の種子採取。

②被災地域での挿し木用穂木の採取。

③被災地域での苗木の山採り。

④千葉県の緑化支援活動山武育苗センターにおいて上記①、②及び③に係る苗木を育成する。

⑤作業は種子の播種、発芽管理、育苗管理、挿し木作業と育苗管理。

⑥出荷可能な苗木の仕上げ、出荷作業、苗木の輸送作業。

⑦被災地などで植樹、植栽の指導。

⑧山武育苗センターでのボランティア活動受け入れによる育苗作業の指導。

●事業成果等

現地ボランティア団体のたくさんの参加により、この緑化支援活動が被災地に伝わり、この苗木育成の活動の意義が認められてきた。また八街市の中学校の生徒たちによる育苗ボランティア活動が評価され、知事賞が授与された。

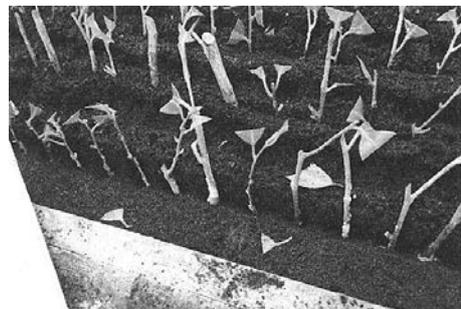
●自己評価等

当初計画は苗木10万本以上としていたが挿し木苗の発根活着が不充分だった。雑木の挿し木については作業実績が少ないため、今後は活着率の向上を図る必要がある。

●参加者の声

・東北被災地域での種子採取、穂木採取、苗木の山採りに是非に参加したい。（ボランティア活動参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

育苗活動	県内	県外	計
1.5ha	170人	30人	200人
実施場所：千葉県山武市山武育苗センター、他被災地植樹場			

挿し木苗づくり

「Present Tree from 熱海」里山再生から始まる人と森のコミュニケーション

(認特) 環境リレーションズ研究所

東京都千代田区神田錦町

●事業概要

目的は、地元とのネットワークを強化し、里山体験の場や児童の環境教育の拠点として提供することで、多くの市民を巻き込み熱海市内の森林再生への関心を喚起する。

●事業成果等

当活動地を里山体験の場や児童の環境教育の拠点として提供できるようにすべく、林内の径路整備に努め、山歩きに不慣れな人も安心して活動に参加してもらえる環境を整えた。春・秋２回の里山体験イベントでは、除伐したコナラをホダギとして利用しコマ打ちや本伏せ作業を実施し、里山の恵みや森林資源の有効利用について、参加者に理解してもらうきっかけとなった。また、目標としていた地元市民(特に児童)への本活動に対する普及啓発の第一歩として、校内ではあったが地元小学校での森林学習を実施できたことは、教諭への啓発にもなり、今後林内学習へ発展させる契機となった。

●自己評価等

気軽に林内に入ってもらえる環境を整えられたことは評価に値すると思う。ただ、里山体験イベントに参加者を受け入れる体制 (場所の整備、機材などの準備) はほぼ万全に整えたものの、参加者を増加できないことが課題である。

●参加者の声

・森の中で五感を研ぎ澄ませて様々な音やにおいを感じ取り、癒しの効果を感じることができた。(40代女性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付本数	県内	県外	計
60本	76人	137人	213人
樹種：コナラ、ヤマザクラ、イロハモミジ			
実施場所：静岡県熱海市下多賀			

ホダ木の本伏せ

白神山地いのちの森づくり植樹祭

つながる森づくり実行委員会

東京都千代田区一ツ橋

●事業概要

世界自然遺産の白神山地の啓発と森林の重要性について、理解してもらうため、地元の中学生、高校生、親子に呼びかけ植樹祭を開催し、総勢150名がブナなど600本を植えた。

●事業成果等

植樹作業では、ほとんどの生徒や子どもたちが作業に熱中した。また、家族連れで参加した人たちは、家族の絆を感じながら、環境保全に貢献できることを評価していた。

●自己評価等

ブナの苗木を肥料袋に入れ、参加者が植樹会場まで運ぶという段取りだったため、移動に時間がかかった。

●参加者の声

・地元の自然や故郷のことを考えるきっかけになった、自然の中で作業して気持ちよかった。(高校生)

・豊かな自然があることに、誇りを感じられるようになった。(女性)

・全員で植樹会場まで苗木を一本ずつ運ぶ姿が印象的であり、やり甲斐がある。(首都圏女性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.12ha	600本	120人	30人	150人
樹種：ブナ、コナラ				
実施場所：青森県鰺ヶ沢町				

ブナやコナラの植樹

僕たち、私たちの森づくり

(特) 花咲き村

東京都西多摩郡日の出町

●事業概要

目的は、西多摩地域の放置・荒廃山林を整備し、下流域の小・中学校や学童保育の児童たちが、植樹や間伐体験を通して森林や河川の仕組みを学べる場として提供するものであり、それら経験を通じて、森をより身近なものとして認識するための手助けになることである。

●事業成果等

放置スギ林の伐採跡地に、コブシを植樹したり、下刈等の体験活動することによって森づくりの楽しさを感じたようだ。

この体験を通して、森をより身近なものとして認識したと思う。

●自己評価等

今年の事業を踏まえて、具体的な森づくり等の取り組みへと進んでいける基礎ができた。

しかし、団体と学校等における将来構想の不一致や、具体的な取り組み方についてさらなる検討が必要である。

今後、学校や子ども支援団体との連携ができれば、森づくりの後継者が生まれる可能性が期待できる。

●参加者の声

・近くに山があるのに、林業をほとんど知らなかった。
・木が長い時間をかけて育っていくのを実感できた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	都内	計
0.1ha	105本	0.2ha	0.3ha	220人	220人
樹種：コブシ					
実施場所：東京都日の出町					

中学生の林業体験学習

気仙沼大島植生回復プロジェクト

(特) 水と緑の環境ネットワークの会

東京都日野市

●事業概要

本事業では、平成23年4月以降に主にボランティアによって植樹してきたツバキ及びクヌギの植生管理と周辺地の定期的な維持管理を行った。今年度は「復興椿パーク（中山農園）」と、「クヌギ植生地」「椿園（椿山）」の３箇所において下刈りを行った。また今後の植生回復とボランティアの受入れを念頭に、地元の方たちに活動を引き継ぐための指導を行った。

●事業成果等

７月から９月まではボランティアを中心に安全講習と下刈りを実施した。安全講習は、平成23年７月以降これまでに14回実施してきており、高齢者が多い地区や仮設住宅付近での下刈りで貸出し機材を活用する機会が増えているのを実感した。

植栽した苗も順次成長し、今後、津波の被害を受けた各所に移植される予定である。10月以降は、耕作放棄地については農地としての活用を、椿園などについては地主が中心となってボランティアを募集し維持管理していくことになったため、今後は地域の自主的な活動を見守っていく。

●自己評価等

毎回ボランティアも集まり順調に作業は進んだものの、維持管理システムが機能しはじめたところで、地主さんの今後の土地活用計画の変更により、活動の継続が困難となった。しかし、安全講習の受講者を中心にそれぞれ地域での活動を継続している。

●参加者の声

・去年植えたツバキの成長が見られて嬉しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
240本	3ha	36人	39人	75人
実施場所：宮城県気仙沼市				

安全講習

群馬県奥利根国有林「ふれあいの森」整備

木もく倶楽部

東京都港区高輪

●事業概要

33haの広大な原生林に近いエリア内にかつて植林事業に失敗した箇所が何カ所も虫食いのようにある。そうした地域を高所に上っては確認し、整備箇所を決め作業道を切り拓いていく作業の連続である。ひとときは原発事故の汚染スポットでもあり線量計を持参しての調査もしてきた。広大なエリアでは植林活動よりもブナの天然更新を促進できるようにブッシュを刈り取っていくことも重要な課題と取り組みを新たに活動した。

●事業成果等

長年ブッシュに覆われたエリアを整備し植林活動のために、まず作業道を切り拓くことから始めねば何も進まぬエリアだった。その結果、33haの林内に縦横に巡らせた道幅1.3ｍの作業道は全線で約10㎞に及ぶが水源林としての機能を学ぶ学習の森として、あるいは森林セラピー、森林浴を楽しめる緑のコリドー(緑の回廊)として利用できる 副産物を生むことになった。多くの都会人がブッシュを切り拓き、地拵えをすることで陽樹が芽生えてくることから始まり森林の様々な機能や生態を目の当たり学ぶに至った。

●自己評価等

我々の整備地は林道の終点からかなり歩かねば到達できない場所にある。しかし、約10㎞の作業道を貫通させたことの達成感はひとしおであった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	作業道	県外	計
0.3ha	100本	0.8ha	約800m	50人	50人
樹種：ブナ					
実施場所：群馬県みなかみ町					

ブナの植樹

首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業

(特)地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

首都圏（１都３県）の都市住民を対象に

①飯能市、木更津市の山林を対象に植樹地の草刈と補植、隣接地の植樹を実施した。

②飯能の山林（スギ・ヒノキ）で間伐技術習得の機会を作り、間伐リーダーの育成、ボランティア参加による間伐体験を実施した。

③静岡県榛原郡川根本町でも、植樹地のメンテナンスや隣地山林の間伐を実施した。

●事業成果等

８つのイベントで、150人の参加があり、普段、森林と触れ合う機会が少ない都市部の若者・社会人が森林保全活動を通して、植林や間伐等について学んだ。

●自己評価等

綿密な打合せを繰り返すとともに、安全第一を心がけて実施するよう、地元団体との調整を図ったため、当初の目標回数を実施できなかった。また、埼玉の植樹イベントについては、悪天候（大雪）のため活動を順延した結果、参加者人数が大幅に減ってしまった。

●参加者の声

・森林から様々な恩恵を受けて、都市部の自分たちの生活が成り立っていることが実感できた。(20代学生)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	計
1.5ha	242本	1.0ha	1.5ha	150人
樹種：トチ、ミズナラ、コナラ、クヌギほか				
実施場所：埼玉県飯能市、千葉県木更津市、静岡県川根本町				

間伐講習（埼玉）

自然林と共生の森づくり

あわくらの自然林を増す北新クラブ

東京都新宿区北新宿

●事業概要

人工林の多い中国山脈を落葉樹に変え、土壌を肥やし、川や海を豊にすることによって、豊かな食物連鎖の一助になればとの思いから始めた活動である。主な活動は次の通りである。

・下刈り、除伐、間伐及び道路整備
・落葉樹を増やすための植樹活動
・森を知らない子どもたちへの体験学習

●事業成果等

森林整備は近隣の方々、県内外から学生が休みを利用しての協力もあり無事に終えることができた。

今年は229本（2.5m以上）の落葉樹を植樹する中で、動物被害対策として背の高い苗木を選ぶことができた。活動を通じて、少しずつではあるが落葉樹の森林へと変化してきていることが実感でき、また、子ども体験学習では植樹の大切さの理解が深まり好評であった。

●自己評価等

植樹はほぼ計画通りに行った。動物の被害防止のため、2.5m～３mの高さの苗木を植えているが、冬の間に苗木の先端を動物に食べられてしまい、植樹数の２～３割は食害にあっている。

今後の課題として、苗木の成長と動物との関係をどのように築くか考えることとする。

●参加者の声

・子ども達も毎年楽しみにしており、昨年植えた木も大きく育っていた。
・家族で今年も参加し、イチョウの木を植えたが、息子がとても張り切っていた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
3ha	229本	4ha	1ha	2ha	93人	24人	117人
樹種：コブシ、ブナ、イチョウ、ケヤキほか							
実施場所：岡山県美作市中谷町							

コブシ、ブナなどを植樹

地域毎（県西３ケ市）の里山の整備と維持保全活動

（特）神奈川育林隊

神奈川県伊勢原市東成瀬

●事業概要

高齢化や山里離れなどで地元山主が手を入れにくくなった山林・竹林を整備することによって、光が差し込む植生豊かな里山を取り戻し守り育てていくものである。特に、大径木化した一部雑木林を伐採し、チップ材や薪に活用するとともに、萌芽更新・植樹によって林内を若返らせることとした。

●事業成果等

年々植生も豊かになり、萌芽更新木や植樹木によって林内の若返りや、成長が見られるようになった。また、大径木を約23本伐採し、約25㎥を利用するとともに、伐採地に広葉樹150本植樹した。なお、竹林については、エリアを拡大して整備を行った。

エリアを拡大した竹林整備は、今後も増えるので、手入れが効率的に行えるよう工夫する必要がある。

新規加入者を増やし、技能を継承することが課題である。

●自己評価等

ほぼスケジュールに沿って事業を行った。

●参加者の声

・作業後の林内がすっきりときれいになり気持ちが良い、また体を動かすのは心地よく楽しい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	伐採面積	林道整備	竹林整備	間伐木利用	県内	計
0.1ha	170本	1.84ha	0.1ha	0.68ha	1.28ha	約25㎥	349人	349人
樹種：広葉樹、スギ、ヒノキ								
実施場所：神奈川県秦野市、小田原市、伊勢原市								

広葉樹やスギ、ヒノキを植樹

歴史の里山に森づくり

(特) セルフディフェンスボランティア新発田

新潟県新発田市中央町

●事業概要

植栽を実施した新発田市郊外の加治地区は、鎌倉幕府を開いた源頼朝の直臣、新発田の祖「佐々木三郎盛綱」が活躍してきた歴史ある地である。

加地の居城、要害山の地域の人々や都市住民との連携の下、植栽などの森林整備を行い「歴史の学びや」として整備し次世代に伝えて行けるサクラの森づくりを進めることを目的としたものである。

●事業成果等

市民の多くの方は、植栽場所の歴史的な背景の知らない人が多く、今回の事業でその歴史にも貴重な里山であることを地元民をはじめ多くの市民に認識された。

また、多くに地元民やボランテイアの方々との交流を深め、自ら、もっと拡大していく気運が生まれた事は大きな成果である。

●自己評価等

今回の事業で加地山に対する整備にはずみがついたことは大きな成果である。

反省すべきは点は、里山の山頂であったため、子どもたちの参加がなかったこと、課題は、植栽場所の管理である。

●参加者の声

・歴史の学び道」として、登山道の整備を行ってきたが、今までの雑木の伐採が行われず、あまり活用されていなかった。今回の事業で山頂周辺が整備され、自分の地域も見渡すことができさらに整備にはずみがつくと思う。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1ha	40本	3.0ha	3.0ha	3.0ha	106人	4人	110人
樹種：サクラ							
実施場所：新潟県新発田市要害山							

サクラを植樹

森と共生する近未来へ

(特) 森と緑の再生HARIMA

山梨県南巨摩郡南部町

●事業概要

スギ、ヒノキの伐採跡地において、生物多様性の保全、再生や、地域の環境学習の場づくりのため、進入路の整備、ツバキ、サクラなどの植樹を行った。

●事業成果等

残存木の伐採や進入路の開設により、林内が明るくなり、今後の植林などの整備が容易になった。

また、花の咲く木や実のなる木を植林したことによって、生物多様性の保全、再生に資することができるようになった。

●自己評価等

今回の事業では、進入路を作り、色々な植物を植えることができた。

作業中、重機の転倒や斜面の崩れなど危険な状況もあったが、無事事業を終えることができた。

なお、参加者募集をしたものの、なかなか理解してもらえなかった。

●参加者の声

・山が明るくなった。

・将来が楽しみだ。

・野生動物、野鳥が見たい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.7ha	445本	0.2ha	1.2ha	35人	8人	43人
樹種等：ツバキほか						
実施場所：山梨県南部町						

伐採跡地を整備してツバキなどを植樹

第12回森林整備ボランティア「森づくり2013」

HAKUBA Team ’98

長野県北安曇郡白馬村

●事業概要

目的は、会員を始めとするボランティアと、地域住民が共に森林整備作業を行うことを通して、森林の大切さを互いに認識することである。また、個人所有者による維持管理の困難な現状を把握し、一人一人が何をすべきかを考え、行動することを啓発するものである。

内容は、間伐、除伐、下刈り、材の搬出などの作業の他に、ツリークライミングを活用した枝打ちを行った。

●事業成果等

①初めてツリークライミングによる枝打ち作業を学ぶことができたので、村内の大木や保存木の手入れや建物周辺の森林整備などに活用できる。

②村内参加者の関心も高く、今後、上級の技術を学んでいくこととした。

●自己評価等

約120年間、森の中で静かに年輪を重ねてきた杉の大木の枯れ枝などが切られ、こざっぱりし、一際引き立って見えた。

会員に加えて森の所有者や村内からの多数の参加者もあり、共に汗を流しながら、白馬村の森林の将来のあり方を語り合った。

●参加者の声

・樹齢100年以上の樹に長い時間触りながら登って行くということを通して、その樹に愛着がわいた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	0.3ha	8人	13人	21人
実施場所：長野県白馬村				

ツリークライミングによる枝打ち

竹一株植えつけ運動

竹文化振興協会

京都市左京区岡崎成勝寺

●事業概要

全国の小・中学校などへ寄贈したタケを子ども達と一緒に植え付け、生徒達の実習の場へのタケの寄贈を行い、学校教育において環境にやさしいタケのようにすくすくと成長して欲しいことをアピールする活動である。

また、タケの特性・育成・管理などを記載した「植竹のしおり」を配布してタケについての正しい認識と理解を深めてもらうことを目的としている。

●事業成果等

学校関係者に活動が評価されていることからさらにタケの良さをアピールするとともに、植竹したタケの管理や、成長したタケを教材として活用することを学校関係者に働きかけていきたい。

●参加者の声

・タケが生活用具や伝統文化、防災など各方で使われ役立っていることを子ども達に伝えていくことは大切なことであるし、今後はタケの学習を通して、大事に育てていかなければならない。（学校関係者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植竹	計
22株	270人
樹種：ホウオウチク、キンメイモウソウほか	
実施場所：福岡県八女市立立花小学校、鹿児島県始良市立水原小学校、京都市立下京渉成小学校	

竹一株植えつけ運動

フォレスター松寿の森づくり

フォレスター松寿
神戸市須磨区

●事業概要
　六甲山での森づくりに関心の高い退職者を中心に「フォレスター松寿」を平成21年10月に結成し、活動地は国交省六甲砂防事務所が所管する「六甲山グリーンベルト」対象地に決め、同年12月より活動開始した。「災害に強い森」に加えて「市民憩いの森」造るため、「ネザサとニセアカシアの開伐」－「植樹」－「植樹後下刈り」－「新たな開伐」を繰り返し今まで40回に及ぶ例会活動をしてきた。

●事業成果等
・５年間の開伐・植樹で約2.5haの荒れ地からの開伐が進み、花の樹木も増えて憩いの森らしくなってきた。
・荒廃のため利用が少なくなった登山道の整備が進み、ハイカー利用が増えた。
・活動地を利用した樹木教室、お花見会など当初は皆無だった地元参加者も徐々に増えた。
・全体的にネザサで暗かった山は明るくなり、港が展望できる尾根に変わってきた。

●自己評価等
・参加者の増員確保策として現役職場からの参加も一部は定着したが、不十分で今後の課題である。
・作業能率の向上のためには、作業の機械化は避けられず草払機やチェンソーのオペレーターの養成を急ぐ必要がある。
・新規開伐のみでなく、林内整備など植樹以外の防災と憩いの森づくりを具体化したい。

●参加者の声
・若い世代の参加をすすめたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	例会活動	登山作業道整備	花見・樹木教室	県内	県外	計
2.5 ha	450 本	2.5 ha	0.3 ha	11 回	4回・250 m	1回	110 人	72 人	182 人
実施場所：神戸市東灘区森北町									

樹木教室

「生駒市民のシンボル生駒山」山麓整備緑化再生事業

森林ボランティアいこま里山クラブ
奈良県生駒市新旭ヶ丘

●事業概要
　生駒市民のシンボルである生駒山の荒廃した森を整備し、明るい健康な森に再生するため、次の取り組みを行った。
①クズ・ササなどの下刈り、ヤシャブシなどの除伐、枯損木・風倒木等処理など
②歩道づくりと歩道・橋の修復
③整備跡地への緑化植樹

●事業成果等
①風通しのより明るい健康な森が再生できた。
②周辺遊歩道を安心して歩けるようになった。
③カツラなど市民期待の植樹ができた。

●自己評価等
①森の再生、遊歩道の整備等を実施したことにより、今後の小学生を中心とした自然観察や、環境教育に活用することが可能となった。
②今後も定例活動日に市民と協働で整備保全を実施する。

●参加者の声
・記念植樹ができ、山麓に来る楽しみが増えた。（市民）
・大勢の作業参加者による力の大きさに感激した。（会員）
・市民の方々の自然に対する関心が深まった。（市担当者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道づくり	県内	県外	計
1.6ha	114本	3.3ha	1.8ha	200m	348人	17人	365人
樹種：オオシマザクラ、モミジほか							
実施場所：奈良県生駒市							

遊歩道の整備

海南市北野上地区薪炭林活性化事業

(特) 自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

和歌山県海南市高津

●事業概要

海南市の放置薪炭林において、間伐等の整備を行った後、クヌギ苗を植えることによって、落葉広葉樹林を活性化するものである。

内容は、雑木の伐採及び搬出体験、クヌギの植栽、炭焼き準備と火入れ等である。

●事業成果等

①老齢木及び不要雑木を伐採したため、陽光が林内に届くようになった。

②日ごろ山仕事に携わっていない人が多い中、森林の環境教育に大いに役立ち、植樹をした子ども達は、自分の名札をつけた木を経年観察できることで、森と樹に対する愛着が生まれた。

●自己評価等

山仕事は危険な作業なので、今後はイベントの都度、作業講習会を実施したい。

次年度は山を愛する人たちへの啓発活動を、学校単位や公民館運動の一環として取り組むこととし、多くの人たちが山の魅力を感じるイベントとしたい。

●参加者の声

・カブトムシはいつになったら捕れるのか、実が実るのはいつか、興味がある。(子ども)

・常に真剣に作業を行う緊張感を味わえた。(伐採等体験者)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	150本	0.5ha	1ha	1.1ha	190人	5人	195人
樹種：クヌギ							
実施場所：和歌山県海南市							

クヌギの運び出し

蒜山ブナ林整備事業

蒜山にブナを植える会

岡山県真庭市蒜山

●事業概要

昭和20年以前、蒜山高原には野生のブナは当たり前に見られ、すばらしい落葉広葉樹帯であったようだが、現在、荒廃地も多い。子ども時代のすばらしい自然景観を取りもどし、生物多様性の豊かな蒜山高原を復活させ、後世に伝えるためブナ林の復活を行っている。

●事業成果等

平成22～24年に計1万200本程度のブナ苗を地元小学生及び保護者と共に植栽し、ツルなどの刈取りを行っているが、人間の背丈を超えるまでは苦労の連続である。

あと10年もすれば住民や登山客、観光客も楽しめるブナの森になることを期待している。

●自己評価等

会員が少数で、高齢化していることから活動に苦慮しており、ボランティアによる支援も難しい。

しかし、少数の会員であっても、数年手入れをすれば、どんどん成育してくれると期待している。

●参加者の声

・ブナの苗木がツルに巻きつかれたり、雑草の方が大きくてかわいそう。早く2mくらいになればいいのになあ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.5ha	40本	6ha	40人	40人
樹種：ブナ補植				
実施場所：岡山県真庭市蒜山				

下刈り作業

「水源の森」づくり芦田川源流植林・下刈と出前講座「緑の教室」事業

福山平成ライオンズクラブ

広島県福山市南蔵王町

●事業概要

福山市内３校の小学生と家族等に森や緑の大切さを学んでもらうため、出前講座「緑の教室」を開催した。また、地球温暖化防止、水源の森造成のため、ライオンズクラブ、地元住民が協力して、植林・下刈作業、現地版「緑の教室」を実施した。

●事業成果等

急峻な地形を含む現地で、ヤマザクラ、ヤマモミジなど300本の植樹するとともに、植樹後は、広島森林管理署の方々の協力の下「緑の教室」を開催し、実際の木々を教材に森林の成り立ちなどについて、子ども達も楽しく学ぶことができた。

●自己評価等

平成10年から継続し、多くの人々に支えられて1万900本を植樹するとともに、小学生の環境教育という広がりをもった活動に育ってきたことは評価できる。参加するライオンズクラブも増えるなど、それなりに支持されてきていることは今後の活動のはずみになる。

●参加者の声

・急な山で本当にできるか心配だったが、植え終えた後は達成感があった。

・植樹、森林教室等全体を通じて楽しむことができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.35ha	300本	270人	270人
樹種：ヤマザクラ、ヤマモミジなど			
実施場所：広島県福山市			

ヤマザクラなどを植樹

尾の瀬山・オイスカ憩いの森

（公財）オイスカ 四国支部

高松市番町

●事業概要

以前、尾の瀬山にはマツが茂り、神社やキャンプ場などがあり、地域住民の憩いの場として利用されていたが、マツ枯で荒廃した山林に火事が発生し、0.3haを焼失した。土地所有者である丸亀市・善通寺市・琴平町・まんのう町が協議した結果、ヤマザクラを植えて憩いの森の再生と自然環境の保全を図ることとなった。

平成22年３月31日、まんのう町外三か市町山林組合・仲南町森林組合・オイスカ四国支部の三者で「尾の瀬山・オイスカ憩いの森」づくりを協働で実施することで協定を締結した。

●事業成果等

参加者をはじめ地域住民に活動の意義を啓発できた。

●自己評価等

計画どおり達成でき、次回が楽しみである。

●参加者の声

・天気が心配だったが、植栽する頃には雨が止み無事に作業できて良かった。成長して、ヤマザクラの森となるのが楽しみです。

・親子で初めて参加したが、森林を作り育てることの大切さと大変さを体験できたことが良かった。また参加したいと思う。

・思っていたよりも参加者が多く、環境保全活動に対する意識の高まりを感じた。

実績とりまとめ

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.5ha	1,500本	10人	180人	190人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：香川県まんのう町				

ヤマザクラの植樹

今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備事業

今治地方水と緑の懇話会

愛媛県今治市玉川町

●事業概要

次代を担う子ども達に、森林整備体験を通して森林・林業への理解を深めてもらうため、今治市鴨部と九和の小学６年生、行政機関の職員などが参加して、森林教室「今治地方の森林づくり」と、市有林でのケヤキ植樹を実施した。

●事業成果等

森林教室では、保水力と降雨の影響等について実験を交えた説明があり、理解を深めることができた。

ケヤキの植樹では、食害防止チューブを設置したことにより、参加者に森林整備の大変さを実感してもらうことができた。

●自己評価等

子ども達の森林･林業に対する理解が深まった。また、植栽場所については、後日、会員により確認作業を実施した。

●参加者の声

・豊かな森が土砂崩れを防ぐ働きをすることが分かった。
・蒼社川の歴史を学び、先人達の努力を知った。
・ノコギリの使い方を教えてもらい、うまく使えた。植えた木はチューブもしたので、立派に育ってほしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.3ha	400本	101人	101人
樹種：ケヤキ			
実施場所：愛媛県今治市			

子どもたちがケヤキを植樹

森づくりボランティア「森で遊ぼう」

PLAY FUKUOKA

福岡市中央区大濠

●事業概要

自然環境の乏しい都市部の子ども達に森と水や自然環境の大切さを伝えることのできる人材を育成することを目的として、子育て支援に携わる大人を対象とした森づくりボランティア活動及び勉強会を開催した。

①平成25年9月15日、16日　日田市有林での枝打ち・除伐作業・野外活動
②平成26年6月28日、29日　日田市中津江にて沢登り（源流探検）

●事業成果等

都市部で生活し自然の中で過ごすという原体験の乏しい大人が、本事業を通して森と水・自然環境について正しく理解し、体験することができた。

今後子育て支援に携わる上で、自然環境の乏しい都市部の子ども達に森と水や自然環境の大切さを正しく伝えることに繋がるものと思われる。

●自己評価等

日程調整が難しく参加人数を集めることができなかった。

森と水や自然環境の大切さを伝えることのできる人材を育成するという目的は充分に達成でき、有意義な活動であった思われる。今後は呼びかけ活動の幅を広げ継続して実施していきたい。

●参加者の声

・森と水の関係がわかった。枝打ちは楽しかった。（大学生　男）
・川の水がとてもきれいで冷たかった。（大学生　女）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	森林教室	県内	計
0.2 ha	3回	100人	100人
実施場所：大分県日田市前津江町　市有林			

枝打ち、除伐などを体験

私たちの水源の森づくり

まえつえ森を守る会

大分県日田市前津江町

●事業概要

目的は、大分県日田市前津江町の筑後川源流部に位置する山林において、都市圏住民を対象とした森林保全作業を行い、緑と水に対する大切さを意識してもらい、地元住民等との体験活動を通じて森と水の繋がり、大切さを感じてもらうことである。

●事業成果等

都市部の人々が森づくりを体験する中で、森の大切さ、森と水の繋がり等を感じてもらえた。

また、除伐によって10何年間手入れしてなかった森が、明るく太陽が差し込む森に変わった。

●自己評価等

都市住民にも森の大切さを判っていただいたと思う。手入れできていない森に陽が差し込み達成感や森の蘇りを感じた。

●参加者の声

・作業がとても楽しく感じ、後を見みると明るく感じた。(40歳男性)

・子どもより私のほうが木を切る作業を楽しんだ。我を忘れて作業を楽しんだ。(36歳女性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	県外	計
0.4ha	80人	80人
実施場所：大分県前津江町		

枝打ち作業

三宅島復興支援緑化再生プロジェクト

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

三宅島は雄山の噴火と高濃度ガスによる被災で森林が大きなダメージを受けた。当会は被災森林の緑化再生に取り組むため、08年に三宅村との間で「三宅島・雄山の緑化再生活動に関する協定」を締結した。この協定に沿って、同島の村有林を対象に植樹・森林整備ツアーを実施している。

●事業成果等

①活動対象地の一つである小松平村有林は、広大な区域が裸地化している。活動地はタブノキ、オオシマザクラなどの枯損木が目立っており、道路に危険が及ぶ恐れがあるため、枯損木の一斉伐倒を行い、その跡にヤブツバキ、ヒサカキ、タブノキ1000本の植樹を行った。

②阿古地区甑村有林において刈払い、歩道整備などを行った。三宅村ではベンチなどを設置し、阿古から近い散策コースとして活用が始まっている。

●自己評価等

①千本山村有林ほかの植樹地で活着調査を行ったがおおむね良好であり、植樹地の森林再生が着実に進んでいる。

②甑の穴の園地整備については、観光スポットとして村の広報にも掲載され、来訪者にも利用されている。

③森林組合との連携のほか、地元三宅村から若いボランティアの参加もあった。今後もその拡充に努めたい。

●参加者の声

・被災地に毎年少しずつ緑が再生していくのがわかる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	地拵面積	下刈面積	歩道整備	その他	都内	都外	計
1.0ha	1000本	1.0ha	0.5ha	0.4㎞	調査5回	78人	16人	94人
樹種：ヤブツバキ、ヒサカキ、タブノキ								
実施場所：東京都三宅島三宅村								

少しずつ緑が再生している

第3回小田原荻窪森林再生プロジェクト

いのちの森づくり友の会

神奈川県平塚市上吉

●事業概要

進和学園の「いのちの森づくり」プロジェクトは、潜在自然植生理論に基づく「その土地本来の木による本物の森づくり」を目指す取り組みである。「いのちの森 づくり」を通じて、「福祉」「労働（企業）」「環境」及び「教育」の連携に注力している。

今回の事業は、「かながわ森林再生50年構想」の一環として雑草の繁茂している場所の森林再生を行う３回目の事業であり、合計1650本の苗木を植樹した。

●事業成果等

「ドングリ」の実から苗木を育てることは、豊かな情操を育み、苗木の販売や植樹・育樹活動を通じて、学園メンバー（障害者）の自立・就労支援にも役立てたいと考えている。私たちの活動はマスコミからも注目され、累計14万本もの苗木を出荷している。

小田原森林再生プロジェクトは平成22年に開始して、更地であった土地1200㎡に累計5230本の苗木を植樹した。

●自己評価等

「かながわ森林再生50年構想」の一環として、第３回目となる植樹祭、補植を行った。工程にも余裕を持ち、根が深く張るための土工事等も問題なく終了した。

今後の課題として、育樹（下刈り、補植）が２～３年必要であり、定期的に行う計画を立てている。

●参加者の声

植樹場所は石が多く、小さな移植ゴテでは掘りにくい場所で苦労したが、計画通りに終わらすことができ、皆で大きな達成感を味わうことができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.15ha	1650本	54人	5人	59人
樹種：シラカシ、アラカシ、アカガシ、スダジイ、タブノキ				
実施場所：神奈川県小田原市				

シラカシ、スダジイなどを植樹

中越震災みどりの復興メモリアル拠点整備事業

(特)縄文の杜をつくる会

新潟県長岡市飯島

●事業概要

中越震災の翌年から現在まで甚大な被害を被った里山のみどりの復興を目指した整備を進めてきたが第65回全国植樹祭新潟県開催を契機に更なる山並みの緑復興を目的に、既存ブナ林の保存整備と共に震災復興残土埋立地に新たな緑の復興を目指した整備を行った。

●事業成果等

・シンボルツリーの植栽によって緑化推進のアピール力が増大した。

・保全すべき既存ブナ林の整備推進を保全活動として着実に認識・定着することができた。

・地域住民のみならず、協働による緑化推進への大きなきっかけづくりとなった。

●自己評価等

・多くの市民や地元の皆さんから事業への理解を得ることができ、所期の目的は十分達成することができた。今後事業成果への期待が大きいことから「育樹への市民参加」を大いに期待したい。

・今後は年３回、春・夏・秋の育樹イベントを継続し、樹林への成長を見守る。

・今回植樹した樹木の管理と合わせ周辺既存林の管理も具体的に連動させる必要がある。

●参加者の声

・自ら体験することで自然の逞しさを知ると同時に、命の大切さを知ってもらいたいと思い４歳の子どもと参加した。大きく育って美しいブナ林になってくれることを期待し、今後も参加していきたいと思う。（30代主婦）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

土壌改良	高木植栽	苗鉢上げ	除伐面積	間伐面積	下刈	記念植樹	県内	計
0.2ha	13本	200本	0.2ha	0.2ha	0.5ha	0.15ha	168人	168人
樹種：ブナ								
実施場所：新潟県長岡市山古志油夫フィールドミュージアム予定地内								

ブナの植樹

五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業

(特)ブナ友の会

新潟市中央区女池

●事業概要

目的は、放置されたスキー場跡地を緑豊かな里山に復元し、地域の発展に資することであり、その内容は

①旧ゲレンデ、旧林間コースへの植林。

②コース造成により削られた山肌(法面)の緑化。

③スキー場を通過する五頭登山道の修復。

④すでに植えた幼木の育成。

⑤植林と地球環境に関する環境教育等。

●事業成果等

事業開始後10年で植林及び天然更新で必要面積の75%に緑の回復が見られ、残り25%(リフト撤去敷)は行政による回復が進められている。

また、法面緑化を5年続けた結果、法面の50%、床面の100%に保護マットを敷設したほか、法面には乾燥に強いツツジを植栽した。森林の形成には程遠いが、今後の育成次第で大きく成長が期待できる。

●自己評価等

植林に取り組んで13年、植林本数も5000本近くになり、自然回復を含め80%近くが緑化しつつあるが、法面に植栽したツツジは枯れが多く、補植が欠かせない。

なお、地元の参加者が少ないのはＰＲ不足と思われるので、今後の反省と工夫が必要である。

●参加者の声

・法面はすごい。よくやりましたね。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

植付面積	植付本数	下刈面積	法面緑化	植栽箱	県内	県外	計
0.31ha	530本	0.3ha	0.025ha	40個	234人	7人	241人
樹種:ブナ、ナラ、サクラ、ツツジ							
実施場所:新潟県阿賀野市　旧五頭スキー場							

カヤを刈り払い広葉樹を植える

石川の海岸林・砂防林を育てるボランテイア活動事業

石川・水と緑を守る市民の会

岐阜県各務原市鵜沼南町

●事業概要

中京圏の都市住民と地元在住のボランテイアが連携し、地域の森林整備に寄与する活動を行った。具体的には、河北郡内灘町で地元の気象・土壌条件のもとで健全に生育し、防災上の機能発揮への要請に応え得る広葉樹として、エノキとハナミズキの植栽等を行った。

●事業成果等

この地域では、強い北風・西風に耐え得る樹種の選定が課題であることから、育成途上で枯損する恐れの少ない丈高の苗を選び、場所も西海岸からは多少隔たったところを選定した。成果の見届けには期間が要るが、在来手法とは異なる視点を取り入れた多角的取り組みとして、今後の成果が期待される。

●自己評価等

中京圏都市住民が、地元住民と共同で森林作業を行い、意見を交わす「広域交流型・森林ボランテイア活動」は、単なる緑化活動の継続・反復ではなく、「技術面・技能面での改善策」などへの意欲を湧き立たせ、新しい取組みを促す有力な契機になると考える。

●参加者の声

地域住民の生活などに役立つ森林整備の具体策を一層真剣に考えて行く必要性を痛感させられた。

実績とりまとめ表(作業内容・参加者数)

植付面積	植付本数	県内	県外	合計
0.2ha	60本	48人	50人	98人
樹種:エノキ、ハナミズキ				
実施場所:石川県羽咋市				

エノキ、ハナミズキの植樹

グリーンベイＯＳＡＫＡ森を育てる活動（津波の緩衝帯としての防災林づくり）

(特) グリーンベイＯＳＡＫＡ
大阪市西区江戸堀

●事業概要
大阪湾の都市部に沿った埋立地（元産業廃棄物最終処分場）において、津波発生時の緩衝帯、CO_2の削減、ヒートアイランド現象の緩和などに寄与するよう、自然林に近い森づくりを行った。
具体的には、ヤマザクラ、アキニレ、ムクノキ、エノキ、クヌギ、コナラなど14種を植樹し、下刈り、施肥、灌水といった維持管理も行った。
●事業成果等
2008年から７回目で8750㎡に4900本の苗木を植樹し、少しずつ未来の森の姿が見え始めてきている。今まで植えてきた苗木は過酷な環境にありながら、しっかりと育っているが、まだまだ先は長く、継続した植樹活動を必要としている。
●参加者の声
継続して参加している人たちは、そろって森に生まれ変わろうとしている現場に感銘を受けている。５月の草刈会と11月の植樹会を楽しみにしている人たちは、未来の森に大きな希望を託している。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	合計
1125㎡	630本	3000㎡	90人	90人
樹種：ヤマザクラ、アキニレ、ムクノキ、エノキほか				
実施場所：大阪府堺市西区				

ヤマザクラ、アキニレなどを植樹

揖保川源流の１３号地植樹

兵庫ドングリ千年の森をつくる会
兵庫県明石市材木町

●事業概要
揖保川の自然風土を後世に引き継ぐ活動を通して、地域住民の森林に対する意識を高め、地域で交流を図り、地域の森づくりを推進することを目的としている。
●事業成果等
今年度も1年を通し、下刈り、苗木の育苗、ドングリ拾いを行い、1500本を植樹した。それに伴い、近年悩まされているシカ避けネット補修、シカに食べられた部分の補植など、シカ対策に力を入れた。シカ避け対策として下記の2つを行った。
①ローズマリーをシカ避けネットに沿って植栽。
②シカが苦手とするカプサイシンなどの臭いを抽出し、容器に入れ、ネット周囲に設置。
これらを行って月日があまり経っていないため、現在は効果を期待し、見守っている。
●自己評価等
上記の2点は試験的に行ったため、定期的な観察が必要である。課題として長期的な運用のため、半年〜1年程度効果が持続されるかが重要となる。また、積雪地帯のため、転倒などが発生しないかも問題となってくる。植樹した苗木がシカに食べられてしまうという被害が大きいため、今後も補植を続けながら、対策を考えていきたい。
●参加者の声
・自然とふれあいの中、子どもたちの楽しそうな笑顔や表情にドングリの苗木も子ども達もすくすくと育ってくれることを願いつつ、楽しく植樹することができました。(女性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
2ha	1500本	2.11ha	376人	5人	381人
樹種：クヌギ、コナラ					
実施場所：兵庫県宍粟市波賀町、明石市					

クヌギ、コナラなどをドングリから育て植樹

徳島県那賀町木沢　森林整備事業

(特) 鳥雲の森沙漠植林ボランティア協会
徳島市佐古五番町

●事業概要

徳島県那賀町の那賀川上流域(平成16年の台風被害地)において、スギ・ヒノキを中心とした針葉樹に変えてケヤキ・ブナ・ヤマザクラなどの広葉樹を植林し、自然災害に強い森林を整備するため、植林作業を実施している。

同時に平成16年の台風被害の早期復旧をめざしている。

●事業成果等

今回は、会員を含め16人が植林作業に参加、災害の復旧を目指し心地よい汗を流した。植林した広葉樹は明らかに生育しており近い将来に向けて目標は達成できることを実感している。

●自己評価等

植林した広葉樹は明らかに生育しているが、ニホンジカによる食害防止が急務なため、今年から苗木にネットで巻く方法を採用した。コストはかかるが効果は高く食害を防いでいる。

●参加者の声

・以前から植林ボランティアに興味があり初めて参加したが、山林整備により豊かな自然が回復されると思う。早く災害に強い山林を作りたい。
・台風被害の凄まじさを実感した。植えた広葉樹も生育していて早く災害に強い森林が完成することを願って頑張りたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.3ha	350本	15人	1人	16人
樹種：ケヤキ、ブナほか				
実施場所：徳島県那賀町木沢				

ブナやケヤキなどを植樹

「地球に緑を　桜島に緑を」どんぐり照葉樹の森づくり（桜島どんぐりころころ植樹祭）

桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会
鹿児島市下竜尾町

●事業概要

錦江湾近隣の緑の少年団が自ら育てた苗木（ドングリ）を鹿児島のシンボル桜島に植栽し、「緑を育み自然を大切にする心」の育成、森林の重要性、地球温暖化防止等の意欲を高めるとともに、桜島の景観の保持・再生に寄与する。

①ドングリの種蒔き、鉢上げ、森林学習の実施
②２～３年生苗（約50㎝）に生長した苗1176本の植栽

●事業成果等

ドングリの育成、森林学習等により、緑の少年団の緑化意識が向上した。

植樹祭の実施により、桜島の景観の保持・再生が図られた。

●自己評価等

４年前に植栽した苗木は、継続的な下刈、補植、追肥等を実行委員、緑の少年団で実施した結果、5.5ｍに成長している。

今後も「緑の少年団」の育成の中で、継続して維持管理を実施する。

●参加者の声

・鹿児島のシンボル桜島で植樹活動をすることで、多大な波及効果がある。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.29ha	1176本	1.81ha	708人	4人	712人
実施場所：鹿児島市					

712人が参加して植樹

「くにの松原」保全・再生事業

(特) 森と木の研究所
鹿児島市桜ケ丘

●事業概要
「くにの松原」は、白砂青松の海岸林を形成しており、後背地の農地や集落を保全するとともに町民憩いの場所として古くから大切に守られてきている。
しかし、近年、マツ林の富栄養化、マツカレハ及び強風により、広葉樹林化するとともに海岸前線のマント群落が欠如するなど、防災林としての機能を喪失しつつある。このため、町民、ボランティアが一体となって植栽、除伐などの森林整備を行い貴重なマツ林の再生を図った。
●事業成果等
これまで、海岸防災林の保全活動に一般町民が参加する機会は皆無だったが、今回の活動で、町民は、改めて森林の働きや重要性に気付くことができた。また、森林は人の関与により、その機能を維持することができることを学んだ。
●自己評価等
除伐、植栽等は、ほぼ計画通り進められたが、植栽した苗木のうち、シャリンバイ、トベラ、アキグミについては、野ウサギの食害が著しい。次年度からは、マツクイムシ抵抗性クロマツのみの植栽とするなどの改善を図っていきたい。
●参加者の声
・木を植える体験は初めてで、自分たちの町を守ってくれる防災林の整備に参加できてとてもうれしい。来年もぜひ計画してほしい。(子ども)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	除伐面積	作業歩道	防風垣	木工教室	県内	計
0.1ha	1000本	0.7ha	320m	100m	235人	130人	130人
樹種：クロマツなど							
実施場所：鹿児島県大崎町							

クロマツの植樹

真狩ふるさとのもり再生事業

まっかり桜保存会
北海道虻田郡真狩村

●事業概要
目的は、羊蹄山南麓の真狩村社地区において、サクラ並木の環境整備を積極的に行うことにより、環境に対する意識を向上させ、真狩村の美しいサクラ並木と素晴らしい自然環境を将来にわたって引き継いでいくことである。まっかり桜保存会や地域住民が協力してサクラの老木や危険木を伐採・剪定し、サクラの苗木の植樹・食害防止対策・サクラ並木の整備等を行い、また、真狩小学校への総合学習授業への協力を行い、サクラの種採取、種まきなどを行った。
●事業成果等
近年、老木になって数が減っていたエゾヤマザクラが増え、危険木の伐採によって安心してサクラ並木を歩けるようになった。地域住民や村民、まっかり桜保存会が協力して、今回植樹したサクラの苗を成長させ、サクラ並木の環境を整備し、将来にわたって引き継いでいきたい。
●自己評価等
どの苗木も順調に成長しており、サクラが植えられ彩り豊かになった。昨年の秋にマイマイ蛾が大量発生し多くの木が被害にあったので、早めの駆除のため、いち早く変化を察知するための監視をしていく。
●参加者の声
・自分が植えたサクラが今後どう育つか楽しみ。
・サクラが老木になって昔に比べて数が減っていたので、今後大事に育てていきたい。
・以前のような美しいサクラ並木を復活させ、多くの人が集まってくるような場所になれば良い。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.13ha	16本	15ha	13ha	28人	28人
樹種：エゾヤマザクラ					
実施場所：北海道真狩村					

サクラの植樹

「札幌ふるさと樹木園」づくり

(特) 北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

1．札幌の代表樹種の生えているところを樹木園に設定し、入口に「札幌ふるさと樹木園」看板を設置して散策者の誘導を図った。

2．園内を整備し毎木調査と樹名板を設置した。

3．樹木園までの遊歩道の整備により、天然ホタルの保護と観察の向上を図った。

●事業成果等

1．この事業を通してこの環境林における札幌郷土樹種の植生状況を把握することができた。

2．郷土樹種が多く生えているところを樹木園として整備する事ができ、巨木の森をめざす。

3．林内の看板、樹名板、遊歩道整備で散策者は安全に林内散策とホタル観賞を楽しめるようになった。

●自己評価等

1．郷土樹種の保護育成のため外来種のニセアカシア、オオハンゴウソウの駆除と受光間伐を促進した。

2．反省点としては子どもたちがもっと寛げ、安心して遊べる森にしていきたい。

3．今回の様なプロジェクトを実施するにあたり広大な林内（65.14ha）の整備を計画的、効率的に施業するために澄川基本計画がまとまったので確実に実行していきたい。

●参加者の声

・A1地区は20％の間伐で明るくなり郷土樹種の生長に期待が持てるようになった。

・入り口に立てた看板は訪問者の案内だけではなく会員の活動にメリハリと誇りが生まれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	学生	会員	計（道内）
0.3ha	45本	0.3ha	10人	10人	20人
実施場所：札幌市南区					

遊歩道の整備

「館の森」再生事業

みやぎ里山整備クラブ

仙台市泉区

●事業概要

緑の環境に配慮した郊外型住宅団地（泉ビレッジ）が誕生して30年たち、団地内は快適な環境が維持されているが、周縁部の緑地ゾーンは放置・荒廃が著しく進んでいる。このため、幹線歩道に面した緑地部分を整備し、快適空間に再生する事業を行った。

●事業成果等

蔓に虐げられた樹木も勢いを盛り返し、美しい樹形を取り戻しつつあり、歩道横の視界も広がり、防犯上も効果を上げている。また、活動中の映像記録を編集して公開したところ好評を得ている。

この活動をきっかけとして、団地内のあちこちで整備が始まり、３haもの整備が行われ、今後も刈払いを中心に整備を進めることにしている。

●自己評価等

当初の狙い通り、他の地区に波及効果を及ぼした。パイロット的事業として成功した。しかし、一般住民の参加が限られており、広報に工夫が必要である。

●参加者の声

・身体を使うことは楽しい。

・きれいに整備されて、散歩が楽しくなった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	計
0.3ha	27本	30本	0.3ha	67人	67人
樹種：サクラ、サワフタギ、カンボク、コナラ					
実施場所：仙台市泉区					

整備後

いこいの森林再生事業

（株）花葉館・植栽グループ
秋田県仙北市角館町

●事業概要

国道46号沿いのスキー場跡地は、事業廃止後何ら手だてを講じられることなく山肌を露わにし、景観上において好ましくない状態が続いていた。

この状況を改善し、良好な森林に再生するため、各種団体、市民グループ等が、仙北市角館町の観光シンボルである「サクラ」を植栽し、将来人々が憩える「いこいの森林再生」を目指している。

●事業成果等

近隣のレジャー施設と合わせた新たな名所になり得るとの声も聞かれるようになった。

周知を図っていく機会が増えており、広く認識されるようになってきた。

●自己評価等

グループのみならず諸団体からの支援もあり、順調に完了したが、植栽の継続はもとより、植栽後の保育は欠かすことのできない課題である。

●参加者の声

・長期に継続して行く事が大事だ。（60代男性）
・このような企画があったらいつでも声をかけてほしい、必ず参加する。（50代女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.33ha	50本	1.0ha	48人	12人	60人
樹種：オオヤマザクラ					
実施場所：秋田県仙北市角館町					

オオヤマザクラの植樹

安久津八幡山の保全整備事業

安久津八幡山を守る会
山形県東置賜郡高畠町

●事業概要

安久津八幡山は、観光・文化等、里山として重要な資源であり、地元の住人の生活には欠かせない山であった。

しかし、松くい虫被害でマツを切り倒してから、その景観は一変し、ナラ枯れの被害も進んでいる。

このため、サクラ・モミジ・エノキなどの植栽や下刈等を行うことにより、豊な自然を育み、人々の憩いの里山となるよう整備する。

●事業成果等

マツ・エノキなどの植樹や、下刈・除伐を行ったことにより、参加者の緑を育てるという意識を高める事ができた。また、地元の中学生や企業・関係団体の協力による作業を通して異世代間の交流や人と人との繋がりができた。

●自己評価等

里山の復活に関わり、マツ林の重要性を再認識できたので、今後、普及啓発に努める。

多くの人々が里山との関りを深め、山に行くようになってほしい。

●参加者の声

・山の整備の必要性を改めて認識した。人の手が入ってもっと里山としての機能が回復される事業が必要だ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
2ha	20本	28ha	2ha	159人	159人
樹種：サクラ、エノキほか					
実施場所：山形県高畠町					

環境整備してサクラやエノキなどを植樹

花咲か体験

(公社) 福島青年会議所

福島市大町

●事業概要

目的は、福島の象徴「信夫山」の持つ「街中にある自然(山)」という魅力を高め、活用することにより、市内はもとより県外･全国的に魅力ある福島を発信するものである。現存する老木のソメイヨシノに代わる苗木植樹を行うことで、郷土愛を育み、観光地となり得る「自然」を創造し、信夫山の価値を高めることとする。

●事業成果等

福島市民を主とする参加者が4～5人一組となり植樹体験を実施し、記念植樹プレートを設置した。なお、福島市役所の要望も踏まえて、翌春開花が見込める3.5m以上の成木を植樹した。

●自己評価等

整備費のアップ等により、苗木の本数が計画と比べて大幅に減ったので、事前に綿密な打ち合わせが必要であった。ただし、公園内の既存樹木とバランスを考慮し、公園一帯の植樹ができたので、目的は概ね達成した。

●参加者の声

参加者は、「信夫山に魅力を感じたか」との問いに97%が「はい」と回答した。中心市街地に山がある街としての魅力を高め、信夫山に魅力を感じてもらったことが成果である。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	県外	計
1.0ha	22本	195人	10人	205人
樹種：サクラ				
実施場所：福島市				

サクラを植樹

行政とのパートナーシップで管理運営する自然公園

清水洞の上自然を守る会

茨城県那珂市中台

●事業概要

①目的　清水洞の上地区の整備事業の第一次計画地域3.5haの内、行政と相談しながら活動している。又、整備計画は独自に会が計画し活動日を決めて活動している。

②内容　公園内の南側斜面は、雑木やスギが乱立しており整備に苦労している。今回の事業で、この手つかずのスギ林を全て伐採。

a）林の伐採…業者へ委託。

b）伐採後の広葉樹の植栽…会員の手で実施。

●事業成果等

①手つかずの公園南斜面スギ林伐採が完了し、今後傾斜面を利用した土地の有効利用が考えられようになった。

②今後は、傾斜面を整備しアスレチックや芝滑りなど子どもや大人も遊べる施設を計画する。

●自己評価等

①計画通りの南斜面スギ伐採ができた。

②伐採したスギの処分に手間取り、広葉樹は仮植えまでを実施した。現在はスギの引き取り先も決まり整理されている。今後順次広葉樹の正式植栽を実施する。

③今後の課題としては、傾斜面を利用しての憩いの場所の提供。切株の有効活用がある。

●参加者の声

林に光も入るようになり明るくなった。そのおかげで広葉樹の緑が映えるようになった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	その他	県内	計
0.5ha	30本	0.5ha	0.5ha	13回	240人	240人
実施場所：茨城県那珂市東木倉						

不要木を伐採して明るくなった

寺子のエドヒガン樹勢回復事業

寺子の桜保存会

栃木県那須塩原市

●事業概要

推定樹齢350～400年の寺子のエドヒガンは栃木県内を代表するサクラとして、平成元年栃木県名木百選に選定されているが、周囲の農地造成の影響などによる衰退が見られた。

平成19年11月に地元自治会住民による保存会を設立し、雑草の刈払や枯れ枝の処理通気管の埋設を行ってきたが、今回、樹勢回復として根茎の保全及び伸長を促すための土壌改良などの処理を行うとともに、作業道を整備した。

●事業成果等

作業道により、重機などの機材を容易に搬入することができるようになり、回復工事の幅が広がった。

土壌改良等の効果については、今後の状況を見守る必要がある。

次年度の計画として、これまでの点の治療から、面の治療に切り替えていくことを考えている。

●参加者の声

・一日も早く元のサクラの花を見せてほしい。こんなに苦労したんだから絶対戻るよ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

通気管埋設	刈払	看板等設置	計
作業道整備	土壌改良	殺菌殺虫剤散布	19人
実施場所：栃木県那須塩原市			

樹勢回復作業

ふるさとの巨木救助活動

群馬県樹木診断協会

前橋市苗ケ島町

●事業概要

伊勢崎市民の憩いの場である市立「華蔵寺公園」内のスダジイは、「梨本宮殿下お手植えのスダジイ」と呼ばれ、大正５年３月６日植栽で樹齢は約100年の堂々とした巨木である。近年、踏圧や異常気象等の影響か枯死枝が多く発生し樹勢劣化が目立ってきたことから、樹勢回復を図るため、枯死枝の除去、根元周辺の土壌改良、施肥及び踏圧を防止するための地被植生（タマリュウ）の植栽を行った。

●事業成果等

枯枝が多く、衰退した様相を呈していた巨木が、見違えるようになった。

根元周辺も地被植生のタマリュウを植栽したことで景観が向上し、踏圧防止が期待できる。

土壌改良の成果は、今後の経過観察が必要があるが、樹勢回復の措置により見学に来る市民も増えて、貴重な巨木を大切にしていく事業に関心が高まった。

●自己評価等

計画どおり実行したが、今後、樹勢回復処置の効果を見守るとともに、根元周辺に植栽した地床植生の生育管理を行うこととしている。

●参加者の声

・地域に親しまれている公園のシンボル的巨木であり、健全生育を期待する。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

樹勢回復	県内	計
１本	19人	19人
実施場所：群馬県伊勢崎市　華蔵寺公園		

スダジイの樹勢回復作業

西川地域「ふるさとの森」を守る獣害対策事業

(特) 西川木楽会

埼玉県飯能市大字飯能

●事業概要

人工林の伐採跡地で森づくりに取り組んでいるが、ニホンジカによる植栽木への被害や林地の裸地化が顕著となり、今後の森づくりに支障が出てきたため、獣害防護柵を設置した。

●事業成果等

効果的な柵の設置のためには、加害動物の把握と行動パターンの確認が必要であると考え、監視カメラを設置し、分析した結果、毎日、ニホンジカが植栽地に出没し、夜間、活動していることが分った。柵は全周に設置するクローズタイプとしたが、経費削減のため、支柱の工夫や会員による設置活動とした。

また、会員や会員外に呼びかけ、動物により裸地化した箇所へミツバツツジを植栽するイベントを開催し、早期の緑化を図った。

その後、監視カメラを定期的に分析しているが、植栽地へのニホンジカの進入は、確認できず、裸地化した箇所へも、草が生えはじめた。今後、森が豊かな植生に回復することができると確信している。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	20本	36人	36人
樹種：ミツバツツジ			
実施場所：埼玉県飯能市			

ミツバツツジの植樹

東金市山王台公園サクラの森林再生

(特) 樹の生命を守る会

千葉県松戸市金ケ作

●事業概要

テング巣病のまん延、近接樹木の被圧、密植障害などから樹勢が衰退し、名所としての魅力を失っていた東金市山王台公園のサクラの再生復活活動を行った。

①「東金市山王台公園サクラの森林再生委員会」による検討

衰弱の原因や再生方法、作業内容、実施工程、啓発のための周知等について協議

②樹勢回復活動

・病害枝、枯損枝の剪定など

・ウメノキゴケ掻き落とし、木酢液撒布など

●事業成果等

事業と平行して他地域でのサクラ樹勢衰退への対策指導市の文化会館前の主木、イヌマキの虫害診断なども行われ、当事業が樹木の健全育成及び周到な管理方策への関心を高める波及効果をもたらした。そして何よりも事業の実施により、理解と共感が深まり、今後のサクラの森林再生へ向けて、全市的な機運が醸成されたことである。

●自己評価等

今後、行政側の長期的視野に立った体制強化と熱意ある専門家の育成、機会を捉えての啓蒙啓発運動を通して、名所復活のための取り組みに向けた、広く横断的、一体的な組織づくりが必要である。

●参加者の声

・診断と再生治療技術の実際を見ることができた。サクラの森林再生を信ずる。(65歳男)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

現場面積	現場確認	樹勢調査	樹勢回復①	樹勢回復②	県内	計
5ha	6人	9人	10人	11人	36人	36人
実施場所：千葉県東金市						

ウメノキゴケ除去作業

優れた景観を持つ太東埼の森を将来に引き継ぐ事業

(特) 太東埼燈台クラブ

千葉県いすみ市岬町

●事業概要

目的は、太東埼の貴重な森林を将来に引き継ぐため、子どもたちによる植栽イベントを開催し普及啓発を図るとともに、荒廃の進む森林や遊歩道の大掛かりな整備である。

●事業成果等

太東埼周辺の森林は大掛かりな剪定などを要するほど荒廃が進んでいた。これまでのボランティア活動だけでは出来得なかった適切な森林整備を本事業で行うことができ、眺望や遊歩道の機能も回復し、地域住民や来訪者が一層親しめる環境が整った。

この環境整備維持活動の課題である次世代への継承について、中学生が時々落ち葉掻きに来てくれるようになったことは大きな成果である。

●自己評価等

植栽は計画どおり行ったが、一部の浜木綿において霜の被害を出したので、今後は早くから霜囲いを計画したい。

作業安全面において、会員も皆、高齢で力仕事は無理があるため、伐採やチエンソー作業は経験を有するボランティアと連携し行うことの必要性を再確認した。

自己評価として、燈台周辺の緑の大切さを小学生、その保護者また観光客ほかに伝えることができたと思われ、この取り組みが次世代へ繋がるものと確信している。

●参加者の声

・今後、草花や小木の手入れを手伝いたい。(近隣の女性)
・自然の大切さや森の役目など勉強になった。(親子連れ)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	剪定	落葉掻き等整備作業	県内	県外	計
1.3ha	120本	3ha	2.6ha	0.4ha	3回	195	10	205
樹種：ローズマリー、ヤマツツジほか								
実施場所：千葉県いすみ市								

小学生も参加しての植樹

日野市制50周年　日野の森再生事業

日野の森再生ボランティアネットワーク

東京都日野市日野本町

●事業概要

明るく健全な雑木林を維持・保全・再生して次世代に引継いでいくことを目的に市内3箇所（①仲田の森蚕糸公園、②百草山緑地、③南平丘陵公園）において活動している団体でネットワークを結成し、それぞれの活動場所において下草刈りや萌芽更新、植樹を行った。

●事業成果等

仲田の森蚕糸公園では、日野桑園、蚕糸試験場であったことを踏まえ桑苗の植樹を行ったことで、近代産業遺産として現存する第一蚕室とともに、歴史教育や体験活動を推進し、郷土愛を育むことの一助となった。百草山緑地では、手つかずであった雑木林を本来の姿に回復させるため、下草刈りや竹の伐採を実施し、コナラ、クヌギなどの植樹を行い荒れた里山の再生をはかることができた。南平丘陵公園では、市制50周年記念植樹、公園内緑地の下刈りや萌芽更新を実施し緑地の再生をはかることができた。

●自己評価等

仲田の森蚕糸公園の桑苗の植樹については、隣接する仲田小学校児童や地域住民とともに作業を行い歴史教育や地域交流などの体験活動を実施できた。百草山緑地では、緑と清流のまちにふさわしい緑地景観回復への第一歩を踏み出すことができた。公園全体が緑地となっているため樹木が成長し混雑した状態であるが、今後も引き続き維持管理を行っていきたい。

●参加者の声

・桑園や蚕糸試験場の歴史にふれることができた。植樹について、貴重な経験ができた。樹木の成長が楽しみである。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	都内	計
0.13ha	127本	0.15ha	0.03ha	0.5 ha	85人	85人
樹種：クワ、コナラ、クヌギなど						
実施場所：東京都日野市						

クワやコナラなどを植樹

丹沢ニノ塔森林再生事業

神奈川県山岳連盟
横浜市港北区大曾根

●事業概要

丹沢山塊のニノ塔の山腹にある崩壊裸地斜面における、森林再生を図るため、連盟会員と一般市民のボランティアの参加を得て、森林再生に特化したセミナー及び、砂防樹苗200本の植栽を行った。また在来までの植栽の保育を継続するとともに、今期の植栽床の確保のための裸地斜面での作業路と土留を兼ねた柵工づくりを行った。

●事業成果等

裸地化した崩壊斜面に土砂流亡を抑え、ケヤマハンノキ200本を植栽した。既に活着した約116本(活着率77%)を合わせ、約320本が崩壊裸地に林立させることととなった。今期の在来活動の拡大展開として行ったものであるが、勢いよく育った在来植栽苗の実物例を見つつの実施であったことから、参加者の意欲を一層発奮させる結果となった。

●自己評価等

2009年から2011年、地点での3年間の植栽失敗を踏まえ、2012年に活着に成功し、年々本数を増やすとともに、植栽地を広げ、活着率を高めてきた。山岳地での植栽は難しいもので、今回は、植栽の技術的な集大成として、拡大実施を図った。活着まで、獣害・虫害・風衝・凍上・雪・雨など平地とは違った複雑な条件を乗り越えなければならないことを認識している。これればかりは忍耐力の勝負とも考える。

●参加者の声

・苗木の成長の姿を目にし感動。活動に参加してよかった。
・急な山道を苗木を運びは大変だが良い汗を流し爽快だ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	セミナー	保育	土木工	資材運び	県内	県外	計
0.14ha	200本	30本	2日	11回	3回	2回	142人	2人	144人
樹種：ケヤマハンノキ									
実施場所：神奈川県秦野市									

ケヤマハンノキの植樹

混交林化でふるさとの森づくり

(特)伊勢原森林里山研究会
神奈川県伊勢原市伊勢原

●事業概要

石雲寺の森調査エリアの混交林化、地域緊急課題の土砂崩壊と危険回避のため次の事業を行った。

①次年度実施予定の植樹事業を考慮し胸高径による択伐法を見直し、樹木配置図による列状本数の少ない箇所の５m幅の列状間伐（４列・61本）を実施した。

②一之瀬の森土砂崩壊地の倒木処理150本及び沿道沿いのヒノキ林を間伐50本を搬出した。

●事業成果等

大径スギ材の有効活用が見込まれることから葉枯らし間伐材として林内に放置中である。一之瀬の森倒木材は丸太組み土留め工敷設のために林地集積し、又ヒノキ間伐材は生物看板枠脚部、谷戸田米づくり市民の木工体験に活用予定である。枝部は粉砕機チッパリーナを用いて粉砕し林床保護のため一之瀬の森林内に散布した。地域課題に即対応したことにより信頼関係の構築が図られた。

●自己評価等

事業の延期により一之瀬の森崩壊地倒木処理と強度間伐を行うことができ、事業は100%達成した。反省点は森づくりイベントが実施できなかったことだが、ニホンジカの里地への進入を防ぐため、パッチ状強度間伐と植生保護柵設置数を増やし、３～４年後に保護柵を時間差開閉することによる生息環境を確保した森づくりを提唱する意味は大きい。専門家の指導によるシカの食餌行動・牧養力を観察し実証例をビデオ化し市域を超えて各団体に呼びかけたい。

●参加者の声

・倒木数の多さに足がすくんだがやりきった満足感があった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	間伐数	倒木処理	集材	県内	計
1.17ha	111本	0.9ha	200本	140人	140人
実施場所：神奈川県伊勢原市					

倒木の処理

汐見台市民協働の森づくり事業（新潟市中央区）

新潟地域緑化推進協議会

新潟市西区五十嵐中島

●事業概要

汐見台市営住宅は、新潟地震の震災復興のための災害公営住宅として建設され、現在は取り壊されて更地となり、雑草やツルの繁茂で荒れていることから、跡地を海岸林に再生するため、市民協働でクロマツ苗木の植栽を行った。

●事業成果等

植樹地のすぐ近くにある浜浦小学校から大勢の小学生が参加してくれたことから、次世代を担う子ども達に海岸林の重要性と木を植える楽しさを伝えることができた。今後は、地元自治会で育樹管理をする団体を立ち上げ、継続して維持管理を続けていく。

●参加者の声

・木を植えるのは初めてで、楽しかった。（小学生）
・大きく育って、小学校を守ってほしい。（小学生）
・海岸林の重要性を再認識する良い機会になった。（地域住民）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	県内	計
0.12ha	610本	650人	650人
樹種：クロマツ			
実施場所：新潟市中央区			

クロマツの植樹

ササユリの咲く森再生プロジェクト

（特）森林総合支援センター

富山市婦中町

●事業概要

【事業の目的】

成長不良のスギ・ヒノキは強度の間伐を実施し、将来は針広混交林とし、樹戯夢（じゅげむ）の森が豊かな植生となることである。また、下層植生としてササユリが咲く環境も整え、散策路を歩いて楽しめる森づくりを行うものである。

【事業の内容】

植生調査の実施、作業路・散策路の新設による踏圧ダメージの防止、間伐材（良材）の搬出・利用、広葉樹苗木の植栽を実施した。また記念イベントとして植栽、林内の下刈り、森の維持管理作業（枝打ち等）は継続して実施した。

●事業成果等

強度の間伐を施した結果、林内に散乱光が差し込み、ショウジョウバカマやササユリがこれまでより多く発生が見られるようになった。

●自己評価等

植生調査で確認できた樹種については、保存すべき樹種（コナラ、リョウブ等）と、排除または本数調整を要する樹種（ヒサカキ、ツゲ類等）が区分できたので、今後は整備作業において植生樹種の管理が必要となる。

●参加者の声

・これまで入る事が怖くてできなかった森に道が付いて安心して入る事ができて楽しかった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	植生調査	県内	県外	計
0.8ha	58本	0.5ha	2ha	2ha	2回	43人	23人	66人
樹種：ヤマザクラ、クリ、コナラ、ハンノキ								
実施場所：富山市婦中町								

間伐

「ふるさとの絆の森」再生事業

石川フォレストサポーター会
金沢市古府

●事業概要

平成19年３月に発生した「能登半島地震」の震源地に近い、輪島市門前町道下地内の仮設住宅跡地は、地元自治体などによって復興を象徴するメモリアルパークとなっている。しかし、施設外縁部の森林帯では、これまでに様々な行事などで植栽されてきた樹木が増加しているものの、全体的には未整備地が残り、また、植栽樹木の枯損などの被害も著しい。そのため、森林の持つ諸機能の発揮のみならず、地域のシンボル的な空間としても継続した森林再生の取り組みが望まれている。下刈り・補植などを行い、数年にわたり活動を続けることによって本来の森林を再生させることができると考える。

●事業成果等

８月の活動は、地元輪島市との連携の下、子ども長期自然体験村の参加者に、森林整備の活動体験をしてもらう事ができ、次世代につながる活動にもなった。

11月に植樹したクロマツなどについては、潮風の影響か枯損しているものもあり、翌年の６月に補植を行った。植樹と並行して、平成20年以降に様々なイベントで活用されてきた植栽地の下刈りを行い、樹木の保育に努めた。

●自己評価等

今後、数年にわたり継続的に保育活動を行うとともに植樹・補植を繰り返し続けていくことで、森林を再生させることができると思う。地元輪島市をはじめ、地域自治体との連携が今後の課題である。

●参加者の声

・腕がかゆくなったけど、おもしろかった。(小学生男子)
・植樹した木が１本でも多く根付いてほしい。(60代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	体験会	県内	県外	計
0.4ha	103本	0.9ha	1回	79人	35人	114人
樹種：クロマツ、コナラ、アベマキ						
実施場所：石川県輪島市門前町						

クロマツほかを植樹

観光伊豆の玄関口「亀石峠」にサクラ並木よみがえり

(特)伊東里山クラブ
静岡県伊東市富戸

●事業概要

伊豆半島の中央部と東海岸を結ぶ主要県道19号線「亀石峠」にあるオオシマザクラの並木路を再生し、「観光・伊豆」の玄関口の自然景観の向上、美化活動に役立てようとするものである。

●事業成果等

雑木除伐、投棄ごみの一掃などの活動を行った後、事業成果をアピールする広報紙を発刊して多方面へ配布し、活動への理解を得た。特に雑木を処理したことで明るい森林に様変わりし、その後は悪質なごみ捨てが随分減った。

●自己評価等

活動日数を多く取れず、山の枯れたマツの処理が手つかずに終わってしまったが、新たに植えたオオシマザクラの生長が今後の楽しみである。

●参加者の声

・これまで薄暗いイメージだったのに、綺麗になって驚いた。(50代女性)
・車で走っていて初めてオオシマザクラの存在を知った。(50代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	地拵え	県内	計
0.4ha	23本	0.1ha	0.2ha	0.1ha	94人	94人
樹種：オオシマザクラ						
実施場所：静岡県伊東市宇佐美						

オオシマザクラの植樹

雲出川・「石橋のエノキ」の保護治療事業

大井キッズクラブ

津市一志町

●事業概要

出雲川の中流域に所在する「石橋のエノキ」は、三重県を代表する巨樹で、樹齢は500年といわれており、近鉄大阪線の電車から見え、また街道ウォークのシンボル的な木としても周囲の人々から親しまれていた。

しかし、平成24年６月に台風被害を受け、エノキの幹数本が折れ、倒壊する危険性も指摘されたため、地域住民でつくる大井キッズクラブが保護治療を行った。

活動は、樹木医による剪定等の保護工、完熟堆肥等の樹勢回復工を行った。特に３月６日の施肥は、３月末で閉校する地元小学生と地元住民が一緒になって実施したため、新聞などの取材を受けた。

●事業成果等

枝剪定と幹支柱２組の設置により、倒壊の危険性が回避できた。また、施肥を行った子どもたちには、地元の巨樹を自分たちで守るという意識が芽生えたのではないかと期待している。

●参加者の声

・歴史ある木をみんなで守った。（住民）
・大変だったけど、何百年続いた木がこれからも元気でいてほしい。（子どもたち）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

樹勢回復	県内	計
1本	60人	60人
実施場所：三重県津市		

地域のシンボル・エノキの樹勢回復

小面積皆伐による里山再生モデル事業

四日市自然保護推進委員会

三重県四日市市沖ノ島町

●事業概要

「里山保全活動は市内でもいくつかの場所で行われているが、それらは間伐を中心とする公園型整備であり、ナラ枯れの進行にはかえって逆効果との知見が得られている」（森林総研関西支所）

このため、毎年小面積ずつの皆伐を行い、萌芽更新を促して、かつて見られたコナラを中心とするふるさとの里山モデルを作り、市民の自然観察や環境学習の場を作るものである。

●事業成果等

保全活動は、２年目に入り、四日市市環境学習センターや企業のボランティア活動、森林施業ＮＰＯと協働・連携も進み、環境学習の場を兼ねながら作業を進める仕組を構築することができた。萌芽更新による里山の再生については、確定的なことを言える段階にはないが、現段階では順調に進んでいる。

●自己評価等

ほぼ、予定通りの活動を行うことができたが、森林施業の技術については力量不足であり、今後協働するＮＰＯから更に技術を学ぶ必要がある。また、切り出される木材を有効に活用することによって持続的に活動を行うことのできる基盤を作ることが今後の課題である。この活動は単年度で成果の出るものでなく、市民の理解を得ながら今後とも地道に活動を継続することが大切である。

●参加者の声

・チェンソー操作はできるので、時間がゆるすかぎり参加したい。（大人の里山づくり講座参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

間伐面積	皆伐面積	調査・観察	里山作り講座	皆伐・搬出	県内	計
0.2ha	0.2ha	10回	4回	7回	306	306
実施場所：三重県四日市市南部丘陵公園						

一定の間隔をとりながら、低木を伐採

島本町における「ふれあいの森」再生事業

(特) 島本森のクラブ

大阪府三島郡島本町

●事業概要

目的は、平成３年３月設置の「みどりの日制定記念の森」再生事業である。主な活動は次のとおりである。

①常緑樹林内の整理伐を行い、明るい落葉広葉樹林化。
②周遊路を再整備し、住民などが森に親しめる状態に復元。
③青少年の環境学習、住民・企業社員の体験活動が行える状態にする。

●事業成果等

具体的成果としてナラ枯れ木処理、周遊路階段補修、観察木植樹、余材活用での椙木・炭材作り等多くの成果が得られた。また、青少年団体･CSR団体の体験参加実績は、今後の活動拡大のよき手本となることを信じて、地域住民へのPRを積極的に行っていく予定である。

●自己評価等

活動参加人数目標240人・日に対して、実績は341人・日と、目標を大幅に上回る1.4倍に達し、早期対策が必要であったナラ枯れ木処理55本、階段補修88段、植樹50本など大きな成果を得ることができた。今後は、地域の住民や青少年の参加拡大の具体策を立て、行政・他団体への働きかけなどで、実現して行きたい。

●参加者の声

・平素は都会生活ですが、今回の自然との接触で環境保全の重要性を体験でき、最高に良かった。(CSR参加者)
・今回の体験を活かして、小学生対象に「自然に親しむ催し」を計画、ぜひ実現させたい。(大学生)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	体験イベント	階段補修	椙木炭材	木・竹炭	府内	府外	計
0.05 ha	50本	0.15 ha	1.15 ha	2.20 ha	２回	88段	296 本	293 kg	285 人	56 人	341 人
実施場所：大阪府島本町「記念の森」											

ナラ枯れ木の処理

鉢伏高原ブナ再生事業

ブナを植える会

神戸市和田山通

●事業概要

ブナを植える会は、創立以来34年間、豊かな自然の復元を願って但馬地方の山々に約1万3000本のブナを植えてきた。その結果、環境学習のフィールドとして、また、地元住民の交流機会として成果をあげている。

●事業成果等

第１回に植えたブナは立派に成長して、今春、実生苗が見つかったことにより、植樹したブナが40年で結実することがわかった。

これからは、林内に作った苗畑で苗木が供給できることになった。

●自己評価等

スキー場開発のため多くのブナを伐ってきた鉢伏高原は、今、再び自然高原への回帰することが求められており、今後、整備したブナ林を緑の少年団交流会、滝川高校インターアウトクラブなどの環境学習に活用できる。

●参加者の声

・一番印象に残ったのは、林業の楽しさだ。今まで経験していなかったので、新鮮であると同時にやりがいのある楽しい作業だった。(高校１年男子)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	計
0.7ha	25本	1.5ha	99人
実施場所：兵庫県養父市			

これまでに１万3000本のブナを植樹

荒廃したふるさとの森林を地域の森林ボランテイア団体と連携して再生する

(特) 森づくり奈良クラブ

奈良市高畑町

●事業概要

矢田山自然公園を南北に縦走するハイキング道に隣接する現地は、かっての棚田跡地に植樹されたが、そこへ竹がすごい勢いで浸食、藪化して樹木の生育・景観を大きく阻害しているため、荒廃した森林・竹林を整備する事を目的とした。活動にあたって他の森林活動を実施している団体や一般市民のみなさん、ハイカーなどに「緑の募金助成事業である」事を説明し参加を呼び掛けた。ハイカーには「一本でもどうですか」とタケ伐りの呼び掛けを行った。奈良県明日香村にある国営飛鳥歴史公園のボランテイア養成講座の塾生35人の参加があった。

●事業成果等

ハイキング道に沿う形で「森林・竹林」の伐採・整備ができたので、一帯が明るくなり、景観が回復出来た。林の中が明るくなった事により多様な植生が期待される。また国営飛鳥歴史公園ボランテイア養成講座のみなさんからは、次期受講生の受け入れを要請された。

●自己評価等

計画はほぼ実施できた。今回は4団体の皆さんと作業や意見交換の機会を持つ事ができたがさらなる呼びかけが必要である。また森林をさらに理解していただくために地域の方々の参加を募る方策を考えたい。特に子どもさんを巻きこんだ「森林体験の企画」を増す必要を感じた。

●参加者の声

・やぶと化した竹林が自分たちの一鋸ひとのこで明るくなっていく様子に感動した。(30歳女性)
・機会があれば次回も参加したい。(60歳代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

竹林調査	作業道整備	除伐作業	除伐面積	県内	県外	計
1.3ha	30m	11回	1.3ha	201人	18人	219人
実施場所：奈良県大和郡山市　県立矢田自然公園内						

竹林整備

虫いっぱいの里山づくり

虫いっぱいの里山づくり隊

奈良県橿原市南山町

●事業概要

橿原市昆虫館の周辺の山地を里山の環境に回復させ、自然のすばらしさや生物多様性を学ぶ環境にするためのものであり、主な活動は次のとおりである。

①里山の維持管理（下刈りなどによる里山環境の回復と生物多様性の環境づくり）
②生物多様性による環境教育の実施（里山に関わる展示や里山クラフト体験、里山の生物多様性について啓発）
③フィールドミュージアムとしての利用（草花の植栽や植林を行い昆虫などを増やす）

●事業成果等

①下刈りや間伐などの活動を継続し、フィールドミュージアムとしての利便性を高めるよう、樹名板の設置や観察路の補修を行った。
②昆虫を寄せる工夫、蝶等を誘引する花などを植栽することにより、子どもたちへの環境教育、生物多様性の普及啓発に活用した。
③里山の産物を利用したクラフトづくり、里山の生き物の紹介や展示によって里山環境や自然、生物多様性について関心が高まった。

●自己評価等

計画どおり、整備やイベント活動、環境教育を実施することができた。今後は高木伐採が可能な団体との連携を考慮する必要がある。

●参加者の声

・子どもが野外でいきいきして、網をふって虫をさがしたり楽しんでいる様子は、学校の教室の授業では見られない表情だった。(昆虫観察会に参加した保護者)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	遊歩道整備	県内	計
0.05ha	460本	1ha	0.05ha	200m	233人	233人
樹種：柑橘類、フジバカマなど						
実施場所：奈良県橿原市南山町						

下刈り作業

「懐かしい故郷の里山を守り育てる」（「ふるさと演習林」拡張・整備事業）

はしもと里山保全アクションチーム

和歌山県橋本市高野口町

●事業概要

和歌山県橋本市北東部に位置する山林（ふるさと演習林）を整備し､「里山」を保全するため地域で活躍するプロの「山師」の指導を受け、彼らの持つ技術や道具の使い方、安全に対する姿勢などを学んだ。

主な活動は以下の通りである。

①間伐・枝打ち、林床の整備、竹の除伐、風倒木の除去。
②植樹
③間伐・除伐材の活用（「薪」やシイタケ「ホダ木」など）
④自然観察会

●事業成果等

整備によって『ふるさと演習林』もすっきりし､「見栄え」も良くなった。当会メンバーだけでなく、多くの方の御協力を得て、これまでより活動の幅を広げることができた。

●自己評価等

会員の高齢化などの問題もあるが、今回得た知識や経験を生かし、今後もできる限り活動を続けていきたい。

「力量」を考慮し、現実的で実行可能な計画を立てることの大切さも学んだ。

●参加者の声

・山のプロの「技」には感心するばかり。こうした技術を次の世代に伝えていくことの大切さを感じた。(60代女性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	40本	0.9ha	0.5ha	0.2ha	222人	31人	253人
樹種：イチイガシ、アベマキなど							
実施場所：和歌山県橋本市							

作業の講習会

「郷土の森」の再生・整備事業

橋本ひだまり倶楽部

和歌山県橋本市北馬場

●事業概要

目的は、橋本市民が自然にふれあい、森の大切さを学び、市民に愛される「郷土の森」として今後も利用・活用するため、森の維持管理と植樹事業である。

①枯れた樹木の伐採と遊歩道の階段整備（会員・小学生・専門家延べ74名参加の伐採と整備）
②放置林を伐採し、実のなる木を植樹し、新しい森を作った（会員・小学生延べ59人による伐採と植樹）
③将来に渡って森林の維持管理できるよう機械の使い方と伐採指導（森林インストラクターによる指導）
④森の恵みを学ぶため、シイタケのホダ木作りやハチクのタケノコ採り（会員・小学生延べ43人）

●事業成果等

森の遊歩道の階段が崩れた部分を補修し、市民の皆さんや子供達の散策や観察を安全に実施できるようになった。また、新しいフィールド作りのため放置された森林部分を皆伐し、実のなる木を植え、市民や子ども達に植樹体験ができ、森の遊び場も増えた。今後も郷土の森の維持管理に大いに役立つと期待している。

●自己評価等

７haの森全体を整備するまでには至らなかったが、市民が散策・観察する遊歩道の部分は整備された。今後は残された部分を、自分たちで森の維持・管理をしていきたい。

●参加者の声

・伐採を専門家から教えてもらい勉強になった（66歳男）
・早くたくさんの野鳥が来て欲しい（小学生女）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	階段整備	園路整備	観察会	体験イベント	県内	県外	計
0.4ha	5本	2ha	2ha	0.7ha	3箇所	7箇所	2回	3回	175人	1人	176人
樹種：エノキ、エゴノキ、モミジ											
実施場所：和歌山県橋本市											

枯れた木などを伐採

荒廃する果樹園跡地（廃園となった梨園）の里山再生事業

讃郷愛林協会
鳥取県倉吉市上井

●事業概要

ナシ畑が20数年放置されクズが生い茂っていることから、秋に一般ボランティア20人で100本、春に短大生と協働で200本の植樹を行った。

●事業成果等

協会は、自分たちで課題に向かって挑戦しているが、反面、動員力に課題がある。学生、教職員50人の参加者は、ナシ畑の跡地問題について初めて知ったという人がほとんどで、この問題に一石を投じた意味はあると思う。誰の所有か分らず、誰も足を踏み入れないまま藪に変っていく場所を、里山に再生する事にロマンを感じる。

私達は保育についても重視しており、この数年は植えてからの地道な下刈りがポイントだと思っている。

●参加者の声

・何十年か先を想像するだけでも心が豊かになる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
2.0ha	300本	1.4ha	91人	91人
樹種：ヤマザクラ、ケヤキ、クヌギ、ナラ				
実施場所：鳥取県倉吉市				

ケヤキ、クヌギなどを植樹

斐伊川水源交流の森づくり事業

(特)もりふれ倶楽部
松江市島根町野波

●事業概要

平成18年６月、宍道湖・中海ラムサール条約締結を記念して、伐採跡地にコハウチワカエデなど広葉樹300本を植樹した区域の下刈り・除伐を行い、散策しつつ紅葉等を楽しめる「ボランティアの森」として整備するものである。また、隣接するスギ・ヒノキ林を間伐し、下流部の小学校の児童などが間伐の大切さと原木シイタケ生産を見学できる「生産の森」として整備した。

●事業成果等

「ボランティアの森」は容易に子どもでも動き回れる森になり、「生産の森」は適度に間伐され、材も片付けられ、原木シイタケ生産現場として見学できるようになった。これらは、平成26年度に奥出雲町内の２つの小学校が森林教室で活用することとなっている。

●参加者の声

・自分が植樹した木がここまで育っているのを確認できて、森林づくりの奥深さを感じた。
・広葉樹の森林だけでなく、スギ・ヒノキの林の良さも解り愛着が湧いた。
・５年後くらいにこの森の整備をしてみたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	0.5ha	31人	31人
実施場所：島根県奥出雲町			

運び出された間伐材

長船刀剣の森づくり

長船刀剣の森づくり実行委員会

岡山県瀬戸内市長船町

●事業概要

岡山県美咲町及び吉備中央町において進めている「長船刀剣の森」の整備を、実行委員会ならびに一般ボランティアと協労して行うとともに、県木であり本県の代表的な伝統工芸である日本刀製作に欠く事のできないアカマツ林の再生を通じ、地域のシンボルとなる森づくりを目指す。

そのため、アカマツ植林→森林整備→伐採→製炭→植林という循環型の森林造成及び維持管理を行う。

平成25年度は、吉備中央町に現在整備を進めている「長船刀剣の森」にて、実行委員会ならびに一般ボランティアと協労して、一昨年植林したアカマツ林の手入れ、炭焼き体験「長船刀剣の森」の整備を図った。

●事業成果等

参加者の多くが、日本刀製作に欠かせないアカマツ炭を岡山県でも生産していることを知らなかった。この活動を通じて岡山県が誇る伝統文化「日本刀製作」について興味を持ってもらうことができた。

●自己評価等

「長船刀剣の森」の整備や製炭を通じて、大勢の方にこの取り組みを知っていただき、日本刀に興味をもってもらう「きっかけづくり」の場とする。また伝統技術継承していくために、人材育成にも力を入れていきたい。

●参加者の声（参加者の感想等）

・力を合わせて取り組む住民の姿が印象的。（岡山市・女性）
・炭を窯から出すのがたのしかった。（吉備中央町・小学生）
・こんな世界があるとは知らなかった。（瀬戸内市・男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

除伐面積	炭焼き体験	県内	計
1.0ha	2回	59人	59人
実施場所：岡山県吉備中央町、美咲町			

炭焼き体験

妙見山共生の森づくり事業

長門市花と緑のまちづくり推進協議会

山口県長門市東深川

●事業概要

人と自然が共生する豊かな森づくりの推進を図るため、市民の憩いの場である妙見山展望公園付近に、コナラ・ヤブツバキの植樹を行ったもので、主な活動は次のとおりである。

①荒れ地の下刈作業
②油谷小学校児童に対する校外授業
③油谷小学校児童やNPO等による植樹

●事業成果等

小学生や多くの地域住民参加による植樹活動は、地域内の三世代の交流とともに、荒れ地の環境を改善した。

また、校外授業・植樹作業により、普段、森林環境にふれることの少ない児童にも森林の大切さや環境保全の重要性の啓発を図ることができた。

●自己評価等

市民、地域コミュニティ、市民活動団体、学校と行政が一体となった意義ある取組となった。今後も、人と自然が共生する森づくりを推進し、みどり豊かな生活環境を次世代に引き継いでいけるようボランティアの育成・拡大等に取り組みたい。

●参加者の声

・楽しかったので、また植樹活動に参加したい。（小学生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	224本	0.1ha	158人	158人
樹種：ヤブツバキ、コナラ				
実施場所：山口県長門市				

ヤブツバキやコナラなどを植樹

ひなの里森林再生事業

(特) 徳島県森の案内人ネットワーク

徳島市山城町

●事業概要

勝浦町においても、ツル絡みやノイバラ繁殖が目立つ放置里山が目立ってきたことから、再生のための除伐・下刈作業を行った後、ヤマザクラ等の花の咲く木を植樹した。

●事業成果等

ツル等がひどく、大変な作業だったが、大勢の住民や小学生の参加もあり、無事終えることができ、放置里山が見違えるようにきれいになった。

何年か後にはきれいな花が咲くが、それまで、地権者とボランティアが連携して下刈とツル切等を継続することにしている。

●参加者の声

・このたびの里山は、ごく一部にしかなりませんが、力を合わせて少しずつでもふるさとをきれいにし守っていくきっかけになった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
1.0ha	180本	0.5ha	0.5ha	60人	60人
樹種：ヤマザクラ、ヤマツツジ、オンツツジほか					
実施場所：徳島県勝浦町					

ヤマザクラ、ヤマツツジなどを植樹

里山ふれあいプロジェクト

(特) フォレスターズかがわ

香川県仲多度郡まんのう町

●事業概要

森林整備と間伐材を使った環境教育プログラムの提供を目的として、国立公園内にある民有地のヒノキ林と雑木林の整備（間伐、侵入竹の除去、枯損木の整理など）を実施したほか、隣接する登山道の維持整備を行った。

搬出した間伐材でヒノキの輪切りをつくり、それを保育園や幼稚園の「木と森の話」で活用するとともに、それを子どもたちに渡して工作などに用い、木に触れる機会をつくった。

●事業成果等

0.4haの下刈、除伐、間伐を実施したところ、明るい健全な森林となり、また、相当数の枯損木の整理やタケの除去によって、森林環境・林床が改善され、登山道沿いの見通しも良くなった。

ヒノキの輪切り等を使用した環境プログラムでは、23の施設を訪問して、子どもたちがヒノキという木を知り、年輪を数えるなど、木と触れ合って感性を育んだ。

●自己評価等

森林整備はほぼ計画どおりに達成するに当たって、安全優先で臨み、事故もなく無事終えることができた。また回を重ねる毎に技量も上がってきたが、各参加者に作業意識や森林づくりに対する理解の差が見られたことから、個々のスキルアップが課題である。

なお、森や木の話をするなかで、子どもたちには少し難しい言葉があり、今後やさしい言葉で伝える工夫がいる。

●参加者の声

・だんだん森林が蘇ってくるようで、やっていて気持がよい。（参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	講習会	道の整備	県内	県外	計
0.1ha	0.1ha	0.2ha	1回	3回	41人	3人	44人
実施場所：高松市屋島中町							

間伐

山と里の豊かな森林再生事業

こうち森林救援隊

高知県土佐市高岡丙

●事業概要

目的は、鏡川源流域にあたる吉原地区の人工林や行川地区の水源の森、そして春野地区の里山の整備を行い、ふるさとの森林を再生させること。主な活動は、次のとおり。

①鏡吉原地区のスギやヒノキの人工林では、除間伐による森林整備と間伐材の利用を促進するための搬出。

②行川地区の水源の森では、地域住民の命の水を守るための人工林の除間伐。

③春野地区の里山では下刈りや侵入竹及び雑木類の除伐。

●事業成果等

平成25年度の本事業において、スギ・ヒノキの人工林の除間伐作業や竹林を始めとした里山の下刈りや除伐作業など、15回の整備活動に延359人が参加した。

結果、人工林では0.2haの下刈りと0.8haの除間伐による森林整備が進むとともに、竹林を主体とした里山整備では、1.0haの下草刈りや0.7haの除間伐による整備が完了した。

また、一部の間伐材については搬出・搬送も行い、木工用材や木工製品として加工するとともにボランティア祭りなどにおいて展示販売も行う中で、間伐材の有効な利活用についても広く喚起、普及にも貢献することができた。

●自己評価等

森林整備の進捗状況においてもその活動への参加状況においても、当初の計画を上回る成果を残すことができた。

今後いかに拡がりがつくることが課題ともなっている。

●参加者の声

自伐林業を愛媛でも展開したいと思い参加しました。息子と参加し親子の絆も深まりました。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

下刈面積	除伐面積	間伐面積	木工作業	搬出作業	県内	県外	計
1.2ha	0.7ha	0.8ha	3回	2回	347人	12人	359人
実施場所：高知市鏡吉原（民有林）及び高知市春野町（高知市有林）ほか							

竹林整備

高千穂町オルレの森整備事業

丸小野公民館

宮崎県西臼杵郡高千穂町

●事業概要

韓国・済州島で始まったトレッキングコース「オルレ」の国内盤である「九州オルレ」（高千穂コース）内において、安全にトレッキングできるよう整備するものであり、主な活動は次のとおりである。

①コース内、サクラの危険木伐倒、不良枝の剪定・除去。

②歩道の階段工整備。（70ｍ）

③花木や実のなる木の植栽。（地区住民など50人の参加で0.1ha・144本の植樹）

●事業成果等

地区住民により荒れていた耕作放棄地の伐開・植樹やサクラの危険木伐倒及び剪定を行ったことで、地域住民が景観について考える良い機会となった。また、オルレコースを安全に歩くことができ、花を楽しんだり、スモモなどの果実を取って食べるなどの楽しみを増やすことができた。

●自己評価等

計画していた項目を全て実施した。前準備、荒れていた耕作放棄地の整備は、除木・除草と、植樹時の安全を考慮したため予想以上の時間を要した。

今後は、植樹地の除草作業と、点在する他の耕作放棄地の対策が必要となる。

●参加者の声（参加者の感想等）

・今回の植樹祭に多くの人が参加し、地区について考えることができた。地域活性化に繋がる活動ができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	除伐面積	県内	計
0.10ha	144本	8本	0.10ha	79人	79人
樹種：シャクナゲほか					
実施場所：宮崎県高千穂町					

シャクナゲの植樹

宮川小学校記念樹（サクラ）及び校庭衰退木樹勢回復事業

日本樹木医会鹿児島県支部

鹿児島市吉野町

●事業概要

小学校のサクラの樹勢回復作業を通じて、子どもたちに樹木の生理・生態を身近に学習させ、森林の大切さや樹木の保全に関する理解と関心の向上を図ることを目的として次の作業を行った。

①生育環境改善作業

空気循環工、土壌改良工等を行った。

②樹勢回復作業

損傷部位の修復工事を実施した。

③森林環境教育

６年生を対象に、樹木の衰退をテーマとした森林環境教育を実施後、土壌改善作業を体験させた。

●事業成果等

普段目にしない地中の根の形態等を観察させることで、シンボルツリーに対する愛着が芽生えた。

また、木製の土留枠や看板を設置することで、運動場や体育館周辺の雰囲気が和らぎ、情操教育上の効果が期待できる。

●自己評価等

学校側からは、シンボルツリーとしてのサクラの再生だけでなく、生命尊重の観点から具体的に指導したことを高く評価された。

●参加者の声

・植えてある場所が狭くなり、弱ったことを学んだ。早く元気になってね。（小学生女）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

樹勢回復	県内	計
２本	142人	142人
実施場所：鹿児島市皇徳寺台		

サクラの樹勢回復作業

国　際　協　力

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業

(特) むさしの・多摩・ハバロフスク協会
東京都武蔵野市

●事業概要

ロシア・ハバロフスク地域で地球温暖化防止を目的として、２地区においてチョウセンゴヨウの植林を行った。

①ナナイ地区は、10年程前の火災で荒廃地となっていたが、３年生の苗木を3000本植栽した。

②ヘフィツィル地区は、原生林伐採後の２次林を元来のチョウセンゴヨウ林にするため、６年生の苗木1300本を植栽した。

③太平洋大学構内にサクラの試験植栽を行った。

●事業成果等

ナナイ地区の植林場所は防火帯など整備が進んでおり、馬の放牧により採食による除草効果や、馬糞を肥料とする試みが行われている。

ヘフィツィル地区でこれまでに植栽した苗木の生育も良好である。

●自己評価等

第１期の植林を実施したワロニシ地区の苗木は順調に成長しているが、厳しい環境により、幹が太くならないため長いスパンで調査を続けていく必要がある。

今回も、現地大学生たちと環境セミナーを実施したが、それに加え、小中学生も植林作業に参加した。環境教育資料(絵本) を使い、植林の必要性も訴えた。

●参加者の声

・木を植える作業は楽しい。それが環境の役に立つのであれば、どんどん植えたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
2.3ha	4380本	66人	100人	166人
樹種：フジザクラ、エゾヤマザクラ、チョウセンゴヨウ				
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方				

ヘフィツィル地区における植林 (樹下植栽)

東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業

(特) 地球と未来の環境基金
東京都千代田区神田須田町

●事業概要

地力の低い土地でアグロフォレストリーの実践を支援する取り組みを続けている。

①前年度導入した５農家の圃場での苗木の手入れ指導

②アグロフォレストリー先進地 (トメアス) での研修会参加

③隣接する水源地での市民参加の植樹活動

●事業成果等

焼畑のような収奪型の農業から徐々に脱却しつつあり、植樹に使う苗も、支援する入植地から供給できる体制ができつつある。当プロジェクトの支援成果が評価され、地域行政の農村振興政策から入植者協会の22人が共同で行うプロジェクトへの融資を得ることができた。トメアスでの研修を通じて、支援地の入植者のスキルアップができた。また入植地に隣接する水源地で、地域住民など約400人が参加して植樹祭を実施し、森林保全に対する意識を啓発できた。

●自己評価等

前年までにアグロフォレストリーを導入した入植者に対して、苗木の維持管理など指導した。また、近隣住民参加による植樹祭も予定より少し多い約4700本(55樹種)を植付けた。地域企業や近隣住民との良好な関係を築く上でも、植樹祭実施は良い効果を生み出している。

課題としては、入植者の自立である。

●参加者の声

・植樹祭を通じて植樹の大切さを体験した。(行政職員)

・カカオの栽培講習会に参加し、多くのことが学べた。(入植者、アグロフォレスリー実践者)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	講習会①	講習会②	県内	県外	計
0.2ha	4700本	SAFTA研修	圃場研修	385人	25人	410人
樹種：イペー、アサー、コパイーバ、ファーバほか						
実施場所：ブラジル・パラ州サンタバルバラ市						

果樹などの植樹

日本－ラオス友好の森展示林造成事業

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

ラオスは国土の半分が焼畑であり、ラオス政府は今後焼畑を縮小し、恒久森林を7割にまで増やす計画である。このプロジェクトは、ラオス国と締結したMOUに基づき、かつての自然林の復元を目標に、焼畑跡地に5haの友好の森展示林を造成するとともに、日本－ラオス共同で植樹祭を行い、植林を通じた国際交流と普及啓発を目的としている。

●事業成果等

展示林造成は、バンビエン市所在の農業技術サービスセンター（ATC）所管の森林を対象に、14種類5900本の郷土樹種を20本ずつモザイク状に群状植樹して行った。

日本－ラオス共同植樹祭は、6月17日に展示林内の約1haの森林で行った。日本側は、国内から20人、ビエンチャン在住の日本人15人が参加し、ラオス側は地元住民、中高校生、センター職員など115人が参加して、共同で1000本の植樹を行うとともに、森林講座を行うなど交流を深めた。

●自己評価等

３年計画の最終年度になるが、ラオス側からは継続して欲しいとの要望があり、新たな活動を含む第２ステージの取り組みを検討していきたい。

●参加者の声

ラオス側の参加者からは「地元の住民や子どもたちに森林保全の大切さを教えるいい機会になった」という声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	本数	地拵面積	下刈面積	歩道整備	その他	日本	ラオス	計
5.0 ha	5900本	5.0 ha	15.0 ha	2.0 km	3回	80人	955人	1035人
樹種：郷土樹種14樹種（ビルマカリン、メンガ、シタン、アピトンほか）								
実施場所：ラオス・ビエンチャン県								

150人あまりが参加しての日本－ラオス共同植樹祭

カンボジアにおける「本物の森づくり」第３期

（公財）地球環境戦略研究機関国際生態学センター

横浜市港北区新横浜

●事業概要

目的は、1970年代以降森林率が低下しているカンボジアにおいて、自生種による森林再生を推進することであり、主な活動は次の通りである。

①森林群落の調査に基づく樹種選定。

②自生種苗木を活用した植樹祭の開催。

③植樹した苗木の生長調査（現地大学との共同研究）

●事業成果等

カンボジア王立農業大学の学生約210人の参加でカンボジアに自生する９種の苗木を植樹し緑地帯が形成されつつある。また、植樹祭では、国際交流を図ることができた。なお、苗木の生長動態を研究する学生など、教育面での活用が期待される。

●自己評価等

雨季直前に植樹でき、苗木の活着率や初期生長量に期待が持てる。しかし、植栽樹種が少ないことから、今後は調査を継続し、適正樹種や母樹の選定、育苗技術の向上を図る必要がある。また、苗木の生長調査は、立地環境条件との関連なども行えるよう体制を整える必要がある。

●参加者の声

・日本の方々と一緒に植樹作業を経験し、森林再生に関する情報交換だけでなく、文化的な話題を直接聞くことができて、有意義だった。（RUA学生）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	カンボジア	計
0.16ha	5000本	20人	210人	230人
樹種等：Dipterocarpus alatusなど				
実施場所：カンボジア　王立農業大学				

植樹祭

平成25年度緑の国際ボランティア研修（カンボジア国）

(特) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

将来、国際緑化活動に携わる人材の育成及び国際的な緑化協力活動への理解の深化を目指し、10人の研修参加者を対象にカンボジア国における８日間の緑の国際ボランティア研修を実施した。主な研修内容は次のとおり。

①地域住民と協働した植林活動
②本団体の事業活動地への訪問
③草の根国際支援についての議論
④「里山再生シンポジウム」でのグループ発表

●事業成果等

研修参加者は、国際的な支援事業の必要性や活動における地域住民との協働方法について学ぶことができ、農村域への訪問や地域住民との協働による植林体験を通して地域住民を取り巻く生活環境について理解を深めることができた。さらにJICAカンボジア事務所を訪問して国際協力の重要性やその意義について、また、カンボジアへの日本の支援実績について理解を深めた。

●自己評価等

交流を深め、短期間で十分な学びを得るとともに、里山再生シンポジウムでは、関連分野の研究者らと議論を深め、国際的な視野に立った緑化活動の意義を発表することができた。今後の課題としては、住民の意見や希望を把握する活動内容を研修に盛り込んでいきたい。

●参加者の声

研修生より「継続的に活動が行える基盤づくりが重要」、「住民の植林活動への意欲の高さに驚いた」などの声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	カンボジア	計
約0.25 ha	300 本	14人	35人	49人
樹種：Eucalyptus sp.				
実施場所：カンボジア・タケオ州オースレイ村				

地域住民と協働での植林

ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動

(特) ヒマラヤン・グリーン・クラブ

滋賀県大津市北大路

●事業概要

目的は、パキスタン北東部ヒマラヤ高地の寒冷・小雨の山村において、薪・建材の伐採によって失われた自然林の再生と、未開拓の半砂漠地の緑化を行うものである。

内容は、①苗木の自主育苗指導と調査、②11箇所への苗木配布・植林、管理・生育調査、③インダス河南北両岸河川敷植林地での学生交流・合同植樹等を行った。

●事業成果等

①25年夏の日本からの参加者は現地の治安懸念でゼロとなったが、現地職員と村民による灌漑工事と生育調査を実施した。
②26年春の学生合同植樹では砂嵐の中、植林を通して緑化の重要性を学んだ。
③北岸では、地元小中学生が砂地に木を植え、太陽光発電で汲み揚げた井戸水で緑の葉を出す自然の仕組みに感動していた。
④26年６月の生育調査では場所によりバラつきがあるものの、河川敷では、後背山地の雪解けが遅く地下水不足もあり、活着率はゼロから30%と良くなかった。しかし、各地の個人所有地での自主育苗と植林成果は極めて良好である。

●自己評価等

自主育苗は２箇所で成功し、周辺村や個人への苗木供給源として期待できるので、他村や個人農園に広げる。また、活着率の良くない植林地では、給水量に合わせて植栽区域を狭め、集中的に配水して成果を上げるよう管理者に一層の努力を促す。

●参加者の声

・住民の自主的な植林意欲が十分に育ち、しっかりと根づいていることをうれしく思った。（日本からの参加者）

学生交流合同植林

タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動

(特) 環境修復保全機構
東京都町田市小野路町

●事業概要

2004年に発生したスマトラ島沖地震に伴う津波により、タイ国南部トゥンラック村では人的被害のみならず自然環境も大きな被害を受けた。本事業では、同地区における植林地の経過観察、植林地のパトロール及びマングローブ等の補植活動を実施し、地域住民の自発的な活動を通した更なる持続可能な環境保全型社会の構築を目指した。
①環境保全ワークショップ開催および森林保全の重要性についてのパンフレットの作成・配布②植林活動の実施③植林地のパトロールの実施

●事業成果等

植林樹木として2種類を使用し、ニッパヤシを泥湿地に、ヒルギ科植物を汽水域に植林した。活動は地域住民グループと地元小学生および小学校教員ら36名によって4.5 haにマングローブを植樹した。参加した小学生らは、マングローブの樹種が多いことを発見するなど、すぐ近くの自然の中に入る機会を得たことで多くの気づきを得た。

●自己評価等

地域住民グループは小学校教員らからの信頼を得ており、今後は小学生を含む地域の若年層が野外において実践的な環境保全学習に参加するための機会を創出することが地域において期待されている。

●参加者の声

ワークショップ参加者から、「環境保全活動に参加する若年層の数を増やすこと」との声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	植林活動	日本	タイ	計
約4.5ha	1万1700本	1回	1人	37人	38人
樹種：マングローブほか					
実施場所：タイ・パンガ県トゥンラック村					

マングローブの植樹

カンボジア国タケオ州における植林による緑化推進（フェーズ2）

(特) 環境修復保全機構
東京都町田市小野路町

●事業概要

本事業では、カンボジア国タケオ州トラムコク郡内における森林伐採の進行した荒廃地において、緑化推進を目指した植林活動を推進するとともに、住民が森林保全活動の必要性やその背景に関する理解を深める事を目指した。さらに、育苗施設の運用資機材設置とワークショップの開催により住民が主体となって持続可能な森林保全活動を継続することを目指した。
①植林活動の実施
②植林樹木育苗施設運用資機材の設置（タケオ州）
③生物多様性に関するワークショップの開催及びパンフレットの作成・配布

●事業成果等

地域住民や日本からの参加者を含む延べ49名が植林活動を実施した。2014年５月には地域住民と本団体スタッフが協働で補植活動を実施した。さらに、地域住民参加型の森林保全活動や農業生物多様性の保全に関するパンフレットを配布するとともにワークショップを開催した。

●自己評価等

住民が積極的になってきた。今後は寺院と地域住民とが連携して森づくりを継続していくとともに、定期的に本団体スタッフらが訪問し、植樹樹木のモニタリング方法を指導し、問題を発見し早めに対処するように指導していく。

●参加者の声

地域住民の敷地を含めた郡内の別の土地における植林活動の実施を希望する声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	植林活動	日本	カンボジア	計
約6.00ha	5000本	3回	14人	83人	97人
樹種：ユーカリ、フタバガキ、マンゴー					
実施場所：カンボジア・タケオ州オースレイ村					

荒廃地にユーカリなどを植樹

地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業

(特) 地球緑化センター
東京都中央区八重洲

●事業概要

植林地の内モンゴル自治区エジンホロ旗小ホロ地区は、「沙蒿」や「沙米」が植生している半固定砂丘地帯となっている。今年度も、協力企業植林ツアーと現地林業局による障子松の植林作業で、日中友好の森づくりを実施した。

●事業成果等

今年度より、第2期目の事業年度がスタートした。植林樹種は、土の付いた大苗を移植する方式により、活着率と保存率を高めている。また、一区画を実験林として設定し、協力企業の保水剤を使用した調査も継続して行っている。現在のところ、大きな差異は見られないが、今後も引き続き調査を継続していく予定である。

●自己評価等

地球温暖化防止は21世紀を生きる人類が取り組まなければならない緊急の課題であり、国の地球温暖化対策では、「国民参加の森林づくり」をその重要な推進手段の一つとして位置づけている。中国の砂漠化地域における植林活動を継続して行うことで、日中交流、相互理解をより一層深め、日中友好の森づくりをさらに発展させていくことを目指す。

●参加者の声

・植林やバケツリレーでの水やりは想像以上に重労働だったが、国境を超え、汗を流し協力しあうことに、純粋に楽しさを覚えた。
・植林した場所一帯は、20年前は全くの砂地だったとのことだが、今はかなり緑に覆われていて、その変わりように驚いた。私たちが植えた苗木も大きく育ってほしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.7ha	500本	25人	113人	138人
樹種：障子松				
実施場所：中国・内モンゴルエジンホロ旗				

バケツリレーでの水やり

長江上流域植林協力事業

(特) 地球緑化センター
東京都中央区八重洲

●事業概要

植林活動地のある支坪鎮は、江津区街地と同様に長江本流の南岸部に位置し、住民の92%が農業に従事している。2010年からは、長江及び主要支流を緑化で守るために、重慶市が推進する国家プロジェクト「緑化長江・重慶行動計画」にそって、地球緑化センター及び協力企業、地元政府が連携し、長江上流域の環境緑化の推進のため植林活動を進めている。

今年度も協力企業の社員と現地住民の参加する植林活動を予定していたが、日中情勢の懸念により植林ツアーは中止となった。現地ではツアー中止を受け、現地の住民によりユーカリ5000本の植林及び周辺の作業用の歩道整備を行った。

●事業成果等

本事業の実施により、地域住民の環境緑化に対する意識が変化している。また、長江の水質改善と表土流出が解消されると見込んでいる。

●自己評価等

日本からの植林ツアーは中止となってしまったが、現地、重慶市江津区農業総合開発弁公室との連携により、当初の計画通り、植林と歩道整備を実施することができた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	歩道整備	中国	計
5ha	5000本	4000m	100人	100人
樹種：ユーカリ				
実施場所：中国・重慶市江津区				

ユーカリの植林

ケニアにおける生活向上のための植林事業

（公社）日本国際民間協力会

京都市中京区六角通新町

●事業概要

慢性的な貧困と薪炭材の利用などにより森林減少が続くケニア西部において、エコサントイレの建設による環境保全型有機農法の促進と、自生種有用樹を中心とした植林活動を行い、地域の貧困削減と、緑化面積の拡大につなげる。

●事業成果等

500世帯の村民及び学校関係者（約1200人）が植樹を行ったことにより、地域の緑化面積が拡大し薪用資源の確保につながり、同時に、現金収入につながる果樹・有用樹の植林も行い、貧困削減への足がかりとなった。また、講習会・植樹には小学校・高等学校の学生が多く参加し、若い世代も森林の重要性や管理方法を学ぶことができた。なお、エコサントイレの導入により、持続的に有機肥料を利用できるようになった。

●自己評価等

事業は計画通り、500世帯及び公共施設への苗木の配布・植林及び20基のエコサントイレ建設を完了した。また、農業委員会の立ち上げ及びエコサントイレビルダー養成の建築ワークショップにより持続的に活動を実施する体制を整えることができた。更に、当会自己資金にて「改良かまど」の普及を行っており、学校や住民らによる薪炭材の使用量の削減も可能にした。

●参加者の声

・果樹を上手く育て、マーケットで販売したい。
・給食の準備で使う薪の量が３分の２に減った。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	エコサントイレ建設	ケニア	計
14ha	1万5720本	20基	1827人	1827人
樹種：マンゴー、アボカド、モリンガ ほか				
実施場所：ケニア・カカメガ郡ブシアンガラ村				

植樹（ブシアンガラ・プライマリー・スクール）

太行山・郷土の森造成事業

（認特）緑の地球ネットワーク

大阪市港区市岡

●事業概要

太行山地区は、北京、天津などと華北穀倉地帯の水源として重要であり、春先の風砂の吹き出し口でもある。しかし、長い歴史の中で森林が失われ、荒れ山が連なっているため、持続可能で多様性を備えた森林のモデルづくりを行った。

●事業成果等

植生が乏しかった南向き斜面を中心にマツ、コノテガシワ、ナラなど8000本を植え、植生がよみがえった。なお、北向きの日陰斜面は、ナラ、シナノキ、カバノキなどの落葉広葉樹とアブラマツ、カラマツなどの針葉樹が混じり合った自然に近い森林になっており、林床には土壌と腐葉土の層が厚く積もっている。

●自己評価等

2014年４月に専門家とボランティアを22人、8月から9月にかけて40人を派遣し、植栽に取り組むとともに地元の人たちと交流した。この事業によって、国際協力機構（JICA）の理事長表彰を受けた。

●参加者の声

・緑が濃くなり、荒れ地が少なくなっているので、活動の意義を再確認できた。（30歳代女性）
・日本の人たちがこれほど中国の環境のために貢献しているのに驚いた。（30歳代男性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
4ha	8000本	62人	990人	1052人
樹種：マツ、コノテガシワ、ナラ				
実施場所：中国・山西省大同市霊丘県				

日本からのボランティアも参加して植樹

チャウカン・コミュニティ造成事業

（公財）国際緑化推進センター

東京都文京区後楽

●事業概要

ミャンマー国環境保全・林業省林業局が管理するマンダレー管区チャウカン村の荒廃地において、ユーカリ、アカシア類、チーク，ネムノキなどからなるコミュニティ・フォレストを15ha造成したほか、６月には、両国共同の植樹行事及び交流会を開催した。

●事業成果等

15haの植林を通して、地域住民の森林保全・回復活動への参加促進を目指しているものである。

しかし、植栽地である中央乾燥地は、厳しい気候条件から自然更新が難しく、かつ過放牧や伐採などによる森林減少・劣化が特に深刻なことから、ミャンマー政府が緑化に力を入れているものの、植林による復旧が必要な面積は30万ha程度あるといわれている。このため、植林自体よりも森林減少を引き起こしている住民への啓発活動が重要であると考えている。

●自己評価等

ほぼ計画通り実施し、ほぼ100％活着したが、乾季は自然発火による火事が発生する恐れがあるので引き続き監視と防火帯の整備が必要である。また、今後は、伐期に達した植栽木をどのように流通させれば住民への利益を最大限にすることができるかを検討していく必要がある。

●参加者の声

・地域住民は森林減少による燃材不足や飼料不足に恒常的に悩まされている。将来的には林産物や環境改善などの便益を地域住民が得ることを期待している。（現地林業局）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	ミャンマー	計
15.4ha	1万1550本	15人	115人	130人
樹種：ユーカリ、ビルマチークなど				
実施場所：ミャンマー・マンダレー管区チャウカン村				

地域住民による植樹

ラオス育成天然林の造成及び改良手法開発に関する調査事業

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

熱帯地域の森林整備・保全活動に資するため、ラオス国の熱帯雨緑林において、潜在自然植生を生かした高品質な森林の造成手法、及び植栽後一定年数を経過した森林における有用樹の保残・育成・改良手法を検討した。

●事業成果等

これまで３年間の活動で17樹種1万7900本の植樹を行ってきたが、概ね良好な生育状況であり、多様な郷土樹種によるモザイク状植栽が、保全林の復元という観点から有効な手法であることを確認した。

また、植栽後10数年を経過した森林を対象に、早世樹種の抜き伐り等による育成天然林の改良手法について検討を行った。標準地において、森林の樹種構成、樹種別生育状況を調査した結果、植栽後10年程度の時期に、早生樹や形質不良木を伐採（除間伐）することが優良木による大径木林に誘導するために有効な方法であると判断された。

●自己評価等

調査結果を元に、今後の日本－ラオス友好の森造成プロジェクトについてラオス当局と協議を行ったところ、ラオス側から、これまでの植林プロジェクトの継続と、ラオスでは初めての試みである除間伐を通じた育成天然林の改良事業に新たに取り組むことを要請された。

●参加者の声

・郷土樹種を多数モザイクに植えた林の今後が楽しみだ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植栽地踏査	間伐地踏査	標準地調査	日本	ラオス	計
15.0 ha	2.0 ha	0.3 ha	25人	54人	79人
実施場所：ラオス・ビエンチャン県バンビエン					

モザイク状に植栽

東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業

(特) 地球と未来の環境基金
東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、アマゾン地域の熱帯林に入植した小農民が協力し合い、地力の低い土地でアグロフォレストリー（森林農業）を実践することを支援しようとするものである。主な活動は以下の通りである。

①前年度導入した４農家の圃場での指導、次期の導入を希望する農家への資材（農具、肥料）の支援。
②アグロフォレストリー先進地（トメアス）での研修会
③支援地部落内での市民、生徒などによる植樹活動

●事業成果等

①当プロジェクトの支援成果が評価され、地域行政の農村振興政策から入植者協会が共同で行うプロジェクトへの融資を得ることができた。
②アグロフォレストリーの先進地であるトメアスでの研修を通じて、支援地の入植者のスキルアップができた。
③入植地内の一画で地域住民や子どもたち260人が参加して植樹祭を開催し、森林保全に対する意識を啓発できた。

●自己評価等

共同苗圃が設置され、必要な苗木の自給体制が整いつつある。また、苗木を一部販売するなど、徐々に自立に向けたアグロフォレストリー（森林農業）実践の基盤が整いつつある。

しかし、継続的に実践するには、一定の農業機械や資材を先行投資する必要があることから、現地州政府に期待したい。

●参加者の声

・森の再生は、入植者として誇りだ。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	ブラジル
0.1ha	2507本	387人
樹種：イペー、アサイ、コパイーバ ほか		
実施場所：ブラジル・パラ州サンタバルバラ市		

260人が参加しての植樹祭

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業

(特) むさしの・多摩・ハバロフスク協会
東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

シベリア・極東の寒帯林（タイガ）は、アマゾンに匹敵する大森林地帯であるが、過去の大規模な伐採や雷・人災による山火事や洪水などにより 危機を迎えている。そこで、地球温暖化防止の目的で、チョウセンゴヨウの植林および環境教育を行った。主な活動は、①ナナイスキー地区に３年生苗木を3500本植栽②ヘフィツィル地区に３～５年生苗木を1500本植栽③ロシア太平洋国立大学と共催で環境セミナーの実施④日本とロシアの子どもたちから環境ポスターを募集して展示会を開催

●事業成果等

数年前の森林火災により更地と化していたナナイスキー地区３年間の植林により、およそ２分の１に苗木を植えることができた。馬の放牧により除草効果を上げ、馬糞を肥料とする試みも行われている。また過去の大規模伐採により２次林であるドロノキ林と化したヘフィツィル地区は、樹下植栽を行い、本年でほぼ全体に植栽を終えることができた。大学生と共に環境セミナーを行い、実際に植樹も行ったことは学生から評価を受けた。

●自己評価等

過去に行った地区の植林地は、整備した森がレジャー化して焚火の火災により苗木を焼失したこともあったが、他地区においては、順調に苗木が育っている。

●参加者の声

・実際に植林体験をすることができて良かった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	環境セミナー	日本	ロシア	計
2.0ha	5000本	2回	58人	155人	213人
樹種：チョウセンゴヨウ					
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方					

ナナイスキー地区による植林

モンゴル森林火災被災地再生事業

(特) GNC Japan
東京都港区南青山

●事業概要

①森林火災の被災地において、日モ両国のボランティアが共同で植林を行うことにより、豊かな生態系を持つ森林を早期に復元するための植林を実施した。

②2004年愛・地球博モンゴル国際植樹祭における植林地において、地域住民ボランティアの協力を得て大苗による再植林、保育、保護（灌水作業など）などを実施した。

③山火事の延焼被害を抑えるため、通行車両に対する注意喚起やパトロールの体制を整備するとともに、植林地の外周をトラクターで耕起し、無植生帯を造成して火災の延焼対策を講じた。

●事業成果等

4haに在来アカマツを植栽したが、土壌が砂壌土で腐食が少なく、イネ科やキク科の下層植生が優先しているため、早期の回復が期待される。また、既植林地のモニタリング調査結果から、樹齢5年でおよそ樹高52cm、樹齢10年で樹高266㎝にも成長することが明らかになった。

●自己評価等

家畜防護柵を設置していたが、数年前から家畜の進入や柵の盗難にあったので、現在は山引き苗による大苗植林に切り替え順調に生育している。しかし、今後も気を引き締め再植林を継続し、今後は、間伐や利用面も視野に入れる必要がある。

●参加者の声

・こんなに多量の苗を植える機会は今までなかったので大変うれしい。もっと植えてモンゴル中を緑にしたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	間伐面積	日本	モンゴル	計
4ha	1万100本	0.04ha	9人	33人	42人
樹種：ヨーロッパアカマツ					
実施場所：モンゴル・セレンゲ県アルタンボラグ村					

成長しているアカマツ

アフリカ荒廃地の樹林再生と小規模植林による里山づくり（マリ共和国－継続）

(特) サヘルの森
東京都町田市原町田

●事業概要

本事業は、持続的な循環利用ができる「里山」の再生を目的として、苗木配布による地域住民のための小さな林・果樹園作り支援、苗木生産拠点としての地域苗畑の育成、荒廃地における試験植林管理などを行った。

●事業成果等

今年度の「里山」の再生のための小さな林・果樹園づくりでは、3地域42ヵ所の村・小学校で約12700本の苗木配布・植林を行うことができた。以前に配布した一部の苗木生育状況も確認でき、地域の生活資源の蓄積に役立っている。

マリ国内3地域で協力関係にあった地域苗畑は計13ヵ所であり、地域の苗木配布活動を進める重要な普及拠点としての役割を果たしている。

●自己評価等

里山再生に向けて着実に前進している手応えを感じた。反省点としては、急激な治安状況の悪化に伴い、2年間の日本人の長期派遣がほとんどできなかったので、地域苗畑が生産量を減少させたり、苗木の生産を中断したりしている人もあり、苗木の配布にあたって十分な苗木を即時に確保することが難しかった。

●参加者の声

もっと植えたいので苗木がほしいとの要望が数多く寄せられた。「里山」再生のためにまとめて植林し、森林保護に取り組み始める村も出てきている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	マリ	計
20.3ha	1万2700本	1人	3200人	3201人
樹種：ユーカリ、バオバブ、アカシアマンギューム、ニームほか				
実施場所：マリ共和国・ファナなど3地域				

ユーカリ、バオバブなどを植樹

植林地保護を目的とした、代替燃料供給のための薪炭林造成事業

㈵ フー太郎の森基金
福島県相馬市尾浜

●事業概要

エチオピア連邦共和国ラリベラ市の周辺村の後背丘陵地（わずかな木々が散見される程度の荒廃地）において、薪炭林造成のためにユーカリ種２種を中心に合計９種、21万6000本の植林を行った。

●事業成果等

植林対象地は、傾斜がきつく植生もわずかで、家畜の放牧地として細々と利用するしか使い途が無かったが、植林や土壌流出防止のテラス建設によって、薪炭材の供給地として生まれ変わった。

住民参加による薪炭林造成事業はラリベラ周辺地区では初の試みであり、住民はもとより政府関係機関の期待も大きい。

●自己評価等

今回の植林作業は、植林による個人的メリットも保証された産業植林事業であったにも関わらず、地元住民の理解はやはり一様ではなく、一部作業の妨害を図る住民も出た。地元住民との事前のコンセンサス作りの難しさを改めて認識させられた。

●参加者の声

・次の世代のために何かできることが誇らしい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	テラス建設	エチオピア
22ha	21万6336本	1㎞	323人
樹種：Eucaliptus Camabulensis、Eucaliptus Globulusほか			
実施場所：エチオピア・アムハラ州ラスタ郡			

ユーカリの植樹

中国・内モンゴル、飛沙・沙漠化防止緑化活動

㈵ 黄河流域に植林の会
千葉県流山市駒木台

●事業概要

目的は、内モンゴルにおける砂漠化防止や防風林を目的とした植林によって、農牧民の生活の安定・向上、持続可能な緑の生態系を再生することである。

主な活動は、植林による防風林、防砂林の造成、換金作物を増やす取組や緑化指導である。

●事業成果等

植林の結果、未植林砂丘からの流砂が抑えられ、換金作物（ザク等）の成長が良くなると期待され、農牧民の植林参加意欲が増している。

●自己評価等

灌水作業の合理化と効率化でポプラの活着率がほぼ100％となったことは活動の効率化と植林計画に大きく影響した。今後の植林活動はさらに沙漠の奥に入る事で灌水の方法、予算化をさらに計上しなければならず、植林本数の費用対効果を進めるべく協議することが必要である。

課題としては、井戸の掘削許可制による灌水への危惧、苗木等の高騰に対する対策である。

●参加者の声

・もう一度、今の地球問題を一から理解し、自分で出来ることを実践したい。（大学３年）
・作業は大変だったが、地道な活動の積み重ねで改善していくしかない。（大学４年）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
15ha	1万500本	68人	115人	183人
樹種：クコ、ポプラほか				
実施場所：中国・内モンゴル自治区				

2013年秋．地元中学生との協働植林

フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄池に対するマングローブ植林

フォスター・フォレスト・クラブ
千葉県松戸市岩瀬

●事業概要

1970年以降のエビ養殖ブームが引き金となり、広大な土地が切り開かれ、現在ではマングローブ林面積は10万ha程度にまで減少した。事業対象地であるラモン湾周辺は、全マングローブ林の70%以上が養殖池へ転換された。さらにこれら養殖池の全てにおいて健全な管理が行われているわけではなく、かなり高い割合でその後放棄され、そのまま荒れ果てた状態となっている。このため、フォスター・フォレスト・クラブ（FFC）は、現地のNGO（CMPA）と共同でマングローブの植林を実施した。

●事業成果等

フィリピンルソン島の中部、ラモン湾のバランガイ・ライン・ラインガン地区において台風や高潮から集落を保全する機能、魚類の産卵や稚魚の生育場所を確保するという魚付き林としての機能等発揮させる観点からオオバヒルギを５haに造林した。

●自己評価等

この植林活動によって、集落が台風や高潮から守られる防災機能が高まることが予測される。また、住民に活動に参加をして貰ったことにより、今後まだ植林が行われていない養殖池放棄地に対しても住民自身の植林活動によってマングローブ林が回復していくことが期待される。

●参加者の声

・マングローブ林によって漁業資源が回復したり、台風による被害から集落を守ってくれるだろう。（地元住民）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
5ha	2万2500本	1人	20人	21人
樹種：オオバヒルギ				
実施場所：フィリピン・ケソン州				

ラモン湾のマングローブ植林地

防風・防潮林及び薪炭材造成のためのマングローブ植林事業ーインドネシア共和国東ジャワ州ムンガレー

(特) 観照ボランティア協会
千葉県松戸市高柳新田

●事業概要

ジャワ州ムンガレの放置養殖池に、マングローブを植林して汚泥化した池の浄化を図るための実験植林である。

調査の実施により、地元自生種のオオバヒルギが適正と判断し、現地ＮＧＯＡＭＩＮ所有の0.5ha養殖池の周囲を主対象として、深度50㎝以下の土壌におよそ1000本の植林を行った。植林に当たっては、ＡＫＩＮメンバーと都市部の学生や住民にボランティア参加を呼びかけて実施した。

●事業成果等

放置された養殖池跡は膨大な面積に上っており、これを元のマングローブ林に戻すには、国家間規模の再生事業が必要と考えるが、当協会ではその再生法のための実験植林を試みることとした。これまでに植樹してきた樹も大きく育っていて、その周辺の水質も良好になり、魚介類の成長と繁殖に効果が現れて始めている。

●自己評価等

今回の植林自体は上手くいったと思う。しかし、緒に就いたばかりで未知数のことも多く、これからの事業だと覚悟をしているところである。

●参加者の声

・植林が池を浄化している様子を見ると効果がありそうなので、自分の池でもやってみたい。（他の養殖業者　45才）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	作業道整備	植林地整備	インドネシア
0.5ha	1000本	150m	1300㎡	160人
樹種：マングローブ、オオバヒルギ				
実施場所：インドネシア・東ジャワ州ムンガレ				

都市部（スラバヤ）から参加した学生ボランティアと家族。

乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップの活用による森林整備

(特)アジア植林友好協会
東京都西東京市田無町

●事業概要

インドネシアのバリ州のバトゥール山は、165年前の火山爆発で森林が失われ、隣接する湖「バトゥール湖」の水位が２ｍも低下した。

このため、水源涵養林の造成のために植林を行っているが、火山灰と火山礫、溶岩の入り混じったきわめて厳しい状況のため、植穴に客土を行うとともに乾燥対策としてクラゲチップを活用した植林を行った。

●事業成果等

厳しい条件下の植樹によって、地元民に植林の必要性等を理解してもらうことができ、地元の様々な若者グループ40が積極的に貢献してくれるようになった。

クラゲチップによる乾燥対策にも強い関心を持ってくれ、期待度も高いようである。

●自己評価等

クラゲチップを活用した植林は２年目であるが、活着率はほぼ85%で通常より20%程高い。なお、本プロジェクト開始の2007年以降の植林本数は６万3300本であり、植林した木々は７年目を迎えて６ｍ前後に成長した。

●参加者の声

・木を植える行為自体も大切だが、環境教育も重要であると感じ、従業員と共に参加した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	インドネシア
5ha	3100本	850人
樹種：アンプブ、メリナ、スアル、ブリンギ、ソノクリンの５種		
実施場所：インドネシア・バンリ県		

クラゲチップを活用して植林

カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺特別区における森林教育と植林活動（第３年目）

(特)アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
東京都杉並区成田東

●事業概要

目的は、住民が樹木の養生・管理を継続的におこなうための環境作りであり、エコ村における　①小中学校とその周辺　②職業訓練所とその周辺　③エコ・パーク　④現地農民のなかから選抜された農家２戸の自宅周辺で植林を行った。

●事業成果等

地域住民のほか、近隣の子どもたちや地元小中学校の積極的な参加がみられ、村のプロジェクト、新たなコミュニティの醸成に大きく寄与できている。

●自己評価等

３年間に延べ1000人で約7000本の植樹を行い、参加した人たちは、将来への希望を感じている。

活動は現地メディアで大きく報道され、住民のコミュニティ醸成に大きく寄与したと政府関係者からも感謝されているが、樹木の活着状況は必ずしも良好とは言えない。今後は、植樹地域や植樹（種類、大きさ、質）の選定、植樹環境の整備、養生管理方法の改善が必要である。

●参加者の声

・樹木の養生や下刈りを手伝いたい。（児童）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	日本	カンボジア	計
2.5ha	1066本	20本	3ha	3.5ha	1.5ha	52人	320人	372人
果樹・果樹								
実施場所：カンボジア・プレアビヒア州								

果樹などを植樹

モデル里山づくりinパプアニューギニア 2013

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

森林破壊やカカオ農園への不適切な転用が進むパプアニューギニアにおいて、自然林を必要以上に破壊することなく、持続可能なレベルで産物を利用できる人工林“モデル里山”を地域住民とともに造成することとし、植林には、将来の森の守り手となる現地の子どもたちを植林に参加させる。

●事業成果等

有用でない潅木林の伐採や草刈りなどの維持管理作業を重点的に行った結果、植えた木が順調に生育しており、23年度に植林した木々は10mを優に超すまでに成長し、多くの野鳥も飛来する立派な森になった。

植林活動とともに環境についての講義を実施したことから、特に子どもたちにとって木々を植えることの意味や環境を守ることの大切さを深く理解する機会となった。

●自己評価等

３年間でおおむね計画通りの植林を実行し、生育も順調だが、参加者の声を次回に活かすことができなかったことが反省点である。

●参加者の声

・森づくりの意義や手法について学ぶことができて良かった。今後自分たちの村でも挑戦してみたい。(20代男性)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	パプアニューギニア	計
2.03ha	2175本	236人	236人
樹種：マホガニー、ローズウッド、サワサップ等			
実施場所：パプアニューギニア			

マホガニーやローズウッドなどを植樹

フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した植林活動の推進（フェーズ２）

(特) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

農業開発による森林伐採が進行し、土壌侵食に伴う土壌劣化や生物多様性の減少等の問題が生じているフィリピン国ボホール南西部の農村域において、アグロフォレストリーを目指した植林活動と植林啓発活動を軸とした事業である。主な活動は以下の通りである。

①植林活動の実施②環境保全ワークショップの開催③アンケート調査の実施

●事業成果等

植林活動では、現地の住民とボホール州立大学と協働で、総面積13.9haの傾斜畑および荒廃地を対象として、フィリピン在来種である樹木を合計11040本植林した。

環境保全ワークショップでは、現地の住民と大学生に対し、植林の重要性や植林後の樹木の管理方法を啓発した。多くの参加者がとても意欲的に参加し、植林や樹木の管理に対し、理解が深まった。

●自己評価等

植林規模は、計画では10haであったが、実際には13.9haとなり、より規模の大きい植林を行うことができた。地域で数世代に渡る参加者を得て植林啓発活動を実施できた。

●参加者の声

アンケートでは、92%が「植林に賛成」、78%が「土地資源の修復と保全のため植林が必要」と回答した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	植林活動	日本	フィリピン	計
約13.9ha	1万1040本	10.9ha	10.9ha	2回	7人	149人	156人
樹種：カカオ、メリナ、モラベ、ココナッツ、ラワン、パラミツ							
実施場所：フィリピン・ボホール州バレンシア市							

環境保全ワークショップ

ラオス国ホアパン県におけるラオスヒノキの環境植林プロジェクト事業（３年計画）

（特）グリーンフォーラム
東京都杉並区善福寺

●事業概要

ラオスヒノキは、ラオスのホアパン県とシェンカン県に生育する針葉樹で、高さ30ｍ以上、目通り１ｍ以上の大木にまで育つのでご神木として崇められてきたが、過去20年の間にほとんど伐採され今では奥山へ行かないと見られないまでに減少してしまっている。また、ラオスは焼畑が盛んで、森林は草原へと変わり、国土の緑比率は30％台まで下がってしまっており、伐採されたラオスヒノキはほとんど日本の神社、仏閣、橋梁などに使用されてきた。ラオスヒノキの復活と環境保全が目標である。

●事業成果等

全くラオスヒノキがなくなってしまった国有林にもラオスヒノキが植林されたことで自然にサイクルを取り戻し、広葉樹の中にラオスヒノキが混在する自然林に戻る可能性が見えてきた。なお、植林された個人使用の山林は、焼畑が禁止されるので緑比率の改善に繋がった。

●自己評価等

村人達もラオスヒノキの価値は認め始めているが、材木として販売できるまで20年～30年かかり、それまでの現金収入をどの様に得ていくかが常に課題となっている。当法人の養生畑も県によりとり壊されてしまい、次年度からの苗木生産の見通しが立たなくなってしまった。

●参加者の声

村人はラオスヒノキの植林が無償でできることに喜びと感謝の意を示してくれている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	ラオス	計
50ha	5800本	300人	300人
樹種：ラオスヒノキ			
実施場所：ラオス・ホアパン県、ホムアン郡			

２年間栽培されたラオスヒノキの実生苗

カンボジア国「みんなで中学校をつくろう」プロジェクト（中学校緑化支援）

（一財）国際開発センター（IDCJ）
東京都品川区東品川

●事業概要

現地NGO（JST）と協力して、新しく建てられた中学校の校庭・敷地を緑化し、地域の自然資源の再生を図ることを目的に以下の事業を行った。

①地元青年団による地域住民・子どもたちを対象にした環境教育ワークショップ。
②地域住民や子どもたち、支援関係者による植樹。
③校庭敷地外周柵の製作
④モニタリング・評価（子どもたちの理解度チェックなど）。

●事業成果等

校庭・敷地内（面積約2.8ha）周辺等に368本の苗木を植樹したことにより、緑化が図られた。また外周柵の設置により家畜の侵入を防ぐことが可能となった。

本事業の最終段階で、理解度チェックを行い、子どもたちが環境保護の方法や環境と健康の関係について認識を深めていることを確認した。現在、中学校の校長が中心となって、さらに緑を増やすために、モリンガなどの苗木を挿し木し、その増産を試みている。

●自己評価等

地域の中学校の植樹を、生徒だけでなく地域住民とともに行ったことにより、地域で協力して中学校を守っていこうという意識や団結力が深まった。

反省点は、2013年の雨期の終わりまでにすべての植樹を行うことができなかったことである。

●参加者の声

子どもたちからは、「今回、友達みんなで一緒に植樹することができて楽しかった」、「将来、果物が取れるように肥料や水あげを続けたい」といった声が聞かれた。

モリンガなどの植樹

霊武市日中友好防風固砂モデル林

(一社) 国際善隣協会
東京都港区新橋

●事業概要

本事業の実施地である霊武市は周囲は砂漠に囲まれているが、付近を黄河の主流が貫通し、水利の便は良い。ここは最近、周囲の山地に住む貧困層の人々の移住先として整備することとなり、生態環境整備の一つとして、クワの植樹により砂漠の緑化が図られ、同時に彼らの生活確立のため、クワ飼料による羊の飼育が奨励された。事業内容はこの地域において新たに市から100haの土地が分配され、従来の土地と合わせて、ここにクワ等を植林するほか、クワ苗を付近の移住者に配布し、植栽を指導、普及し移住者の経済基盤の強化、生態建設を図った。

●事業成果等

本事業の中国側カウンターパートの霊武市緑色源林牧専業合作社は従来の実績から「クワ草配送センター」「クワ飼料飼育モデル」基地に指定されており、今回の事業はその基礎の上に開始し、第１年目は順調に植林し、羊等の畜舎を建設し、周囲の農民に桑苗を配布し、植林を指導した。

●自己評価等

計画に対する達成状況は申し分なく、クワ苗も予定どおりに入手でき、天候にも恵まれ、順調に植林を実施した。事業としての体裁も次第に整い、将来に希望を持たせる。

●参加者の声

本年の第１年目は霊武市の小学校の児童とともに４月25日に協同植林を実施し、53人の小学生が参加し、環境教育としての役割を果たした。本年の植林活動は西お退建設の一環としてとしての砂漠緑化の役割を果たすとともに若い少年のの環境意識強化に役立ち、来年も引き続き参加したいという同行教師の声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
10ha	22万7400本	3人	60人	63人
樹種：クワほか				
実施場所：中国・霊武市				

クワの植樹

グヌングデ・パングランゴ国立公園保全を推進する再植林事業と清潔な水の供給

(一社) コンサベーション・インターナショナル・ジャパン
東京都新宿区新宿

●事業概要

目的は、首都のジャカルタの重要な水源地である地域の森林減少に対処するため、地元の住民とともに再植林と管理を行い、また、清潔な水の届かない村々に水を引き、水が森林の恵みであることを啓発するものである。

本事業では、プロジェクトチーム及び公園スタッフ、コミュニティグループやその他関係者との協働により次の活動を行った。

①苗木の植え付けと維持管理

国立公園の拡張地域と再植林地をつなぐよう、苗木を植えた。生態系の回復への理解を得るためには、住民参加が重要であるため、再植林活動の計画策定、準備、植え付け、維持管理という４段階で現地コミュニティや国立公園局と協働して実施した。

②清潔な水を供給する施設支援

今まで水のなかった村に浄水、配水、貯水施設を建設したため、さまざまな事業機会が創出された。また、集水地の保護に係る教育を行った。

●事業成果等

水の供給と森の関係に係る意識が広がり、十分な水を長期にわたり供給するためには水源地保護が必要であることが理解された。

●参加者の声

・村できれいな水を利用できるようになったことが嬉しい。本事業に感謝する（参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	インドネシア	計
5ha	2000本	3ha	140人	140人
実施場所：インドネシア・西ジャワ州スカブミ県				

村への水施設の導入

沙漠での緑化作業を通じた国際交流増進事業（継続事業）

新疆大学沙漠緑化協会日本支部
東京都新宿区新宿

●事業概要

①沙漠緑化研究地で試験植樹を行い、データ取得など科学研究の推進に貢献すること。

②新疆大学教職員や学生達との交流を通じて、国際レベルの人材養成に貢献すること。

●事業成果等

（１）国際交流

「新疆大学沙漠緑化国際研究センター」の大学院生（10～14人）、及び大学の職員（８～11人）、基地の関係者（12人）、日本支部（４人）、計149人が参加し、植林活動を通じた国際交流を行った。今回も、日本への留学経験のある研究員が参加し、日本の風俗・習慣などの話題で相互理解をより深めることができた。

（２）緑化活動

3000本の植林を行った。

●参加者の声

日本出発前は、現地での活動に多少の不安を抱いていたが、４日間の植林活動を通じて新疆大学の大学院生や基地関係者（管理人など）と親しくなり、今回も十分に『国際交流』ができたと感じた。また、日本では想像できない“強風や砂嵐”などの非常に厳しい自然環境の中で、“活着率85％の達成”の苦労話など、「現場の生の声」を聞けたことも大変有意義だった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
6000㎡	3000本	16人	133人	149人
樹種：砂ナツメ				
実施場所：中国・新疆大学砂漠緑化国際研究基地／新疆ウイグル自治区コルバンツク砂漠				

モンゴル国中央県植林事業

(特) GNC Japan
東京都港区南青山

●事業概要

モンゴル・中央県は草原と森林の移行帯に位置し、用材・薪材採取、家畜の過放牧及び盗伐によって森林の劣化が顕著である。

現地における植林の気運は高いものの、ほとんど実施されないため、ジャルガラント村において行政、住民、遊牧民とが協力して家畜食害防止柵の設置を行い、在来アカマツ小苗などによる植林作業を行った。

●事業成果等

植林地の最寄りの遊牧民との関係を築き上げ、遊牧民自らが家畜を林内に入れないように調整を図った。

また、植林にも遊牧民に参加してもらったことから、環境意識や植林気運が高まり、別の場所でも植林を望む声も上がった。

●自己評価等

林縁部は切り株が残存し機械が入ることができないため、ほとんど手作業となったが、逆に工夫が生まれたり、土に触れる機会が多いため充実した植林作業となった。募集に当たり、子ども連れの家族が優先的に参加できるように配慮するべきだった。

●参加者の声

・いい経験ができて大変うれしい。植えた苗が大きく育ってほしい。（40代女性）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	家畜防護柵設置	モンゴル	計
1.38ha	3108本	500m	45人	45人
樹種：ヨーロッパアカマツ、ムレスズメ、ノニレ				
実施場所：モンゴル・中央県ジャルガラント村				

アカマツなどの植樹

インド・環境保全のための植林推進事業

(特) 地球の友と歩む会

東京都千代田区富士見

●事業概要

森林の保全と持続的な農業基盤を整備するためには、治水能力を高める植林や土壌改良が必要であることから、地元住民の協力・理解を得ながら、植林及び有機肥料づくりを行った。

●事業成果等

アグロフォレストリー用の苗木を35ha、園芸作物用の苗木を39haの土地に植えた。内訳は、果樹８種類、建築材４種類、本数計１万８本となった。同時に有機肥料もあわせて施肥していく指導も行ったことから、生育、害虫の被害も少なく活着している。

●自己評価等

参加した農民の関心も高く、活着率も90%を超えるものであったことは評価できる。

特に農地やその周辺に植林をしたため管理が十分に行われていることも大きな利点である。

●参加者の声

・今回の植林をきっかけに毎年植林をしていき、土壌が回復することを期待している。また、耕作面積の拡大にもつながっていくので植林を継続していきたい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	インド	計
74ha	1万8本	1830人	1830人
実施場所：インド・デバトール地域			

農地に植林する農民

中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」

(特) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

砂漠化による首都北京への黄砂被害は毎年大きく、さらには海を越えて日本にまで影響を及ぼしている。北京市の水源地帯の一つである豊寧県において、県林業局が推進している「緑のダムづくり」計画（全体計画300ha）に連携して５年間で30haの環境緑化植林を予定しており、今年度は、初年度として３haに2500本を植林した。

●事業成果等

現地林業局により、整地、穴掘りなどの植林準備作業及び水遣り、動物による食害や進入防止の柵の設置など、維持管理が行われている。現地側との連携により、植林後の維持管理がしっかりできているため、生育状況は良好である。

●自己評価等

当初予定した規模の植林は達成できなかったが、現地林業局との連携により、着実に事業を進めることができている。10月には、日本より植林ボランティア、中国の大学生を派遣して、現地住民と共に植林作業を実施した。参加者たちは、これまでの植林の成果を見学したり、「21世紀中国首都圏環境緑化交流センター」で砂漠化の現状や緑化の意義、現地の緑化事業についても学んだ。今後も、環境緑化を推進するとともに日中の市民一人ひとりの環境意識の向上にもつなげていきたい。

●参加者の声

・植林活動の重要性と効果について再認識した。

・これまでに植林された場所を見せていただき、改めて“植林活動”の偉大さを知り、感動した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	歩道整備	日本	中国	計
3ha	2500本	1000m	9人	150人	159人
樹種：油松					
実施場所：中国・河北省豊寧県					

油松の植林

徳勝城地区における沙丘からの流沙防止のための保護植林２

㈵日本沙漠緑化実践協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

目的は沙丘からの流沙防止保護林造成である。主な活動は次のとおりである。

①４月上旬にポプラ苗の購入手配、運搬

②活着率の良い４月中旬に現地住民耕作地（バレイショ）の西側区域にポプラ苗２万８千本定植。

③灌水は、水をタンク車で運び、ホースを伸ばしての作業。

●事業成果等

ポプラは植林後４～５年でかなり成長する。木の成長と共に下草が芽吹いてくる。継続的な植林・育成は、流沙防止保護林として、沙漠化した地域のバレイショ耕作地の増加につながる。

●自己評価等

今年度実施の植林では、ポプラ苗を計画時より多く購入できたことを評価したい。降雨量が例年に比べ多少多かったこともあり、全体的に活着が良い。

今後の課題としては灌水作業の大変さを、どう解決していくかである。

●参加者の声

・今後も継続的に植林をやってほしいとの声が多かった。

・バレイショ畑に砂の流入が少なくなって作業効率が良くなった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	灌水作業	日本	中国	計
9.3ha	2万8000本	月に１回	8人	30人	38人
樹種：ポプラ					
実施場所：中国・内モンゴル自治区オルドス市					

ポプラを植樹

インドネシア森林地域住民による森と水の保全活動

日本インドネシアNGOネットワーク

東京都台東区上野

●事業概要

当プロジェクトはインドネシア東カリマンタン州東クタイ県のロン・ブントゥク村とムカール・バル村で森林・水源保全地域の保護を目的として以下の活動を行った。①森林・水源地域の設定と監視小屋の設置。②植林の実施③2014年７月15日に若い世代向けのワークショップの実施。

●事業成果等

１．各村の森林組合が中心となり、森林・水源保全地域を設定し、利用ルールを策定した。３つの小屋を設置し、森林地域を監視していく拠点ができた。２．森林・水源保護地域で植林を行った。監視小屋の整備、下刈り、不要な根の除去を３カ月に一回行っていくことを合意することができた。３．森林と水源の保全を若い世代に伝承するためのワークショップを７月15日にロン・ブントゥク村で開催した。両村から17名参加し、若い世代が将来の森林保全について話し合うことができた。

●自己評価等

ＪＡＮＮＩが継続的に行っている東クタイ県への援助を継続することができた。住民が以前から森林保全の拠点として必要であった小屋の建設を行うことができ、植林を行うことで、森林保全区域であることを明確にすることができた。

●参加者の声

同地域の森林保全に対して与えられた援助によって保全林を強化することができた。今後は村の予算も利用して行っていきたい。など、肯定的な評価、感謝の声が聞かれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	インドネシア	計
6ha	545本	43人	43人
実施場所：インドネシア・東カリマンタン州東クタイ県			

ムカールバル村での植林作業

ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖岸保全および生活改善のための植林事業

(特)緑のサヘル
東京都千代田区神田紺屋町

●事業概要

目的は、植生の衰退が続くブルキナファソ・中央北部州バム県において、雨季・乾季ともに住民にとって悩みの種になっているバム湖周辺地で住民が行う植林活動を支援し、バム湖の保全と周辺地の有効利用を同時に進めることである。事業内容は、3村にユーカリ6000本、マンゴ300本の植栽である。

●事業成果等

1．3村で5サイトの植栽のうち2村4サイトは新規である。
2．1村では従来のサイトが拡大し、2村では植林希望者と植林サイト数が増加した。

なお、2009年に植栽したユーカリは大きく成長し、用材としての切り出しと販売が開始されている。

●自己評価等

1．計画では2.0haであった植栽面積が結果的に7.67haとなったが、本数は、計画通りである。
2．3村のうち1村では、植栽後の管理作業(水やりなど)と野菜栽培の時期が重なることからユーカリの植栽を見送った。

●参加者の声

2009年から取り組んでいる住民は、「地道な管理作業が実を結び、家計収入の助けになっている」と喜んでいる。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	ブルキナファソ
7.67ha	6300本	301人
樹種：ユーカリ、マンゴ		
実施場所：ブルキナファソ・バム県		

ユーカリは乾季を乗り越え、成育している

インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生に向けた住民参加型植林と持続可能な開発のための環境教育の推進

ラムサールセンター
東京都大田区南久が原

●事業概要

劣化・消失した沿岸環境を植林によって再生するとともに、住民参加と人々の環境意識の高揚を実現するため、植林、ステークホルダーへの研修、ワークショップ、絵画コンテスト、ニュースレターの発行などを実施した。

●事業成果等

学校と寺院の41か所（15ha）、ハンスア川河口域（8ha）に土壌侵食防止を目的としたマングローブの植林を行った。また、生徒への育苗研修・ワークショップ、世界湿地の日と世界環境の日のイベントによる普及啓発等を実施した。

●自己評価等

2013年10月初旬、プロジェクト地をサイクロンが襲い、本事業による植林地の大半が被害を受け、特に沿岸部の被害が甚大で、被災率98%を超えた地域もある。現地カウンターパートNGOは、専門家と協力して補植計画を立て、2014年度事業として環境再生を実施中である。環境教育とセットにした住民参加型の植林方法をとった地域は、地元住民の関心が高く、意欲も高い。

●参加者の声

・植樹した木々は、気高く美しく育っている。母なる地球の恵みであることを実感している。(村民)

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	インド
23ha	5万3120本	23ha	326人
実施場所：インド・オリッサ州ケンドラパラ県			

世界環境の日の環境教育イベント

モンゴルゴビ植生樹林再生・砂漠緑化実験プロジェクト

東アジア環境協働行動よこはま
神奈川県横須賀市秋谷

●事業概要

モンゴルでの協働事業として、次の目的で活動した。

① 地元の人達が自分達自身の事業として育苗から育林までをエコ学習面も含め自立経営的に進めること。

② 生態系再生・砂漠化防止の事業を牧業改革事業等と併せて統合的にすすめること。

●事業成果等

バヤンホンゴル県での育林事業は昨秋、新たに第１バグ第３育林地を造成し植樹も行った。

第１育林地は今年６月で満３年が過ぎ、自立経営に移行された。

塩害の出た再生公園や井戸の水資源限度を超えた第３バグの隣接育林地は、塩害のなさそうな隣地や、水資源余地のある箇所に移設・再整備した。

●自己評価等

牧草栽培や果樹種等の組入れ益が育林経費等を賄うことができるモデル開発を進めてきたが、ほぼ達成された。第３バグ第２育林地では初めから育苗事業も加え複合益が生み出されるよう工夫等も図られ、波及するようになってきている。

●参加者の声

各育林地管理の家族からは大変歓待され、確認調査等を子ども達も含め家族総出的に行ってもらった。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

育林地新設	隣地に再整備	移設再整備	植付面積	植付本数	育苗面積	モンゴル
0.5ha	1ha	0.6ha	2.2ha	1650本	50㎡程度	251人
樹種：スファイ、ジグド、ザク、トーレ、ハルマグほか						
実施場所：モンゴル・バヤンホンゴル県						

３年で2.3mほどに育ったニレ

フィリピン　ベンゲット州トゥバにおける森林再生と持続可能な森林保全文化の形成

(公財) キープ協会
山梨県北杜市高根町清里

●事業概要

タバコ栽培による森林減少による環境破壊と、収入源の喪失に直面しているトゥバにおいて、森林再生と換金樹種の植樹、森林再生を持続的に行うために有機農法による苗畑を設置するとともに、薪に代わるエネルギーとしてバイオガスの講習会と小学生を対象にした環境教育ワークショップを、現地の環境NGOとの協働により実施した。

●事業成果等

ナラ、マホガニー1万5000本のほか、換金樹種としてココナツ2000本を住民はじめ小学校、在比日本人のボランティアによって植樹した。特に、小学校ではPTAとともに、今後の保育活動について、新年度が始まるときに学校行事として行うこととなった。

●自己評価等

当初から関心を寄せてくれていた小学校PTAと協力関係を結ぶことができ、将来につながる形を目指す事業として所期の目的を達成することができた。

●参加者の声

国が進めている緑化事業では、労賃が支払われるため、ボランティアでは行いたくないという声があった。有機農法による苗畑は、多くの関心が寄せられた。特に、PTAが主導して子どもたちによる有機野菜栽培のモデル小農場という思わぬ成果が生まれた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	有機農法による苗木場設置	日本	フィリピン	計
約10ha	1万7000本	8000本	20人	160人	180人
	ナラ マホガニー ココナツ	カカオ コーヒー マホガニー			
実施場所：フィリピン・ベンゲット州トゥバ					

有機農法による苗木の育成

西ネグロス州中部における水源涵養林と魚つき林整備

イカオ・アコ
愛知県知多郡美浜町

●事業概要

西ネグロス州イログで2008年度から上流部で水源涵養林を育成しつつ下流部でのマングローブの植林を行うことで、流域の水源涵養と沿岸部の漁業の活性化を図ることを目的として活動している。

●事業成果等

下流部で、地元の住民団体のメンバー及びその子どもたち、日本人ボランティアと３回にわたって、1万6000本のマングローブの植樹を行った。

また、ボカナ村の上流部では地元住民団体、地元の高校生及び日本人のボランティアの参加により、メンバーの土地26haに1万3000本の苗木を植林した。これまでに植林した苗木もメンバーによるメンテナンスにより生存率約70%を確保している。また、植林地の斜面には、ヤマイモなどの商品作物を植え、それによる収入を今後のメンテナンスにあてた。

●自己評価等

当初の計画では、１年間で上流部10ha、下流部１haの植林を行う予定であったが、それを上回る植林ができた。今後の課題は、植栽木のモニタリングとメンテナンスである。今後３年間は、イカオ・アコが自己資金でメンテナンスを支援していく。

●参加者の声

・初めての経験なので、どうなるか少し心配していたところもあったのですが村の人がとても優しくサポートしてくれました。（日本からの参加者）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
27.5ha	2万9000本	8人	708人	716人
樹種：マングローブ				
実施場所：フィリピン・西ネグロス州カバンカラン市				

カロルアン村住民と植林に参加した高校生

中国・内モンゴル沙漠化防止・循環型経済林造成

内モンゴル緑化の会
愛知県丹羽郡大口町

●事業概要

循環型沙漠化防止経済林モデルの形成に向けて、移植用苗基地の造成、牧民の自立支援リーダ養成及び子ども達の環境教育について、次の活動を行った。

①苗基地の造成と苗の育成
②現地牧民との植林共同作業や管理の指導
③現地小中学校との共同作業における環境教育
④国内外用の環境教育教材２種の作成
⑤経済林造成拡大整備

●事業成果等

①毎年、植林ツアーの参加をきっかけに会員となるなど、活動の輪が広がって来ている。
②３年前に植林した苗（サジー）が実を付け始めたため、住民の意識も少しずつ変化してきている。
③環境教育や管理方法の勉強会によって、自発的に作業に参加する者が増えている。

●自己評価等

苗基地が竜巻被害に遭い、土が相当量飛ばされたため、次のような苗基地の土壌改良整備を実施したので、効果が期待できる。

①苗基地の土壌の掘り起こし
②上質の盛り土を実施
③２年苗の移植（間隔を空けて移植）

●参加者の声

・４年前に日本人と植えた木に本当に実がなりだしたので嬉しい（32歳男性）
・沙漠の防止は大切だと日本人が教えてくれた（中３男子）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
10ha	3300本	9人	92人	101人
樹種：サジー				
実施場所：中国・内モンゴル自治区通遼市				

アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動

(特)市民環境研究所
京都市左京区田中里ノ前町

●事業概要

中央アジア、カザフスタン共和国の西部地域のアラル海は、世界で４番目に広い面積を有していたが、流入水量の激減によって干上がった旧湖底砂漠が地平線まで続いている。

このため、砂嵐による砂と塩の移動を防ぐため、現地に自生するサクサウールの植林と種子の播種を行った。

●事業成果等

植林は、現地で入手できる材料のみを用いることを原則とし、新たな植栽方法を模索してきた。

具体的には、旧湖底砂漠に掘った植栽用の溝に周辺砂丘の砂を投入し、そこに実生又は育てた苗を植える方法と、採取した種子を播種する方法を併用している。

なお、苗木植栽は３月、播種は11月に行った。

●自己評価等

植栽部分に砂丘に堆積している砂を入れ、そこに苗木を植えると活着率が向上することがわかったが、種子散布方式も開発した。実施時期はいずれも冬期であるため、適期の判断を的確に行いたい。

●参加者の声

・植林をきっかけとして、植えることの面白さと大切さを知った。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	カザフスタン	計
3ha	3000本	20人	20人
樹種：サクサウール			
実施場所：カザフスタン共和国・クジルオルダ州アラリスク地区			

旧湖底での植樹

N.GKS第18次隊（第２回亀岡ボルネオ植林隊）ボルネオ島植林

N.GKS
京都府城陽市寺田

●事業概要

Ｎ.ＧＫＳの活動は中国内モンゴル恩格貝の沙漠緑化に始まり、自然環境、生物多様性の保全はマレーシア・ボルネオ島の熱帯雨林で展開している。サラワク州では同州森林局管理地サバル地区にて日本人参加者18人に地元住民120人（小学生80人）が加わり、エンカバンの幼木800本を植林し、サバ州サンダカン・スカウ村では地元住民40人（小中高生28人）が協力し、生態系保全を目的に230本を植林した。また、アブラヤシ農園の視察や野生生物、熱帯林の植生観察など、学習活動も展開した。

●事業成果等

植林後の管理は地元の住民に託すことになるので、彼らの意識と知識と行動力を高め育てることが大切と考える。事業に子どもたちを加えることを常に考えている。

●自己評価等

植林活動を通して環境保全、生態系保全の意識の高まりを感じるが、植林後の現地の状況は十分に把握できていないので、今後の活動の中で追跡調査の重要性を感じている。

●参加者の声

・現地の子どもたちとの共同作業は楽しい。今後もこのような企画には積極的に参加したい。

・アブラヤシ・プランテーションの現実は脅威だ。生態系の保全と経済活動は両立するのだろうか。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	マレーシア	計
2.5ha	1030本	延べ36人	150人	186人
樹種：エンカバン				
実施場所：マレーシア・サラワク森林局管理地サバル地区				

アブラヤシのプランテーション

マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業

(特) アイユーゴー
大阪府泉南郡熊取町

●事業概要

草原地帯の森林再生に向けた活動であり、主に、アカシア、オレンジ、コーヒーなどを植えた。また、平原特有の強風による根返りや幹折れを防ぐ工夫 (ユニット方式) をしたところもあり、傾斜地では、作業道又は防火帯を造成し、自然火災の拡大防止などを考慮した。なお、植樹現場では、表土層を確保し、保水力を高めるため、えんどう豆やコーンを植え、虫防止にトマトをところどころに植えてみた。

●事業成果等

広大な草原地帯の中で、ごく一部といえども、徐々に緑化が進んでいる。

単に植樹でなく、土砂崩れの災害を予防するものである。植樹は、次の世代の子どもたちが身近に感じるよう、学校周囲や災害時の通学路確保に配慮して行った。植樹をする重要性を住民と子どもたちが共有する意識が芽生えてきたようだ。

●自己評価等

村全体での取り組みの大切さを住民たちが理解し、意味のある活動だったと実感した。課題は、植林後の草刈りなどの管理のあり方である。

●参加者の声

・以前は草ばかりだった。今は、着実に樹木が増えている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	マダガスカル	計
6ha	5100本	2人	880人	882人
樹種：アカシア、オレンジ、コーヒーインシア				
実施場所：マダガスカル・アナラマンガ地方フィハオナナ村				

オレンジなどの植樹

黄土高原における森林再生のための苗圃建設と運営（中国山西省大同市）

(認特) 緑の地球ネットワーク
大阪市港区市岡

●事業概要

中国の黄土高原は、年間降水量が平均400㎜と少ない上に風が強く乾燥がひどいため、植林緑化の困難な地域である。

緑化に必要な良質な苗床を確保するため、油松、樟子松の苗と、菌根菌 (アミタケ、チチアワタケ、ヌメリイグチ) 及び木炭を活用することで、乾燥に強く、生育旺盛な苗を生産した。

●事業成果等

生産した苗木は、乾燥や痩せ地に強く、病気に対する耐性もあるので、植栽後の活着率や生育も良好である。

現地の技術者たちが「条件が悪すぎるから避けた方がいい」と言った日向斜面の痩せ地でも立派に成林し、隣接地に1000ha規模の国家プロジェクトが建設されるという波及効果があった。

●自己評価等

物価や賃金が急騰しており、プロジェクトを維持するのが難しくなっており、非営利事業にとって高額の賃金や年金の支払いは困難である。また、短期雇用にすると、技術や経験の蓄積が困難になる。

●参加者の声

・日中関係が悪化しているなかで、良好な関係が築かれていることに驚いた。ぜひ長期継続してほしい (会社員、30代)。
・大きな苗を植えると、すぐに成果が目に見えるが、種から育てていくのが本当だと思う (会社員、60代)。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

育苗面積	植付本数	日本	中国	計
2.4ha	約80万本	64人	970人	1034人
樹種：マツ				
実施場所：中国・山西省大同市大同県				

マツの苗づくり

ネパール　ノールパラシィ郡の小農村におけるアグロフォレストの拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育

(公社) アジア協会アジア友の会
大阪市西区江戸堀

●事業概要

目的は、人口増加と気候変動による森林不足状況改善による植林による森林地拡大と、森林地に沿って流れるナラヤニ川の土砂流出防止（護岸）林の造成である。主な活動は、次の通りである。

①植林地拡大植林（3.75ha）
②河岸浸食防止植林　河岸200ｍ沿いに0.82ha
③作業に必要な管理歩道の新設（600ｍ）
④森林環境教育の実施（日本人造園技能士による指導）

●事業成果等

日本の造園技能士による指導の下、現地の自然環境を重視した方法は現地の自然とマッチし護岸効果があらわれてきている。これまで大規模工事をしなければ護岸できないと思っていた村人が自分たち自身で作業可能であると自信が付き今後の更なる拡大に対して大変な意欲を示している。

●自己評価等

計画通り、森林地拡大と護岸植林の為に計4.57haに5040本を植栽できた。あわせて実施した植林教育では指導者の的確な指導により村人の意識がとても向上した。今後は農民の収入などにもつながる植林を行う必要がある。

●参加者の声

・とても興味深い方法で植林をしていてこれが成功したら今後の近隣村でも活用できそうです。（地方議員）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	作業道整備	日本	ネパール	計
4.57ha	5040本	600m	50人	118人	168人
ネパール・ルンビニ県					

護岸の植林

バギオシティーの住民と共に造る『アシン村の平和の森プロジェクト』の２年目

(特) GFNP
兵庫県丹波市山南町

●事業概要

大戦時に森林を消失した激戦地でありながら、一切の植林が成されなかったフィリピンのバギオ市アシン村で、森林公園をつくる植林事業である。

植林作業は、地元の小学校も参加して実施したもので、準備作業に延べ150人、植林作業に住民等約1000人、芸術関係者約50人が協力した。

●事業成果等

現地を訪れる観光客は、芸術作品の観賞、慰霊、自身の思い出、日比友好の証を目的として、メンテナンス料込みの価格で苗木を買い、自身が思う場所に植林ができる。今後は入場料と苗木の収益で、事業が持続できるようなシステムを作りたい。

●自己評価等

バギオ在住の芸術家たちが、環境保全に関する具体的な行動を起こし、今も続いていることに大きな希望を感じる。今後は、芸術家たちが独自で資金を集め、植林事業を継続できるような仕組み・技術支援とともに、観光客用の苗木を自家採種によって育てる技術の移転を継続することが課題である。反省点は、実施規模が小さかったため、児童数が多い公立小学校が参加できなかったことである。

●参加者の声

地元小学校（３校）が授業の一環として参加してくれた。

・こんなに楽しい授業なら毎月でもやりたい。（引率教師）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	日本	フィリピン	計
8ha	9000本	8ha	3人	1145人	1148 人
樹種：在来樹種とタケ					
実施場所：フィリピン・バギオ市					

子どもたちも植樹に参加

東部アマゾンに於けるアグロフォレストリー推進事業支援のための小農家コミュニティー苗畑整備事業

(特) 野生生物を調査研究する会
神戸市北区東有野台

●事業概要

平成23年度から東部アマゾンに位置するトメアス市内において、小農家生産者協会を対象に、育苗から植え付けまでの一貫して小農家生産者協会において実施できるように技術指導を行いながら、将来的に自立継続していくことを目標に苗畑を整備している。

●事業成果等

この取組が現地から高い評価を得ていることから、トメアスにおける小農家支援アグロフォレストリー推進モデルと認識されつつある。一方、平成20年度から22年度にかけてマリキッタ川流域においては６つの苗畑により一定の苗需要を満たせる見通しが立ち、最貧困地域を対象に同様のコミュニティー苗畑整備を実施することとした。

●自己評価等

2008年に整備した小農家協会の中に、クプアス（果物）を24年度に100ｔをジュース工場に出荷する小農家も現れている。そして、2010年度からワークショップを開催し、活発な情報交換の場となっている。

フォロー体制の整備と情報交換の場を継続的な開催に向けての運用資金等の確保が課題である。

●参加者の声

定着と貧困からの脱却が図られ地域の治安も改善に向かい、違法な森林伐採の啓発活動につながってきている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

苗畑設置・指導	ブラジル
10回	200人
2箇所のコミュニティーにおいて、2万本の生産能力を有する苗畑（灌水施設付き）を各１つずつ設置。小農生産協会のワークショップ開催	
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス郡	

情報交換の場としてのワークショップ

モンゴルにおける植林、植林技術者養成及び地域住民の森林保護意識の醸成事業

(公財) ひょうご環境創造協会
神戸市須磨区行平町

●事業概要

目的は、大規模な森林火災からの森林再生支援であり、主な活動は、次のとおりである。

①植林（育苗）現場確認：日本人植林専門家によるモンゴル国の試験植林地の現地視察
②植林技術者養成：日本人植林専門家によるモンゴル国植林技術者約50人参加の技術者研修会の開催（２回）
③植林：住民（11日間、延120人参加）による10ha・2万5000本の植樹
④森林保護意識の醸成：地域住民約90人が参加した住民研修会（２回）への現地講師４人の派遣

●事業成果等

植林技術者研修には、現職の森林組合員や森林行政職員・研究員などの参加を得ることができ、植林現場で活躍する森林技術者の知識・技術向上の機会となった。

住民参加による植林の結果、広大な森林喪失のあった地区において10haの森林再生がなされた。

住民研修会実施により、森林保護意識の醸成が図れた。

●自己評価等

今後の課題としては、現地協力団体の拡充と連携強化に努めることである。

●参加者の声

・技術者研修内容の専門性と技術水準が高く評価され、今後とも技術支援を継続してもらいたいとの要望を受けた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	モンゴル	計
10.0ha	2万5000本	260人	260人
樹種：マツ			
実施場所：モンゴル・ヒャルガナット地区			

植林技術者研修

「学校の森」造成植林による緑化推進教育事業（アフリカ・ケニア）

(特) アフリカ児童教育基金の会ACEF
奈良県天理市西長柄町

●事業概要

ケニア国内でも有数の乾燥地帯であるエンブ県南エンブ地区の20校の小学校を対象に植林の実践をするとともに、各学校代表者を対象にセミナーを行い、苗木育成のための水問題や家畜対策、さらに環境問題についても学んだ。

各校30名程度のエコクラブを結成。雨期にはまず当会苗木センターで育成した苗木と、各学校に適した種類や、希望する種類の苗木を購入し植林。エコクラブのメンバーが中心となり、苗木の育成や学校の美化に勤め、環境美化コンテストを行った。今年度はセミナーを実施し、水やりや着床の工夫の他に、環境問題についても、積極的な質疑応答を行い、生徒だけでなく保護者たちにも、環境の問題、植樹の知識を学んでもらった。

●事業成果等

事業開始前より、県知事と当該地区の教育長を訪問し、緑の募金による助成プログラムの趣旨を説明し、協力を要請しておいたので、迅速な対応をしてくれた。

水やりだけをしていた学校は活着率が悪かったが、水だけでなく、家畜のフンなどを肥料に使うなど工夫を凝らした学校は活着率も良く、生徒の努力がしっかり結果に反映されていた。

●自己評価等

このプロジェクトへの反応は年々大きくなってきている。ケニア政府のビジョンの1つに、2030年までに森林カバー率を今より10%向上させる政策があり、そのビジョンに添ったプロジェクトであると政府関係者からの今後の期待度も大きく、継続を熱望されている。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	ケニア	計
約4.0ha	２万本	6898人	6898人
樹種：グラベリア、アラウカリア、オーナメンタルほか			
実施場所：ケニア・エンブ郡ベレー南地区			

20校で植樹

北京北部地域水源地植林事業

(公社) 島根県緑化推進委員会
松江市母衣町

●事業概要

目的は、中国北京市の水源地域の植林支援を行うと共に、地球規模の環境問題に県民が関心を持つことを目的に交流事業を実施することである。

内容は、①河北省赤城県に30ha（単年度10ha、３年間）の水源涵養林整備を支援する。②県民（緑の少年団員を含む）交流団を派遣し、交流活動を実施する。③活着率など、事業の成果を検証することである。

●事業成果等

当初計画どおり10haの植林が実施でき、１年目と合わせて20haの水源涵養林を整備した。

交流団の派遣は、県民交流団員の募集期間中に、中国で「高病原性鳥インフルエンザ」の発生、いわゆる「PM2.5」問題、尖閣諸島の領有権問題が同時に発生したため、関係機関と協議の結果断念した。

大規模な交流団の派遣に代えて、林業専門家を派遣し、活着率や施業方法など２年間の植林の成果を検証したところ、70～80%の活着率を確保できた。

●自己評価等

①昨年に続き、約２万本の「油松」、「山杏」を計画どおり植栽したところ、自然条件に恵まれ、順調に生育した。
②県民交流団の派遣ができなかったことは残念だった。
③林業専門家による現地調査で、活着率や周辺の植生調査、土壌調査を行い科学的な検証ができた。

●参加者の声

・丁寧な施業が行われており、過酷な環境（低温、少雨）にもかかわらずまずまずの活着であり関係者の熱心な取り組みが推察された。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	日本	中国	計
10ha	1万9370本	10ha	２人	延べ300人	302人
樹種：油松、山杏					
実施場所：中国・河北省張家口市赤城県					

植林地で北京市、河北省の関係者と事業について打ち合わせ

中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業

広島県日中親善協会

広島市中区基町

●事業概要

長年の多量伐採や農地開発等により水土流失が著しく砂漠化が深刻になっていることから、造林・緑化を通じて自然環境や水土保全機能の回復を図るものである。

●事業成果等

住民の環境保護意識が向上し、自発的に植林に参加するなど災害防止に貢献している。特に、小中学生を含む青少年が積極的にボランティアで植林している。

●自己評価等

①地元の人たちが積極的に参加し、苗木も割合大きいものを選びながら、早く環境改善するよう、また灌水作業などで大変苦労しながら造林している。

②苗木の生長は当初計画より良い。

③最初の計画が少しばらばらな感じがあるので、もっと全体的な環境改善の計画を立てる必要がある。

●参加者の声

・この事業は地元の方々の大きな注目を集め、それぞれ、自発的に造林事業に参加しており、この事業を通して、住んでいる町をきれいに作ろうという気持ちをさらに固め、千年「長寿郷」の魅力を再度実現できると信じている。（鎮林業管理所長）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	中国	計
10ha	1万6500本	560人	560人
樹種：クスノキ、チャンチン			
実施場所：中国・四川省眉山市			

植樹のための穴掘り作業

徳島烏雲の森　植林事業

(特) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

中国･内モンゴル自治区のホルチン沙漠内に現地政府（阿古拉鎮）と農牧民及び当協会が協力共同して、地球環境保全・沙漠地の民生改善植林事業を行った。獣害を防止する目的で植林地の周辺に柵を張り巡らし牛・羊・山羊の放牧を禁止し、ポプラを植林した、今年は降雪・降雨が多く土壌が保水していて、井戸を掘る本数も１本で良く作業効率も非常に上がった。現在は沙漠・半沙漠が混在しているが、植林を通じて草原が回復しつつ環境の保全にも貢献した。

●事業成果等

植林地を管理している農牧民も植林により土壌が改善され、作物収穫量が増えまた家畜の取引金額も増加し生活の向上に貢献した、これらの事によりあまり植林事業に関心がなかった農牧民も植林事業の重要性を感じ、近年では積極的に協力するようになってきた。

●自己評価等

植林地周辺の中学生・小学生にも植林作業へ積極的に参加してもらって地球環境問題の認識をもってもらい、植林作業時の新たな戦力として期待している。以前に植林をしたポプラも順調に育っていて、明らかに成果は確認できる。これからは中国・内モンゴル自治区の政府に確認し、以前植林して成長したポプラの間伐を行い売却して現地の農牧民の皆さんに還元していきたい。

●参加者の声

・今回の貴重な経験を大切にし、烏雲先生の志に共感し、また地球環境にも興味をもちました、次回も参加したい。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	日本	中国	計
100ha	4万本	8人	47人	55人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区・阿古拉鎮				

ポプラの植樹

韓国釜山植林

オイスカ三豊推進協議会
香川県三豊市豊中町

●事業概要

韓国オイスカとオイスカ三豊推進協議会が両国の友好関係を築くため、雑木林になっている公園周辺を整地をし、共働でサクラの植樹を行った。

釜山市民、オイスカ韓国、公共機関の職員、釜山日本人学校の生徒、日本からのボランティア約250人が植樹したもので、メンテナンスは、オイスカ韓国が行うこととしている。

●事業成果等

言葉は通じなくても、異国の人と人が繋がり、植林の後、現地を訪問し交流を行い、サクラの開花を確認した。

●参加者の声

・個人と個人の関係は、発展していくと感じた。
・韓国と日本の政治問題はないように感じた。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	日本	韓国	計
1ha	500本	約1ha	28人	220人	248人
樹種：サクラ					
実施場所：韓国・釜山近郊					

サクラの植樹

ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）インレー湖地域における土砂流出を防止する持続可能な緑化システム構築事業

(特) 地球市民の会
佐賀市高木町

●事業概要

1．インレー湖への土砂流出防止のための植林：モリンガを中心に、共同地に１万本植林した。
2．育苗施設整備：苗畑を整備し、地域住民によって植林用１万本の育苗を実施した。
3．緑化基金の創出とシステム化：地域の緑化を推進、継続するための緑化委員会を組織した。
4．研修：継続して植林ができるよう、住民対象に育苗・挿し木の方法や環境保全研修を実施した。

●事業成果等

1．地域に合った樹種による植林
　活着率も高く、より有効な植林を行うことができた。
2．換金性のある樹種の植林と、継続のための資金の捻出
　これまでモリンガは葉や実を食用とするのみで、種から油を搾るという考えはなかったが、今回実施した研修でシードオイルの搾油方法や、換金性を認知させることができた。住民も植林に意欲的であり、継続的に植林が行われる予定である。
3．緑化委員会の組織化
　地域住民主体の緑化委員会が組織され、今後モリンガの売り上げの一部を緑化基金に充てて緑化活動を行う。
4．環境教育
　緑化の必要性とともに、モリンガの環境保全や栄養改善などの特性を広め、今後の植林の持続的発展を促した。

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
25ha	1万本	25ha	200人	200人
樹種：モリンガ				
実施場所：ミャンマー・シャン州				

苗畑

ツルセワナ（木陰づくり）事業

(特）愛未来
佐賀市久保田町

●事業概要

目的は、乾燥を防ぐとともに心身ともにリラックスできる木陰をつくることである。主な活動は次のとおりである。
①８haの土地の中で植樹する場所にある大きな岩や石、トゲのある灌木の除去。
②象や牛が侵入しないように電柵や塀の設置。
③水を確保するためのタンク２基の設置。
④木陰を作るための植樹。

●事業成果等

子ども達も安心して遊ぶことができるようになった。また、多くの地域住民が参加して苗木作りから植樹などの作業をしたことにより、乾燥地帯を緑化地帯にすることができた。木の種類は、緑のきれいなマーラや実のなるマンゴー、黄色い花の咲くアハラなど約20種類である。

●自己評価等

乾燥地帯であるため土が固く、電柵の柱を立てるための穴掘りや、苗木を植えるための穴掘りに時間がかかり、電柵設置や植樹活動が予定より１カ月位遅くなった。そのため、自分たちでポットを手作りし、種をまいて苗を仕立てた。水タンクを２基設置したが、水がまだまだ不足するので、井戸を掘る必要がある。

●参加者の声

・木陰ができたら読書や歌の練習もできる！クジャク、サル、ウサギ、鳥などもやってくるよ！（若いお母さん）

実績とりまとめ表（作業内容・参加者数）

植付面積	植付本数	土地整備	電柵・塀作り	水タンク	日本	スリランカ	計
7ha	4000本	7ha	950m	2基 6000ℓ	1人	420人	421人
樹種：アハラ、マーラ、マホガニー、マンゴー、ジャックフルーツほか							
実施場所：スリランカ・南州ハンバントタ県ティッサマハラマ市							

ゾウやウシが侵入しないように設置した電柵

平成 26 年度緑の募金事業報告集 索引

（事業実施団体別）

	交　付　先	所在地	交付決定番号	事　業　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
あ	（公社）愛知県緑化推進委員会	愛知	24SC-31	「あいち」ＧＲＥＥＮ ＨＥＡＲＴ ＰＲＯＪＥＣＴ	愛知	1,150	18
	（特）愛未来	佐賀	25K-43	ツル セワナ事業（ツル セワナとは木陰の意のシンハラ語）	スリランカ	1,541	172
	（特）アイユーゴー	大阪	25K-30	マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業	マダガスカル	1,459	166
	（公社）青森県緑化推進委員会	青森	24震災RC-03	おいらせ町海岸防災林震災復興植樹祭	青森	3,300	82
	（公社）青森県緑化推進委員会	青森	24震災RC-04	八戸市東日本大震災復興植樹	青森	3,000	83
	（公社）青森県緑化推進委員会	青森	25震災SC-03	三陸復興国立公園階上岳指定記念植樹祭	青森	2,500	38
	（公社）青森県緑化推進委員会	青森	25震災RC-12	第二次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業	青森	2,500	99
	安久津八幡山を守る会	山形	25ふR-05	阿久津八幡山の保全整備事業	山形	315	125
	（公社）アジア協会アジア友の会	大阪	25K-32	ネパール　ノールパラシィ郡の小農村におけるアグロフォレストの拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育	ネパール	1,994	167
	（特）アジア植林友好協会	東京	25K-05	乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップの活用による水源涵養林の整備	インドネシア	1,196	155
	（特）アジアの誇り・プレアビヒア日本協会	東京	25K-06	カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺地区での森林教育と植林活動（第３年目）	カンボジア	2,229	155
	アジロ山の自然と環境を守る会	高知	25S-55	「アジロ自然の森」整備及び子育て支援事業	高知	440	69
	（一社）安曇川流域・森と家づくりの会	滋賀	25S-45	上流·下流の連携による、琵琶湖の水源、清流「安曇川」の源流を守る森づくり活動	滋賀	850	65
	（特）アフリカ児童教育基金の会	奈良	25K-36	「学校の森」造成植林による緑化推進教育事業（アフリカ・ケニア）	ケニア	1,594	169
	あまぎ緑の応援団委員会	福岡	24SC-18	小石原川水源の森づくり事業（２）	福岡	2,602	12
	あわくらの自然林を増す北新クラブ	東京	25R-21	自然林と共生の森づくり	岡山	1,200	111
い	（特）イカオ・アコ	愛知	25K-26	西ネグロス州中部における水源涵養，魚付き林整備（第３年次）	フィリピン	1,483	164
	森林ボランティアいこま里山クラブ	奈良	25R-28	「生駒市民のシンボル生駒山」山麓整備緑化再生事業	奈良	1,300	114
	（公社）石川の森づくり推進協会	石川	25S-31	2013企業人学びの森整備事業	石川	1,150	58
	石川フォレストサポーター会	石川	25ふR-18	「ふるさとの絆の森」再生事業	石川	500	132
	石川・水と緑を守る市民の会	岐阜	25災R-07	石川の海岸林・砂防林を育てるボランティア活動事業	石川	1,219	120
	泉ケ岳利活用推進市民会議	宮城	25R-06	泉ケ岳芳の平森林再生整備計画事業	宮城	780	104
	いずみの森の会	大阪	25SC-04	アドプト　フォレスト　仏並エネオスの森づくり活動	大阪	740	25
	いずみの森の会	大阪	24SC-17	アドプト　フォレスト　仏並エネオスの森づくり活動	大阪	1,150	12
	いずみの森連絡協議会	大阪	24SC-22	緑のボランテイアの森記念造成事業「いずみの森２１」	大阪	300	14
	いずみの森連絡協議会	大阪	25SC-07	緑のボランテイアの森記念造成事業「いずみの森２１」	大阪	300	27
	（特）伊勢原森林里山研究会	神奈川	25ふR-15	混交林化でふるさとの森づくり	神奈川	500	130
	（特）伊東里山クラブ	静岡	25ふR-19	観光伊豆の玄関口「亀石峠」にサクラ並木よみがえり	静岡	500	132
	田舎の環境を守る会	鹿児島	25S-65	荒廃竹林（森林）の整備	鹿児島	530	73

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
い	いのちの森づくり友の会	神奈川	25災R-03	第3回小田原荻窪森林再生プロジェクト	神奈川	875	119
	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	25震災SC-02	平成２５年度東日本大震災津波被災の海岸防災林復旧事業	茨城	3,300	38
	いばらき森林クラブ	茨城	25R-10	茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動	茨城	460	106
	今治地方水と緑の懇話会	愛媛	25R-33	今治地域住民と時代を担う青少年等による水源の森整備事業	愛媛	680	117
	(特)いわきの森に親しむ会	福島	25S-04	プロ野球の森整備事業	福島	840	45
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	24震災RC-06	気仙地区植樹祭　～東日本大震災津波からの復興を目指して～	岩手	1,418	84
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	24震災RC-14	震災仮設住宅に緑いっぱい推進事業	岩手	1,257	88
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	24震災RC-15	「森は海の恋人」植樹祭　～東日本大震災津波からの復興を目指して～	岩手	1,533	88
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	25震災RC-03	地域産間伐認証材を活用した津波避難歩道設置事業	岩手	1,976	95
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	25震災RC-06	震災地域における吉浜小学校教育環境向上のための緑化事業	岩手	1,271	97
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	25震災RC-10	震災地域における小屋瀬小学校教育環境向上のための緑化事業	岩手	1,426	98
う	うきは市森林セラピー実行委員会	福岡	25SC-11	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり	福岡	1,300	29
	内モンゴル緑化の会	愛知	25K-27	中国・内モンゴル沙漠化防止　循環型経済林造成	中国	1,164	164
	(特)うにの郷クラブ	三重	25S-40	里山再生と新しい竹文化の創造	三重	760	62
	(特)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	25K-39	徳島烏雲の森植林事業	中国	1,672	170
	(特)烏雲の森　沙漠植林ボランティア協会	徳島	25災R-11	徳島県　那賀町　木沢　森林整備事業	徳島	740	122
	(特)ウヨロ環境トラスト	北海道	25S-03	NPOの連携による間伐促進と間伐材活用のモデル構築事業	北海道	1,880	45
え	エコキャンプ２０１３実行委員会	岡山	25RC-01	エコキャンプ２０１３	香川	1,300	89
	Ｎ．ＧＫＳ（ＮＧＯ緑の協力隊関西澤井隊）	京都	25K-29	Ｎ．ＧＫＳ 第１８次隊（第２回亀岡ボルネオ植林隊）ボルネオ島植林	マレーシア	730	165
お	(公財)オイスカ	東京	25K-07	モデル里山づくり in パプアニューギニア 2013	パプア・ニューギニア	1,427	156
	(公財)オイスカ四国支部	香川	25R-32	尾の瀬山・オイスカ憩い	香川	370	116
	オイスカ三豊推進協議会	香川	25K-40	韓国釜山植林	韓国	980	171
	大井キッズクラブ	三重	25ふR-20	雲出川・「石橋のエノキ」の保護治療事業	三重	856	133
	おおづ森の守り人	熊本	25S-59	間伐材利活用の森と人を結ぶ「あったか防災薪」事業	熊本	1,480	71
	奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会	島根	25災S-12	「木の駅プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業	島根	1,025	78
	長船刀剣の森づくり実行委員会	岡山	25ふR-30	長船刀剣の森づくり	岡山	500	138
か	環境（特)オフィス町内会	東京	25RC-08	「活樹祭　～こども間伐体験～」	岩手	2,500	93
	上総自然学校	千葉	25S-15	地域と共に、里山保全	千葉	750	50
	(特)神奈川育林隊	神奈川	25R-22	地域毎(県西3ケ市)の里山の整備と維持保全活動	神奈川	260	111
	神奈川県山岳連盟	神奈川	25ふR-14	丹沢（二ノ塔）の森林再生事業	神奈川	500	130
	(特)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	25S-29	水源林の整備の癒しのフィールドづくり	神奈川	350	57
	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	25SC-02	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	1,800	24
	かみかつ里山倶楽部	徳島	25災S-13	土砂災害を防ぐ森づくり活動～高丸山千年の森～	徳島	543	78

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
か	(株)花葉館・植栽グループ	秋田	25ふR-04	いこいの森林再生事業	秋田	500	125
	(特)川内村ＮＰＯ協働センター	福島	25震災SC-05	川内村いのちの森づくり植樹際	福島	1,791	39
	寒霞渓いのちの森づくり実行委員会	香川	25SC-09	寒霞渓いのちの森づくり植樹際	香川	2,000	28
	(特)環境修復保全機構	東京	25KC-01	平成２５年度緑の国際ボランテイア研修（カンボジア国）	カンボジア	3,000	146
	(特)環境修復保全機構	東京	25KC-03	タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動	タイ	2,000	147
	(特)環境修復保全機構	東京	25KC-04	カンボジア国タケオ州における植林による緑化推進（フェーズ２）	カンボジア	3,100	147
	(特)環境修復保全機構	東京	25K-08	フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した植林活動の推進（フェーズ２）	フィリピン	1,530	156
	(特)環境生態工学研究所	宮城	25R-05	北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動	岩手	1,600	103
	環境整備「森と竹で健康クラブ」	静岡	25S-36	沼津市　愛鷹運動公園内森林整備事業	静岡	600	60
	(認特)環境リレーションズ研究所	東京	25SC-06	「Present Tree in 宮古」森林再生事業	岩手	2,958	26
	(認特)環境リレーションズ研究所	東京	25R-14	「Present Tree from熱海」里山再生から始まる人と森のコミュニケーション	静岡	1,140	108
	(特)観照ボランティア協会	千葉	25K-04	防風・防潮林及び薪炭林造成のためのマングローブ植林事業　ーインドネシア共和国東ジャワ州ムンガレー	インドネシア	759	154
き	(公財)キープ協会	山梨	25K-25	フィリピン　ベンゲット州トゥバにおける森林再生と持続可能な森林保全文化の形成	フィリピン	1,468	163
	(特)紀州えこなびと	和歌山	25S-51	武住谷の人工林を甦らせよう！～森林整備ボランティア養成と地域材活用プロジェクト～	和歌山	1,010	67
	木津川市地域連携保全活動応援団	京都	25SC-16	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり	京都	823	31
	(特)樹の生命を守る会	千葉	25ふR-11	東金市山王台公園　サクラの森林再生	千葉	500	128
	(認特)共存の森ネットワーク	東京	25RC-06	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」	新潟外	1,500	92
	(特)吉里吉里国	岩手	25震災RC-01	「復活の森」再生キャラバン	岩手	300	94
く	玖珠郡森林組合	大分	24SC-24	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	2,033	15
	玖珠郡森林組合	大分	25SC-30	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	1,500	35
	(特)蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク	東京	25SC-24	国産木質バイオマス資源活用事業	埼玉外	1,500	34
	グリーンＯＢ会	岡山	24SC-30	岡山県日本リスの森整備事業	岡山	269	18
	グリーンＯＢ会	岡山	24SC-34	岡山水源の森整備事業	岡山	580	20
	(特)グリーンフォーラム	東京	25K-09	ラオス国ホアパン県におけるラオスヒノキの環境植林プロジェクト事業（３年計画）	ラオス	1,223	157
	(特)グリーンフォレストジャパン	埼玉	25S-13	子ども（園児、小・中学校）と森づくり体験事業	埼玉	1,320	49
	(特)グリーンベイＯＳＡＫＡ	大阪	25災R-08	グリーンベイＯＳＡＫＡ森を育てる活動（津波の緩衝帯としての防災林づくり）	大阪	1,595	121
	グリーンボランティア「森林づくり三重」	三重	25S-42	みんなの宝、森林を整備し、森林に親しみ、森林に学ぼう	三重	1,090	63
	群馬県樹木診断協会	群馬	25ふR-09	ふるさとの巨木救助活動	群馬	500	127
	群馬県林業技士会	群馬	25S-11	「小根山森林公園森林整備ボランティア活動」	群馬	270	48
こ	甲賀愛林クラブ	滋賀	25S-44	上下流連携による森づくりおよび小規模自伐林業による森林整備推進事業	滋賀	950	64
	(特)黄河流域に植林の会	千葉	25K-02	中国、内モンゴル飛沙、沙漠化防止緑化活動	中国	1,190	153

	交　付　先	所在地	交付決定番号	事　業　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
こ	こうち森林救援隊	高知	25ふR-34	山と里の豊かな森林再生事業	高知	531	140
	(特)こが里山を守る会	茨城	25S-08	次代を担う子供たちによる身近な里山での自然環境体験学習会と里山の整備活動	茨城	410	47
	(一財)国際開発センター（ＩＤＣＪ）	東京	25K-10	カンボジア国「みんなで中学校を作ろう」プロジェクト（中学校緑化支援）	カンボジア	1,420	157
	(一社)国際善隣協会	東京	25K-11	霊武市日中友好防風固砂モデル林	中国	1,149	158
	(公財)国際緑化推進センター	東京	25KC-09	チャウカン･コミュニテイー･フォレスト造成事業	ミャンマー	3,499	150
	五反舎	東京	25災S-02	高尾山周辺森林の台風被害跡地調査および風倒かかり木処理技術研修	東京	843	74
	(一社)コンサベーション・インターナショナル・ジャパン	東京	25K-12	グヌングデ・パングランゴ国立公園保全を推進する再植林事業と清潔な水の供給	インドネシア	1,706	158
さ	(特)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	24SC-27	企業等の埼玉の森林づくり支援事業	埼玉	1,000	16
	(特)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	25S-12	森林づくり教育支援事業	埼玉	440	49
	栄村震災復興祈念植樹実行委員会	長野	25震災RC-13	平成26年度　長野県北部地震復興祈念植樹事業	長野	645	100
	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	25災R-12	「地球に緑を　桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり（桜島どんぐりころころ植樹祭）	鹿児島	815	122
	(特)里山クリーン新潟	新潟	25災S-07	国民参加による災害に強い森林づくり事業	新潟	1,364	76
	(社)日本山岳会東海支部猿投の森づくりの会	愛知	25S-39	猿投の森づくりの継続実施と国際森林デー活動	愛知	840	62
	(特)サヘルの森	東京	25KC-14	アフリカ荒廃地の樹林再生と小規模植林による里山づくり（マリ共和国-継続）	マリ	1,150	152
	讃郷（さんきょう)愛林協会	鳥取	25ふR-28	荒廃する果樹園跡地（廃園となった梨園）の里山再生事業	鳥取	500	137
	サンシティ管理組合	東京	25S-24	野鳥の誘林づくり事業	東京	400	54
	山村の広葉樹を守り育てる会	神奈川	25災S-06	山村の広葉樹を守り育てる森林ボランティア活動	山形、群馬	1,302	76
し	(特)ＧＮＣ　Ｊａｐａｎ	東京	25KC-13	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	2,000	152
	(特)ＧＮＣ　Ｊａｐａｎ	東京	25K-14	モンゴル国中央県植林事業	モンゴル	1,775	159
	(特)ＧＦＮＰ	兵庫	25K-33	バギオシティーの住民と共に造る『アシン村の平和の森プロジェクト』の２年目～２年目は緑の軍手の花が咲く～	フィリピン	1,999	167
	(特)自然回復を試みる会・ビオトープ孟子	和歌山	25R-29	海南市北野上地区薪炭林活性化事業	和歌山	310	115
	(特)自然文化国際交流協会	長野	25災S-10	立科・君津・奥多摩等における急峻な人工林の災害防止を兼ねた森林整備	長野、千葉、東京	1,602	77
	(公社)島根県緑化推進委員会	島根	25K-37	北京北部地域水源地植林事業	中国	2,027	169
	(特)島本森のクラブ	大阪	25ふR-22	島本町における「ふれあいの森」再生事業	大阪	500	134
	清水洞の上自然を守る会	茨城	25ふR-07	行政とのパートナーシップで管理運営する自然公園	茨城	500	126
	(特)市民環境研究所	京都	25K-28	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動	カザフスタン	1,430	165
	(認特)ＪＵＯＮ　ＮＥＴＷＯＲＫ	東京	25S-26	森づくり体験プログラム「森の楽校」２０１３･２０１４	全国	1,130	55
	(特)樹木・環境ネットワーク協会	東京	24SC-21	海の森　植樹プロジェクト	東京	2,996	14
	(特)樹木・環境ネットワーク協会	東京	24SC-40	多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト	東京	534	22
	(特)樹木・環境ネットワーク協会	東京	25SC-23	海の森　植樹プロジェクト	東京	1,107	34
	(特)樹木・環境ネットワーク協会	東京	25SC-31	「多摩動物公園　雑木林再生プロジェクト」	東京	511	36
	(特)樹木・環境ネットワーク協会	東京	25RC-07	フォークロアーの森づくり　関東地区	千葉	998	92

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
し	上州の防災・森づくりの会	東京	25災S-03	防災林を奥利根地域で育てるボランティア活動事業	群馬	1,156	74
	(特)縄文の杜をつくる会	新潟	25災R-04	中越震災みどりの復興メモリアル拠点整備事業	新潟	1,951	119
	新疆大学沙漠緑化協会日本支部	東京	25K-13	沙漠での緑化作業を通じた国際交流増進事業（継続事業）	中国	636	159
	(特)森林資源活用バンク	東京	25S-21	"木育"体験イベント「つむ木」で遊ぼう！を出展	東京	320	53
	(特)森林総合支援センター	富山	25ふR-17	ササユリの咲く森再生プロジェクト	富山	500	131
	(特)森林との共生を考える会	宮城	25SC-05	宮城県栗原地区崩壊跡地の植生復元事業	宮城	1,000	26
す	(一社)スマート・ウィメンズ・コミュニティ	神奈川	25S-28	私達の水源間伐整備事業	山梨	1,290	56
	(特)セルフディフェンスボランティア新発田	新潟	25R-23	歴史の里山に桜の森づくり	新潟	970	112
た	(特)太東崎燈台クラブ	千葉	25ふR-12	優れた景観をもつ太東崎の森を将来に引き継ぐ事業	千葉	500	129
	高尾グリーン倶楽部	東京	25S-23	青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及事業	東京	720	54
	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	24KC-09	日本ーラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	3,000	145
	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	25KC-10	ラオス育成天然林の造成及び改良手法開発に関する調査事業	ラオス	778	150
	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	埼玉	25災R-01	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト	東京	675	118
	竹文化振興協会	京都	25R-26	竹一株植えつけ運動	岐阜外	300	113
	(特)竹もりの里	千葉	25S-14	都市住民が参加する里山整備と間伐材の有効活用	千葉	1,610	50
	多治見観光ボランティアガイド	岐阜	25S-33	下街道さんさくウォーク事業	岐阜	420	59
ち	地球お守り隊	福岡	25S-56	森・人・海お守りプロジェクト	大分	880	69
	(公財)地球環境戦略研究機関　国際生態学センター	神奈川	24K-26	カンボジアにおける「本物の森づくり」 第３期	カンボジア	1,800	145
	(特)地球市民の会	佐賀	25K-42	ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）インレー湖地域における土砂流出を防止する持続可能な緑化システム構築事業	ミャンマー	1,469	171
	(特)地球と未来の環境基金	東京	24KC-07	東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業	ブラジル	2,000	144
	(特)地球と未来の環境基金	東京	25KC-11	東アマゾン地域における小農民のアグロフォレストリー支援事業	ブラジル	2,000	151
	(特)地球と未来の環境基金	東京	25R-20	首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業	埼玉外	1,530	110
	(特)地球と未来の環境基金	東京	25災S-04	広島県竹原市における市民・企業・行政一体となった被災森林回復植林活動	広島	1,805	75
	(特)地球の友と歩む会	東京	25K-15	インド・環境保全のための植林推進事業	インド	1,200	160
	(特)地球緑化センター	東京	25KC-05	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	1,800	148
	(特)地球緑化センター	東京	25KC-06	長江上流域植林協力事業	中国	5,000	148
	(特)地球緑化センター	東京	25S-17	青少年環境保全体験活動プログラム	秋田	2,060	51
	(特)地球緑化センター	東京	25K-16	中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」	中国	1,500	160
	竹林整備隊	三重	25S-41	荒廃竹林整備促進事業	三重	340	63
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	25震災SC-08	さんむ植樹祭	千葉	3,500	41
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	25震災SC-09	浦安絆の森（緑の防潮堤）整備事業	千葉	3,000	41
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	25震災SC-10	白子町海岸保安林整備事業	千葉	3,900	42

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
ち	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	25震災SC-11	旭復興植樹事業	千葉	730	42
つ	(特)つがる夢庭志仙会	青森	25R-04	モク（木）モク（煙）サイクルプロジェクト	青森	1,020	103
	(特)つくば環境フォーラム	茨城	25R-11	筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり	茨城	470	106
	「つたえよう　美しき森」推進委員会	石川	25RC-04	「つたえよう　美しき森」	石川	1,500	91
	(特)土に還る木　森づくりの会	静岡	25S-37	森づくり自然学校・御殿場	静岡	1,070	61
	つながる森づくり実行委員会	東京	24SC-19	細田いのちをつなぐ森づくり植樹祭	兵庫	800	13
	つながる森づくり実行委員会	東京	25R-15	白神山地いのちの森づくり植樹際	青森	1,000	108
て	寺子の桜保存会	栃木	25ふR-08	寺子のエドヒガン樹勢回復事業	栃木	500	127
と	東京地方林退会沼津支部	静岡	24SC-29	富士山麓水源の森整備事業	静岡	666	17
	東京緑化推進委員会	東京	24SC-39	豊島区グリーンハートプロジェクト	東京	3,000	22
	東濃山歩倶楽部	岐阜	25S-35	東濃の緑を守るボランティア活動事業	岐阜	420	60
	十日町市民協働の森づくり実行委員会	新潟	25震災SC-01	十日町市民協働の森づくり	新潟	3,700	37
	(特)時ノ寿の森クラブ	静岡	25SC-21	静波海岸防災林植樹祭「いのちを守る森づくり」in牧ノ原	静岡	2,000	33
	(特)徳島県森の案内人ネットワーク	徳島	25ふR-32	ひなの里森林再生事業	徳島	500	139
	(公社)徳島森林づくり推進機構	徳島	25S-53	「大志を抱く森づくりプロジェクト」事業	徳島	650	68
	(特)土佐の森・救援隊	高知	25SC-25	自伐型林業実施者・実施地域支援のための全国組織創設事業～地域林業再生と農山村漁村再生のため、自伐型林業推進組織の創設～	東京外	2,000	35
	(特)土佐の森・救援隊	高知	25震災SC-04	土佐の森方式（自伐林業方式）と木質バイオマスを活用した、津波被災地再生事業	岩手外	2,720	39
	(特)土佐の森・救援隊	高知	25災S-14	災害に強い森づくりと収入になる森林経営を両立させる自伐林業方式の確立と、その自伐林業家（誰でも参入容易な）の育成及び普及事業	高知	1,942	79
	(特)とんぼエコオフィス	千葉	25R-13	東日本大震災復興支援　緑化木育苗	千葉	1,400	107
な	長門市花と緑のまちづくり推進協議会	山口	25ふR-31	妙見山共生の森づくり事業	山口	210	138
	ながぬま緑の少年団	北海道	25R-03	小鳥のさえづりが聞こえる河畔づくり植樹	北海道	440	102
	(公社)長野県緑の基金	長野	25震災SC-06	平成２５年度　長野県北部地震復興祈念植樹	長野	719	40
	(特)名古屋シティ・フォレスター倶楽部	愛知	25災S-11	災害に強い森づくりを推進し、安全･安心の里山を	愛知	605	77
	(特)ナチュラルリングトラスト	東京	25S-25	薪まきネット「薪バンク」プロジェクト	埼玉	510	55
	奈良県森林ボランティア連絡協議会	奈良	25S-50	森林の整備と連携して行う普及啓発事業	奈良	820	67
に	新潟地域緑化推進協議会	新潟	25ふR-16	汐見台市民協働の森づくり事業（新潟市中央区）	新潟	1,000	131
	(特)西川木楽会	埼玉	25ふR-10	西川地域「ふるさとの森」を守る獣害対策事業	埼玉	500	128
	(特)ニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ	大阪	25S-47	東日本災害の復興に向けた協働植樹と森の教室・育苗活動の推進	宮城外	1,210	66
	日本インドネシアＮＧＯネットワーク	東京	25K-19	インドネシア東カリマンタン州森林地域住民による森と水の保全活動	インドネシア	831	161
	(公財)日本環境協会	東京	24震災RC-05	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！どんぐりプロジェクト	岩手、宮城、福島外	2,000	83
	(公財)日本環境協会	東京	25震災RC-04	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D	全国	2,341	96
	(公社)日本国際民間協力会	京都	25KC-07	ケニアにおける生活向上のための植林事業	ケニア	3,000	149

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
に	(特)日本沙漠緑化実践協会	東京	25K-18	徳勝城地域における沙丘からの流沙防止のための植林２	中国	1,174	161
	日本樹木医会　鹿児島県支部	鹿児島	25ふR-36	宮川小学校記念樹（サクラ）及び校庭衰退木樹勢回復事業	鹿児島	827	141
	(特)日本森林ボランティア協会	大阪	25S-48	広がる森林ボランティアの輪	兵庫	670	66
	(特)日本青少年音楽芸能協会	東京	25RC-05	青少年による竹林ルネッサンス事業～２１世紀のかぐや姫事業～	富山	2,000	91
	(特)日本農林再生保全センター	京都	24特S-22	多くの人が集う未来に残る里山を！	京都	950	23
は	ＨＡＫＵＢＡ　Ｔｅａｍ98	長野	25R-25	第12回森林ボランティア「森づくり２０１３」	長野	270	113
	はしもと里山保全アクションチーム	和歌山	25ふR-26	「懐かしい故郷の里山を守り育てる」（「ふるさと演習林」拡張・整備事業）	和歌山	500	136
	橋本ひだまり倶楽部	和歌山	25ふR-27	「郷土の森」の再生・整備事業	和歌山	500	136
	はっぱクラブ	鹿児島	25S-62	平成25年度　第11回「森林ボランティアの日」活動in『中パの森』	鹿児島	1,520	72
	(特)花咲き村	東京	25R-16	僕たち私たちの「ふるさとの森づくり」事業	東京	1,240	109
	原村あゆみの森実行委員会	長野	24SC-37	原村あゆみの森整備事業	長野	580	21
	原村あゆみの森実行委員会	長野	25SC-01	原村あゆみの森整備事業（平成25年前期）	長野	1,233	24
	原村あゆみの森実行委員会	長野	25SC-33	原村あゆみの森整備事業（平成26年前期）	長野	560	37
ひ	東アジア環境協働行動よこはま	神奈川	25K-23	モンゴル　ゴビ植生樹林再生・砂漠緑化実験プロジェクト	モンゴル	1,332	163
	森林ボランティア「常陸の森」クラブ	茨城	25S-05	森林整備で発生する間除伐材を利用した木工体験による森林整備の重要性をPRする	茨城	240	46
	(特)人と道研究会	東京	25RC-09	「全国道の駅」と連携した緑の募金活動推進事業（6）	全国	3,000	93
	人吉・球磨自然保護協会	熊本	25S-60	地球温暖化防止に資する水源林整備活動及び体験林業	熊本	770	71
	日野の森再生ボランティアネットワーク	東京	25ふR-13	日野市制５０周年　日野の森再生事業	東京	500	129
	(特)ヒマラヤン・グリーン・クラブ	滋賀	25KC-02	ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動	パキスタン	3,000	146
	(財)ひょうご環境創造協会	兵庫	25K-35	モンゴルにおける植林，植林技術者養成及び地域住民の森林保護意識の醸成事業	モンゴル	1,345	168
	(特)ひょうご森の倶楽部	兵庫	25SC-17	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	1,000	31
	(一社)比良里山クラブ	滋賀	25S-43	比良山麓の里山保全事業2013	滋賀	810	64
	蒜山にブナを植える会	岡山	25R-30	蒜山ブナ林整備事業	岡山	440	115
	広島県日中親善協会	広島	25K-38	中国四川省彭山県水土流失防止緑化事業	中国	1,468	170
	(公社)広島県みどり推進機構	広島	25SC-14	ＧＲＥＥＮ　ＨＥＡＲＴ　ＰＲＯＪＥＣＴ（「第１２回ひろしま「山の日」県民の集い」関連事業	広島	545	30
ふ	(特)フォレスターズかがわ	香川	25ふR-33	里山ふれあいプロジェクト	香川	500	139
	(特)フー太郎の森基金	福島	25K-01	植林地保護を目的とした，代替燃料供給のための薪炭林造成事業	エチオピア	1,548	153
	フォスターフォレストクラブ	千葉	25K-03	フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄地におけるマングローブ植林	フィリピン	500	154
	フォレスター松寿	兵庫	25R-27	フォレスター松寿の森づくり	兵庫	190	114
	フォレスト２１さがみの森連絡協議会	東京	25SC-10	緑のボランテイアの森記念造成事業「フォレスト２１さがみの森」	神奈川	2,000	28
	(特)フォレスト　フォーピープル岡山	岡山	25SC-18	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	1,870	32
	(公財)福岡県水源の森基金	福岡	24SC-20	津野っ子の丘事業	福岡	900	13
	(公財)福岡県水源の森基金	福岡	24SC-33	グリーンハートプロジェクト福岡	福岡	908	19

	交　付　先	所在地	交付決定番号	事　業　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
ふ	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	24震災RC-07	蘇れ！新浜公園事業	福島	1,070	84
	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	25震災RC-05	震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業	福島	1,450	96
	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	25震災RC-09	森林環境学習フィールド整備事業	福島	1,002	98
	(社)福島青年会議所	福島	25ふR-06	花咲か体験	福島	500	126
	福山平成ライオンズクラブ	広島	25R-31	「水源の森」づくり芦田川源流植林・下刈りと出前講座「緑の教室」事業	広島	540	116
	(特)フジの森	東京	25S-20	森を育てる間伐体験と間伐材を活かす木づかいのためのストック事業	東京	860	52
	(一社)ブッシュ・クローバ・コミュニティ	宮城	25震災RC-11	石巻市金華山復興支援植樹活動	宮城	300	99
	(特)ブナ友の会	新潟	25災R-05	五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業	新潟	2,016	120
	ブナを植える会	兵庫	25ふR-23	鉢伏高原ブナ林再生事業	兵庫	500	134
	府民の森ひよし森林倶楽部	京都	25S-46	森林施業・林業生産等の体験と森林整備	京都	680	65
	ふるさと山の会	山形	25R-08	花いっぱいの森コミュニティプロジェクト	山形	1,090	105
	(特)古瀬の自然と文化を守る会	茨城	25S-07	青少年・都市住民が参加した里山・竹林の間伐と整備事業	茨城	450	47
	PLAY FUKUOKA	福岡	25R-34	森づくりボランティア「森で遊ぼう」	大分	590	117
ほ	(一財)北海道森林整備公社	北海道	25R-01	「水源の森」等林業体験啓発事業	北海道	770	101
	(特)北海道森林ボランティア協会	北海道	25S-02	「森林セラピー・森林体験の森」づくり（第三期）	北海道	930	44
	(特)北海道森林ボランティア協会	北海道	25ふR-02	「札幌ふるさと樹木園」づくり	北海道	500	124
	北海道千年の森プロジェクト	北海道	25R-02	おたる船上山　鎮守の森再生プロジェクト	北海道	2,000	102
	(公社)北海道森と緑の会	北海道	24SC-32	市民がつくる森植樹会（キリンビールの森）	北海道	1,300	19
	(公社)北海道森と緑の会	北海道	25SC-08	積水化学・水源の森づくり事業	北海道	1,450	27
	(公社)北海道森と緑の会	北海道	25RC-02	親と子協働の森づくりと自然体験活動	北海道	1,500	90
	北海道林業技士会	北海道	24SC-28	地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業	北海道	500	17
	北海道林業技士会	北海道	25SC-03	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	800	25
ま	まえつえ森を守る会	大分	25R-35	私たちの水源の森づくり	大分	500	118
	まっかり桜保存会	北海道	25ふR-01	真狩　ふるさとのもり　再生事業	北海道	500	123
	(特)松川浦ふれあいサポート	福島	24震災RC-16	大森山（里山）再生事業	福島	1,000	89
	丸小野公民館	宮崎	25ふR-35	高千穂町オルレの森整備事業	宮崎	500	140
み	(特)水と緑の環境ネットワーク	東京	25R-18	気仙沼大島植生回復プロジェクト	宮城	1,010	109
	(特)みずのとらベル隊	熊本	25S-58	緑川流域の豊かな緑と水と未来を守る　放置竹林整備活動	熊本	1,790	70
	(一社)水辺のユニオン	岡山	25S-52	高梁川源流域での環境保全型森林ボランティア活動による地域林業の振興	岡山	2,150	68
	みたけ木曽川水源の森づくり実行委員会	岐阜	25SC-22	「みたけ木曽川水源の森づくり」活動	岐阜	1,000	33
	緑のサヘル	東京	25K-21	ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖岸保全および生活改善のための植林事業	ブルキナファソ	722	162
	(特)緑のダム北相模	東京	25S-16	荒廃の森林の保全・再生：森林・林業の復権	神奈川	1,290	51
	(特)緑の地球ネットワーク	大阪	25KC-08	太行山・郷土の森造成事業	中国	2,500	149

	交　付　先	所在地	交付決定番号	事　業　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
み	(認特)緑の地球ネットワーク	大阪	25K-31	黄土高原における森林再生のための苗圃建設と運営（中国山西省大同市）	中国	1,975	166
	みどりの二季会	鹿児島	25S-64	児童の自然観察と森づくり（3年目）	鹿児島	380	72
	水俣市久木野地域振興会	熊本	25災S-15	「道も直すぞ！」水俣・水源の森づくり	熊本	1,430	79
	(一社)南三陸町観光協会	宮城	25RC-03	日豪観光交流年事業　日豪環境ボランテイアプログラム「新南三陸時間～海を育む森」	宮城	2,000	90
	(特)宮城県森林インストラクター協会	宮城	25SC-13	「未来へつなぐ共学の森」事業	宮城	1,300	29
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24SC-26	「宮城県」ＧＲＥＥＮ　ＨＥＡＲＴ　ＰＲＯＪＥＣＴ	宮城	886	16
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-08	放射性物質汚染対策による林業振興事業	宮城	300	85
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-09	「みどりのきずな」植樹事業－Ａ工区－	宮城	788	85
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-10	「みどりのきずな」植樹事業－Ｂ工区－	宮城	363	86
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-11	「みどりのきずな」植樹事業－Ｃ工区－	宮城	306	86
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-12	「みどりのきずな」植樹事業－Ｄ工区－	宮城	660	87
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災RC-13	「みどりのきずな」植樹事業－Ｅ工区－	宮城	531	87
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	24震災SC-13	海岸マツの子育て事業	宮城	4,000	23
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災SC-13	海岸マツの子育て事業	宮城	1,700	43
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災SC-14	名取　潮除須賀松「宮城林研の森」植樹事業	宮城	380	43
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災SC-15	「土木地質の森」植樹事業	宮城	360	44
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災RC-02	「みやぎバットの森＆とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」植樹事業	宮城	2,200	95
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災RC-08	馬籠小学校における記念植樹及び桜古木の剪定作業	宮城	220	97
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災RC-14	登米市立米川小学校における記念植樹事業	宮城	113	100
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	25震災RC-15	塩竈市立第一小学校における記念植樹事業	宮城	55	101
	みやぎ里山整備クラブ	宮城	25ふR-03	「館の森」再生事業	宮城	406	124
	宮城森の会	宮城	25SC-15	北蔵王水源の森造成事業	宮城	600	30
	美和木材協同組合	茨城	24SC-36	水源の森造成事業	茨城	220	21
	美和木材協同組合	茨城	25SC-19	水源地保全活動	茨城	220	32
む	(特)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	24KC-06	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業	ロシア	4,000	144
	(特)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	25KC-12	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業	ロシア	4,000	151
	虫いっぱいの里山づくり隊	奈良	25ふR-25	虫いっぱいの里山づくり	奈良	356	135
め	(特)ＭＡＫＥ　ＴＨＥ　ＨＥＡＶＥＮ	北海道	25災S-01	蛤浜　間伐体験と森づくり啓発事業	宮城	1,121	73
も	木もく倶楽部	東京	25R-19	群馬県奥利根国有林「ふれあいの森」整備	群馬	620	110
	(特)森林遊びサポートセンター	北海道	24RC-09	学校林で「げんきの森林づくりと森遊び」	北海道	617	82
	森づくり安全技術・技能全国推進協議会	東京	25RC-10	安全な間伐推進モデル事業	広島、群馬、東京	2,000	94
	(特)森づくり奈良クラブ	奈良	25ふR-24	荒廃したふるさとの森林を地域の森林ボランテイア団体と連携して再生する	奈良	500	135

	交　　付　　先	所在地	交付決定番号	事　　業　　名	事業地	交付決定額（千円）	掲載頁
も	(特)森と木の研究所	鹿児島	25災R-13	「くにの松原」保全・再生事業	鹿児島	1,519	123
	(特)森とでんえん倶楽部	東京	25S-22	群馬県草津やすらぎの森（１６３林班ろ小班）森林整備事業	群馬	610	53
	(特)森と緑の再生ＨＡＲＩＭＡ	山梨	25R-24	森と共生する近未来へ	山梨	340	112
	(特)森林野会	福島	25R-09	「みんなの里山」活性の為の再生整備事業	福島	610	105
	(特)森の自然学校　助川山保全くらぶ	茨城	25R-12	どんぐりの木植樹会	茨城	290	107
	森のなかま	宮城	25R-07	森林の整備（緑の回復事業）	宮城	370	104
	(特)森のライフスタイル研究所	長野	25震災SC-07	３．１１復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	3,000	40
	(特)森のライフスタイル研究所	長野	25S-32	都市部在住の若年層の森づくりへの参加拡大事業	長野	1,830	58
	(特)森びとプロジェクト委員会	東京	25災S-05	いのちを守る海岸防災林づくり復興応援	福島・宮城	1,585	75
	(特)もりふれ倶楽部	島根	25ふR-29	斐伊川水源交流の森づくり事業	島根	500	137
	(特)ＭＯＲＩＭＯＲＩネットワーク	東京	25S-27	創る・育てる「みんなの森林セラピーランド」活動基盤の整備とネットワークづくり	埼玉	950	56
	森林を楽しむ会	神奈川	25S-30	山の間伐材を利用したマチの公園整備	栃木外	550	57
	(特)森林をつくろう	佐賀	25S-57	「緑の体験塾」アドバンス	佐賀	610	70
や	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	25SC-32	木曽川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	1,000	36
	屋久島鎮守の森をつくる会	鹿児島	24SC-25	屋久島鎮守の森植樹祭	鹿児島	1,000	15
	(特)野生生物を調査研究する会	兵庫	25K-34	東部アマゾンにおけるアグロフォレストリー推進支援のための小農家コミュニティー苗畑整備事業	ブラジル	1,679	168
	矢作川水系森林ボランティア協議会	愛知	25S-38	森の健康診断＆簡易搬出全国出前事業	全国	1,390	61
	やまづくり・くらぶ	東京	25S-18	間伐材利活用プロジェクトによる川場・世田谷上下流連携の持続可能な森づくり	群馬	410	52
	(特)やみぞの森	茨城	25S-09	八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業	茨城	520	48
ゆ	(特)夕立山森林塾	岐阜	25S-34	山主さんの持ち山活用塾	岐阜	1,890	59
よ	四日市自然保護推進委員会	三重	25ふR-21	小面積皆伐による里山再生モデル事業	三重	499	133
ら	ラムサールセンター	東京	25K-22	インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生にむけた住民参加型植林と持続可能な開発のための環境教育の推進	インド	1,468	162
わ	環～ＷＡ	茨城	25S-06	森に還ろうプロジェクト	茨城	870	46
	和歌山市加太観光協会	和歌山	25災R-09	森林の土壌環境を改善して森と海を元気にする事業	和歌山	1,951	121
	和木町林業研究会	山口	24SC-35	和木町協働の森づくり事業	山口	145	20

（注１）本表は、緑の募金法第 14 条に基づき森林整備等のために交付した交付先等です。
（注２）交付額は交付先への交付決定額です。

「緑の募金」事業報告集　－平成 26 年度版－

発行所　公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町２－７－４
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457　FAX 03-3264-3974
URL　http://www.green.or.jp
E-mail　bokin@green.or.jp

編　集　一般社団法人 全国林業改良普及協会